

(案)

原子力発電所周辺環境放射能測定結果

(令和 2 年度 第 1 四半期)

福 島 県

目次

| | | |
|-------|---|----|
| 第1 | 測定結果の概要 | 1 |
| 第2 | 測定項目 | 9 |
| 第3 | 測定方法 | 15 |
| 第4 | 測定結果 | |
| 4-1 | 空間放射線 | |
| 4-1-1 | 空間線量率 | 25 |
| 4-1-2 | 空間積算線量 | 26 |
| 4-2 | 環境試料 | |
| 4-2-1 | 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能 | 27 |
| 4-2-2 | 環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種） | 28 |
| 4-2-3 | 環境試料中の核種濃度（ベータ線放出核種） | 31 |
| 4-2-4 | 環境試料中の核種濃度（アルファ線放出核種） | 32 |
| 第5 | 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表 | |
| 5-1 | 空間放射線 | |
| 5-1-1 | 空間線量率 | 35 |
| 5-1-2 | 空間積算線量 | 38 |
| 5-2 | 環境試料 | |
| 5-2-1 | 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能 | 41 |
| 5-2-2 | 大気浮遊じんの核種濃度 | 43 |
| 5-2-3 | 大気中水分のトリチウム濃度 | 47 |
| 5-2-3 | 降下物の核種濃度 | 48 |
| 5-2-4 | 環境試料中の核種濃度 | 49 |
| 5-3 | 比較対照地点 | |
| 5-3-1 | 空間線量率（比較対照地点） | 52 |
| 5-3-2 | 大気浮遊じんの核種濃度（比較対照地点） | 53 |
| 5-3-3 | 大気中水分のトリチウム濃度（比較対照地点） | 54 |
| 5-3-4 | 降下物の核種濃度（比較対照地点） | 55 |
| 5-3-5 | 環境試料中の核種濃度（比較対照地点） | 56 |
| 5-4 | 試料採取時の付帯データ集 | 57 |
| 第6 | 参考資料 | |
| 6-1 | 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う 海水モニタリング結果（公表資料） | 58 |

必要に応じて、福島県原子力安全対策課のホームページに掲載している原子力用語集をご活用下さい。

○URL

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16025c/genan183.html>

○または、

福島県原子力安全対策課トップページ → 参考資料 → 原子力用語集

第 1 測定結果の概要

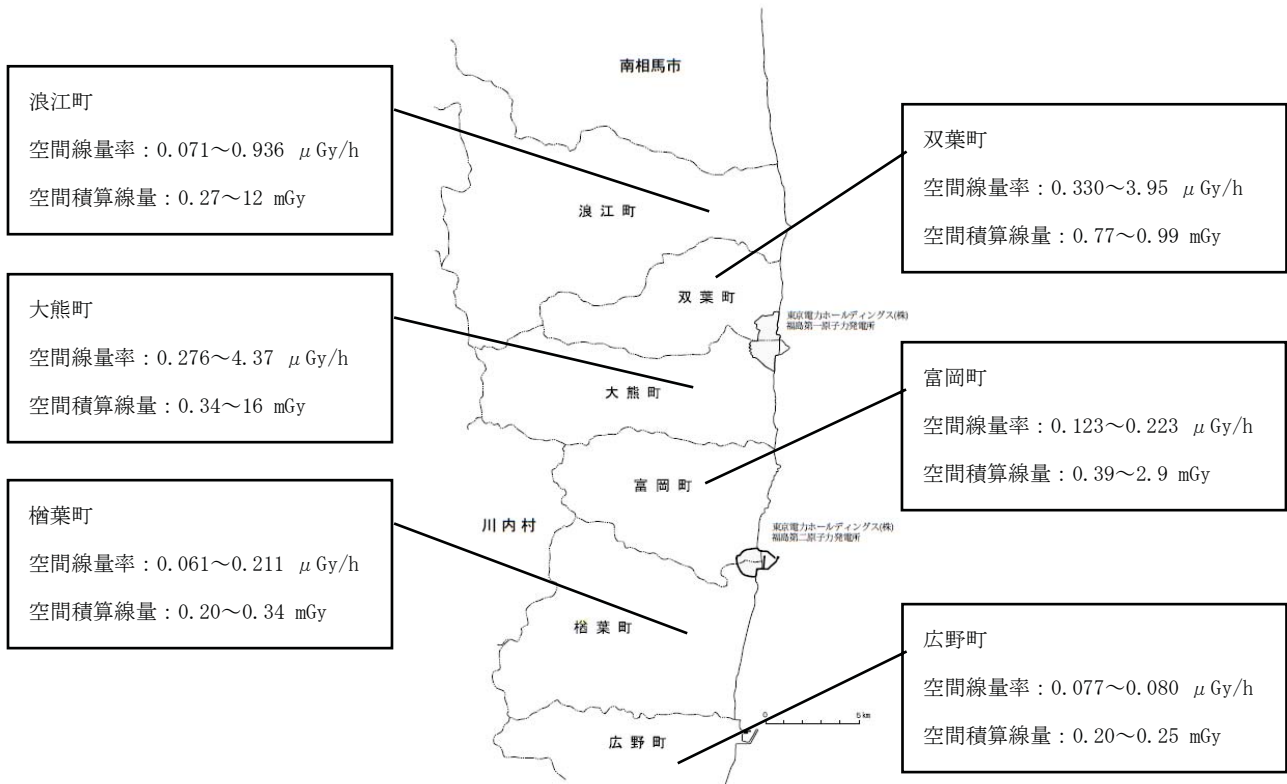
福島県が令和 2 年度第 1 四半期（令和 2 年 4 月～令和 2 年 6 月）に実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりです。東京電力㈱福島第一原子力発電所の事故による影響を受けた空間線量率については事故前の測定値の範囲を上回り、環境試料については一部を除いて事故前の測定値の範囲を上回っています。しかし、これらは、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

1 空間放射線

- 空間線量率について、今期の測定値（月間平均値 0.044～4.37 $\mu\text{Gy/h}$ ）は、事故前の測定値の範囲（月間平均値 0.033～0.054 $\mu\text{Gy/h}$ ）を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。
- 空間積算線量（90日換算値）については、今期の測定値（0.16～16 mGy）は事故前の測定値の範囲（0.10～0.14 mGy）を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

【町別の空間線量率及び空間積算線量】

※ 空間線量率と空間積算線量の測定地点は同一とは限りません。詳細な地点は p.10 図 2-1 環境放射能等測定地点を参照してください。



2 環境試料の核種濃度

- 大気浮遊じん、降水物、土壌、海水、海底土及び松葉の6品目の試料からセシウム-134及びセシウム-137が検出され、上水の試料からはセシウム-137が検出されました。事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期と比較すると概ね横ばい傾向[※]にあります。

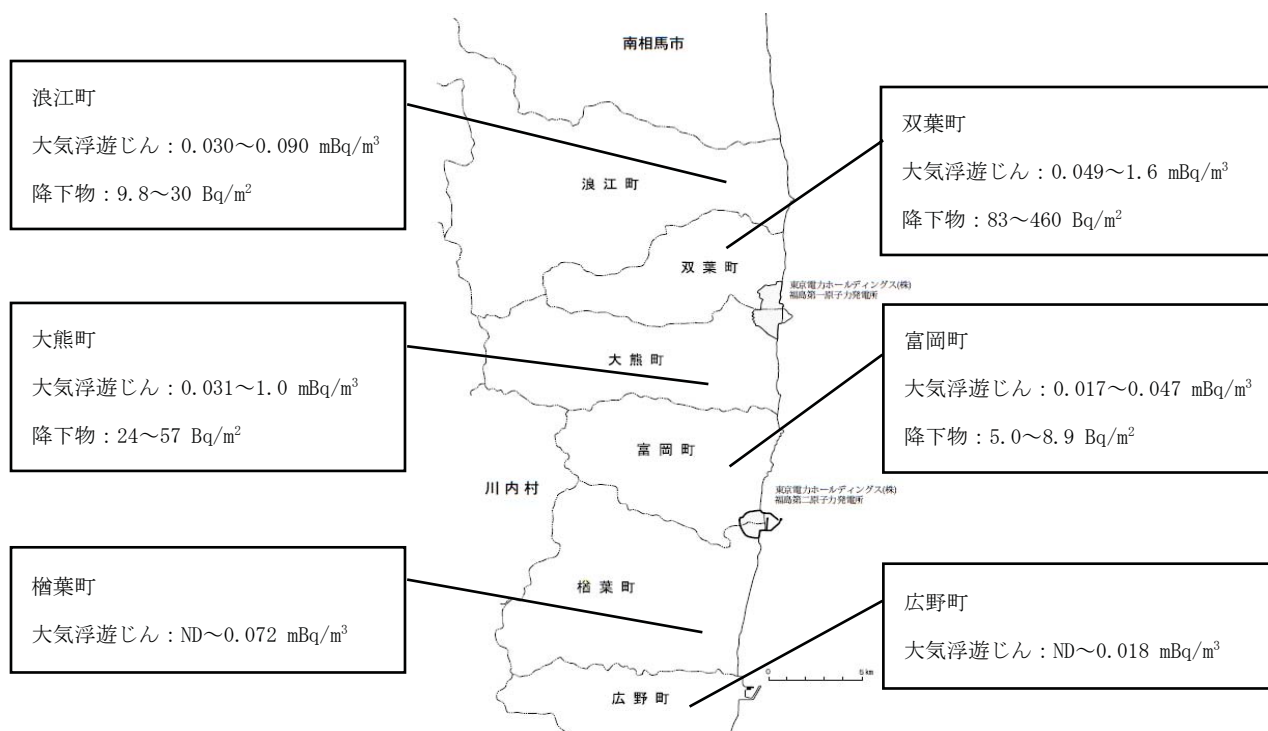
上水の一部（表流水）からセシウム-137が検出（0.001～0.028Bq/L）されていますが、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値である10Bq/kg（10Bq/L）を大きく下回っています。

土壌の双葉町郡山の地点でコバルト-60が検出（2.2Bq/kg 乾）されましたが、平成26年度から前四半期までの測定値（ND～5.3Bq/kg 乾）の範囲内でした。また、いわき市川部町の地点でアンチモン-125が検出（10Bq/kg 乾）されましたが、平成26年度から前四半期までの測定値（ND～28Bq/kg 乾）の範囲内でした。
- 大気中水分及び海水の試料からトリチウムが検出されました。大気中水分の富岡町富岡、大熊町夫沢、双葉町郡山の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、調査を再開した平成30年度から前四半期までの測定値の範囲内でした。
- 土壌、海水及び海底土の試料からストロンチウム-90が検出されましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。
- 土壌の試料からウラン-234、ウラン-235及びウラン-238が検出されましたが、いずれも天然ウランの放射能比と同程度であり、他県の土壌のウラン濃度と同程度でした。
- 土壌の双葉町郡山の試料からプルトニウム-238が検出（0.05Bq/kg 乾）され、事故前の測定値の範囲（ND～0.03Bq/kg 乾）を上回りましたが、平成26年度から前四半期までの測定値（ND～0.09Bq/kg 乾）の範囲内でした。土壌、海水及び海底土の試料からプルトニウム-239+240が検出されましたが、事故前の測定値の範囲内でした。

※ セシウム-134は原発事故からの時間経過により大きく減衰しているため、長期的な傾向については、セシウム-137に着目することとしております。

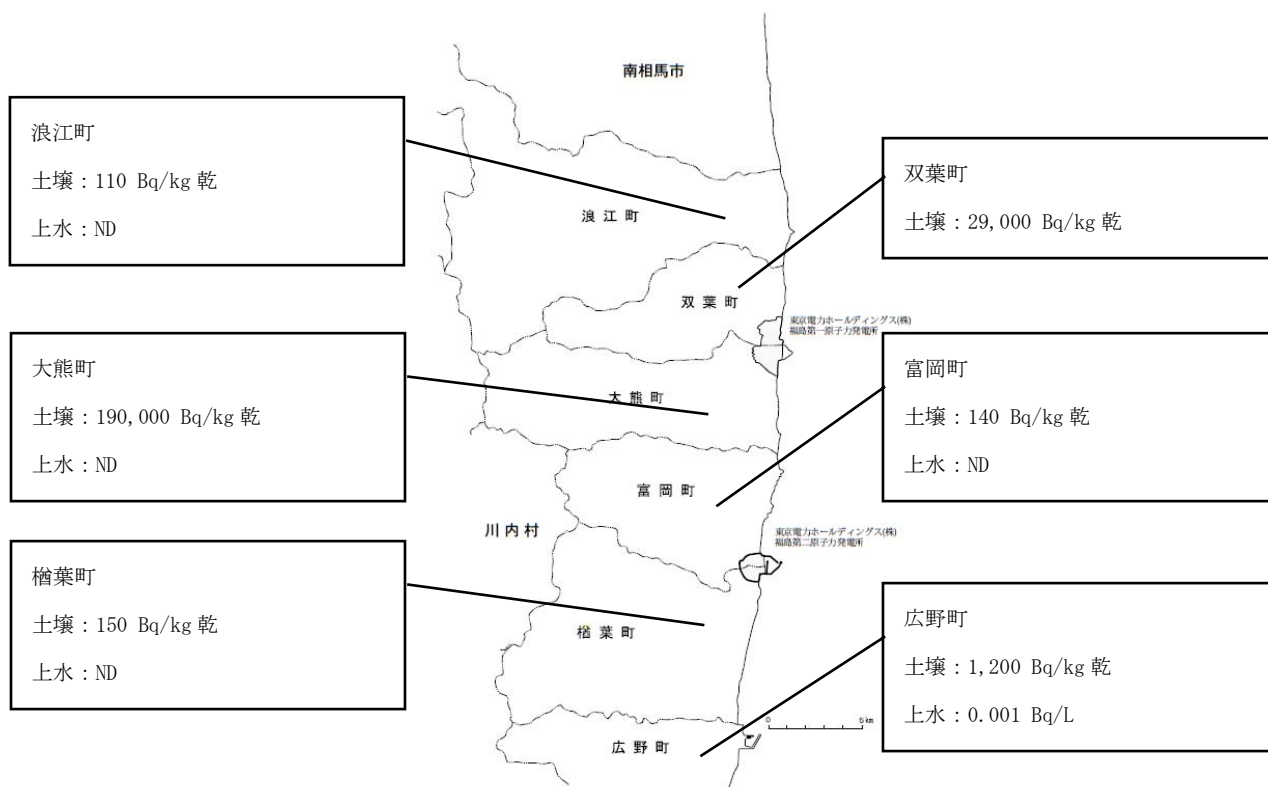
【町別の大気浮遊じん及び降下物のセシウム-137濃度】

※ 大気浮遊じんと降下物の採取地点は同一とは限りません。詳細な地点は p. 12 図 2-3 環境試料採取地点を参照してください。

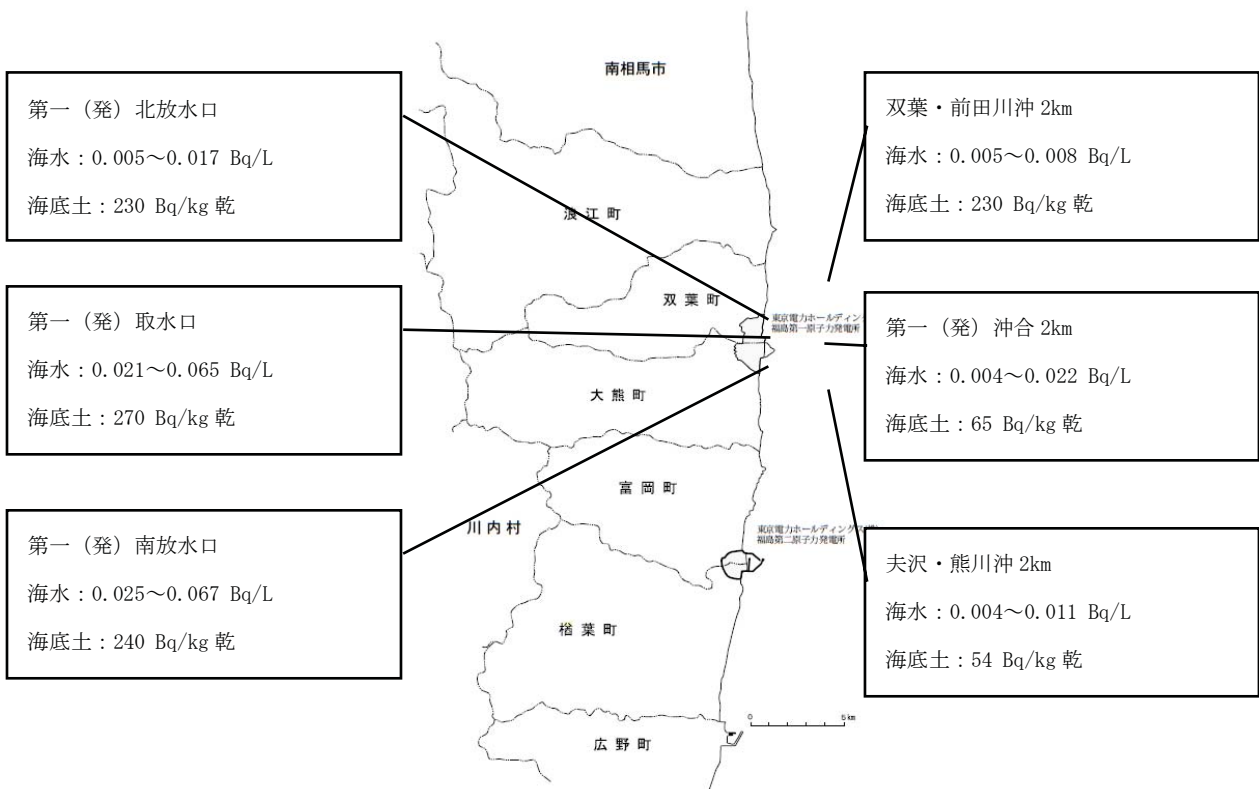


【町別の土壌及び上水のセシウム-137濃度】

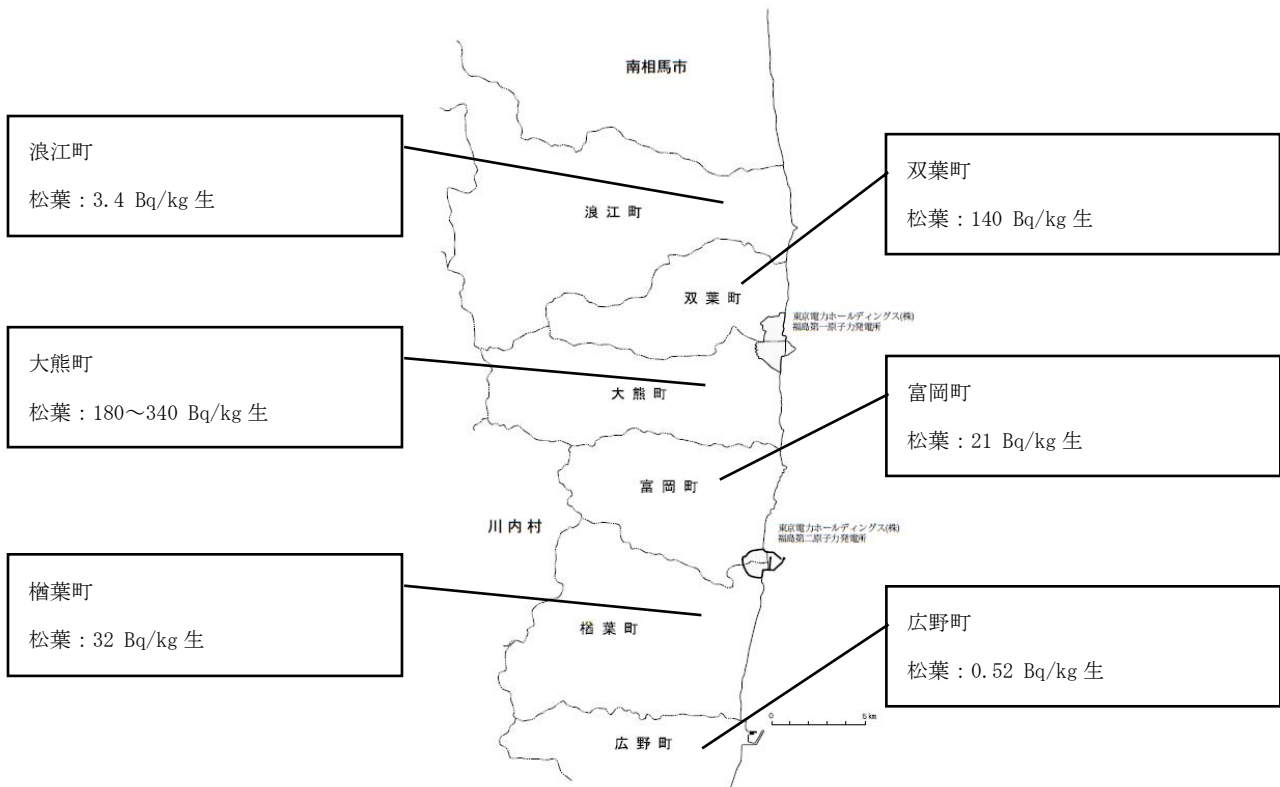
※ 土壌と上水の採取地点は同一とは限りません。詳細な地点は p. 12 図 2-3 環境試料採取地点を参照してください。



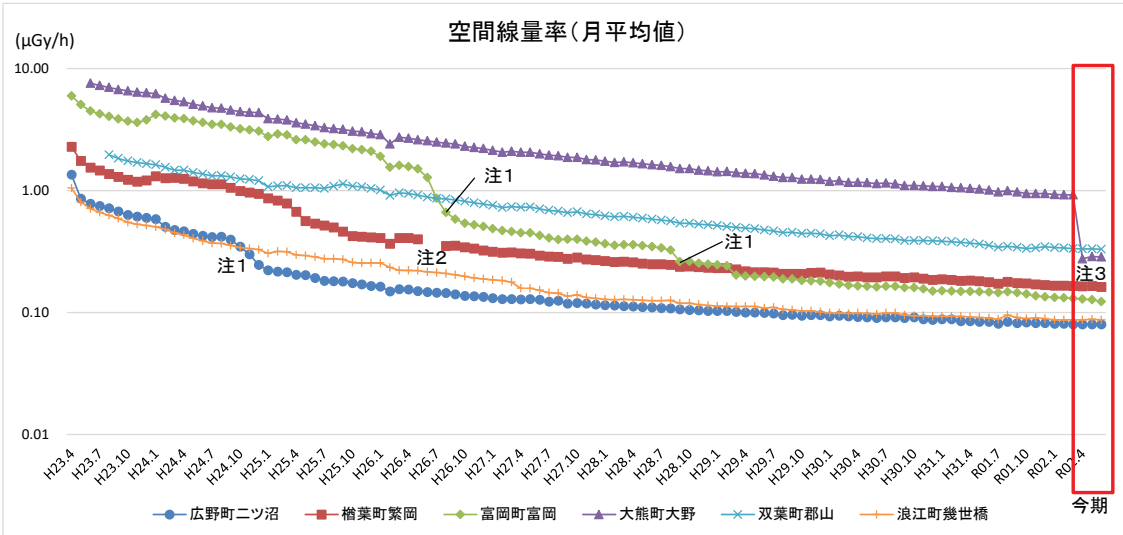
【海水及び海底土のセシウム-137 濃度】



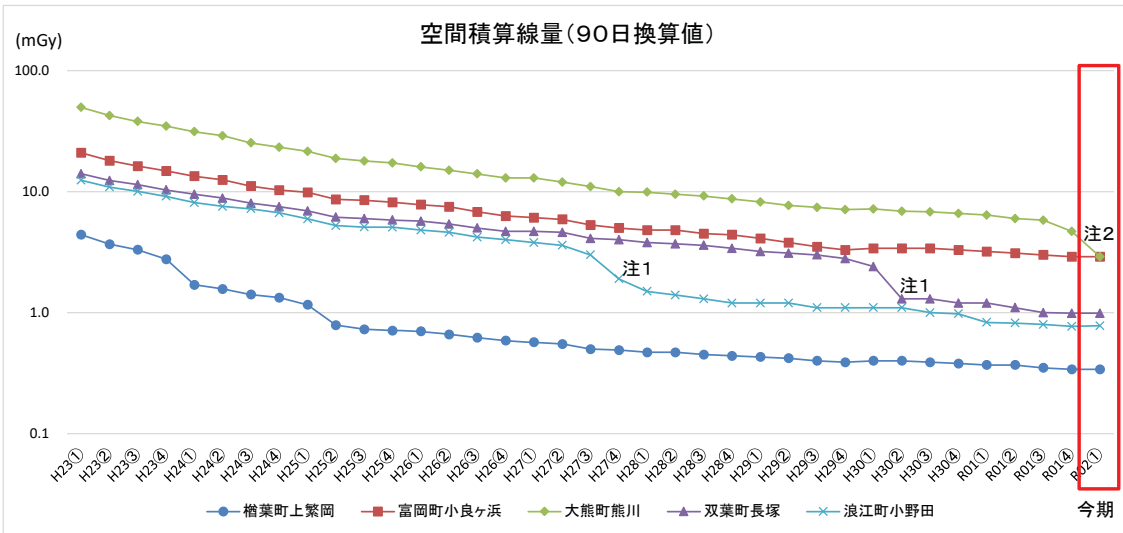
【町別の松葉のセシウム-137 濃度】



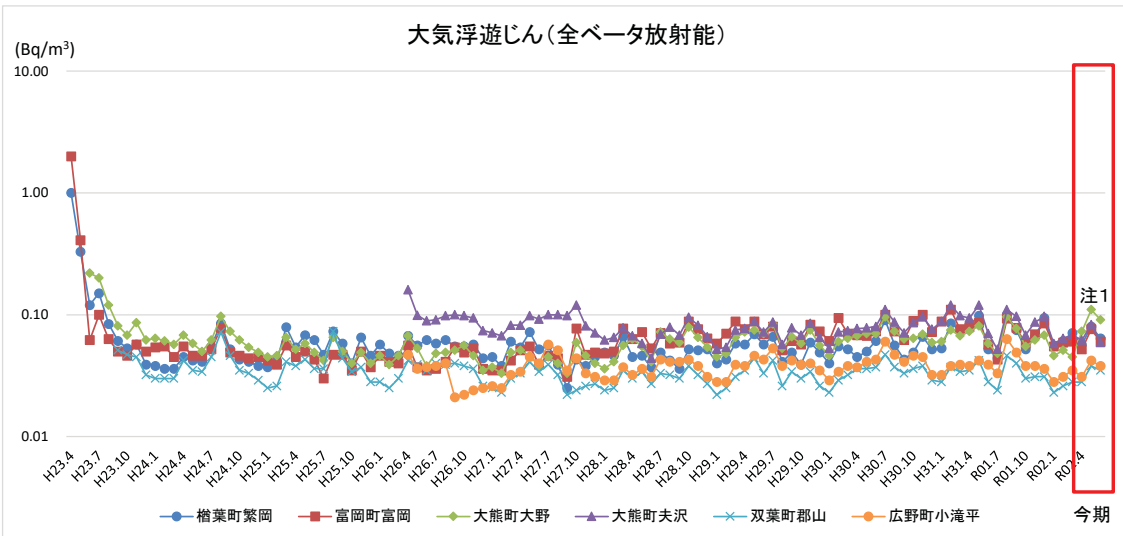
事故後の各項目毎のトレンドグラフ



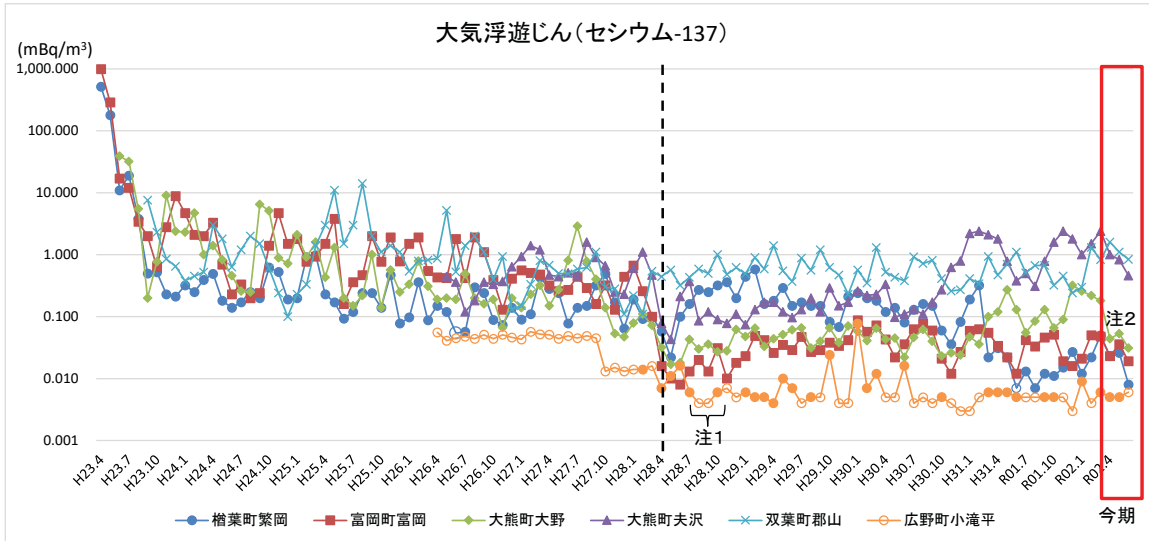
注1: 除染による減少、注2: 欠測
 注3: 大熊町大野は令和元年度末に局舎を移設したため、令和2年度第1四半期より旧大熊町役場敷地内で測定を行っている。



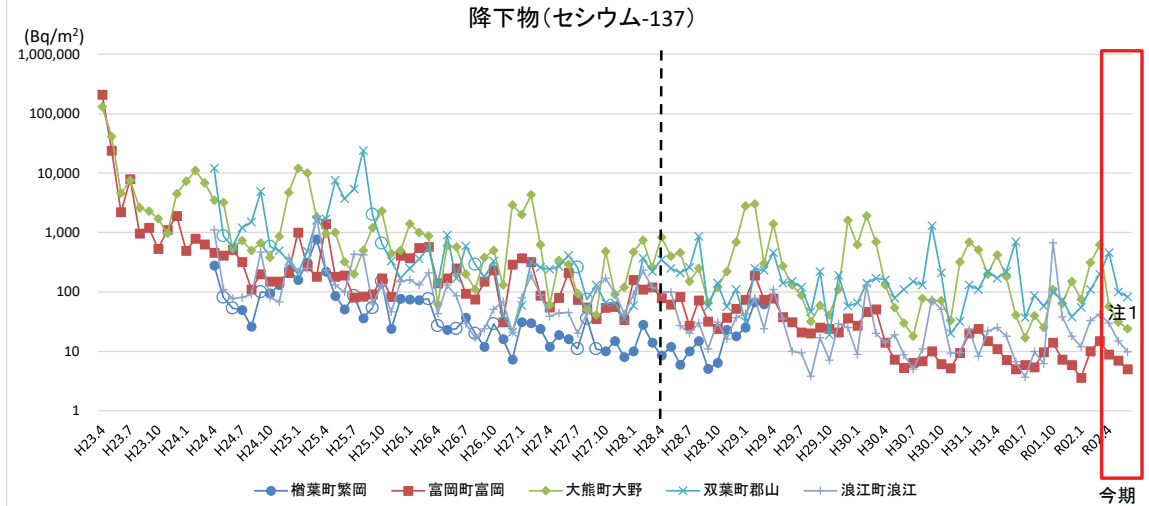
注1: 除染による減少
 注2: 周辺において造成工事が行われたことによる低下



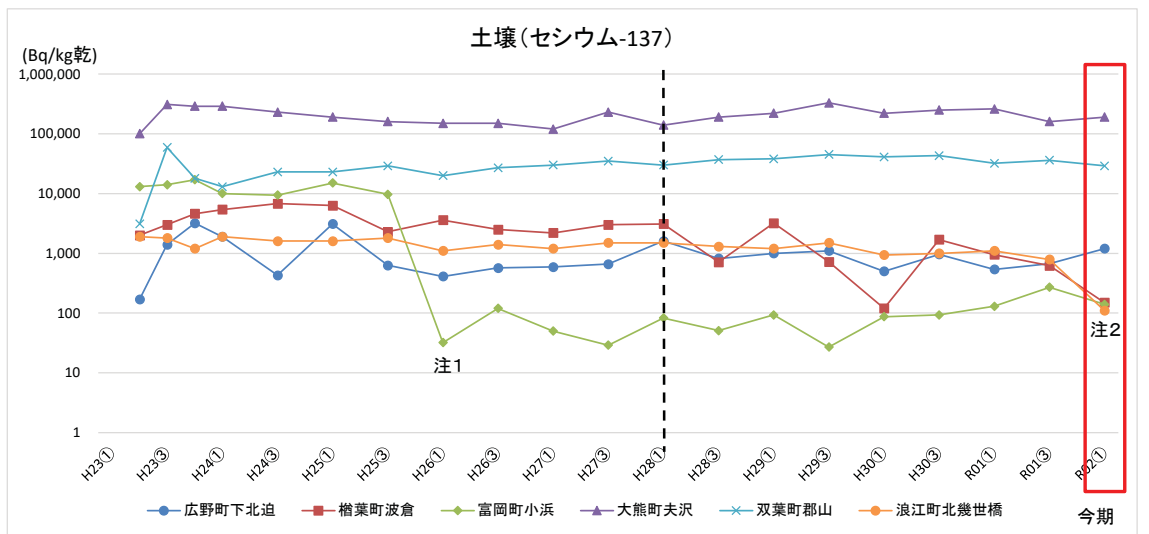
注1: 大熊町大野は令和元年度末に局舎を移設したため、令和2年度第1四半期より旧大熊町役場敷地内で測定を行っている。



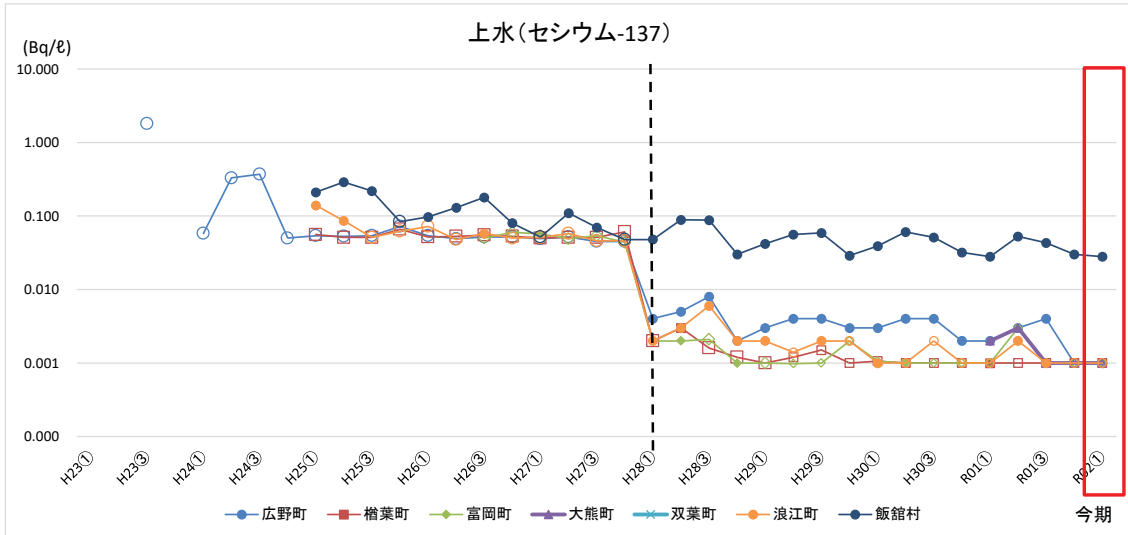
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 富岡町富岡は機器不具合のため平成28年7月から10月は参考値
 注2: 大熊町大野は令和元年度末に局舎を移設したため、令和2年度第1四半期より旧大熊町役場敷地内で測定を行っている。



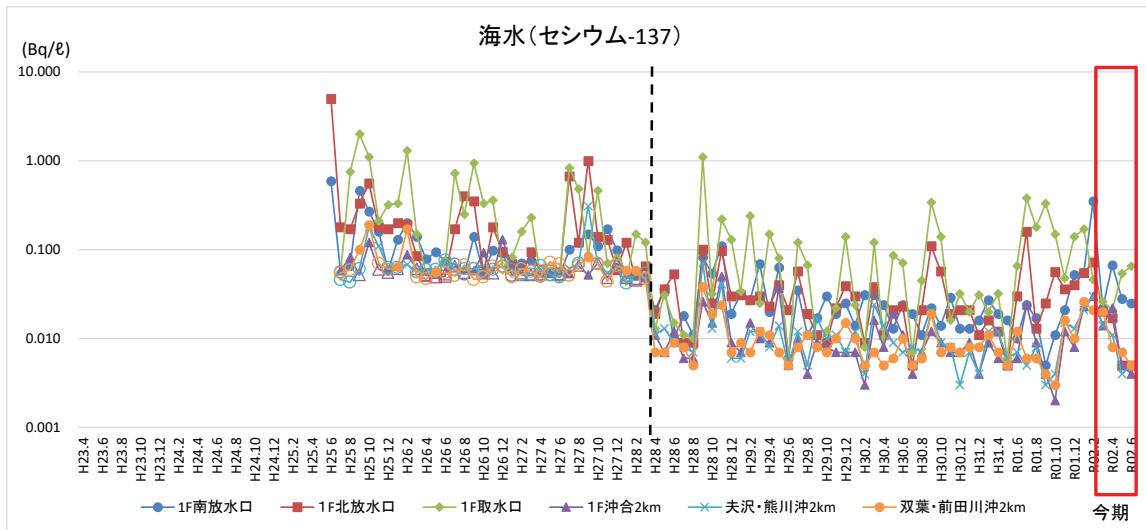
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 注1: 大熊町大野は令和元年度末に局舎を移設したため、令和2年度第1四半期より旧大熊町役場敷地内で測定を行っている。



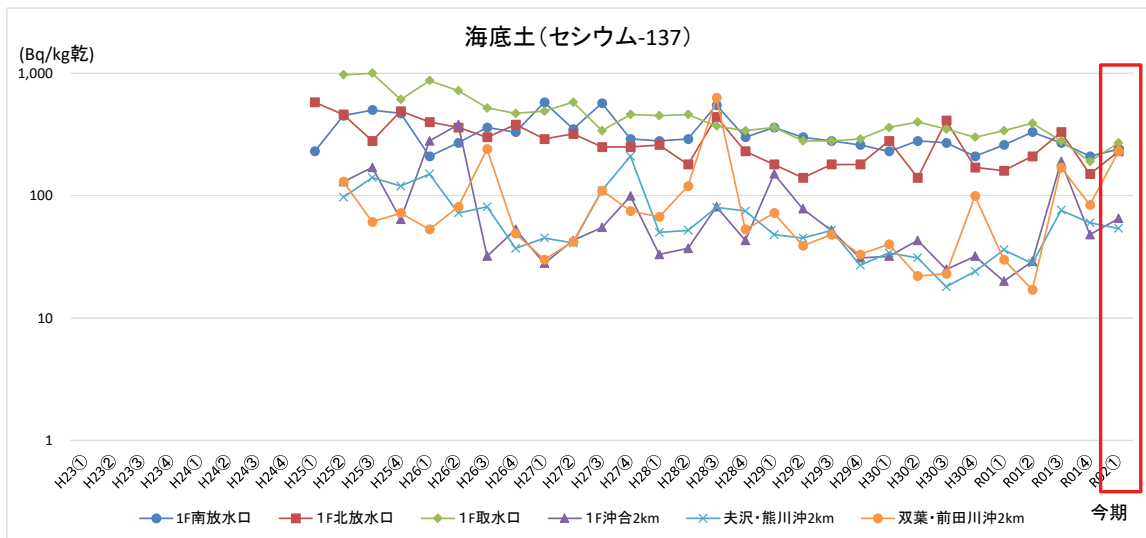
・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
 ・今期は測定対象外。
 注1: 除染による減少
 注2: 浪江町北幾世橋は、従来の採取地が耕作により採取不可能になったため、同地点内で採取地を変更して除染終了後の土壌を採取した。

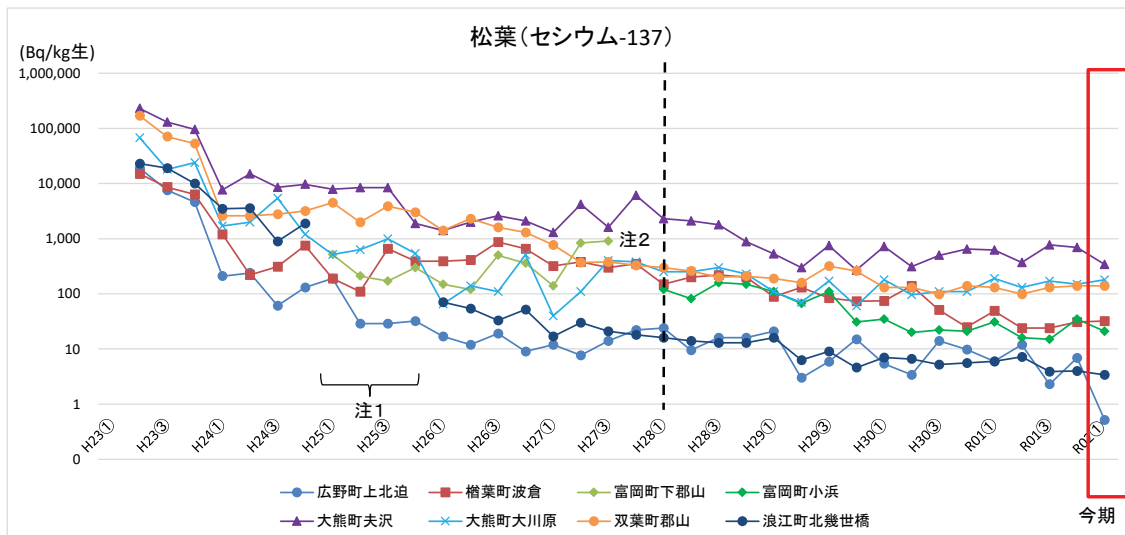


・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。



・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
 ・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。





・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月(点線)から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。

注1: 浪江町北幾世橋は平成25年度は調査未実施

注2: 富岡町下郡山は平成27年度第4四半期以降試料採取が困難となったため、平成28年度第1四半期より富岡町小浜で試料採取を行っている。

第 2 測 定 項 目

令和2年度第1四半期（令和2年4月～令和2年6月）測定分

1 測定項目

(1) 空間放射線

| 項目 | 計画地点数 | 調査地点数 (今期) | 測定頻度 | 実施機関 |
|--------|-------|---------------|-------|----------|
| 空間線量率 | 39 | 39 | 連続 | 環境創造センター |
| 空間積算線量 | 64 | 64 | 3ヵ月積算 | |

(2) 環境試料

| 区分 | 試料名 | 計画地点数 | 調査地点数 (今期) | 採取回数 (今期) | 採取頻度 | 測定試料数 (今期) | | | | | | | | 実施機関 | |
|-------------|--------|-------|---------------|--------------|------|------------|----|------------------|----------------|----|----|----|-------|------|--------------|
| | | | | | | 全β | γ | ¹³¹ I | ³ H | Sr | U | Pu | Am,Cm | | |
| 大 気 | 大気浮遊じん | 17 | 17 | 3 | 毎月 | 連続 全α全β | 51 | | | | | | | | 環境創造 センター |
| | | 25 | 25 | 3 | | | 75 | | | | | | | | |
| | 大気中水分 | 5 | 5 | 3 | 毎月 | | | 15 | | | | | | | |
| 降下物 | 降下物 | 10 | 10 | 3 | 毎月 | | 30 | | | | | | | | |
| 土 壤 | 土 壤 | 15 | 15 | 1 | 年2回 | | 15 | | | | | | | | |
| | | | | | 年1回 | | | | 15 | 15 | 15 | 15 | | | |
| 陸 水 | 上 水 | 13 | 12 | 1 | 年4回 | | 12 | | 12 | | | | | | |
| | | | 0 | 0 | 年1回 | | | | 0 | | 0 | | | | |
| 海 水 | 海 水 | 6(*1) | 6(*1) | 3 | 毎月 | 18 | 18 | | 18 | 18 | | 18 | | | |
| | | 2(*2) | 2(*2) | 1 | 年4回 | 2 | 2 | | 2 | | | | | | |
| | | | | | 年1回 | | | | 2 | | 2 | | | | |
| 海 底 土 | 海 底 土 | 6(*1) | 6(*1) | 1 | 年4回 | | 6 | | | 6 | | 6 | | | |
| | | 2(*2) | 2(*2) | 1 | 年4回 | | 2 | | | | | | | | |
| | | | | | 年1回 | | | | 2 | | 2 | | | | |
| 指 標 植 物 | 松 葉 | 15 | 15 | 1 | 年4回 | | 15 | 15 | | | | | | | |
| 指 標 海 洋 生 物 | ほんだわら | 2 | 0 | 0 | 年1回 | | 0 | 0 | | 0 | | 0 | | | |

*1 東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所周辺海域

*2 東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所周辺海域

2 測定項目（比較対照地点調査）

(1) 空間放射線

| 項目 | 計画地点数 | 調査地点数 (今期) | 測定頻度 | 実施機関 |
|-------|-------|---------------|------|----------|
| 空間線量率 | 3 | 3 | 連続 | 環境創造センター |

(2) 環境試料

| 区分 | 試料名 | 計画地点数 | 調査地点数 (今期) | 採取回数 (今期) | 採取頻度 | 測定試料数 (今期) | | | | | | | | 実施機関 |
|---------|--------|-------|---------------|--------------|------|------------|----|------------------|----------------|----|---|----|-------|------|
| | | | | | | 全β | γ | ¹³¹ I | ³ H | Sr | U | Pu | Am,Cm | |
| 大 気 | 大気浮遊じん | 7 | 7 | 3 | 毎月 | | 21 | | | | | | | |
| | 大気中水分 | 1 | 1 | 3 | | | | | 3 | | | | | |
| 降下物 | 降下物 | 2 | 2 | 3 | 毎月 | | 6 | | | | | | | |
| 土 壤 | 土 壤 | 7 | 7 | 1 | 年1回 | | 7 | | | 7 | | 7 | | |
| | | 1 | 1 | 1 | | | | | 1 | | 1 | | | |
| 陸 水 | 上 水 | 2 | 0 | 0 | 年1回 | | 0 | | 0 | | | | | |
| | | 1 | | | | | | 0 | | 0 | | | | |
| 海 水 | 海 水 | 1 | 0 | 0 | 年1回 | 0 | 0 | | 0 | 0 | | 0 | | |
| 海 底 土 | 海 底 土 | 1 | 0 | 0 | 年1回 | | 0 | | | 0 | | 0 | | |
| 指 標 植 物 | 松 葉 | 5 | 5 | 1 | 年4回 | | 5 | 5 | | | | | | |

図2-1 環境放射能等測定地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

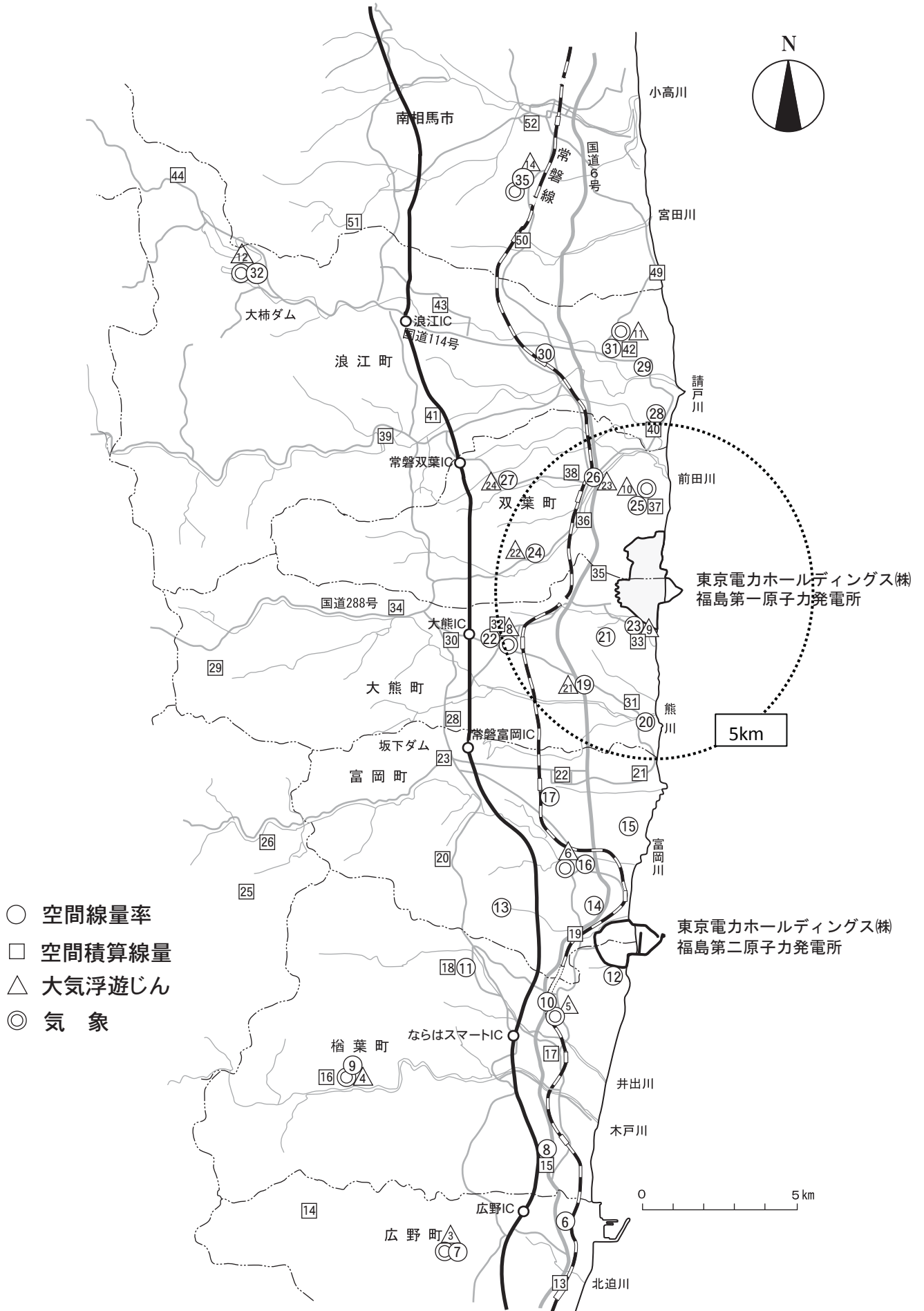


図2-2 環境放射能等測定地点（広域）

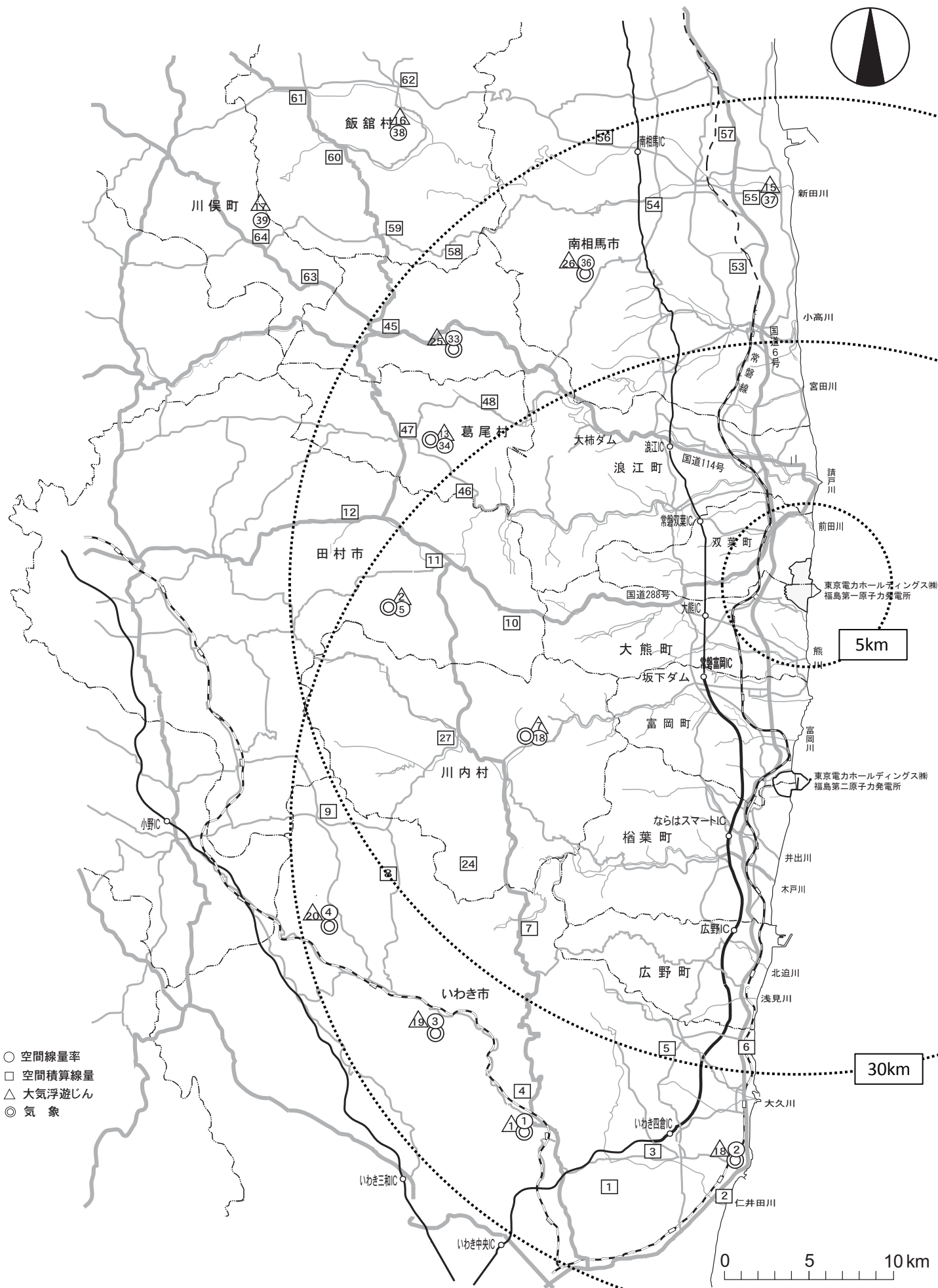


図2-3 環境試料採取地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

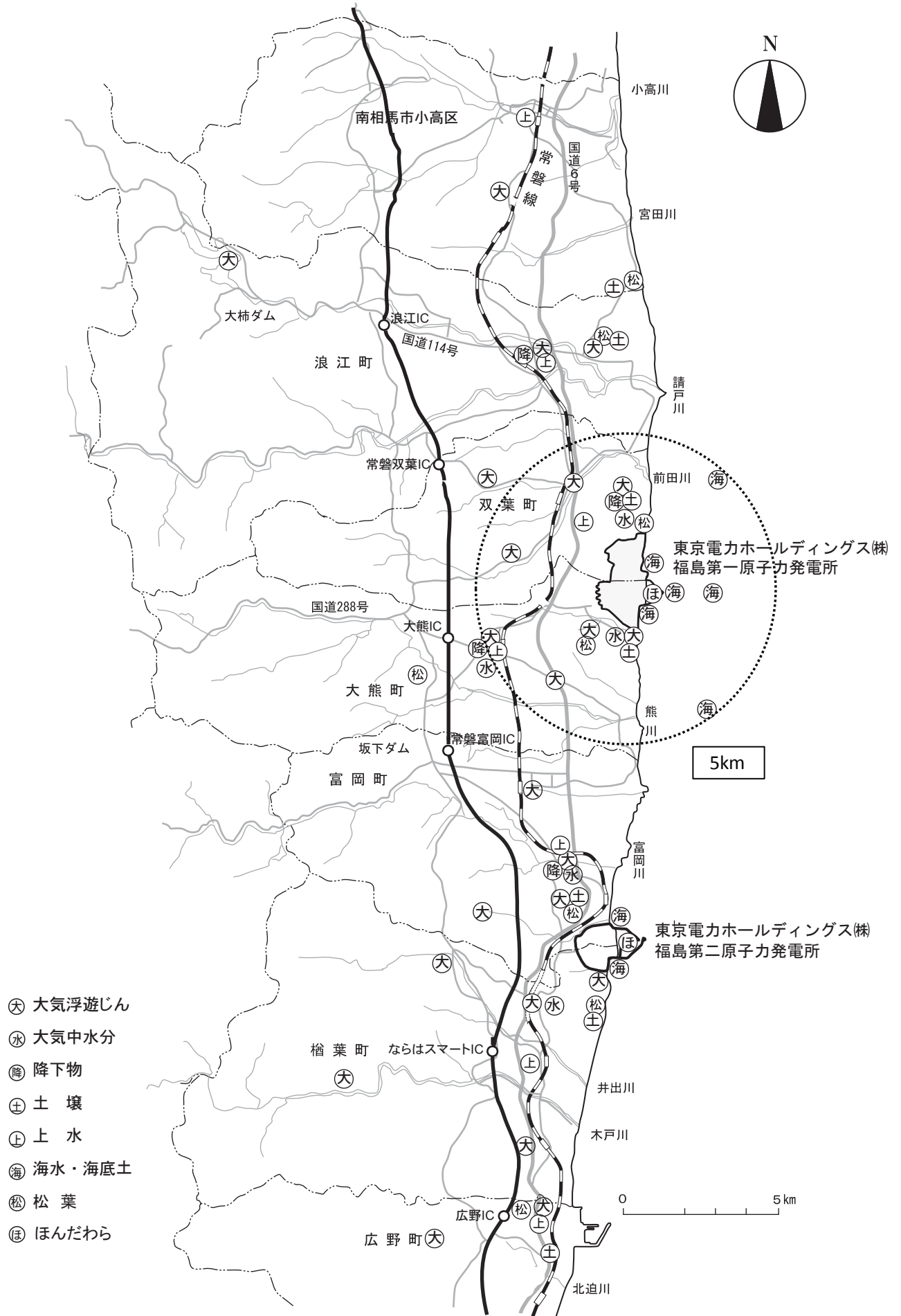
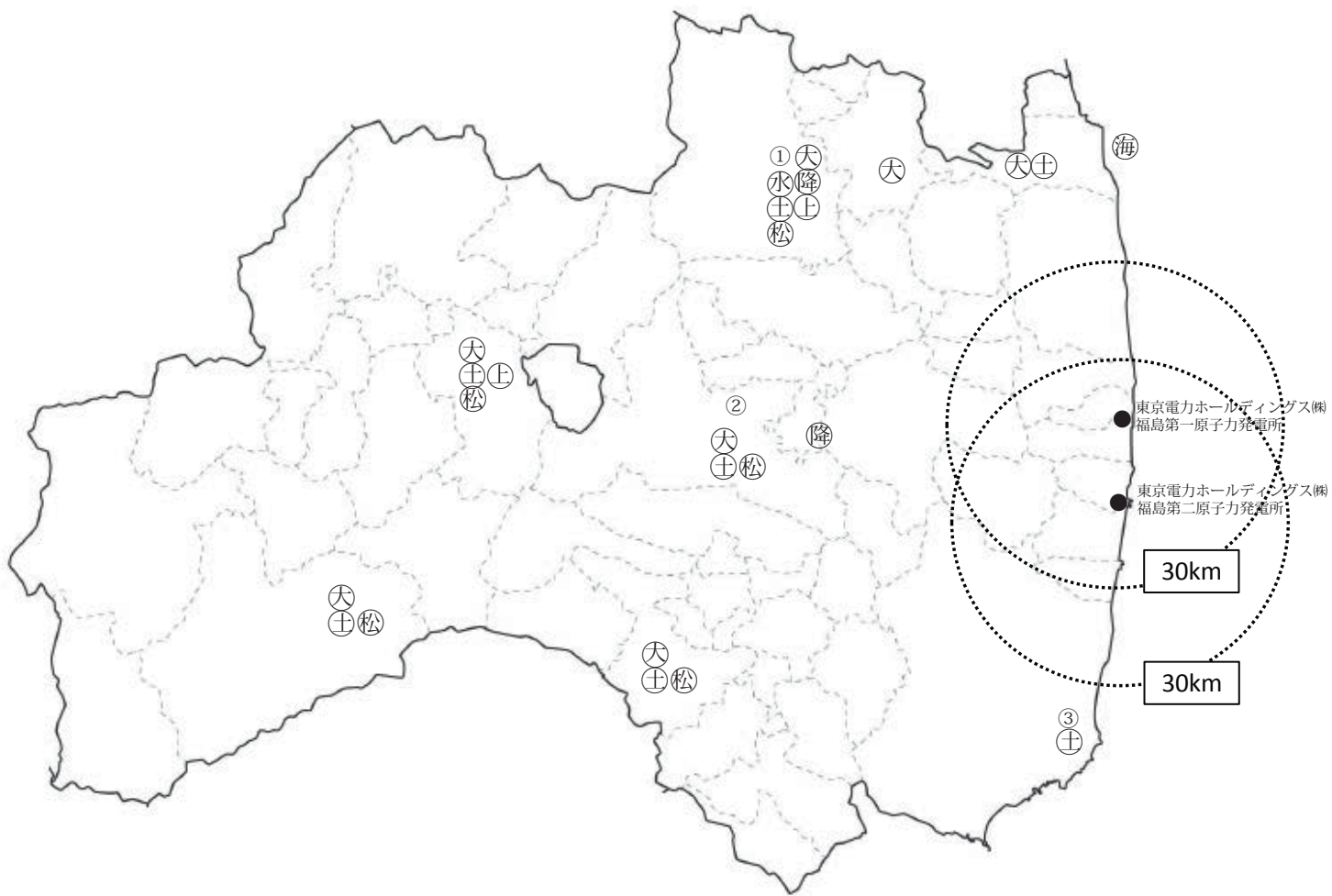


図2-4 環境試料採取地点（広域）



図2-5 環境放射能等測定地点及び環境試料採取地点（県内全域）



- 空間線量率
- ⊕ 大気浮遊じん
- ⊖ 大気中水分
- ⊙ 降下物
- ⊕ 土壌
- ⊕ 海水・海底土
- ⊕ 上水
- ⊕ 松葉

第 3 測 定 方 法

| 測定項目 | | 測定装置 | 測定方法 |
|----------|--------------------------|--|---|
| 空間放射線 | 空間線量率 | モニタリングポスト | 検出器：低線量計 2"φ×2"NaI(Tl)シンチレーション検出器（日立製作所製 ADP-1122型他） 高線量計 14Lアルミ製加圧型球形電離箱検出器（日立製作所製 RIC-348型他） 測定位置：地表上約3m、約1m 校正線源： ⁶⁰ Co、 ¹³⁷ Cs及び ²²⁶ Ra |
| | 空間積算線量 | 蛍光ガラス線量計 | 測定法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」（平成14年制定） 線量計：蛍光ガラス線量計（AGCテクノグラス製 SC-1型） 測定器：蛍光ガラス線量計測装置（AGCテクノグラス製 FGD-202型） 測定位置：地表上約1m 校正線源： ¹³⁷ Cs |
| 環境試料 | 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能 | ダストモニタ | 測定法：6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を6時間同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式（吸引量：約90m ³ /6時間） 使用ろ紙：アドバンテック東洋製 HE-40T型 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータの貼合せ検出器（日立製作所製 ADC-121他） 採取位置：地表上約3m、約2.3m 校正線源： ²⁴¹ Am及び ³⁶ Cl |
| | | リアルタイムダストモニタ | 測定法：全アルファ及び全ベータ放射能を6時間連続集じん同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式（吸引量：18m ³ /6時間） 使用ろ紙：アドバンテック東洋製 HE-40T型 検出器：ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータの貼り合わせ検出器（日立製作所製 ADC-2121） 採取位置：地表上約2m 校正線源： ²⁴¹ Am及び ³⁶ Cl |
| | | リアルタイムダストモニタ（福島第一原子力発電所からおおむね5km圏内） | 測定法：全アルファ及び全ベータ放射能を6時間連続集じん同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式（吸引量：11m ³ /6時間） 使用ろ紙：ミルポア製 FSLW型 検出器：プレーナシリコンα/β放射線検出器（キャンベラ製 CAM-2*450ASV） 採取位置：地表上約2m 校正線源： ²⁴¹ Am及び ³⁶ Cl |
| | 全ベータ放射能（海水） | β線自動測定装置 | 測定法：文部科学省編「全ベータ放射能測定法」（昭和51年改訂） 測定器：低バックグラウンドガスフローカウンタ（日立製作所製 LBC-4202B型） 校正線源：U ₃ O ₈ |
| | 核種濃度 | γ線放出核種分析装置 | 測定法：文部科学省編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（平成4年改訂） 測定器：ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製 GC3018型他） 多波高分析器（キャンベラ製 LYNX DSA MCA型他） |
| β線自動測定装置 | | 測定法：文部科学省編「トリチウム分析法」（平成14年改訂） 測定器：低バックグラウンド液体シンチレーション検出装置（日立製作所製 LSC-LB7型他） | |

| 測定項目 | | 測定装置 | 測定方法 |
|----------|-------------------------|--------------------|--|
| 環境 試料 | 放射性ストロンチウム濃度 | β 線自動測定装置 | 測定法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」（平成15年改訂）に定めるイオン交換法 測定器：ローバックグラウンドガスフローカウンタ（日立製作所製 LBC-4202B型） 校正線源： ^{90}Sr |
| | ウラン濃度 | α 線放出核種分析装置 | 測定法：文部科学省編「ウラン分析法」（平成14年改訂）に定めるTBP（リン酸三ブチル）抽出法 測定器：シリコン半導体検出器（ORTEC製 BU-017-450型他） 多波高分析器（ORTEC デジタルMCA（ソフトウェア）他） 校正線源： ^{239}Np 、 ^{241}Am 及び ^{244}Cm |
| | アメリカシウム、キュリウム及びプルトニウム濃度 | α 線放出核種分析装置 | 測定法：文部科学省編「プルトニウム分析法」（平成2年改訂）及び「アメリカシウム分析法」（平成2年）に定めるイオン交換法 測定器：シリコン半導体検出器（ORTEC製 BU-017-450型他） 多波高分析器（ORTEC デジタルMCA（ソフトウェア）他） 校正線源： ^{239}Np 、 ^{241}Am 及び ^{244}Cm |

環境試料放射能測定方法詳細一覧表

(全β放射能、Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・U-234、U-235、U-238濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度)

| 項目 | 試料名 | 大気浮遊じん | | | |
|------|---------------------------------------|---|--|--|---|
| | | 簡易型ダストサンプラー(福島第一原子力発電所から30km圏内) | 簡易型ダストサンプラー(比較対象地点) | 連続ダストサンプラー | 連続ダストモニタ |
| 核種 | | Cs-134、Cs-137 | | | |
| 試料採取 | 採取方法 | ハイボリウムエアサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約1m | ハイボリウムエアサンプラーによる24時間採取 ・採取位置:地表上約1m | ダストサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m | ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2~3m |
| | 採取容器等 | ろ紙(GB-100R) | | ろ紙(HE-40T) | |
| | 採取量 | 約34,500m ³ | 約1,150m ³ | 約2,000m ³ | 約11,000m ³ |
| | 前処理(酸などの薬品添加を実施しているか) | なし | | | |
| | 採取器具のコンタミ防止(試料採取器具を適切に使用しているか) | ・地点毎に採取器具を専用としている。 ・ろ紙が触れる部分を使用毎に洗浄している。 | | 試料毎に分けて採取している。 | |
| 前処理 | 方法 | 約1週間毎に回収したろ紙を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。 | 24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。 | 約1週間毎に回収した集じんろ紙の集じん箇所を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。 | 1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。 |
| | 分取、縮分の代表性(高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合) | 1週間分の集じんろ紙(203×254mm)を47.5φmmの打ち抜き器を用いて12ヶ所計52%を採取する。これを1ヶ月分まとめ週ごとのかたよりが出ないよう順にU8へ収納する。 | 24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。 | 50φmmの円の中心から46φmmを打ち抜き84.64%を採取する。ろ紙には均一に採取されている。これを1ヶ月分まとめU8容器底面に収納する。 | 灰にした試料全量をU8容器に充填する。 |
| | 前処理でのコンタミ防止とその確認法 | ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。 | | | ・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。 |
| 測定 | 測定装置 | Ge半導体検出装置 | | | |
| | 測定試料状態 | 生 | | | 灰 |
| | 測定容器 | U8容器 | | | |
| | 供試料量 | 約18,000m ³ | 約1,150m ³ | 約1,700m ³ | 約11,000m ³ |
| | 測定時間 | 12,000秒 | 80,000秒 | 15,000秒 | 80,000秒 |
| | 測定下限値 | 約0.01~0.03mBq/m ³ | 約0.03~0.04mBq/m ³ | 約0.03~0.1mBq/m ³ | 約0.005~0.01mBq/m ³ |
| | 測定におけるコンタミ防止とその確認法 | 定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。 | | | |
| 校正 | 使用線源 | Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 | | | |
| | | 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。 | | | |
| | 線源校正頻度 | (年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施 | | | |
| | BG測定頻度 | 月1回 試料測定時間の2倍以上 | | | |
| 備考 | 平成26年7月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定に切り換え | 平成23年11月:測定開始 平成27年7月:測定時間変更(3,600秒→20,000秒) 平成28年4月:測定時間変更(20,000秒→80,000秒) | 平成28年4月:測定開始 平成30年4月:1ヶ月毎の測定に切り換え | 平成27年10月:測定時間変更(3,600秒→21,600秒) 平成28年4月:前処理変更(生→灰化)、測定時間変更(21,600秒→80,000秒) | |

(全β放射能、Cs-134、Cs-137)

| 項目 | 試料名 | 大気浮遊じん | | 大気中水分 | |
|------|---|---|-------------------------------------|---|--------|
| | | リアルタイムダストモニタ | リアルタイムダストモニタ(福島第一原子力発電所からおおむね5km圏内) | 福島第一原子力発電所から30km圏内 | 比較対照地点 |
| | 核種 | Cs-134、Cs-137 | | H-3 | |
| 試料採取 | 採取方法 | ダストモニタによる連続採取 ・採取位置:地表上約2m | | シリカゲルを充填したカラムに大気を通過させ、大気に含まれる水分を捕集する。 | |
| | 採取容器等 | ろ紙(HE-40T) | ろ紙(1CAM/ROLL (フィルターコード:FSLW)) | シリカゲルを充填した、ガラスカラム(φ55 mm×H400 mm)2本 | |
| | 採取量 | 約2,200m ³ | 約1,250m ³ | 約4.5~45m ³ | |
| | 前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか) | なし | | なし | |
| | 採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか) | 試料毎に分けて採取している。 | | シリカゲルを充填したガラスカラムは地点毎に専用としている。 | |
| 前処理 | 方法 | 1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。 | 1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。 | 減圧蒸留法 | |
| | 分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合) | 灰にした試料全量をU8容器に充填する。 | 1ヶ月分の集じんろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。 | シリカゲルに吸着させた水分を全量回収し、十分に混合する。その後、所定量を減圧蒸留する。 | |
| | 前処理でのコンタミ防止とその確認法 | ・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き(600℃)。 ・充填する時に用いる器具類はラッピングして使用。 ・U8容器は、新品を使用しラッピングしている。 | U8容器は、新品を使用しラッピングしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前処理器具は大気中水分専用器具を使用している。 ・使用するガラス器具類は洗浄後十分に乾燥させたものを使用している。 ・テフロンバイアルは毎回新品を使用している。 | |
| 測定 | 測定装置 | Ge半導体検出装置 | | ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置 | |
| | 測定試料状態 | 灰 | 生 | 液体シンチレータ混合物 | |
| | 測定容器 | U8容器 | | 100 mLテフロンバイアル | |
| | 供試料量 | 約2,200m ³ | 約1,250m ³ | 約50.00 mL | |
| | 測定時間 | 80,000秒 | | 30,000 秒 | |
| | 測定下限値 | 約0.02~0.06mBq/m ³ | 約0.02~0.06mBq/m ³ | 約1 mBq/m ² ~10 mBq/m ² | |
| | 測定におけるコンタミ防止とその確認法 | 定期的Ge半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。 | | 試料毎に新品のバイアル瓶を使用している。検出器の汚染確認は、毎測定時にBG測定で実施。 | |
| 校正 | 使用線源 | Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 | | H-3 | |
| | 線源校正頻度 | (年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施 | | 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。 | |
| | BG測定頻度 | 月1回 200,000秒 | | 測定の都度 | |
| 備考 | 平成28年4月:測定開始 | 平成27年4月:測定開始 ろ紙がPTFE製のため減容不可 | 平成30年4月:測定開始 | | |

(全β放射能、Cs-134、Cs-137)

| 項目 | 試料名 | 降下物 | |
|------|---|--|--------|
| | | 福島第一原子力発電所から30km圏内 | 比較対照地点 |
| 核種 | | Cs-134、Cs-137 | |
| 試料採取 | 採取方法 | 建物屋上等に水盤を設置し、1ヶ月後に盤内の水を全量採取する。 | |
| | 採取容器等 | 大型水盤または小型水盤(SUS製バケツ) | |
| | 採取量 | 0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤) | |
| | 前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか) | 採取後、降下物1Lに対し1mLの濃塩酸を添加 | |
| | 採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか) | 容器は据え置き又は地点毎に専用としている。 | |
| 前処理 | 方法 | 全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣をU8容器に採取する。 | |
| | 分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合) | 採取試料全量を充填 | |
| | 前処理でのコンタミ防止 とその確認法 | 測定容器(U-8)は試料毎に新品を使用している。 | |
| 測定 | 測定装置 | Ge半導体検出装置 | |
| | 測定試料状態 | 乾固物 | |
| | 測定容器 | U8容器 | |
| | 供試料量 | 0.5m ² (大型水盤) または 0.085m ² (小型水盤) | |
| | 測定時間 | 80,000秒 | |
| | 測定下限値 | 大型水盤: 約0.1~0.2MBq/km ² 程度 小型水盤: 約0.3~0.7MBq/km ² 程度 | |
| | 測定におけるコンタミ防止 とその確認法 | 定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。 | |
| 校正 | 使用線源 | Cd-109、Co-57、60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。 | |
| | 線源校正頻度 | (年1回) Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施 | |
| | BG測定頻度 | 月1回 200,000秒 | |
| 備考 | 8地点で大型水盤、4地点で小型水盤を使用している。 平成24年4月: 小型水盤による採取開始 平成27年6月: 比較対照地点の前処理変更(2L分取→2L濃縮) 平成28年4月: 前処理変更(2L分取・2L濃縮→全量蒸発乾固) 比較対照地点の測定時間変更(21,600秒→80,000秒) | | |

(全β放射能、Cs-134、Cs-137)

| 項目 | 試料名 | 土壌 | | | | |
|--------|--|--|---|---|---|--|
| | 核種 | Cs-134、Cs-137 | Sr-90 | U-234、U-235、U-238 | Pu-238、Pu-239+240 | Am-241、Cm-244 |
| 試料採取 | 採取方法 | 裸未耕土の表層(0mmから50mm)から一地点あたり5箇所以上、計3kg程度になるまで採取する。 | | | | |
| | 採取容器等 | 採土器 | | | | |
| | 採取量 | 3kg程度 | | | | |
| | 前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか) | なし | | | | |
| | 採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか) | 採土器は共用で、採取の都度洗浄を行っている。 | | | | |
| 前処理 | 方法 | 一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけ、十分に混合する。 | | | | |
| | 分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合) | 1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。(インクリメント縮分法) | | | | |
| | 前処理でのコンタミ防止とその確認法 | <ul style="list-style-type: none"> 試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 試料毎に地点専用のSUS製ふるいを使用(比較対照地点) 試料処理毎に汚染がないことを確認 | | | | |
| 測定 | 測定装置 | Ge半導体検出装置 | ローバックグラウンド ガスフロー計数装置 | Si半導体検出装置 | Si半導体検出装置 | |
| | 測定試料状態 | 乾土 | 鉄共沈物 | 酸化物 | 酸化物 | |
| | 測定容器 | U8容器 | ステンレス皿(25mmφ) | ステンレス板(25mmφ) | ステンレス板(25mmφ) | |
| | 供試料量 | 約100g | 約100g | 約10g | 約50g | |
| | 測定時間 | 80,000秒 | 3,600秒 | 80,000秒 | 80,000秒 | |
| | 測定下限値 | 約1~10Bq/kg乾土 | 約0.2~0.5Bq/kg乾土 | 約0.1~4Bq/kg乾土 | 約0.01~0.2 Bq/kg乾土 | |
| | 測定におけるコンタミ防止とその確認法 | 定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。 | 試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。 | 試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。 | 試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。 | |
| 校正 | 使用線源 | Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 | Sr-90 | Np-237、Am-241、Cm-244 | Np-237、Am-241、Cm-244 | Gd-148、Am-241、Cm-244 |
| | | 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。 | | | | |
| | 線源校正頻度 | (年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施 | (納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。 | (納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施 | (納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施 | (納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回 |
| BG測定頻度 | 月1回 200,000秒 | 測定の都度 | 月1回 80,000秒 | 月1回 80,000秒 | | |
| 備考 | 平成28年4月:採取方法変更(U8容器→採土器) Cs-134、Cs-137の前処理変更(湿土→乾土) | | | 令和2年5月:測定開始 | 平成28年4月:採取方法変更(U8容器→採土器) Cs-134、Cs-137の前処理変更(湿土→乾土) | |

(全β放射能、Cs-134、Cs-137)

| 項目 | 試料名 | 上水 | | | |
|--------|---|--|--|---|---|
| | | 核種 | Cs-134、Cs-137 | H-3 | Sr-90 |
| 試料採取 | 採取方法 | 各地点の上水(水道水)を蛇口より容器に採取する。 | | | |
| | 採取容器等 | ポリタンク | ポリビン | ポリタンク | ポリタンク |
| | 採取量 | 20L | 1L | 100L | 100L |
| | 前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか) | 上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加 | なし | 上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加 | 上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加 |
| | 採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか) | 採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。 | | | |
| 前処理 | 方法 | 加熱濃縮法 | 減圧蒸留法 | イオン交換法 | イオン交換法 |
| | 分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合) | 採取試料全量を加熱濃縮。 | 1Lポリビンより上澄水100mLを分取。 | 採取試料全量を加熱濃縮後、イオン交換法により処理。 | 10分程度蛇口から上水を流しつづけた後に採取する。複数の採取容器の上水を、前処理の際に混合し、均一化を図る。 |
| | 前処理でのコンタミ防止とその確認法 | ・前処理器具は上水専用または新品を使用もしくは試料毎に十分洗浄して使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認 | | | |
| 測定 | 測定装置 | Ge半導体検出装置 | ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置 | ローバックグラウンドガスフロー計数装置 | Si半導体検出装置 |
| | 測定試料状態 | 乾固物 | 液体シンチレータ混合物 | 鉄共沈物 | 酸化物 |
| | 測定容器 | U8容器 | 100mLテフロンバイアル | ステンレス皿(25mmφ) | ステンレス板(25mmφ) |
| | 供試料量 | 20L | 約50.00mL | 100L | 100L |
| | 測定時間 | 80,000秒 | 30,000秒 | 3,600秒 | 80,000秒 |
| | 測定下限値 | 約0.001~0.002Bq/L | 約0.3~0.5Bq/L | 約0.00015~0.0004Bq/L | 0.000003~0.00001 Bq/L |
| | 測定におけるコンタミ防止とその確認法 | 定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。 | 試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。 | 試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。 | 試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。 |
| 校正 | 使用線源 | Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 | H-3 | Sr-90 | Np-237,Am-241,Cm-244 |
| | | 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。 | | | |
| | 線源校正頻度 | (年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施 | (納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。 | (納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。 | (納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施 |
| BG測定頻度 | 月1回 200,000秒 | 測定の都度 | 測定の都度 | 月1回 80,000秒 | |
| 備考 | 平成28年4月：前処理変更(生→加熱濃縮法) | | | | |

(全β放射能、Cs-134、Cs-137)

| 項目 | 試料名 | 海水 | | | | |
|------|---|---|--|--|---|---|
| | 核種 | 全ベータ放射能 | Cs-134、Cs-137 | H-3 | Sr-90 | Pu-238、Pu-239+240 |
| 試料採取 | 採取方法 | 海面より深さ1mにホースを入れ、ポンプにて採取する。 | | | | |
| | 採取容器等 | ポリビン | ポリタンク | ポリビン | ポリタンク | ポリタンク |
| | 採取量 | 2L | 40L | 1L | 60L | 100L |
| | 前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか) | なし | 海水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加 | なし | 海水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加 | |
| | 採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか) | 採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。 | | | | |
| 前処理 | 方法 | 鉄・バリウム共沈法 | リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法 | 減圧蒸留法 | イオン交換法 | イオン交換法 |
| | 分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合) | 2Lポリビンより上澄水1Lを分取。 | 20Lポリタンク2本から10Lずつ分取。 | 1Lポリビンより上澄水100mLを分取。 | 20Lポリタンク3本使用。内2本は全量使用。残る1本は10L分取。 | 10分程度ポンプから海水を排水した後に採取する。複数の採取容器の海水を、前処理の際に混合し、均一化を図る。 |
| | 前処理でのコンタミ防止とその確認法 | ・採取地点毎の専用容器または新品を使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認 | | | | |
| 測定 | 測定装置 | ローバックグラウンドガスフロー検出器 | Ge半導体検出装置 | ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置 | ローバックグラウンドガスフロー計数装置 | Si半導体検出装置 |
| | 測定試料状態 | 鉄共沈物 | リンモリブデン酸アンモニウムと二酸化マンガンの混合物 | 液体シンチレータ混合物 | 鉄共沈物 | 酸化物 |
| | 測定容器 | ステンレス皿(25mmφ) | U8容器 | 100mLテフロンバイアル | ステンレス皿(25mmφ) | ステンレス板(25mmφ) |
| | 供試料量 | 1L | 20L以上 | 約50.00mL | 50L | 100L |
| | 測定時間 | 3,600秒 | 80,000秒 | 30,000秒 | 3,600秒 | 80,000秒 |
| | 測定下限値 | 約0.01~0.02Bq/L | 約0.001~0.002Bq/L | 約0.3~0.5Bq/L | 約0.0007~0.01Bq/L | 0.000003~0.00001 Bq/L |
| | 測定におけるコンタミ防止とその確認法 | 試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。 | 定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。 | 試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。 | 試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。 | 試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。 |
| 校正 | 使用線源 | U ₃ O ₈ 放射能測定シリーズ「全ベータ放射能測定法」に基づき使用。 | Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 日本アイントープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。 | H-3 | Sr-90 | Np-237、Am-241、Cm-244 |
| | 線源校正頻度 | 測定の都度 | (年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施 | (納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。 | (納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)CAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。 | (納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施 |
| | BG測定頻度 | 測定の都度 | 月1回 200,000秒 | 測定の都度 | 測定の都度 | 月1回 80,000秒 |
| 備考 | | | 平成28年4月:前処理変更(生→リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法) | | | |

(全β放射能、Cs-134、Cs-137)

| 項目 | 試料名 | 海底土 | | | 松葉 | |
|--------|---|--|--|---|--|--|
| | | Cs-134、Cs-137 | Sr-90 | Pu-238、Pu-239+240 | 福島第一原子力発電所から30km圏内 | 比較対照地点 |
| 核種 | | Cs-134、Cs-137 | Sr-90 | Pu-238、Pu-239+240 | Cs-134、Cs-137 | |
| 試料採取 | 採取方法 | 船上から採泥器にて採取する。 | | | 採取地点付近にある樹木より2年葉を採取する。 | |
| | 採取容器等 | 採泥器 | | | ビニール袋 | |
| | 採取量 | 3kg程度 | | | 200g程度 | |
| | 前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか) | なし | | | なし | |
| | 採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか) | 採泥袋は地点毎に新品を使用し、採泥器は使用毎に洗浄している。 | | | 採取地点毎に新品の袋に採取 | |
| 前処理 | 方法 | 一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけ、十分に混合する。 | | | 95℃で所定時間加熱乾燥後、粉砕機により粉砕 | |
| | 分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合) | 地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取。(インクリメント縮分法) | | | 乾燥後の試料から所定量を均等に分取 | |
| | 前処理でのコンタミ防止とその確認法 | ・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料処理毎に汚染確認を行い、汚染がないことを確認 | | | ・加熱乾燥に用いるバットは十分洗浄して使用 ・粉砕器は、地点専用のものを使用 | |
| 測定 | 測定装置 | Ge半導体検出装置 | ローバックグラウンドガスフロー計数装置 | Si半導体検出装置 | Ge半導体検出装置 | |
| | 測定試料状態 | 乾土 | 鉄共沈物 | 酸化物 | 乾燥物 | |
| | 測定容器 | U8容器 | ステンレス皿(25mmφ) | ステンレス板(25mmφ) | U8容器 | |
| | 供試料量 | 約100g | 約100g | 100g | 約50g | |
| | 測定時間 | 80,000秒 | 3,600秒 | 80,000秒 | 80,000秒 | |
| | 測定下限値 | 約0.5~1.5Bq/kg乾土 | 約0.15~0.25Bq/kg乾土 | 約0.01~0.2 Bq/kg | 約0.5~1Bq/kg生 | |
| | 測定におけるコンタミ防止とその確認法 | 定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。 | | 試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。 | 試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。 | 定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。 |
| 校正 | 使用線源 | Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 | Sr-90 | Np-237、Am-241、Cm-244 | Cd-109、Co-57.60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 | |
| | | 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。 | | | 日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。 | |
| | 線源校正頻度 | (年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施 | (納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認。 | (納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施 | (年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施 | |
| BG測定頻度 | 月1回 200,000秒 | 測定の都度 | | 月1回 80,000秒 | 月1回 200,000秒 | |
| 備考 | | | | | | 平成27年7月:比較対照地点の測定時間変更(3,600秒→10,800秒) 平成28年4月:前処理変更(生→乾燥) マニュアルに示す減容処理(灰化)は実施していない。除染等により松の木が減少しており、継続的に採取していくには、1回の採取量を抑える必要がある。また、松葉はそのまま測定しても検出可能である地点が多いことから、濃縮度を小さくしても支障ないと考えた。これらの理由から、灰までの濃縮は行わず、乾燥にとどめた。 |

(全β放射能、Cs-134、Cs-137)

| 項目 | 試料名 | ほんだわら | | |
|------|---|--|---|---|
| | 核種 | Cs-134、Cs-137 | Sr-90 | Pu-238、Pu-239+240 |
| 試料採取 | 採取方法 | 採取地点付近に生息しているほんだわらの葉茎部を採取する。 | | |
| | 採取容器等 | ビニール袋 | | |
| | 採取量 | 9kg程度 | | |
| | 前処理 (酸などの薬品添加を実施しているか) | なし | | |
| | 採取器具のコンタミ防止 (試料採取器具を適切に使用しているか) | 採取地点毎に専用の器具を使用 | | |
| 前処理 | 方法 | ・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉碎机により粉碎 | ・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉碎机により粉碎 ・乾燥後の試料を電気炉で加熱分解し、生成した灰試料をイオン交換法により処理。 | ・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉碎机により粉碎 ・乾燥後の試料を電気炉で加熱分解し、生成した灰試料をイオン交換法により処理。 |
| | 分取、縮分の代表性 (高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合) | 乾燥後の試料から所定量を均等に分取 | 灰試料から所定量を均等に分取 | 灰試料から所定量を均等に分取 |
| | 前処理でのコンタミ防止とその確認法 | ・加熱乾燥に用いるバットは十分に洗浄して使用。 ・粉碎机は、地点専用のものを使用。 | ・加熱乾燥に用いるバット及び加熱分解に用いる磁性皿は十分に洗浄して使用。 ・粉碎机は、地点専用のものを使用。 | ・加熱乾燥に用いるバット及び加熱分解に用いる磁性皿は十分に洗浄して使用。 ・粉碎机は、地点専用のものを使用。 |
| 測定 | 測定装置 | Ge半導体検出装置 | ローバックグラウンドガスフロー検出器 | Si半導体検出装置 |
| | 測定試料状態 | 乾燥物 | 鉄共沈物 | 酸化物 |
| | 測定容器 | U8容器 | ステンレス皿(25mmφ) | ステンレス板(25mmφ) |
| | 供試料量 | 約100g | 約30～40g(生試料1kg相当の灰試料量) | 約20～40g(生試料500g～1kg相当の灰試料量) |
| | 測定時間 | 80,000秒 | 3,600秒 | 80,000秒 |
| | 測定下限値 | 約0.1～0.2Bq/kg生 | 約0.1～0.2Bq/kg生 | 約1～3 mBq/kg生 |
| | 測定におけるコンタミ防止とその確認法 | 定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。 | 試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。 | 試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。 |
| 校正 | 使用線源 | Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88 | Sr-90 | Np-237、Am-241、Cm-244 |
| | 線源校正頻度 | (年1回)Co線源や混合線源(U8・マリネリ)で幾何効率校正と計数効率校正を実施。 | (納入時)メーカーにて効率校正(1年毎)JCAC分析確認調査時使用試料にて効率確認 | (納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正(1年毎)メーカーによる保守点検1回(毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施 |
| | BG測定頻度 | 月1回 200,000秒 | 測定の都度 | 月1回 80,000秒 |
| 備考 | | | | |

第 4 測定結果

4-1 空間放射線

4-1-1 空間線量率

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径 5km 未満の地域（以下「1F 近傍」という。）で 8 地点、福島第一原子力発電所から概ね半径 5km 以上 30km 未満又は福島第二原子力発電所から概ね半径 30km 未満の地域（以下「1F・2F 周辺」という。）で 31 地点、福島第一及び第二原子力発電所からそれぞれ 30km 以上離れた地域（以下「比較対照地点」という。）で 3 地点、計 42 地点で空間線量率を常時測定しました。各地点の測定結果は以下のとおりです。詳細な測定値は 35～37、52 ページを参照。

(1) 月間平均値

各測定地点における月間平均値は、福島第一原子力発電所の事故（以下「事故」という）の影響により事故前の月間平均値を上回っています。年月の経過とともに減少する傾向にありました。事故直後の最大値と今期の測定値の最大値を比較すると、減少率の高い順から 1F・2F 周辺、1F 近傍、比較対象地点でした。今期の測定値は、いずれの月も数値の高い順から 1F 近傍、1F・2F 周辺、比較対照地点でした。

各地点の空間線量率の月間平均値

(単位：nGy/h)

| 測定 エリア | 測定 地点数 | 各地点の月間平均値の範囲 | | | 過去の月間平均値*1 | | |
|-------------|-----------|--------------------------------|-----------|-----------|------------|---------|-------|
| | | 4 月 | 5 月 | 6 月 | H26～ | 事故直後 | 事故前 |
| 1F 近傍 | 8 | 276～4,300 | 287～4,370 | 286～4,320 | 335～ | 910～ | 33～54 |
| | | 事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/40 に減少 | | | 18,341 | 176,000 | |
| 1F・2F 周辺 | 31 | 44～896 | 44～936 | 44～928 | 44～ | 117～ | 33～54 |
| | | 事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/62 に減少 | | | 2,547 | 58,454 | |
| 比較対 照地点 | 3 | 61～116 | 61～118 | 61～119 | 61～ | 181～ | 39～42 |
| | | 事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約 1/31 に減少 | | | 220 | 3,716 | |

(注) *1 「過去の月間平均値」の期間（次項以降も同じ）

H26～：平成 26 年度から前四半期まで。

事故直後：事故後（平成 23 年 3 月 11 日以降）から平成 25 年度まで。

事故前：平成 13 年度から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

なお、測定地点数は年度により異なる。

(2) 1時間値の変動状況

各測定地点における1時間値は、降雨等の影響による変動があるものの、原子力発電所等に由来する変動はありませんでした。

なお、1時間値は降雨による影響により、およそ300nGy/h以下の地域では自然の放射性物質が地表付近に降下するため、一時的に空間線量率が上昇し、300nGy/hを超える地域では自然の放射性物質による上昇に比べ、雨水による遮へい効果が大きいため一時的に低下する傾向が見られます。

各地点の空間線量率の最大値（1時間値）（単位：nGy/h）

| 測定 エリア | 測定 地点数 | 各地点の最大値の範囲 | | | 過去の最大値 | | |
|-------------|-----------|--------------------------------|-----------|-----------|--------|-----------|-----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | H26～ | 事故直後 | 事故前 |
| 1F 近傍 | 8 | 296～4,420 | 297～4,500 | 299～4,450 | 18,578 | 1,018,174 | 157 |
| | | 事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/226に減少 | | | | | |
| 1F・2F 周辺 | 31 | 58～948 | 64～988 | 68～986 | 2,674 | 1,591,066 | |
| | | 事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/1610に減少 | | | | | |
| 比較対 照地点 | 3 | 81～130 | 74～127 | 83～140 | 232 | 9,956 | 88 |
| | | 事故直後の最大値と比較すると今期最大値は約1/71に減少 | | | | | |

4-1-2 空間積算線量

1F近傍で7地点、1F・2F周辺で57地点、計64地点で空気中の放射線量を測定しました。詳細な測定値は38～40ページを参照。

90日換算値は、事故の影響により事故前の測定値の範囲を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

空間積算線量の90日換算値（単位：mGy/90日）

| 測定 エリア | 測定 地点数 | 測定値 | 過去の測定値 | | |
|-----------|-----------|---------------------------------|---------|-------------|-----------|
| | | (令和2年4月9日～ 令和2年7月9日) | H26～ | 事故直後 | 事故前*1 |
| 1F近傍 | 7 | 0.64～16 | 0.76～45 | 2.38～137.79 | 0.10～0.14 |
| | | 事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約1/8に減少 | | | |
| 1F・2F周辺 | 57 | 0.16～12 | 0.15～31 | 0.18～35.84 | |
| | | 事故直後の最大値と比較すると 今期最大値は約1/2に減少 | | | |

(注) *1 事故前：事故前から測定していた20地点における平成15年度第1四半期から平成22年度第3四半期まで。

4-2 環境試料

4-2-1 大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

1F 近傍で 3 地点、1F・2F 周辺で 14 地点、計 17 地点で全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を実施しました。詳細な測定値は 41～42 ページを参照。

(1) 月間平均値

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、原子力発電所からの距離に関係なく、いずれの月も事故前の月間平均値の範囲内であり、平成 26 年度以降は事故前の月間平均値と同程度となっており、事故前のレベルに回復しています。

各地点の大気浮遊じんの月間平均値 (単位: Bq/m³)

| 測定項目 | 測定 エリア | 測定 地点数 | 各地点の月間平均値の範囲 | | | 過去の月間平均値 | | |
|------------------|-------------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | | 4 月 | 5 月 | 6 月 | H26～ | 事故直後 | 事故前 |
| 全 アルファ 放射能 | 1F 近傍 | 3 | 0.011～ 0.019 | 0.017～ 0.030 | 0.012～ 0.024 | 0.004～ 0.059 | 0.007～ 0.039 | 0.007～ 0.076 |
| | 1F・2F 周辺 | 14 | 0.009～ 0.037 | 0.012～ 0.053 | 0.013～ 0.043 | 0.003～ 0.088 | 0.009～ 0.046 | |
| 全 ベータ 放射能 | 1F 近傍 | 3 | 0.028～ 0.073 | 0.038～ 0.11 | 0.035～ 0.091 | 0.022～ 0.16 | 0.025～ 0.22 | 0.018～ 0.12 |
| | 1F・2F 周辺 | 14 | 0.029～ 0.076 | 0.037～ 0.094 | 0.038～ 0.10 | 0.017～ 0.13 | 0.030～ 2.0 | |

(2) 変動状況

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値は事故前の最大値を下回っており、平成 26 年度以降は事故前の最大値と同程度となっており、事故前のレベルに回復しています。事故前の状況に戻りつつあります。また、全アルファ・全ベータ放射能に強い相関が見られていることから、変動の要因は自然放射能の影響によるものと考えられました。なお、巻末のグラフ集(57～65 ページ)に相関図を示しております。

各地点の大気浮遊じんの最大値 (単位: Bq/m³)

| 測定項目 | 測定 エリア | 測定 地点数 | 各地点の最大値の範囲 | | | 過去の最大値 | | |
|------------------|-------------|-----------|----------------|----------------|----------------|--------|------|------|
| | | | 4 月 | 5 月 | 6 月 | H26～ | 事故直後 | 事故前 |
| 全 アルファ 放射能 | 1F 近傍 | 3 | 0.066～ 0.15 | 0.10～ 0.21 | 0.074～ 0.19 | 0.21 | 0.19 | 0.58 |
| | 1F・2F 周辺 | 14 | 0.054～ 0.26 | 0.079～ 0.38 | 0.069～ 0.23 | 0.41 | 0.34 | |
| 全 ベータ 放射能 | 1F 近傍 | 3 | 0.11～ 0.44 | 0.16～ 0.63 | 0.13～ 0.62 | 0.62 | 1.3 | 0.78 |
| | 1F・2F 周辺 | 14 | 0.087～ 0.35 | 0.14～ 0.60 | 0.12～ 0.50 | 0.71 | 54 | |

4-2-2 環境試料の核種濃度（ガンマ線放出核種）

今期に測定した環境試料は、大気浮遊じんが 49 地点 147 試料、降下物が 12 地点 36 試料、土壌が 22 地点 22 試料、上水が 12 地点 12 試料、海水が 8 地点 20 試料、海底土が 8 地点 8 試料、松葉が 20 地点 20 試料の 7 品目で合計 265 試料でした。詳細な測定値は 43～46、48～51、53、55～56 ページを参照。

上水を除く 6 品目の 69 試料からセシウム-134 が、全 7 品目の 187 試料からセシウム-137 が検出され、事故の影響により多くの試料で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。

上水の一部（表流水）からセシウム-137 が検出（0.001～0.028Bq/L）されていますが、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値である 10Bq/kg（10Bq/L）を大きく下回っています。

土壌の双葉町郡山の地点でコバルト-60 が検出（2.2Bq/kg 乾）されましたが、平成 26 年度から前四半期までの測定値（ND～5.3Bq/kg 乾）の範囲内でした。また、いわき市川部町の地点でアンチモン-125 が検出（10Bq/kg 乾）されましたが、平成 26 年度から前四半期までの測定値（ND～28Bq/kg 乾）の範囲内でした。

環境試料のガンマ線放出核種濃度

| 試料名 | 核種 | 採取エリア | 地点数 | 測定値 | 過去の測定値 | | |
|---|--------|----------|-----|-----------|----------|---------------|----------|
| | | | | | H26～ | 事故直後 | 事故前 |
| 大気浮遊じん (mBq/m ³) | Cs-134 | 1F 近傍 | 7 | ND～0.094 | ND～1.8 | 0.072～38 | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 35 | ND～0.004 | ND～0.65 | ND～1,100 | |
| | | 比較対照地点 | 7 | ND | ND～0.13 | ND～8.2 | — |
| | Cs-137 | 1F 近傍 | 7 | 0.031～1.6 | ND～5.2 | 0.14～39 | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 35 | ND～0.11 | ND～2.1 | ND～990 | |
| | | 比較対照地点 | 7 | ND～0.087 | ND～0.45 | ND～10 | — |
| 降下物 (Bq/m ²) (MBq/km ²) | Co-60 | 1F 近傍 | 2 | ND | ND～0.54 | ND | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 8 | ND | ND | ND | |
| | | 比較対照地点 | 2 | ND | ND | ND | ND |
| | Sb-125 | 1F 近傍 | 2 | ND | ND～2.0 | ND | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 8 | ND | ND～3.1 | ND | |
| | | 比較対照地点 | 2 | ND | ND | ND | — |
| | Cs-134 | 1F 近傍 | 2 | 1.3～26 | ND～1,200 | 76～5,000,000 | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 8 | ND～4.2 | ND～110 | ND～940,000 | |
| | | 比較対照地点 | 2 | ND～0.50 | ND～180 | ND～140,000 | ND |
| | Cs-137 | 1F 近傍 | 2 | 24～460 | 17～4,300 | 170～5,600,000 | ND～0.15 |
| | | 1F・2F 周辺 | 8 | 0.64～72 | ND～670 | ND～1,000,000 | |
| | | 比較対照地点 | 2 | 0.25～8.9 | ND～620 | ND～150,000 | ND～0.093 |

| 試料名 | 核種 | 採取エリア | 地点数 | 測定値 | 過去の測定値 | | |
|---|--------|----------|----------|----------------|----------------|---------------|--------------|
| | | | | | H26～*1 | 事故直後 | 事故前 |
| 土 壤 (Bq/kg 乾 (事故直後及び H26～H27は Bq/kg 湿)) | Co-60 | 1F 近傍 | 2 | ND～2.2 | ND～5.3 | ND | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | ND | ND～1.9 | ND | |
| | | 比較対照地点 | 7 | ND | ND | ND | ND |
| | Sb-125 | 1F 近傍 | 2 | ND | ND～130 | ND | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | ND | ND | ND | |
| | | 比較対照地点 | 7 | ND～10 | ND～28 | ND | ND |
| | Cs-134 | 1F 近傍 | 2 | 1,600～10,000 | 2,300～49,000 | 2,700～230,000 | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | 1.4～490 | ND～7,800 | 32～12,000 | |
| | | 比較対照地点 | 7 | ND～160 | 2.9～690 | 14～9,200 | ND |
| | Cs-137 | 1F 近傍 | 2 | 29,000～190,000 | 20,000～330,000 | 3,100～310,000 | ND～16 |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | 20～8,700 | 7.7～52,000 | 75～26,000 | |
| | | 比較対照地点 | 7 | 33～2,900 | 37～4,500 | 18～14,000 | ND～30 |
| 上 水 (Bq/L) | Cs-134 | 1F 近傍 | 1 | ND | ND | — | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 11 | ND | ND～0.062 | ND～0.17 | |
| | | 比較対照地点 | 2 | — | ND～0.002 | ND | ND |
| | Cs-137 | 1F 近傍 | 1 | ND | ND～0.003 | — | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 11 | ND～0.028 | ND～0.18 | ND～0.29 | |
| 比較対照地点 | 2 | — | ND～0.011 | ND | ND | | |
| 海 水 (Bq/L) | Cs-134 | 1F 放取水口 | 3 | ND～0.004 | ND～0.35 | ND～2.4 | ND |
| | | 1F 沖合 | 3 | ND | ND～0.067 | ND～0.094 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | ND | ND～0.012 | ND～0.20 | |
| | | 松川浦 | 1 | — | ND～0.005 | ND | ND |
| | Cs-137 | 1F 放取水口 | 3 | 0.005～0.067 | ND～1.1 | ND～5.0 | ND～ 0.003 |
| | | 1F 沖合 | 3 | 0.004～0.022 | ND～0.31 | ND～0.19 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | 0.019～0.024 | ND～0.12 | 0.12～0.42 | |
| | | 松川浦 | 1 | — | ND～0.028 | ND | ND～0.002 |

(注) 「—」は今期測定対象外。

*1 上水の1F近傍は平成31年度から再開。

| 試料名 | 核種 | 採取エリア | 地点数 | 測定値 | 過去の測定値 | | |
|--------------------|--------|----------|-----|---------|-----------|---------------|-------------|
| | | | | | H26～ | 事故直後 | 事故前 |
| 海底土 (Bq/kg 乾) | Mn-54 | 1F 放取水口 | 3 | ND | ND～1.1 | ND～1.3 | ND |
| | | 1F 沖合 | 3 | ND | ND | ND～0.62 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | ND | ND | ND | |
| | | 松川浦 | 1 | — | ND | ND | ND |
| | Co-60 | 1F 放取水口 | 3 | ND | ND～1.0 | ND～1.3 | ND |
| | | 1F 沖合 | 3 | ND | ND | ND | |
| | | 2F 放水口 | 2 | ND | ND | ND | |
| | | 松川浦 | 1 | — | ND | ND | ND |
| | Cs-134 | 1F 放取水口 | 3 | 13～15 | 8.7～320 | 120～450 | ND |
| | | 1F 沖合 | 3 | 3.2～13 | ND～130 | 25～72 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | 6.1～6.9 | 3.0～68 | 47～230 | |
| | | 松川浦 | 1 | — | ND～4.4 | 1.3 | ND |
| | Cs-137 | 1F 放取水口 | 3 | 230～270 | 140～870 | 230～1,000 | ND～ 0.97 |
| | | 1F 沖合 | 3 | 54～230 | 17～630 | 61～170 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | 97～120 | 50～200 | 100～470 | |
| | | 松川浦 | 1 | — | 1.8～13 | 2.6 | ND～2.3 |
| 松葉 (Bq/kg 生) | I-131 | 1F 近傍 | 2 | ND | ND | ND～380 | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | ND | ND | ND | ND |
| | | 比較対照地点 | 5 | ND | ND | ND | ND |
| | Cs-134 | 1F 近傍 | 2 | 7.4～20 | 7.2～1,200 | 740～210,000 | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | ND～9.6 | ND～280 | ND～61,000 | |
| | | 比較対照地点 | 5 | ND | ND～91 | ND～33,000 | — |
| | Cs-137 | 1F 近傍 | 2 | 140～340 | 99～6,100 | 1,900～230,000 | ND～1.2 |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | ND～180 | ND～910 | ND～68,000 | |
| | | 比較対照地点 | 5 | ND～3.4 | ND～290 | ND～52,000 | — |
| ほんだわら (Bq/kg 生) | Cs-134 | 1F 海域 | 1 | — | 0.40 | — | ND |
| | | 2F 海域 | 1 | — | ND | — | ND |
| | Cs-137 | 1F 海域 | 1 | — | 3.5 | — | ND |
| | | 2F 海域 | 1 | — | 0.47 | — | ND |

(注)「—」は今期測定対象外。

4-2-3 環境試料の核種濃度（ベータ線放出核種）

大気中水分 6 地点 18 試料、上水 12 地点 12 試料、海水 8 地点 20 試料の合計 50 試料について、トリチウムを調査した結果、大気中水分 6 地点 18 試料、海水 1 地点 1 試料から検出されました。大気中水分の富岡町富岡、大熊町夫沢、双葉町郡山の地点で事故前の測定値の範囲を上回りましたが、調査を再開した平成 30 年度から前四半期までの測定値の範囲内でした。詳細な測定値は 47、50、54 ページを参照。

土壌 22 地点 22 試料、海水 8 地点 20 試料、海底土 8 地点 8 試料の合計 50 試料について、ストロンチウム-90 を調査した結果、土壌 19 地点 19 試料、海水 8 地点 20 試料、海底土 4 地点 4 試料から検出されましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、前四半期の測定値と比較すると概ね横ばい傾向にあります。詳細な測定値は 49～50、56 ページを参照。

環境試料のベータ線放出核種濃度

| 試料名 | 核種 | 採取 エリア | 地点 数 | 測定値 | 過去の測定値 | | |
|------------------------------------|-------|-----------|---------|---------------|--------------|-------------|-------------|
| | | | | | H26～*1 | 事故直後 | 事故前 |
| 大気中 水分 (mBq/m ³) | H-3 | 1F 近傍 | 3 | 5.0～52 | 1.3～64*2 | — | ND～23 |
| | | 1F・2F 周辺 | 2 | 3.5～14 | ND～14 | — | ND～14 |
| | | 比較対照地点 | 1 | 4.6～8.7 | ND～21 | ND～41 | ND～12 |
| 土 壌 (Bq/kg 乾) | Sr-90 | 1F 近傍 | 2 | 25～44 | 19～61 | 15～81 | ND～3.5 |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | ND～3.4 | ND～17 | ND～14 | |
| | | 比較対照地点 | 7 | ND～5.9 | ND～16 | ND～32 | 1.8～4.3 |
| 上 水 (Bq/L) | H-3 | 1F 近傍 | 1 | ND | ND～0.48 | — | ND～1.2 |
| | | 1F・2F 周辺 | 11 | ND | ND～0.94 | ND～0.96 | |
| | | 比較対照地点 | 2 | — | ND～0.85 | ND～1.4 | ND～1.3 |
| | Sr-90 | 1F 近傍 | 1 | — | 0.0012 | — | 0.001～0.002 |
| | | 1F・2F 周辺 | 11 | — | ND～0.002 | ND～0.002 | |
| | | 比較対照地点 | 1 | — | 0.001～0.0015 | 0.001～0.002 | 0.001～0.002 |
| 海 水 (Bq/L) | H-3 | 1F 放取水口 | 3 | ND～0.39 | ND～2.6 | ND～6.2 | ND～2.9 |
| | | 1F 沖合 | 3 | ND | ND～0.91 | ND～0.58 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | ND | ND～0.86 | ND～0.56 | |
| | | 松川浦 | 1 | — | ND | ND | ND～0.46 |
| | Sr-90 | 1F 放取水口 | 3 | 0.0006～0.0029 | ND～0.76 | 0.005～2.9 | ND～0.002 |
| | | 1F 沖合 | 3 | 0.0007～0.0011 | ND～0.031 | 0.001～0.26 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | 0.0008～0.0009 | 0.0008～0.003 | 0.033～0.034 | |
| | | 松川浦 | 1 | — | 0.001～0.0011 | 0.001 | |

(注)「—」は今期測定対象外。

*1 大気中水分の 1F 近傍、1F・2F 周辺は平成 30 年度から再開。

上水の 1F 近傍は平成 31 年度から再開。

*2 大熊町夫沢の地点は、平成 31 年 4 月 3 日～6 月 3 日のいずれかの時点で大気導入配管内結露水トラップの破損が発生し、同年 11 月 19 日に交換するまでの期間中、局舎内大気を吸引していたため、平成 31 年 4 月から令和元年 11 月までを参考値とし、上表から除外している。

| 試料名 | 核種 | 採取 エリア | 地点 数 | 測定値 | 過去の測定値 | | |
|--------------------|-------|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| | | | | | H26～ | 事故直後 | 事故前 |
| 海底土 (Bq/kg 乾) | Sr-90 | 1F 放取水口 | 3 | ND～0.44 | ND～4.6 | ND～1.2 | ND |
| | | 1F 沖合 | 3 | ND | ND～0.71 | ND～0.19 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | 0.21 | ND～0.32 | ND～0.21 | |
| | | 松川浦 | 1 | — | ND～0.21 | ND | ND～0.02 |
| ほんだわら (Bq/kg 生) | Sr-90 | 1F 海域 | 1 | — | 0.12 | — | 0.04～0.13 |
| | | 2F 海域 | 1 | — | 0.026 | — | 0.05～0.19 |

(注)「—」は今期測定対象外。

4-2-4 環境試料の核種濃度（アルファ線放出核種）

土壌 16 地点 16 試料について、ウラン-234、ウラン-235 及びウラン-238 を調査した結果、16 地点 16 試料からウラン-234、ウラン-235 及びウラン-238 が検出されましたが、いずれも天然ウランの放射能比と同程度であり、他県の土壌のウラン濃度と同程度でした。詳細な測定値は 49、56 ページを参照。

土壌 22 地点 22 試料、海水 8 地点 20 試料、海底土 8 地点 8 試料の合計 28 試料について、プルトニウム-238 及びプルトニウム-239+240 を調査した結果、土壌 10 地点 10 試料、海底土 1 地点 1 試料からプルトニウム-238 が検出され、土壌 14 地点 14 試料、海水 6 地点 7 試料及び海底土 8 地点 8 試料からプルトニウム-239+240 が検出されました。詳細な測定値は 49～50、56 ページを参照。

プルトニウム-238 は、土壌の双葉町郡山の地点 (0.05Bq/kg 乾) で事故前の測定値の範囲 (ND～0.03Bq/kg 乾) を上回りましたが、平成 26 年度から前四半期までの測定値 (ND～0.09Bq/kg 乾) の範囲内でした。プルトニウム-239+240 は、事故前の測定値の範囲内でした。

環境試料のアルファ線放出核種濃度

| 試料名 | 核種 | 採取 エリア | 地点 数 | 測定値*1 | 過去の測定値 | | |
|------------------|-------|-----------|---------|-----------|--------|------|-----|
| | | | | | H26～ | 事故直後 | 事故前 |
| 土 壌 (Bq/kg 乾) | U-234 | 1F 近傍 | 2 | 10～15 | — | — | — |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | 3.2～28 | — | — | — |
| | | 比較対照地点 | 1 | 8.1 | — | — | — |
| | U-235 | 1F 近傍 | 2 | 0.51～0.56 | — | — | — |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | 0.35～1.6 | — | — | — |
| | | 比較対照地点 | 1 | 0.38 | — | — | — |
| | U-238 | 1F 近傍 | 2 | 10～13 | — | — | — |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | 3.1～35 | — | — | — |
| | | 比較対照地点 | 1 | 8.2 | — | — | — |

(注)「—」は今期測定対象外。

*1 土壌の U-234、U-235、U-238 は令和 2 年度から調査を実施。

| 試料名 | 核種 | 採取 エリア | 地点 数 | 測定値*1 | 過去の測定値 | | |
|--------------------|------------|-----------|---------|-------------|-----------|-----------|-----------|
| | | | | | H26～ | 事故直後 | 事故前 |
| 土 壤 (Bq/kg 乾) | Pu-238 | 1F 近傍 | 2 | 0.02～0.05 | ND～0.09 | ND～0.03 | ND～0.03 |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | ND～0.02 | ND～0.05 | ND～0.05 | |
| | | 比較対照地点 | 7 | ND | ND～0.03 | ND～0.18 | ND～0.08 |
| | Pu-239+240 | 1F 近傍 | 2 | 0.08～0.35 | 0.05～0.37 | 0.20～0.34 | ND～0.44 |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | ND～0.40 | ND～0.97 | ND～0.66 | |
| | | 比較対照地点 | 7 | 0.42 | ND～1.2 | ND～4.8 | ND～2.6 |
| | Am-241 | 1F 近傍 | 2 | 測定中 | 0.02～0.18 | 0.02～0.16 | — |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | 測定中 | ND～0.44 | ND～0.25 | |
| | | 比較対照地点 | 1 | 0.14 | 0.06～0.41 | 0.11 | — |
| | Cm-244 | 1F 近傍 | 2 | 測定中 | ND～0.02 | ND | — |
| | | 1F・2F 周辺 | 13 | 測定中 | ND～0.03 | ND | |
| | | 比較対照地点 | 1 | ND | ND | ND | — |
| 上 水 (mBq/L) | Pu-238 | 1F 近傍 | 1 | — | ND | — | — |
| | | 1F・2F 周辺 | 11 | — | ND | ND | |
| | | 比較対照地点 | 1 | — | ND | ND | |
| | Pu-239+240 | 1F 近傍 | 1 | — | ND | — | ND |
| | | 1F・2F 周辺 | 11 | — | ND | ND | |
| | | 比較対照地点 | 1 | — | ND | ND | ND |
| 海 水 (mBq/L) | Pu-238 | 1F 放取水口 | 3 | ND | ND～0.010 | ND | — |
| | | 1F 沖合 | 3 | ND | ND | ND | |
| | | 2F 放水口 | 2 | ND | ND | ND | |
| | | 松川浦 | 1 | — | ND | ND | |
| | Pu-239+240 | 1F 放取水口 | 3 | ND～0.010 | ND～0.016 | ND～0.014 | ND～0.013 |
| | | 1F 沖合 | 3 | ND～0.010 | ND～0.010 | ND～0.010 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | 0.009～0.012 | ND～0.020 | ND～0.011 | |
| | | 松川浦 | 1 | — | ND | ND | |
| 海 底 土 (Bq/kg 乾) | Pu-238 | 1F 放取水口 | 3 | ND | ND | ND | — |
| | | 1F 沖合 | 3 | ND～0.02 | ND～0.01 | ND～0.02 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | ND | ND | ND | |
| | | 松川浦 | 1 | — | ND | ND | |
| | Pu-239+240 | 1F 放取水口 | 3 | 0.15～0.24 | 0.09～0.43 | 0.08～0.32 | 0.15～0.61 |
| | | 1F 沖合 | 3 | 0.37～0.50 | 0.21～0.61 | 0.33～0.52 | |
| | | 2F 放水口 | 2 | 0.24～0.36 | 0.14～0.31 | 0.21～0.25 | |
| | | 松川浦 | 1 | — | 0.18～0.31 | 0.20 | |

(注) 「—」は今期測定対象外。

*1 上水の1F近傍は平成31年度から開始。

| 試料名 | 核種 | 採取 エリア | 地点 数 | 測定値 | 過去の測定値 | | |
|--------------------|----------------|-----------|---------|-----|--------|------|--------------|
| | | | | | H26～ | 事故直後 | 事故前 |
| ほんだわら (Bq/kg 生) | Pu-238 | 1F 海域 | 1 | — | ND | — | — |
| | | 2F 海域 | 1 | — | ND | — | — |
| | Pu- 239+240 | 1F 海域 | 1 | — | 0.0038 | — | 0.0035～0.021 |
| | | 2F 海域 | 1 | — | ND | — | 0.0067～0.022 |

第5 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表

5-1 空間放射線

単位 線量率:μSv/h 測定時間:h
上段:平均値 (下段):最大値

| No. | 測定地点名 | R2.4 | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | | R3.1 | | 2 | | 3 | |
|-----|-----------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|
| | | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 |
| 1 | いわき市 小川 | 50 (71) | 720 | 48 (66) | 744 | 47 (69) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | いわき市 久之浜 | 70 (82) | 720 | 70 (82) | 744 | 70 (85) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | いわき市 千桶売 | 50 (66) | 720 | 51 (64) | 744 | 51 (79) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | いわき市 川前 | 62 (82) | 720 | 63 (76) | 744 | 63 (89) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 田村市 都路馬洗戸 | 76 (90) | 720 | 78 (92) | 744 | 79 (91) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 広野町 二ツ沼 | 80 (104) | 720 | 80 (94) | 744 | 80 (101) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 広野町 小滝平 | 77 (95) | 720 | 78 (92) | 744 | 77 (108) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 楢葉町 山田岡 | 61 (83) | 720 | 62 (74) | 744 | 62 (79) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 楢葉町 木戸ダム | 92 (112) | 720 | 94 (109) | 744 | 94 (111) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 楢葉町 繁岡 | 164 (183) | 720 | 165 (175) | 744 | 162 (178) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 楢葉町 松ヶ館 | 146 (164) | 720 | 147 (156) | 744 | 145 (160) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 楢葉町 波ヶ倉 | 210 (225) | 720 | 211 (219) | 744 | 209 (222) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| No. | 測定年月 測定項目 測定地点名 | R2.4 | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | | R3.1 | | 2 | | 3 | |
|-----|-----------------------|-----------------|------|-----------------|------|-----------------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|
| | | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 |
| 13 | 富岡町 上郡山 | 219 (231) | 720 | 223 (233) | 744 | 220 (232) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 富岡町 下郡山 | 149 (166) | 720 | 150 (161) | 744 | 151 (167) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 富岡町 深谷* | 125 (145) | 720 | 129 (142) | 744 | 129 (147) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 富岡町 富岡 | 129 (146) | 720 | 127 (138) | 744 | 123 (137) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 富岡町 夜の森 | 220 (230) | 720 | 220 (228) | 744 | 219 (229) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 川内村 下川内 | 118 (131) | 720 | 121 (134) | 744 | 120 (135) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 大熊町 向畑 | 1,100 (1140) | 720 | 1,110 (1160) | 744 | 1,100 (1140) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 大熊町 熊川* | 1,360 (1430) | 720 | 1,400 (1490) | 744 | 1,400 (1520) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | 大熊町 筒台 | 4,300 (4420) | 720 | 4,370 (4500) | 744 | 4,320 (4450) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | 大熊町 大野 | 276 (296) | 720 | 287 (297) | 744 | 286 (299) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | 大熊町 夫木次 | 2,720 (2800) | 720 | 2,750 (2850) | 744 | 2,670 (2770) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 双葉町 山田 | 3,710 (3990) | 720 | 3,830 (4130) | 744 | 3,950 (4150) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 25 | 双葉町 郡山 | 332 (345) | 720 | 333 (344) | 744 | 330 (343) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 双葉町 新山 | 501 (522) | 720 | 516 (542) | 744 | 517 (553) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 27 | 双葉町 上羽鳥 | 416 (427) | 720 | 420 (438) | 744 | 416 (436) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| No. | 測定年月 測定項目 測定地点名 | R2.4 | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | | R3.1 | | 2 | | 3 | |
|-----|---|--------------|------|--------------|------|--------------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|
| | | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 |
| 28 | 浪江町 請 ^リ 戸 ^シ *1 | 97 (113) | 720 | 101 (112) | 744 | 102 (118) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 浪江町 棚 ^な 塩 ^{しお} *1 | 71 (84) | 720 | 72 (88) | 744 | 72 (103) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30 | 浪江町 浪 ^な 江 ^か | 113 (122) | 720 | 114 (126) | 744 | 114 (135) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31 | 浪江町 幾 ^よ 世 ^よ 橋 ^{はし} | 87 (98) | 720 | 88 (99) | 744 | 87 (119) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 32 | 浪江町 大 ^お 柵 ^{さし} ダ ^た ム | 632 (647) | 720 | 639 (656) | 744 | 641 (657) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 33 | 浪江町 南 ^{みな} 津 ^つ 島 ^{しま} | 896 (948) | 720 | 936 (988) | 744 | 928 (986) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | 葛尾村 賀 ^が 湯 ^ゆ | 126 (138) | 720 | 130 (142) | 744 | 129 (142) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 35 | 南相馬市 泉 ^い 次 ^{すけ} | 102 (112) | 720 | 103 (116) | 744 | 103 (117) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 36 | 南相馬市 横 ^{よこ} 川 ^{がわ} ダ ^た ム | 192 (203) | 720 | 196 (209) | 744 | 196 (207) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 37 | 南相馬市 萱 ^か 浜 ^ま | 44 (58) | 720 | 44 (68) | 744 | 44 (68) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 38 | 飯館村 伊 ^い 丹 ^に 次 ^{すけ} | 140 (154) | 720 | 143 (154) | 744 | 144 (157) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 39 | 川俣町 山 ^{やま} 木 ^き 屋 ^や | 119 (134) | 720 | 123 (139) | 744 | 122 (136) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 *1 可搬型モニタリングポストによる測定

3 *2 測定地点を、福島県旧原子力センターから大熊町旧役場庁舎に今年度から変更した。

5-1-2 空間積算線量

(単位 mGy)

| No. | 測定地点名 | 測定項目 | R2. 4. 9 ~ R2. 7. 9 | | | | | |
|-----|----------|------|---------------------|------|------|------|------|------|
| | | | 積算線量 | 測定日数 | 積算線量 | 測定日数 | 積算線量 | 測定日数 |
| 1 | いわき市 石森 | | 0.19 (0.19) | 91 | | | | |
| 2 | いわき市 四倉 | | 0.24 (0.24) | 91 | | | | |
| 3 | いわき市 大野 | | 0.21 (0.21) | 91 | | | | |
| 4 | いわき市 福岡 | | 0.23 (0.23) | 91 | | | | |
| 5 | いわき市 大久 | | 0.22 (0.21) | 91 | | | | |
| 6 | いわき市 末続 | | 0.27 (0.26) | 91 | | | | |
| 7 | いわき市 上小川 | | 0.31 (0.31) | 91 | | | | |
| 8 | いわき市 志田名 | | 0.34 (0.34) | 91 | | | | |
| 9 | いわき市 小白井 | | 0.21 (0.20) | 91 | | | | |
| 10 | 田村市 場々 | | 0.32 (0.31) | 91 | | | | |
| 11 | 田村市 古道 | | 0.25 (0.25) | 91 | | | | |
| 12 | 田村市 岩井沢 | | 0.20 (0.20) | 91 | | | | |
| 13 | 広野町 下浅見川 | | 0.21 (0.20) | 91 | | | | |
| 14 | 広野町 帯平 | | 0.25 (0.25) | 91 | | | | |
| 15 | 檜葉町 山田岡 | | 0.20 (0.20) | 91 | | | | |
| 16 | 檜葉町 乙次郎 | | 0.25 (0.25) | 91 | | | | |
| 17 | 檜葉町 井出 | | 0.26 (0.26) | 91 | | | | |
| 18 | 檜葉町 上繁岡 | | 0.34 (0.34) | 91 | | | | |
| 19 | 富岡町 太田 | | 0.46 (0.45) | 91 | | | | |
| 20 | 富岡町 赤木 | | 0.39 (0.39) | 91 | | | | |
| 21 | 富岡町 小良ヶ浜 | | 2.9 (2.9) | 91 | | | | |
| 22 | 富岡町 夜の森北 | | 0.56 (0.55) | 91 | | | | |

(単位 mGy)

| No. | 測定地点名 | 測定項目 | R2. 4. 9 ~ R2. 7. 9 | | 測定日数 | 積算線量 | 測定日数 | 積算線量 | 測定日数 |
|-----|------------|------|---------------------|-----------------------|------|------|------|------|------|
| | | | 積算線量 | 測定日数 | | | | | |
| 23 | 富岡町 上手岡 | | 0.57 | (0.56) | 91 | | | | |
| 24 | 川内村 三ツ石 | | 0.53 | (0.53) | 91 | | | | |
| 25 | 川内村 貝ノ坂 | | 0.78 | (0.77) | 91 | | | | |
| 26 | 川内村 五枚沢 | | 0.26 | (0.26) | 91 | | | | |
| 27 | 川内村 上川内 | | 0.21 | (0.21) | 91 | | | | |
| 28 | 大熊町 大川原 | | 0.35 | (0.34) | 91 | | | | |
| 29 | 大熊町 旭ヶ丘 | | 0.41 | (0.41) | 91 | | | | |
| 30 | 大熊町 野上 | | 1.4 | (1.3) | 91 | | | | |
| 31 | 大熊町 熊川 | | 2.9 ^{*1} | (2.9 ^{*1}) | 91 | | | | |
| 32 | 大熊町 大野 | | 0.64 ^{*2} | (0.64 ^{*2}) | 91 | | | | |
| 33 | 大熊町 夫沢 | | 16 | (16) | 91 | | | | |
| 34 | 大熊町 湯の神 | | 1.8 | (1.8) | 91 | | | | |
| 35 | 大熊町 長者原 | | 4.9 | (4.9) | 91 | | | | |
| 36 | 双葉町 清戸追 | | 0.81 | (0.80) | 91 | | | | |
| 37 | 双葉町 郡山 | | 0.78 | (0.77) | 91 | | | | |
| 38 | 双葉町 長塚 | | 1.0 | (0.99) | 91 | | | | |
| 39 | 浪江町 井手 | | 12 | (12) | 91 | | | | |
| 40 | 浪江町 請戸 | | 0.27 | (0.27) | 91 | | | | |
| 41 | 浪江町 小野田 | | 0.79 | (0.78) | 91 | | | | |
| 42 | 浪江町 幾世橋 | | 0.30 | (0.30) | 91 | | | | |
| 43 | 浪江町 苅苜 | | 0.63 | (0.62) | 91 | | | | |
| 44 | 浪江町 昼曽根 | | 8.1 ^{*4} | (8.0 ^{*4}) | 91 | | | | |

(単位 mGy)

| No. | 測定地点名 | 測定項目 | R2. 4. 9 ~ R2. 7. 9 | | | | | |
|-----------|-------------|------|---------------------|-----------|------|------|------|------|
| | | | 積算線量 | 測定日数 | 積算線量 | 測定日数 | 積算線量 | 測定日数 |
| | | | 浪江町 津島 | 1.2 (1.2) | 91 | | | |
| 葛尾村 大放 | 0.33 (0.33) | 91 | | | | | | |
| 葛尾村 落合 | 0.46 (0.45) | 91 | | | | | | |
| 葛尾村 野行 | 1.8 (1.8) | 91 | | | | | | |
| 南相馬市 浦尻 | 0.23 (0.23) | 91 | | | | | | |
| 南相馬市 耳谷 | 0.27 (0.27) | 91 | | | | | | |
| 南相馬市 川房 | 0.83 (0.82) | 91 | | | | | | |
| 南相馬市 関場 | 0.45 (0.44) | 91 | | | | | | |
| 南相馬市 高 | 0.23 (0.23) | 91 | | | | | | |
| 南相馬市 大木 | 0.18 (0.18) | 91 | | | | | | |
| 南相馬市 菅 | 0.16 (0.16) | 91 | | | | | | |
| 南相馬市 大原 | 0.34 (0.34) | 91 | | | | | | |
| 南相馬市 川子 | 0.24 (0.24) | 91 | | | | | | |
| 飯館村 蔵平 | 0.72 (0.72) | 91 | | | | | | |
| 飯館村 長泥 | 0.95 (0.94) | 91 | | | | | | |
| 飯館村 飯樋 | 0.54 (0.54) | 91 | | | | | | |
| 飯館村 白右 | 0.96 (0.95) | 91 | | | | | | |
| 飯館村 草野 | 0.83 (0.82) | 91 | | | | | | |
| 川俣町 山木屋坂下 | 0.82 (0.81) | 91 | | | | | | |
| 川俣町 山木屋 | 0.31 (0.30) | 91 | | | | | | |

注) 1 () 内は90日換算値

2 No. の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

3 * 1 周辺において容器残渣置場造成工事が行われたことによる低下

4 * 2 令和2年4月9日に設置場所を移設したことによる低下

5 * 3 測定地点を、福島県旧原子力センターから大熊町旧役場庁舎に今年度から変更した。

6 * 4 令和2年3月19日に設置場所を移設したことによる上昇

5-2-1 大気汚染物質の全アルファ放射能及び全ベータ放射能

単位:放射能濃度: Bq/m³ 測定時間: h
上段: 平均値 (下段): 最大値

| No. | 測定地点名 | 測定項目 | R2.4 | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | | R3.1 | | 2 | | 3 | | | |
|-----|--------------------------|----------|------------------|------|------------------|------|------------------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|--|--|
| | | | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | 測定値 | 測定時間 | | |
| 1 | いわき市 <small>いわき市</small> | 全アルファ放射能 | 0.023 (0.13) | 696 | 0.034 (0.20) | 744 | 0.025 (0.16) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ放射能 | 0.042 (0.18) | 696 | 0.056 (0.26) | 744 | 0.045 (0.22) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 田村市 <small>たむら市</small> | 全アルファ放射能 | 0.009 (0.065) | 720 | 0.013 (0.079) | 744 | 0.016 (0.069) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ放射能 | 0.029 (0.13) | 720 | 0.037 (0.14) | 744 | 0.039 (0.12) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 広野町 <small>ひろの町</small> | 全アルファ放射能 | 0.011 (0.054) | 720 | 0.018 (0.12) | 732 | 0.015 (0.084) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ放射能 | 0.031 (0.093) | 720 | 0.042 (0.20) | 732 | 0.038 (0.15) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 楢葉町 <small>のば町</small> | 全アルファ放射能 | 0.015 (0.073) | 720 | 0.024 (0.14) | 732 | 0.023 (0.080) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ放射能 | 0.035 (0.11) | 720 | 0.048 (0.21) | 732 | 0.045 (0.12) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 楢葉町 <small>のば町</small> | 全アルファ放射能 | 0.013 (0.10) | 720 | 0.020 (0.20) | 744 | 0.015 (0.13) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ放射能 | 0.057 (0.33) | 720 | 0.080 (0.60) | 744 | 0.064 (0.41) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 郡岡町 <small>ぐんおか町</small> | 全アルファ放射能 | 0.013 (0.079) | 720 | 0.021 (0.13) | 666 | 0.015 (0.078) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ放射能 | 0.052 (0.24) | 720 | 0.076 (0.38) | 666 | 0.060 (0.26) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 川内村 <small>かわうち村</small> | 全アルファ放射能 | 0.021 (0.13) | 720 | 0.032 (0.19) | 744 | 0.030 (0.15) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ放射能 | 0.042 (0.18) | 720 | 0.057 (0.25) | 744 | 0.055 (0.21) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 大南町 <small>おほなん町</small> | 全アルファ放射能 | 0.019 (0.15) | 720 | 0.030 (0.21) | 744 | 0.024 (0.19) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ放射能 | 0.073 (0.44) | 720 | 0.11 (0.63) | 744 | 0.091 (0.62) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| No. | 測定地点名 | 測定項目 | 測定年月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|--------------|------------------|----------|------------------|----------|------------------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|
| | | | K2.4 | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | | K3.1 | | 2 | | 3 | |
| | | | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 | 測定 値 | 測定 時間 |
| 9 | 大瀬町 夫 <small>とよ</small> 次 <small>つぐ</small> | 全アルファ 放射能 | 0.013 (0.095) | 720 | 0.020 (0.15) | 744 | 0.012 (0.10) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ 放射能 | 0.062 (0.30) | 720 | 0.083 (0.49) | 744 | 0.059 (0.35) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 双葉町 館 <small>たけの</small> 山 <small>やま</small> | 全アルファ 放射能 | 0.011 (0.066) | 720 | 0.017 (0.10) | 744 | 0.015 (0.074) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ 放射能 | 0.028 (0.11) | 720 | 0.038 (0.16) | 744 | 0.035 (0.13) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 浪江町 幾 <small>よ</small> 世 <small>よ</small> 種 <small>むね</small> | 全アルファ 放射能 | 0.017 (0.094) | 720 | 0.026 (0.16) | 744 | 0.021 (0.10) | 666 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ 放射能 | 0.035 (0.14) | 720 | 0.047 (0.22) | 744 | 0.040 (0.15) | 666 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 浪江町 大 <small>おほ</small> 種 <small>むね</small> ダ <small>た</small> ム <small>む</small> | 全アルファ 放射能 | 0.024 (0.12) | 720 | 0.038 (0.18) | 744 | 0.037 (0.13) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ 放射能 | 0.060 (0.22) | 720 | 0.084 (0.30) | 744 | 0.082 (0.23) | 660 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | 郡尾村 夏 <small>なつ</small> 場 <small>ば</small> | 全アルファ 放射能 | 0.037 (0.26) | 720 | 0.053 (0.38) | 732 | 0.043 (0.23) | 648 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ 放射能 | 0.064 (0.35) | 720 | 0.088 (0.51) | 732 | 0.074 (0.34) | 648 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | 藤相馬市 柴 <small>しば</small> 次 <small>つぐ</small> | 全アルファ 放射能 | 0.013 (0.055) | 720 | 0.019 (0.096) | 744 | 0.018 (0.088) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ 放射能 | 0.032 (0.087) | 720 | 0.040 (0.14) | 744 | 0.039 (0.14) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 藤相馬市 置 <small>おき</small> 坂 <small>さか</small> | 全アルファ 放射能 | 0.013 (0.089) | 720 | 0.019 (0.14) | 744 | 0.013 (0.075) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ 放射能 | 0.062 (0.30) | 720 | 0.083 (0.46) | 744 | 0.061 (0.27) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 飯館村 伊 <small>い</small> 丹 <small>に</small> 次 <small>つぐ</small> | 全アルファ 放射能 | 0.011 (0.100) | 720 | 0.012 (0.096) | 744 | 0.018 (0.11) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ 放射能 | 0.060 (0.31) | 720 | 0.064 (0.33) | 744 | 0.083 (0.36) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 川俣町 山 <small>やま</small> 木 <small>き</small> 屋 <small>や</small> | 全アルファ 放射能 | 0.014 (0.11) | 720 | 0.020 (0.13) | 744 | 0.023 (0.15) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全ベータ 放射能 | 0.076 (0.34) | 720 | 0.094 (0.44) | 744 | 0.10 (0.50) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

注) 1 No.の欄外部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km範囲の地域

2 *1 測定地点を、福島県原子力センターから大瀬町旧役場庁舎に今年度から変更した。

| No. | 地点名 | 採取期間 | 核種濃度 (mBq/m ³) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|----------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------|-----|-------|-------|
| | | | ⁵¹ Cr | ⁵⁴ Mn | ⁵⁸ Co | ⁵⁹ Fe | ⁶⁰ Co | ⁹⁵ Zr | ⁹⁵ Nb | ¹⁰⁶ Ru | ¹²⁵ Sb | ¹³⁴ Cs | ¹³⁷ Cs | ¹⁴⁴ Ce | | | | |
| 1 | いわき市 おがわ 小川 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 2 | 田村市 みやこじょうまあるいど 都路崎洗戸 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 3 | 広野町 こまがわ 小滝平 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.005 | 0.005 |
| 4 | 楢葉町 きど 木戸ダム (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.003 | ND |
| 5 | 楢葉町 しげおが 繁岡 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.023 | 0.026 |
| 6 | 富岡町 とみおが 富岡 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1*5 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.023 | 0.036 |
| 7 | 川内村 しもがわうち 下川内 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.019 | 0.006 |
| 8 | 大熊町 おおの 大野 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.044 | 0.053 |
| 9 | 大熊町 おつとぎわ 天次 *4 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.061 | 1.0 | 0.83 | 0.46 |
| 10 | 双葉町 こおりやま 郡山 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.094 | 1.6 | 1.1 | 0.84 |
| 11 | 浪江町 きよはら 幾世橋 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.062 | 0.043 |
| 12 | 浪江町 おほつぎ 大柵ダム (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.030 | 0.041 |
| 13 | 葛尾村 なつが 夏湯 (連続ダストモニタ) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.007 | 0.009 |
| | | | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.006 | 0.006 |

| No. | 地点名 | 採取期間 | 核種濃度 (mBq/m ³) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------------------------------|---|----------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | ⁵¹ Cr | ⁵⁴ Mn | ⁵⁸ Co | ⁵⁹ Fe | ⁶⁰ Co | ⁹⁰ Zr | ⁹⁵ Nb | ¹⁰⁶ Ru | ¹²⁵ Sb | ¹³⁴ Cs | ¹³⁷ Cs | ¹⁴⁴ Ce | | | | | | | |
| 27 | 広野町 二ツ沼 (ダストサンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.018 | ND | ND | ND | |
| 28 | 檜葉町 山田岡 (ダストサンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1* ² R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.022 |
| 29 | 檜葉町 松館 (ダストサンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.017 | ND | ND | 0.030 |
| 30 | 檜葉町 波倉 (ダストサンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.072 | ND | ND | 0.026 |
| 31 | 富岡町 上郡山 (ダストサンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.017 | ND | ND | 0.020 |
| 32 | 富岡町 下郡山 (ダストサンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.033 | ND | ND | 0.019 |
| 33 | 富岡町 夜の森 (ダストサンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.044 | ND | ND | 0.035 |
| 34 | 大熊町 南台 (ダストサンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.031 | 0.51 | 0.24 | 0.27 | 0.090 | 0.045 |
| 35 | 浪江町 浪江 (ダストサンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.077 | ND | ND | ND |
| 36 | 田村市 滝根 (簡易型ダスト サンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1* ⁶ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 37 | 田村市 船引 (簡易型ダスト サンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.006 | 0.010 | 0.003 | 0.007 |
| 38 | 田村市 上移 (簡易型ダスト サンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.012 | ND | ND | ND |
| 39 | 川内村 上川内 (簡易型ダスト サンプラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1* ³ R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.012 |

| No. | 地点名 | 採取期間 | 核種濃度 (mBq/m ³) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------|-------|-------|-------|----|----|----|
| | | | ⁵¹ Cr | ⁵⁴ Mn | ⁵⁸ Co | ⁵⁹ Fe | ⁶⁰ Co | ⁹⁰ Zr | ⁹⁵ Nb | ¹⁰⁶ Ru | ¹²⁵ Sb | ¹³⁴ Cs | ¹³⁷ Cs | ¹⁴⁴ Ce | | | | | | | |
| 40 | 南相馬市 馬場 (簡易型ダスト サンブラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 ^{*1} | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | | | | |
| | | R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.004 | 0.069 | 0.066 | 0.066 | 0.081 | 0.053 | 0.047 | | | |
| | | R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | | |
| 41 | 南相馬市 大木戸 (簡易型ダスト サンブラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | | |
| | | R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | |
| | | R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | |
| 42 | 南相馬市 槽原 (簡易型ダスト サンブラー) | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | |
| | | R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |

(注)

- * 1 簡易型ダストサンブラーが停電のため、R2. 4. 8 16:36~R2. 4. 8 16:40まで停止した。
- * 2 ダストサンブラーがヒューズ切れのため、R2. 5. 28 9:14~R2. 6. 1 10:05まで停止した。
- * 3 簡易型ダストサンブラーが設置施設点検作業に伴う停電のため、R2. 5. 29 13:07~R2. 5. 29 13:18まで停止した。
- * 4 測定地点を、福島県旧原子力センターから大熊町旧役場庁舎に今年度から変更した。
- * 5 ポンプ故障のためR2. 5. 23 0:12~R2. 5. 25 15:32まで停止した。
- * 6 簡易型ダストサンブラーが設置施設点検作業に伴う停電のため、R2. 6. 23 12:33~R2. 6. 23 12:55まで停止した。

5-2-3 大気中水分のトリチウム濃度

| No. | 地点名 | 採取期間 | トリチウム濃度 | | 備考 |
|-----|---------------------------------|---------------------|--------------------------------|-----------------|--------------------------------------|
| | | | 大気中濃度 (mBq/m ³) | 捕集水濃度 (Bq/l) | |
| 1 | 檜葉町 繁岡 <small>しげ</small> | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 | 3.5 | 0.55 | 大気中水分量 (g/m ³) 6.3 |
| | | R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 | 5.9 | 0.54 | 11 |
| | | R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | 7.7 | 0.52 | 15 |
| 2 | 富岡町 | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 | 4.4 | 0.67 | 6.6 |
| | | R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 | 6.4 | 0.58 | 11 |
| | | R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | 14 | 0.92 | 15 |
| 3 | 大熊町 大野 <small>おおの</small> *1 | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 | 5.0 | 0.77 | 6.5 |
| | | R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 | 8.7 | 0.79 | 11 |
| | | R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | 10 | 0.65 | 16 |
| 4 | 大熊町 夫沢 <small>おつとさわ</small> | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 | 30 | 4.6 | 6.6 |
| | | R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 | 45 | 4.0 | 11 |
| | | R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | 52 | 3.4 | 15 |
| 5 | 双葉町 郡山 <small>ふたばのやま</small> | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 | 12 | 1.8 | 6.9 |
| | | R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 | 29 | 2.5 | 12 |
| | | R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | 33 | 2.0 | 16 |

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2 「ND」：検出限界未満

3 検出限界値はおおむね5mBq/m³以下

4 *1 測定地点を、福島県旧原子力センターから大熊町旧役場庁舎に令和2年3月2日から変更した。

5-2-4 降下物の核種濃度

| No. | 地点名 | 採取期間 | 核種濃度 (Bq/m ² (MBq/km ²)) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|--|--|---|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | ⁵¹ Cr | ⁵⁴ Mn | ⁵⁸ Co | ⁵⁹ Fe | ⁶⁰ Co | ⁹⁵ Zr | ⁹⁵ Nb | ¹⁰⁶ Ru | ¹²⁵ Sb | ¹³⁴ Cs | ¹³⁷ Cs | ¹⁴⁴ Ce | | | | | | | | | | | | |
| 1 | いわき市 <small>ひまのほま</small> 久之浜 | R2. 4. 2 ~ R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | | |
| 2 | 田村市 <small>みやこど</small> 都路 | R2. 4. 2 ~ R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 3 | 富岡町 <small>とみおが</small> 富岡 | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 4 | 大熊町 <small>おお</small> 大野 | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 5 | 双葉町 <small>*1 こおりやま</small> 郡山 | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 6 | 南相馬市 <small>かいばま</small> 萱浜 | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 7 | 浪江町 <small>なみえ</small> 浪江 | R2. 4. 2 ~ R2. 5. 1 ~ R2. 6. 2 ~ R2. 7. 2 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 8 | 浪江町 <small>つしま</small> 津島 | R2. 4. 2 ~ R2. 5. 1 ~ R2. 6. 2 ~ R2. 7. 2 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 9 | 葛尾村 <small>おら</small> 落合 | R2. 4. 2 ~ R2. 5. 1 ~ R2. 6. 2 ~ R2. 7. 2 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 10 | 川俣町 <small>やまき</small> 山木屋 | R2. 4. 2 ~ R2. 5. 1 ~ R2. 6. 2 ~ R2. 7. 2 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |

(注) 1 No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未達の地域

2 「ND」：検出限界未滿

3 *1 測定地点を、福島県原田原子力センターから大熊町旧役場庁舎に今年度から変更した。

5-3 比較対照地点

5-3-1 空間線量率 (比較対照地点)

| No. | 測定地点名 | 測定項目 | 測定年月 | | R2.4 | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | | R3.1 | | 2 | | 3 | |
|-----|-------------|------|--------------|------|--------------|------|--------------|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|-----|------|-----|------|
| | | | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 | 線量率 | 測定時間 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 福島市 紅葉山* | | 110 (119) | 720 | 112 (127) | 744 | 115 (140) | 713 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 郡山市 日和田 | | 116 (130) | 720 | 118 (126) | 744 | 119 (134) | 720 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | いわき市 | | 61 (81) | 720 | 61 (74) | 744 | 61 (83) | 718 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

注) *1 令和元年台風第19号に伴う河川増水による局舎浸水に伴う河川増水のため、令和元年10月13日より紅葉山局から南西に約200mの場所で可搬型モニタリングポストにより代替測定

単位: 線量率=μSv/h, 測定時間=h
上段: 平均値 (下段): 最大値

5-3-2 大気浮遊じん核種濃度 (比較対照地点)

| No. | 地点名 | 採取期間 | 核種濃度 (mBq/m ³) | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------------------------------|-----------|----------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----|----|----|-------|
| | | | ⁵¹ Cr | ⁵⁴ Mn | ⁵⁸ Co | ⁵⁹ Fe | ⁶⁰ Co | ⁹⁰ Zr | ⁹⁵ Nb | ¹⁰⁶ Ru | ¹²⁵ Sb | ¹³⁴ Cs | ¹³⁷ Cs | ¹⁴⁰ Ce | | | | |
| 1 | 福島市 方木田 (簡易型ダスト サンプラー) | R2.4.1 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | |
| | | R2.5.8 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.031 |
| | | R2.6.1 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 2 | 会津若松市 追手町 (簡易型ダスト サンプラー) | R2.4.13 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2.5.19 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.027 |
| | | R2.6.2 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 3 | 郡山市 麓山 (簡易型ダスト サンプラー) | R2.4.6 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2.5.12 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2.6.3 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 4 | 白河市 昭和町 (簡易型ダスト サンプラー) | R2.4.6 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2.5.12 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2.6.1 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 5 | 相馬市 主野 (簡易型ダスト サンプラー) | R2.4.8 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2.5.14 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.054 |
| | | R2.6.3 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 6 | 伊達市 富成 (簡易型ダスト サンプラー) | R2.4.8 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2.5.14 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2.6.3 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| 7 | 南会津町 由島 (簡易型ダスト サンプラー) | R2.4.13 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2.5.19 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |
| | | R2.6.1 ~ | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND |

(注) 1 「ND」：検出限界未満 「-」：欠測

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 ろ紙の灰化処理はせず、ろ紙を直接18容器で測定した。

4 ¹³⁴Cs及び¹³⁷Csの検出限界値：簡易型ダストサンプラー（1週間集じん）はおおむね0.04 mBq/m³以下である。

5-3-3 大気中水分のトリチウム濃度 (比較対照地点)

| No. | 地点名 | 採取期間 | トリチウム濃度 | | 備考 | |
|-----|-----------------------------|-----------------|--------------------------------|-----------------|-------------------------------|-----|
| | | | 大気中濃度 (mBq/m ³) | 捕集水濃度 (Bq/l) | | |
| 1 | 福島市 方木 ^{ほうきだ} 田 | R2.4.1 ~ R2.5.1 | 5.3 | 0.92 | 大気中水分量 (g/m ³) | |
| | | R2.5.1 ~ R2.6.1 | 4.6 | 0.47 | | 5.7 |
| | | R2.6.1 ~ R2.7.1 | 8.7 | 0.61 | | 9.8 |
| | | | | | 14 | |

(注) 「ND」：検出限界未満

数値は有効数字2桁にて表記

5-3-4 降下物の核種濃度 (比較対照地点)

| No. | 地点名 | 採取期間 | 核種濃度 (Bq/m ² (MBq/km ²)) | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------|---------------------|---|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|----|--|
| | | | ⁵¹ Cr | ⁵⁴ Mn | ⁵⁸ Co | ⁵⁹ Fe | ⁶⁰ Co | ⁹⁰ Zr | ⁹⁵ Nb | ¹⁰⁶ Ru | ¹²⁵ Sb | ¹³⁴ Cs | ¹³⁷ Cs | ¹⁴⁴ Ce | | |
| 1 | 福島市 方水田 | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | |
| | | R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.50 | 8.9 | ND | ND | |
| | | R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.21 | 3.5 | ND | ND | |
| 2 | 三春町 深作 | R2. 4. 1 ~ R2. 5. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.35 | ND | |
| | | R2. 5. 1 ~ R2. 6. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.70 | ND | ND | |
| | | R2. 6. 1 ~ R2. 7. 1 | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | ND | 0.25 | ND | ND | |

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 「/」: 対象外核種
 2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

5-4 試料採取時の付帯データ集
(原子力発電所周辺等環境放射能測定)

1 上水

| No. | 採取地点名 | 採取年月日 | 気温 (°C) | 水温 (°C) | pH |
|-----|-------|----------|------------|------------|-----|
| 1 | いわき市 | R2. 4. 2 | 15.8 | 11.2 | 7.1 |
| 2 | 田村市 | R2. 4. 2 | 10.6 | 13.6 | 7.0 |
| 3 | 広野町 | R2. 4. 6 | 12.2 | 10.3 | 7.3 |
| 4 | 檜葉町 | R2. 4. 6 | 10.7 | 10.6 | 7.1 |
| 5 | 富岡町 | R2. 4. 6 | 13.2 | 12.0 | 7.5 |
| 6 | 川内村 | R2. 4. 2 | 12.0 | 12.7 | 7.1 |
| 7 | 大熊町 | R2. 4. 6 | 16.4 | 12.2 | 7.4 |
| 8 | 双葉町 | — | — | — | — |
| 9 | 浪江町 | R2. 4. 6 | 15.6 | 11.8 | 7.0 |
| 10 | 葛尾村 | R2. 4. 7 | 11.3 | 10.4 | 7.0 |
| 11 | 南相馬市 | R2. 4. 6 | 13.7 | 13.8 | 7.1 |
| 12 | 飯館村 | R2. 4. 7 | 8.9 | 8.0 | 7.0 |
| 13 | 川俣町 | R2. 4. 7 | 14.2 | 10.1 | 7.0 |

2 海水

| No. | 採取地点名 | 採取年月日 | 気温 (°C) | 水温 (°C) | pH | Cl ⁻ (%) |
|-----|--------------------------|-----------|------------|------------|-----|------------------------|
| 1 | 第一(発)南放水口付近 | R2. 4. 22 | 13.0 | 10.9 | 8.0 | 20.3 |
| | | R2. 5. 14 | 19.0 | 14.3 | 8.1 | 21.5 |
| | | R2. 6. 2 | 20.5 | 14.2 | 7.9 | 21.4 |
| 2 | 第一(発)北放水口付近 | R2. 4. 22 | 13.0 | 10.8 | 8.1 | 19.8 |
| | | R2. 5. 14 | 19.0 | 14.3 | 8.1 | 21.8 |
| | | R2. 6. 2 | 20.0 | 12.7 | 7.9 | 21.8 |
| 3 | 第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側) | R2. 4. 22 | 13.0 | 10.7 | 8.1 | 19.9 |
| | | R2. 5. 14 | 19.0 | 14.1 | 8.1 | 21.4 |
| | | R2. 6. 2 | 20.0 | 14.2 | 8.0 | 21.7 |
| 4 | 第一(発)沖合 2 km | R2. 4. 22 | 11.5 | 11.5 | 8.1 | 20.3 |
| | | R2. 5. 14 | 18.5 | 14.4 | 8.2 | 19.9 |
| | | R2. 6. 2 | 20.0 | 13.0 | 7.9 | 20.8 |
| 5 | 夫沢・熊川沖 2 km | R2. 4. 22 | 10.3 | 11.5 | 8.0 | 20.0 |
| | | R2. 5. 14 | 17.0 | 14.1 | 8.1 | 20.5 |
| | | R2. 6. 2 | 18.5 | 13.3 | 7.9 | 21.8 |
| 6 | 双葉・前田川沖 2 km | R2. 4. 22 | 12.5 | 10.6 | 8.0 | 20.3 |
| | | R2. 5. 14 | 19.0 | 14.2 | 8.2 | 20.6 |
| | | R2. 6. 2 | 20.0 | 12.8 | 8.0 | 21.8 |
| 7 | 第二(発)南放水口 | R2. 5. 15 | 23.7 | 14.3 | 8.0 | 18.7 |
| 8 | 第二(発)北放水口 | R2. 5. 15 | 21.0 | 14.7 | 8.0 | 18.0 |

第6 参考資料

6-1 福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う海水モニタリング結果（公表資料）

【地下水バイパス水関係】

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、南放水口付近（T-2）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和2年7月9日公表資料

【サブドレン・地下水ドレン処理水関係】

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理水の海域への排出に際し、5・6号機放水口北側（T-1）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和2年7月9日公表資料

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の
海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について（6月調査分）

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、環境への影響を確認するため、海水モニタリングを定期的実施しております。

【調査結果の概要】

今回は福島第一原子力発電所南放水口付近（T-2）の海域1地点における、地下水バイパス水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度（単位：Bq/L）は、全ベータ放射能が0.04、放射性セシウムが不検出、トリチウムが不検出でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値、告示濃度限度^{※1}及びWHO飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

○6月調査分における海水の放射能濃度（単位：Bq/L）

排出時刻10時04分～16時30分、排出量1,768m³

| 採取日時 | 全ベータ 放射能 | 放射性セシウム | | | トリチウム |
|----------------|------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|
| | | Cs-134 | Cs-137 | 合計 ^{※2} | |
| 6月11日 10:50 | 0.04 (不検出 ～0.22) | 不検出 (不検出 ～0.54) | 不検出 (不検出 ～1.6) | 不検出 (不検出 ～2.14) | 不検出 (不検出 ～8.8) |

()内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

| (参考) | 全ベータ 放射能 | 放射性セシウム | | | トリチウム |
|----------------------|------------------|---------|--------|----|--------|
| | | Cs-134 | Cs-137 | 合計 | |
| 東京電力の運用目標値 | 5 | 1 | 1 | — | 1,500 |
| 告示濃度限度 ^{※1} | 30 ^{※3} | 60 | 90 | — | 60,000 |
| WHO飲料水水質ガイドライン | 10 ^{※3} | 10 | 10 | — | 10,000 |

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則（周辺監視区域外等の濃度限度）

※2 不検出は0として計算

※3 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の排出に伴う海水モニタリングの結果

○今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和2年7月9日 福島県放射線監視室

| 試料名 | 地点名 | 採取年月日 | 福島県による測定結果 (Bq/l) | | | |
|-----|--------------------------|-----------|-------------------|---------------|---------------|--------------|
| | | | 全β放射能※ | Cs-134 | Cs-137 | トリチウム |
| 海水 | 南放水口付近 (T-2) (地下水排出中) | R2. 6. 11 | 0.04 | ND (0.052) | ND (0.049) | ND (0.35) |
| | | 令和元年度 | 0.02 | ND | ND~0.072 | ND~8.6 |
| | | 平成30年度 | 0.02~0.03 | ND | ND | ND~7.9 |
| | | 平成29年度 | ND~0.04 | ND | ND~0.13 | ND~8.8 |
| | | 平成28年度 | 0.03~0.15 | ND | 0.061~0.19 | ND~3.0 |
| | | 平成27年度 | 0.03~0.13 | ND~0.11 | 0.080~0.40 | ND~0.86 |
| | | 平成26年度 | 0.04~0.22 | ND~0.54 | 0.12~1.6 | ND~3.5 |

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 () 内: 検出下限値

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

○平成30年3月採水分から、防波堤の本設化工事完了に伴い、採水地点が排出地点の北約10m地点から排出地点の南約30m地点へと変更となりました。

平成26年5月21日(初回排出日)以前のモニタリング結果

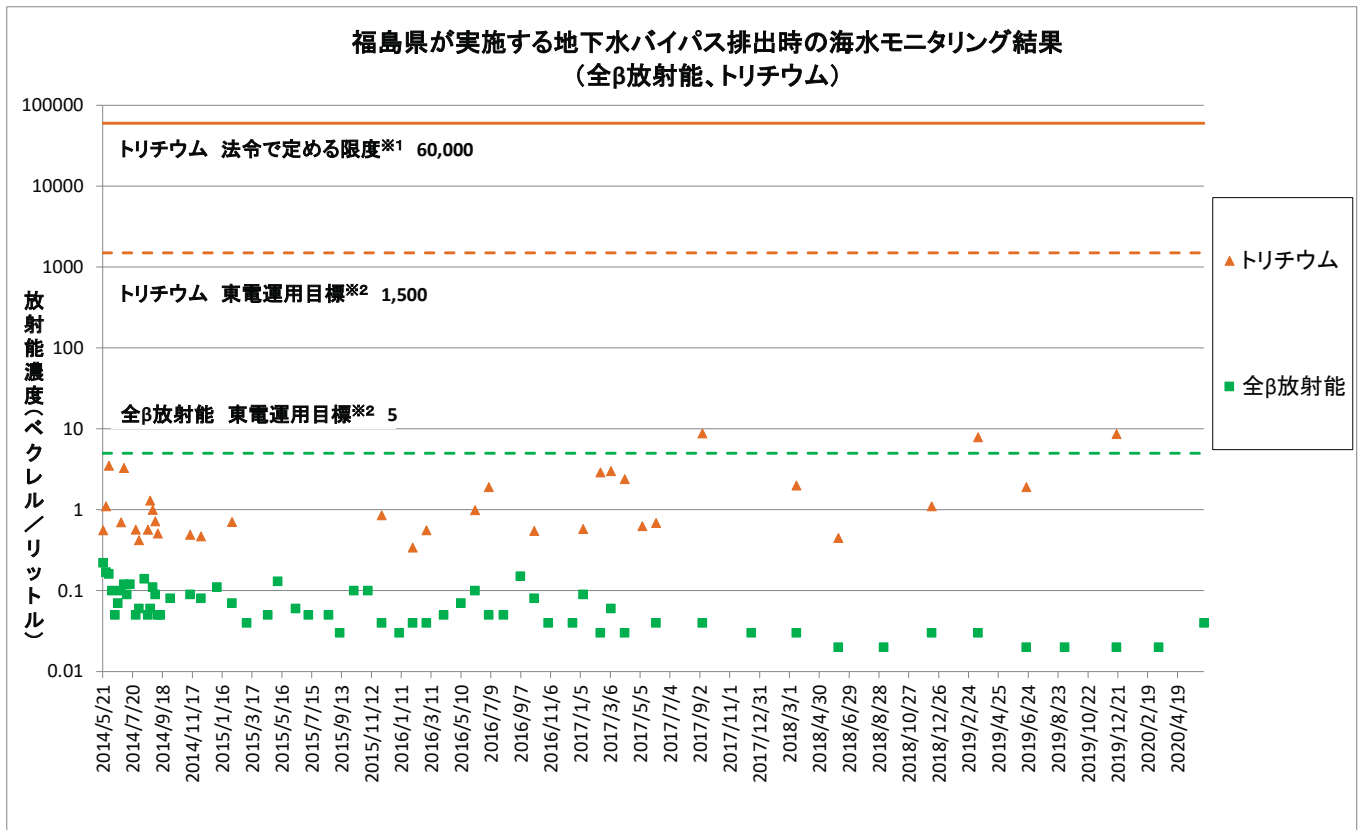
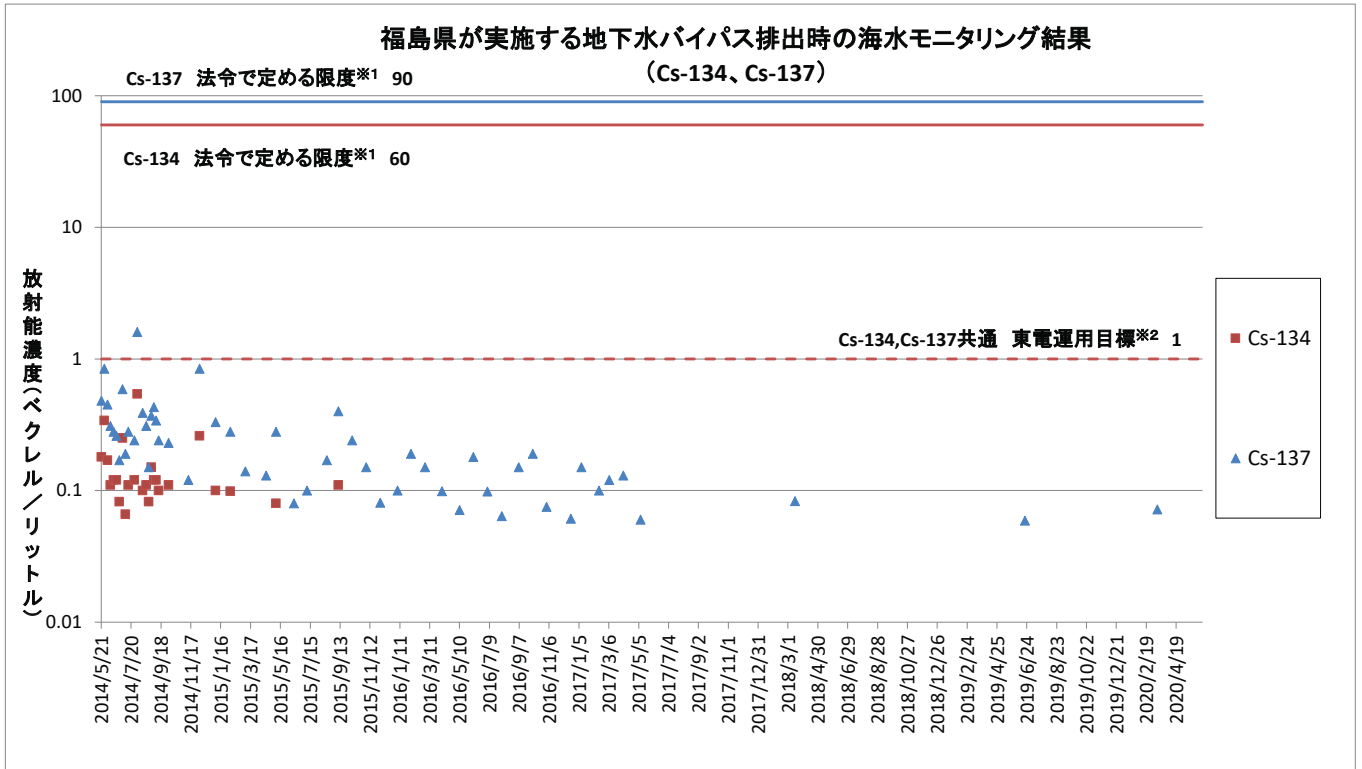
| 試料名 | 地点名 | 採取年月日 | 福島県による測定結果 (Bq/l) | | | |
|---|----------------------------|--|-------------------|------------|----------|-----------|
| | | | 全β放射能※ | Cs-134 | Cs-137 | トリチウム |
| (参考) 県が平成25年度以降に実施した海域モニタリングにおける測定値の範囲 | 南放水口付近 (T-2) (陸側から採取) | H25. 10. 3、H25. 10. 17 H25. 10. 21、H27. 2. 25 | 0.16~0.48 | 0.082~0.80 | 0.33~1.8 | ND~0.69 |
| | 南放水口付近 (T-2-1) (陸側から採取) | H25. 6. 27 H27. 2. 25 | 0.07 | 0.31~0.36 | 0.59~1.2 | 0.32~0.91 |
| | 南放水口付近 (F-P01) (船舶から採取) | H25. 7. 31~H28. 12. 12 | 0.02~0.64 | ND~0.35 | ND~0.71 | ND~2.4 |
| (参考) 県が測定した原発事故前の値 | 発電所周辺海域 | 平成13~22年度 | ND~0.05 | ND | ND~0.003 | ND~2.9 |

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

※全β放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

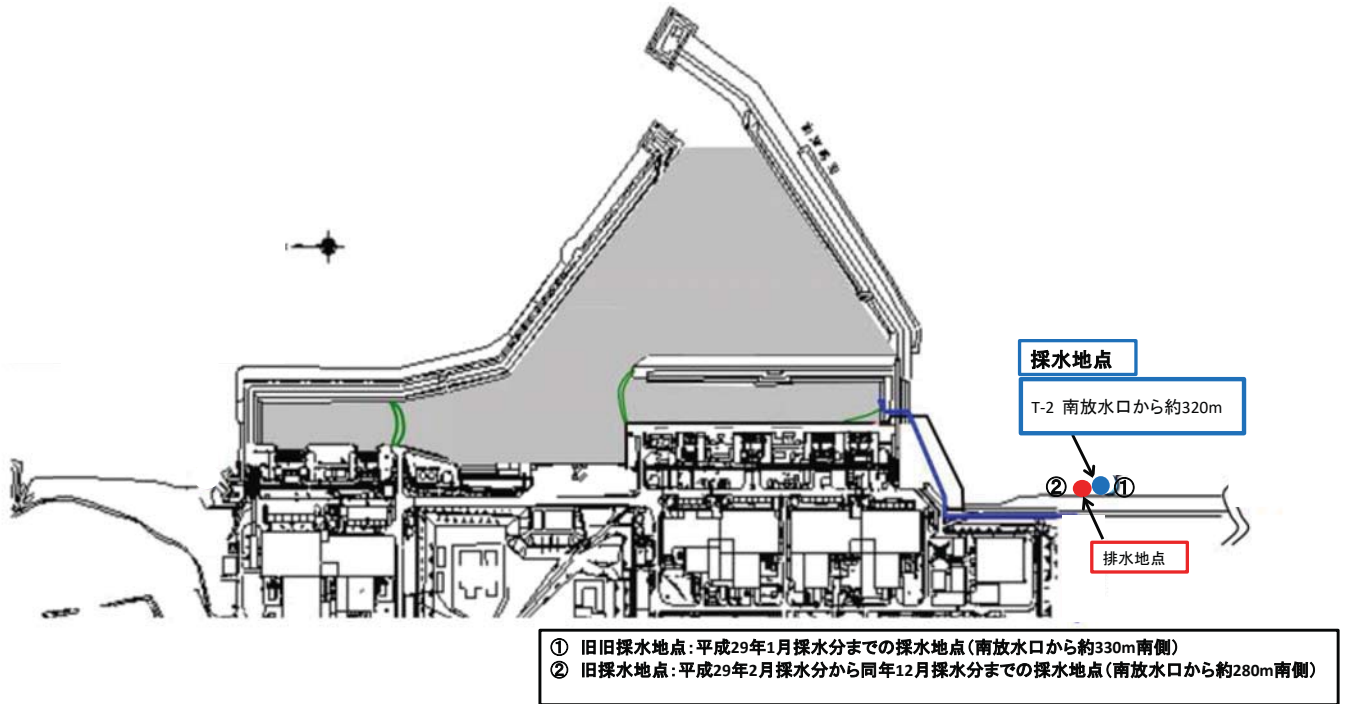
測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

注: 不検出の場合はプロットされません。



※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度
 ※2 福島第一原子力発電所 地下水バイパス水一時貯留タンクの運用目標値
 ※3 平成26年9月13日排水時まで排出毎に調査実施。但し、平成26年7月21日及び8月5日の排出時の海水試料は採取できず。
 平成26年9月13日以降は毎月1回、平成29年6月6日以降は四半期1回のモニタリングに変更しています。

採水地点及び排水地点（東京電力資料より）



令和2年7月9日
福島県放射線監視室

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の
海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について（6月調査分）

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に際し、環境への影響を継続的に監視するため、海水モニタリングを定期的に実施しております。

【調査結果の概要】

今回は福島第一原子力発電所北放水口付近（T-1）の海域1地点における、サブドレン・地下水ドレン処理済み水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度（単位：Bq/L）は、全ベータ放射能が0.03、放射性セシウムが0.15、トリチウムが1.3でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値、告示濃度限度^{※1}及びWHO飲料水水質ガイドラインを大幅に下回っています。

○6月調査分における海水の放射能濃度（単位：Bq/L）

排出時刻10時50分～16時14分、排出量805m³

| 採取日時 | 全ベータ放射能 | 放射性セシウム | | | トリチウム |
|----------------|-------------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|----------------------|
| | | Cs-134 | Cs-137 | 合計 ^{※2} | |
| 6月11日 11:35 | 0.03 (0.02 ～0.10) | 不検出 (不検出 ～0.10) | 0.15 (不検出 ～0.44) | 0.15 (不検出 ～0.51) | 1.3 (不検出 ～2.3) |

()内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

| (参考) | 全ベータ放射能 | 放射性セシウム | | | トリチウム |
|----------------------|------------------|---------|--------|----|--------|
| | | Cs-134 | Cs-137 | 合計 | |
| 東京電力の運用目標値 | 3 | 1 | 1 | — | 1,500 |
| 告示濃度限度 ^{※1} | 30 ^{※3} | 60 | 90 | — | 60,000 |
| WHO飲料水水質ガイドライン | 10 ^{※3} | 10 | 10 | — | 10,000 |

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則（周辺監視区域外等の濃度限度）

※2 不検出は0として計算

※3 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン 処理済み水の排出に伴う海水モニタリングの結果

○今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和2年7月9日 福島県放射線監視室

| 試料名 | 地点名 | 採取年月日 | 福島県による測定結果 (Bq/l) | | | |
|-----|----------------------------|----------------------|-------------------|---------------|------------|---------|
| | | | 全ベータ放射能※ | Cs-134 | Cs-137 | トリチウム |
| 海水 | 北放水口付近 (T-1) (処理済み水排出中) | R2. 6. 11 | 0.03 | ND (0.052) | 0.15 | 1.3 |
| | | 令和元年度 | 0.02~0.03 | ND | 0.098~0.27 | ND~0.70 |
| | | 平成30年度 | 0.02~0.04 | ND | ND~0.22 | ND~0.55 |
| | | 平成29年度 | 0.02~0.04 | ND~0.068 | ND~0.36 | ND~1.5 |
| | | 平成28年度 | 0.04~0.10 | ND~0.068 | 0.064~0.44 | ND~2.3 |
| | | H27. 9. 14~H28. 3. 2 | 0.03~0.09 | ND~0.10 | 0.14~0.41 | ND~1.7 |

(注) 1 「ND」: 検出限界未満 () 内: 検出下限値

○東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

平成27年9月14日（初回排出日）以前のモニタリング結果

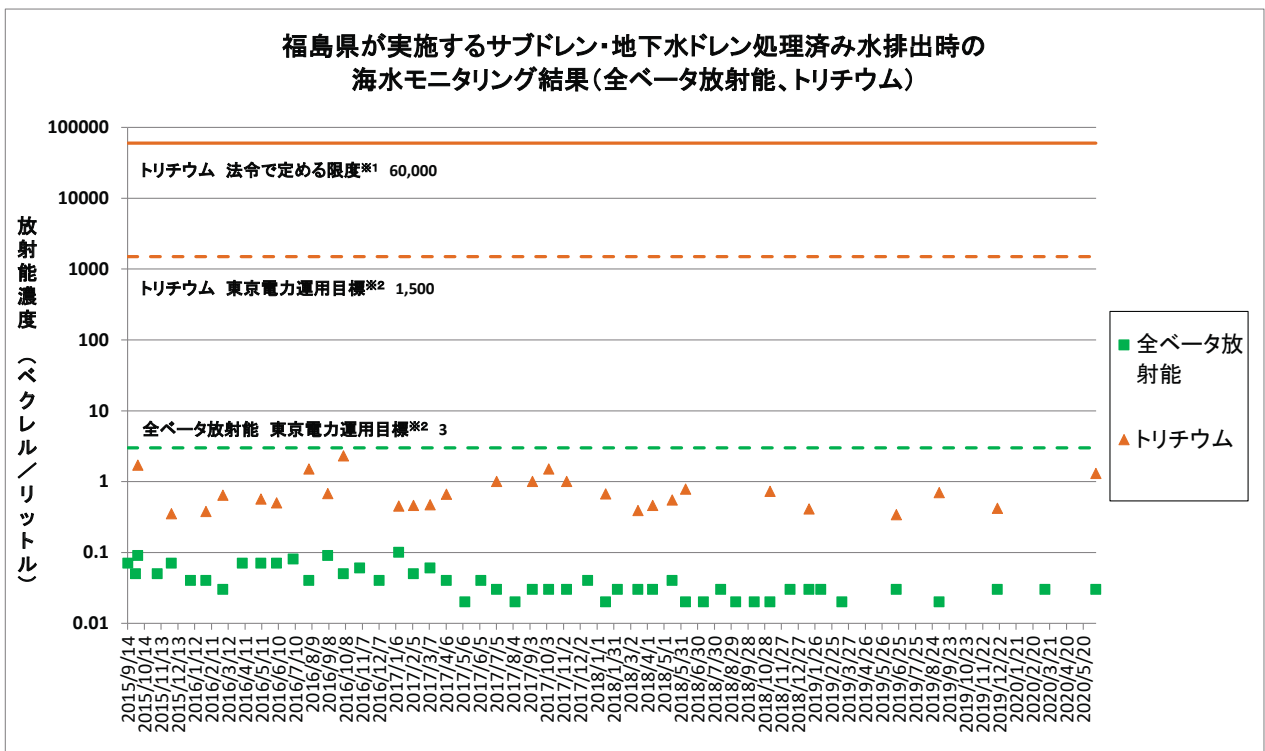
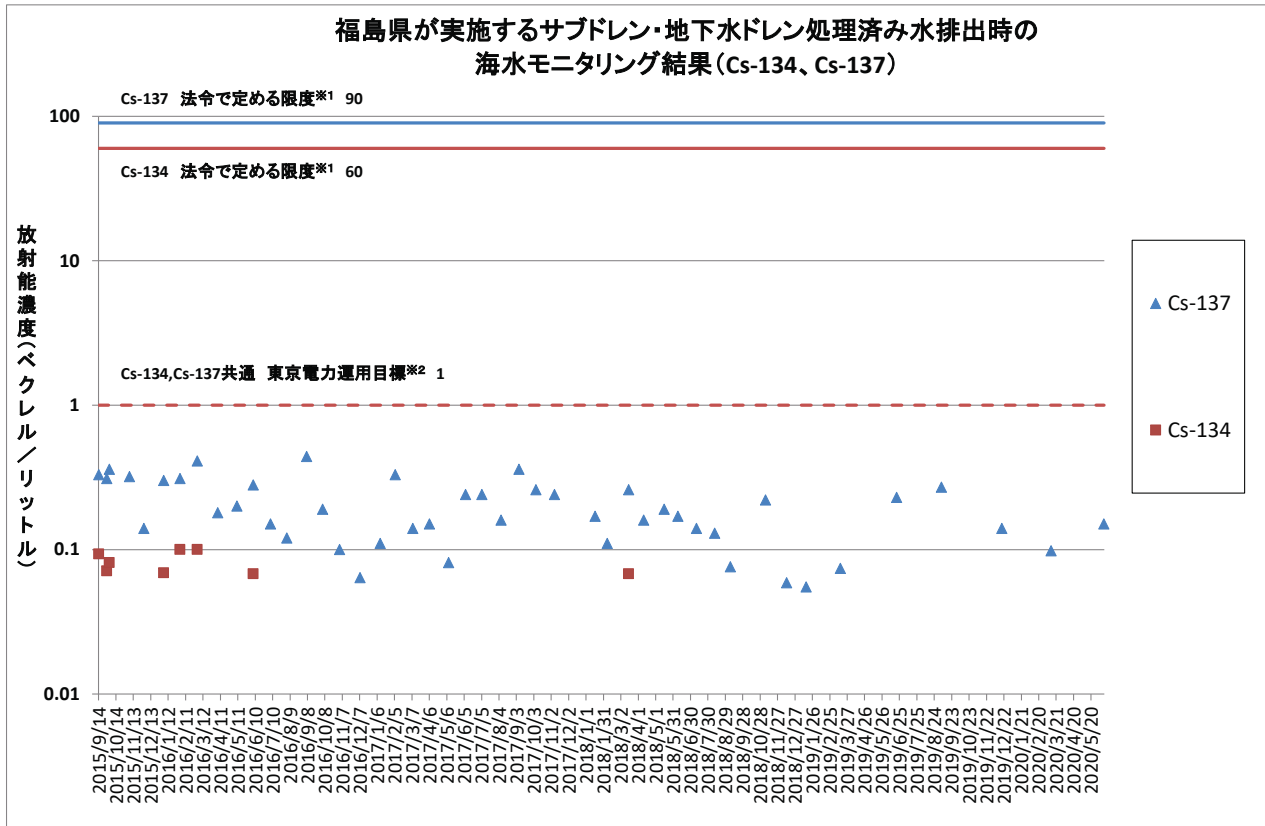
| 試料名 | 地点名 | 採取年月日 | 福島県による測定結果 (Bq/l) | | | |
|--|----------------------------|---|-------------------|----------|----------|----------|
| | | | 全ベータ放射能※ | Cs-134 | Cs-137 | トリチウム |
| (参考) 県が平成25~26年 度を実施した海域 モニタリングにお ける測定値の範囲 | 北放水口付近 (T-1) (陸側から採取) | H25. 6. 27、H25. 9. 27 H26. 4. 4、H27. 2. 25 | 0.10~0.49 | 0.26~2.4 | 0.84~5.0 | 0.61~1.1 |
| | 北放水口付近 (F-P02) (船舶から採取) | H25. 7. 31~H27. 3. 3 | 0.03~0.51 | ND~0.24 | ND~0.56 | ND~2.5 |
| (参考) 県が測定し た原発事故前の値 | 発電所周辺海域 | 平成13~22年度 | ND~0.05 | ND | ND~0.003 | ND~2.9 |

(注) 1 「ND」: 検出限界未満

※全ベータ放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ1「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

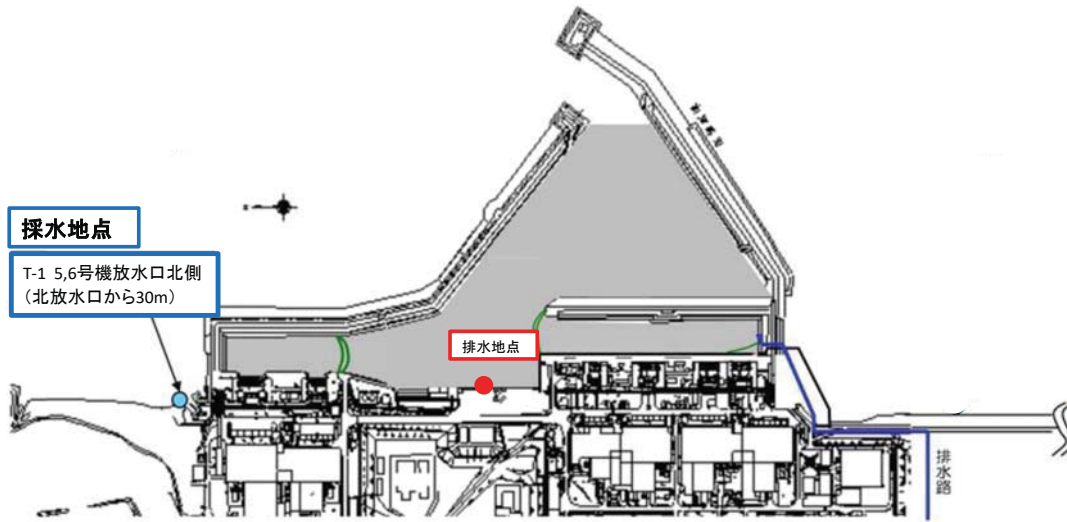
測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

注：不検出の場合はプロットされません。



※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度
※2 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水一時貯留タンクの運用目標値

採水地点及び排水地点 (東京電力資料より)



各地点の空間線量率等の変動グラフ

令和2年4月～令和2年6月

福島県

目次

空間線量率

| | |
|----------------------------|----|
| 1 いわき市小川 (1m) | 1 |
| 2 いわき市久之浜 (1m) | 2 |
| 3 いわき市下桶売 (1m) | 3 |
| 4 いわき市川前 (1m) | 4 |
| 5 田村市都路馬洗戸 (1m) | 5 |
| 6 広野町二ツ沼 (3m) | 6 |
| 7 広野町小滝平 (1m) | 7 |
| 8 檜葉町山田岡 (3m) | 8 |
| 9 檜葉町木戸ダム (1m) | 9 |
| 10 檜葉町繁岡 (3m) | 10 |
| 11 檜葉町松館 (3m) | 11 |
| 12 檜葉町波倉 (3m) | 12 |
| 13 富岡町上郡山 (3m) | 13 |
| 14 富岡町下郡山 (3m) | 14 |
| 15 富岡町深谷 (1m) | 15 |
| 16 富岡町富岡 (3m) | 16 |
| 17 富岡町夜の森 (3m) | 17 |
| 18 川内村下川内 (1m) | 18 |
| 19 大熊町向畑 (3m) | 19 |
| 20 大熊町熊川 (1m) | 20 |
| 21 大熊町南台 (3m) | 21 |
| 22 大熊町大野 (1m) | 22 |
| 23 大熊町夫沢 (3m) | 23 |
| 24 双葉町山田 (3m) | 24 |
| 25 双葉町郡山 (3m) | 25 |
| 26 双葉町新山 (3m) | 26 |
| 27 双葉町上羽鳥 (3m) | 27 |
| 28 浪江町請戸 (1m) | 28 |
| 29 浪江町棚塩 (1m) | 29 |
| 30 浪江町浪江 (3m) | 30 |
| 31 浪江町幾世橋 (3m) | 31 |
| 32 浪江町大柿ダム (1m) | 32 |
| 33 浪江町南津島 (1m) | 33 |
| 34 葛尾村夏湯 (1m) | 34 |
| 35 南相馬市泉沢 (1m) | 35 |
| 36 南相馬市横川ダム (1m) | 36 |
| 37 南相馬市萱浜 (1m) | 37 |
| 38 飯舘村伊丹沢 (1m) | 38 |
| 39 川俣町山木屋 (1m) | 39 |

大気浮遊じん(推移)

| | |
|----------------------|----|
| 1 いわき市小川 | 40 |
| 2 田村市都路馬洗戸 | 41 |
| 3 広野町小滝平 | 42 |
| 4 檜葉町木戸ダム | 43 |
| 5 檜葉町繁岡 | 44 |
| 6 富岡町富岡 | 45 |
| 7 川内村下川内 | 46 |
| 8 大熊町大野 | 47 |
| 9 大熊町夫沢 | 48 |
| 10 双葉町郡山 | 49 |
| 11 浪江町幾世橋 | 50 |
| 12 浪江町大柿ダム | 51 |
| 13 葛尾村夏湯 | 52 |
| 14 南相馬市泉沢 | 53 |
| 15 南相馬市萱浜 | 54 |
| 16 飯舘村伊丹沢 | 55 |
| 17 川俣町山木屋 | 56 |

大気浮遊じん(相関図)

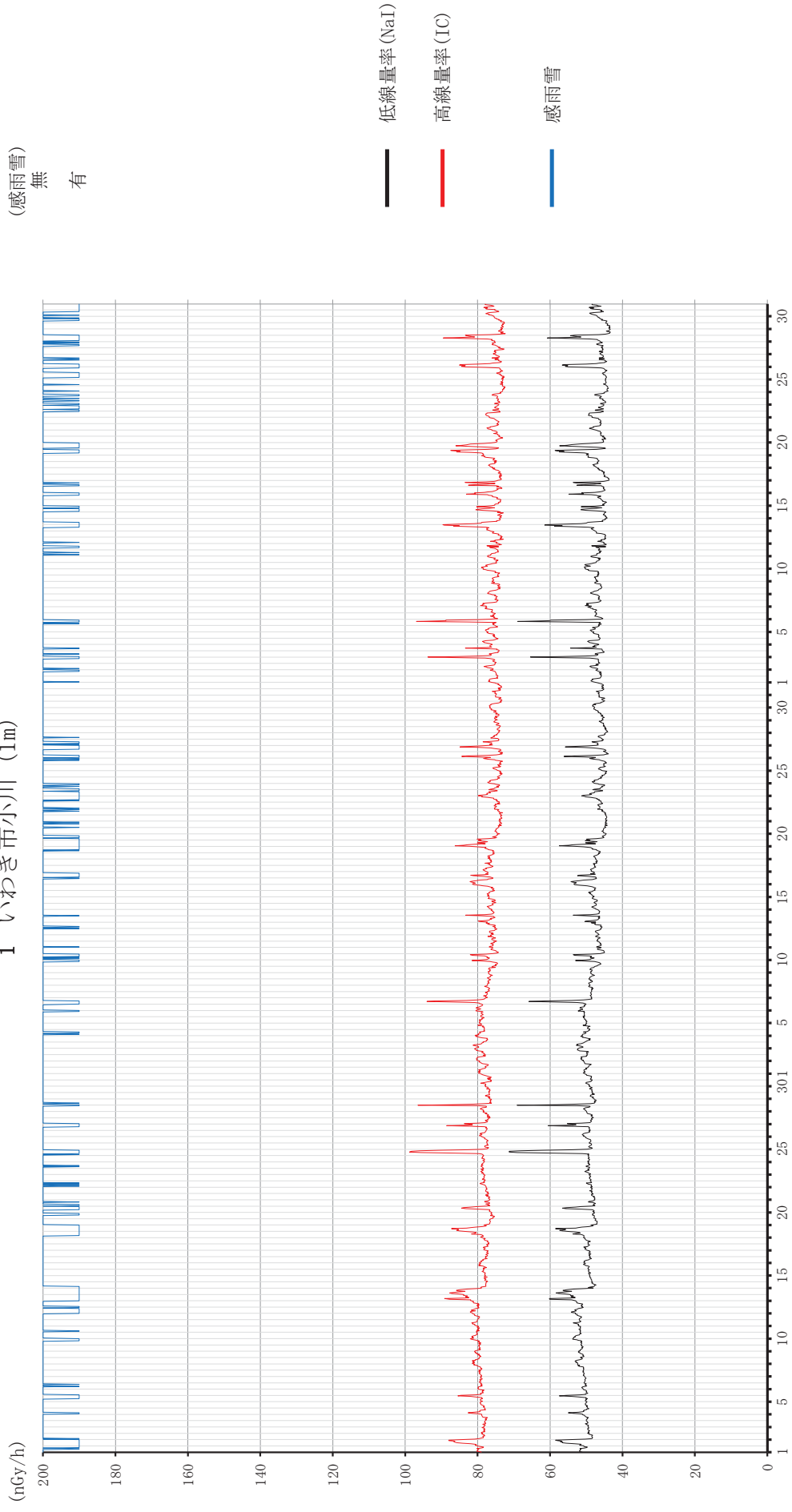
| | |
|----------------------|----|
| 1 いわき市小川 | 57 |
| 2 田村市都路馬洗戸 | 57 |
| 3 広野町小滝平 | 58 |
| 4 檜葉町木戸ダム | 58 |
| 5 檜葉町繁岡 | 59 |
| 6 富岡町富岡 | 59 |
| 7 川内村下川内 | 60 |
| 8 大熊町大野 | 60 |
| 9 大熊町夫沢 | 61 |
| 10 双葉町郡山 | 61 |
| 11 浪江町幾世橋 | 62 |
| 12 浪江町大柿ダム | 62 |
| 13 葛尾村夏湯 | 63 |
| 14 南相馬市泉沢 | 63 |
| 15 南相馬市萱浜 | 64 |
| 16 飯舘村伊丹沢 | 64 |
| 17 川俣町山木屋 | 65 |

空間線量率 (比較対照)

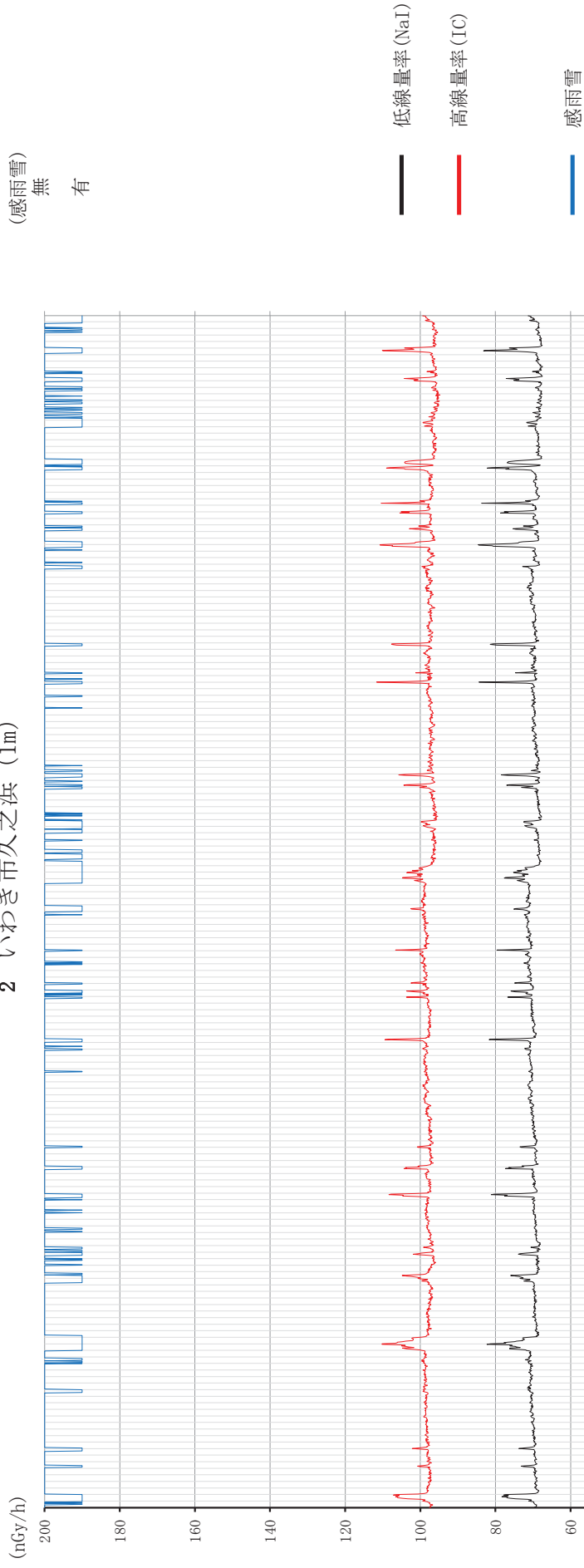
| | |
|-------------------------|----|
| 1 福島市紅葉山 (1m) | 66 |
| 2 郡山市日和田 (1m) | 67 |
| 3 いわき市平 (1m) | 68 |

※ 図中の「事故前の最大値」は、平成23年3月10日までに観測された最大値

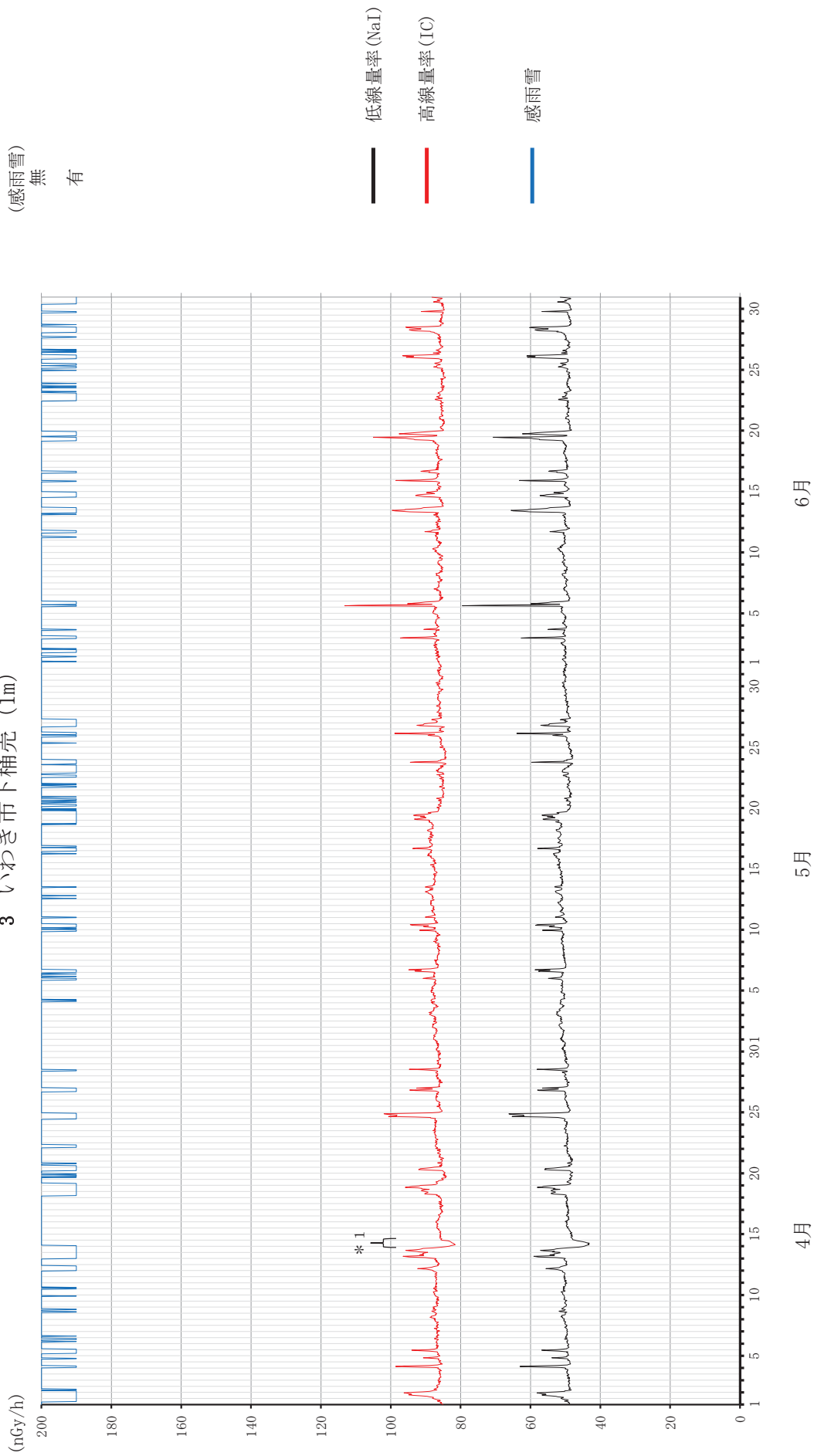
空間線量率の変動グラフ 1 いわき市小川 (1m)



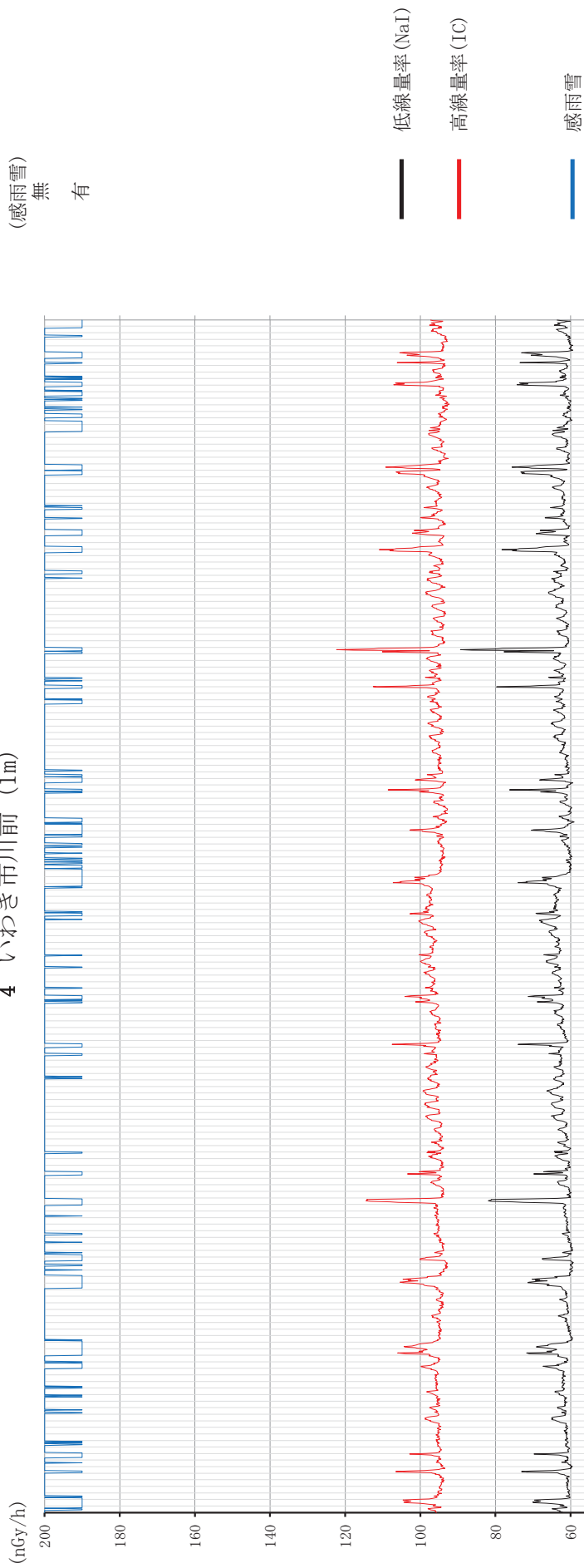
空間線量率の変動グラフ 2 いわき市久之浜 (1m)



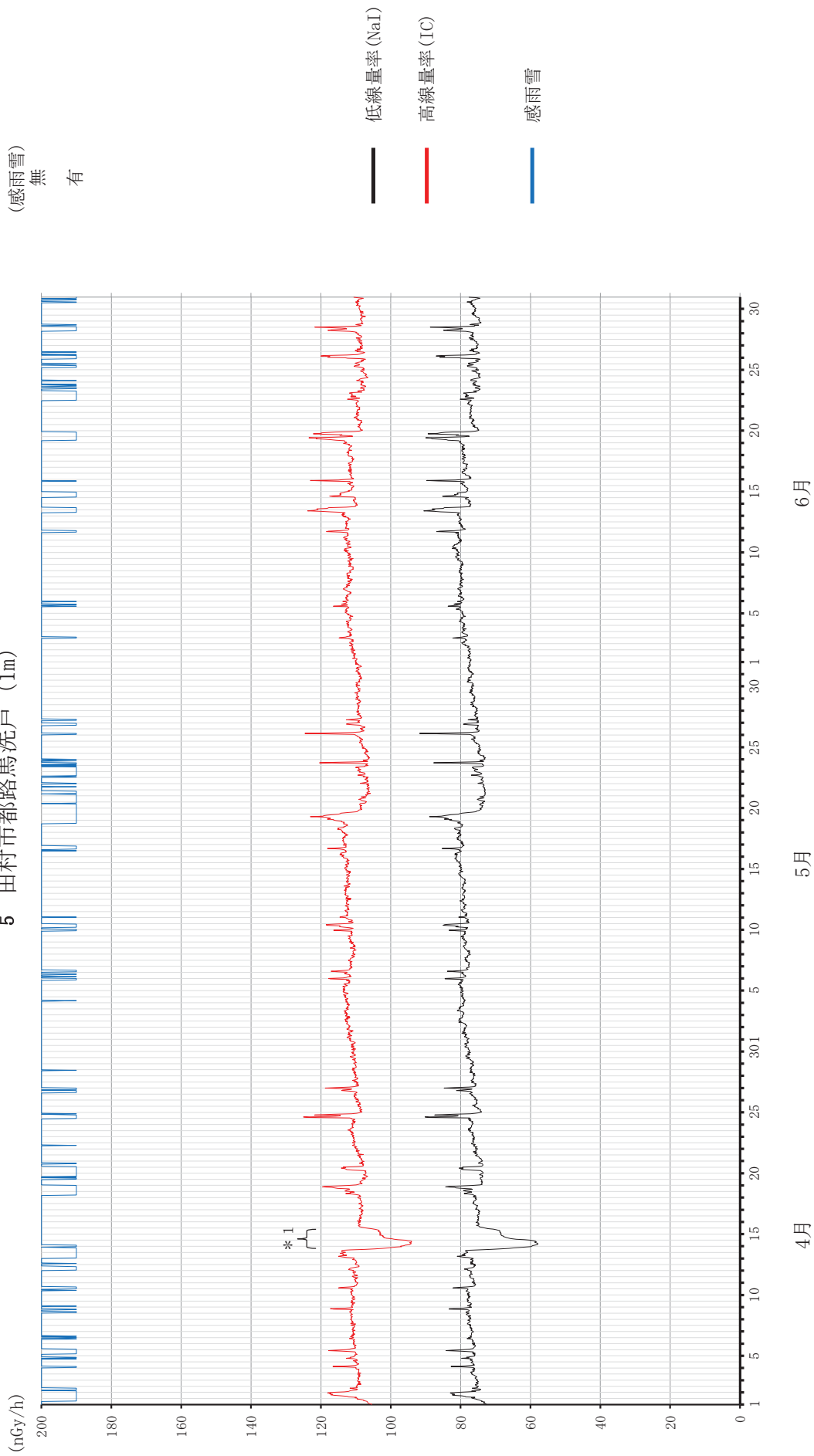
空間線量率の変動グラフ 3 いわき市下桶壳 (1m)



空間線量率の変動グラフ 4 いわき市川前 (1m)

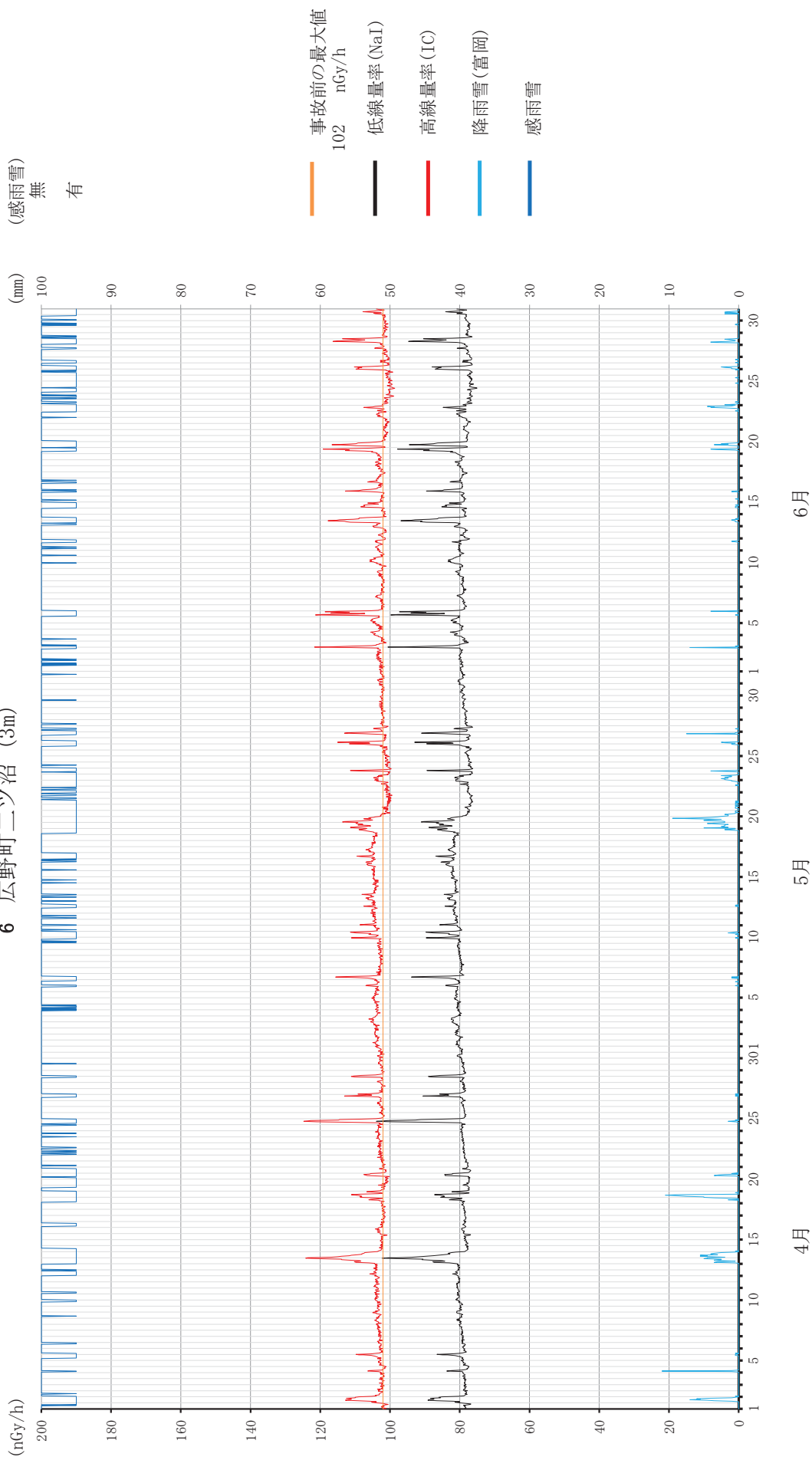


空間線量率の変動グラフ
5 田村市都路馬洗戸 (1m)

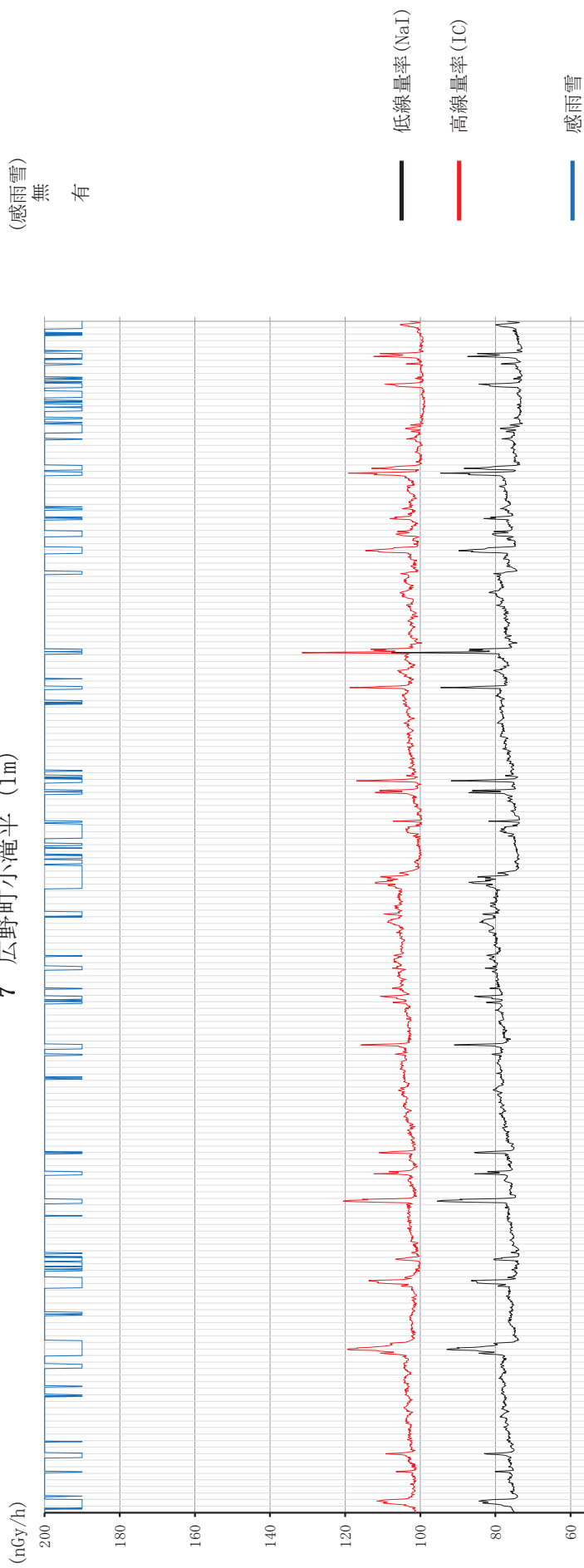


* 1 積雪のため線量率低下

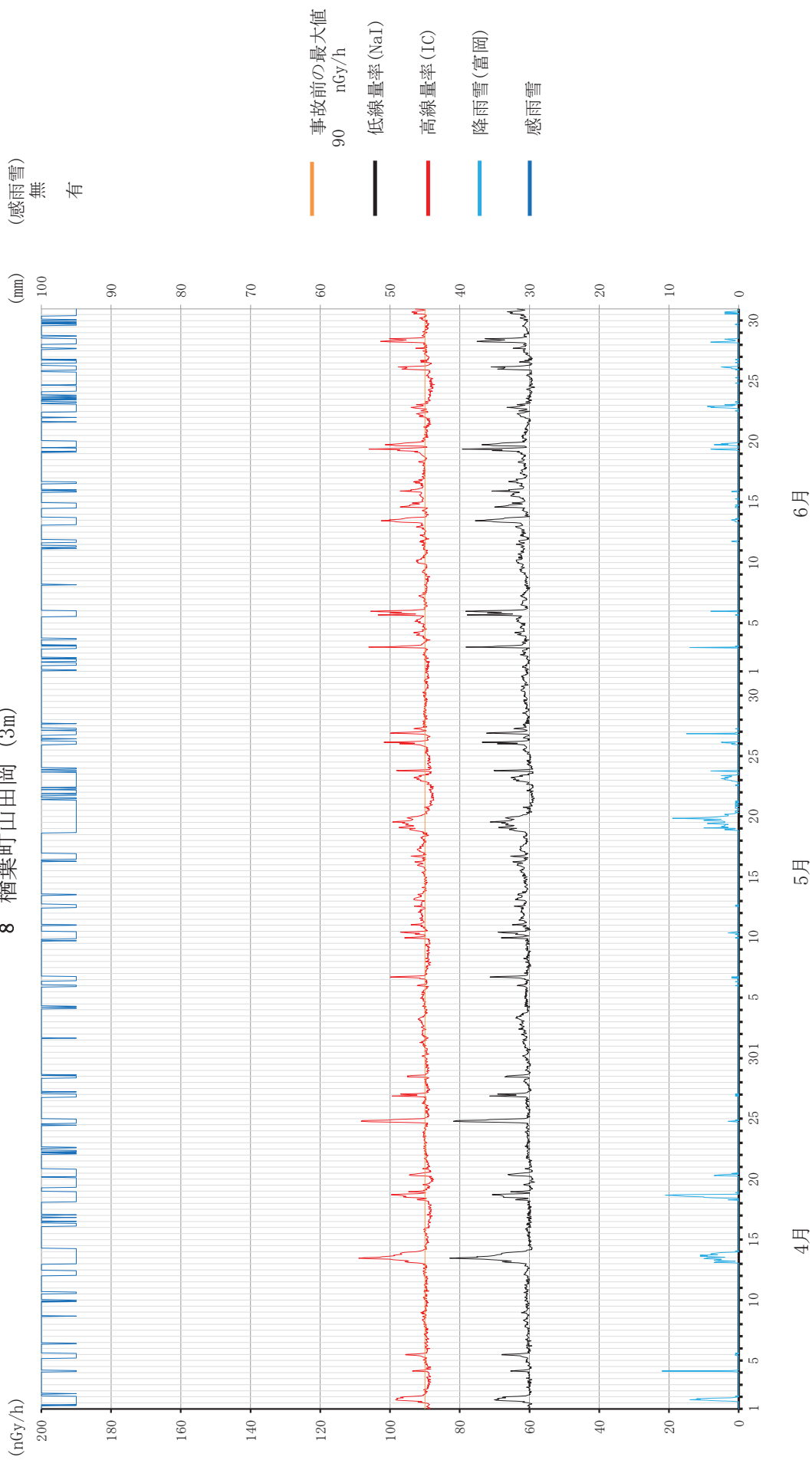
空間線量率の変動グラフ
6 広野町ニッ沼 (3m)



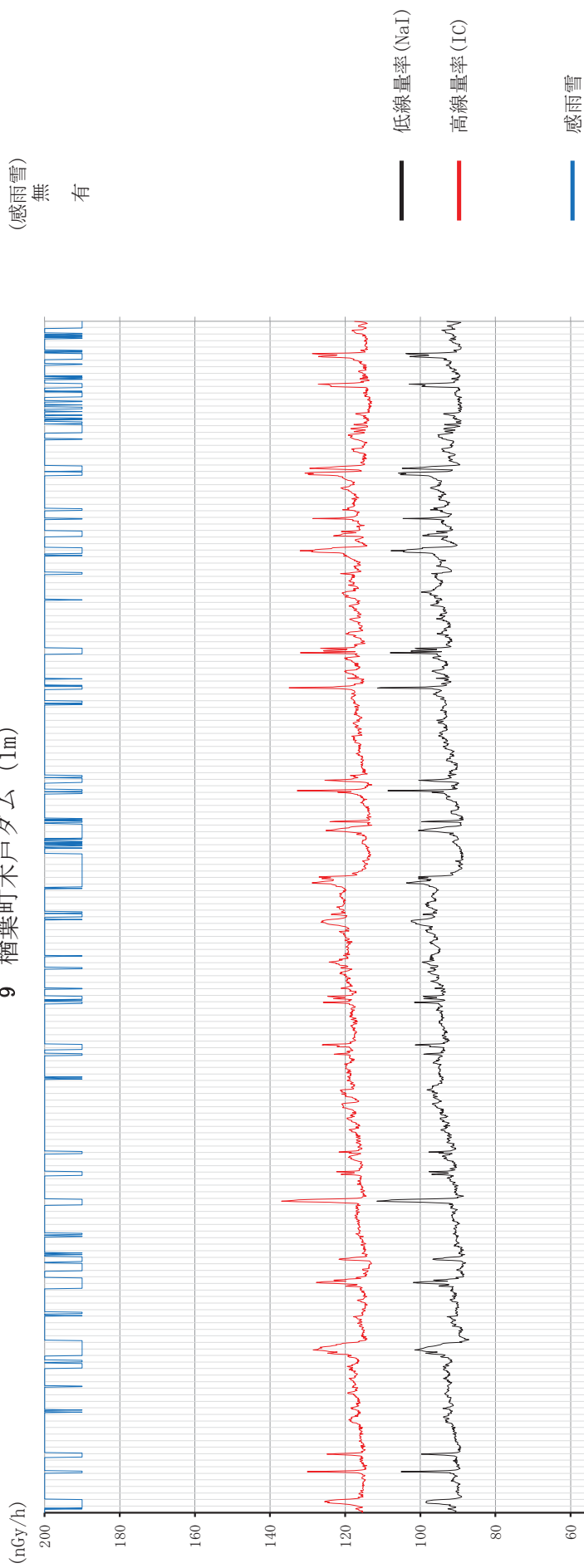
空間線量率の変動グラフ 7 広野町小滝平 (1m)



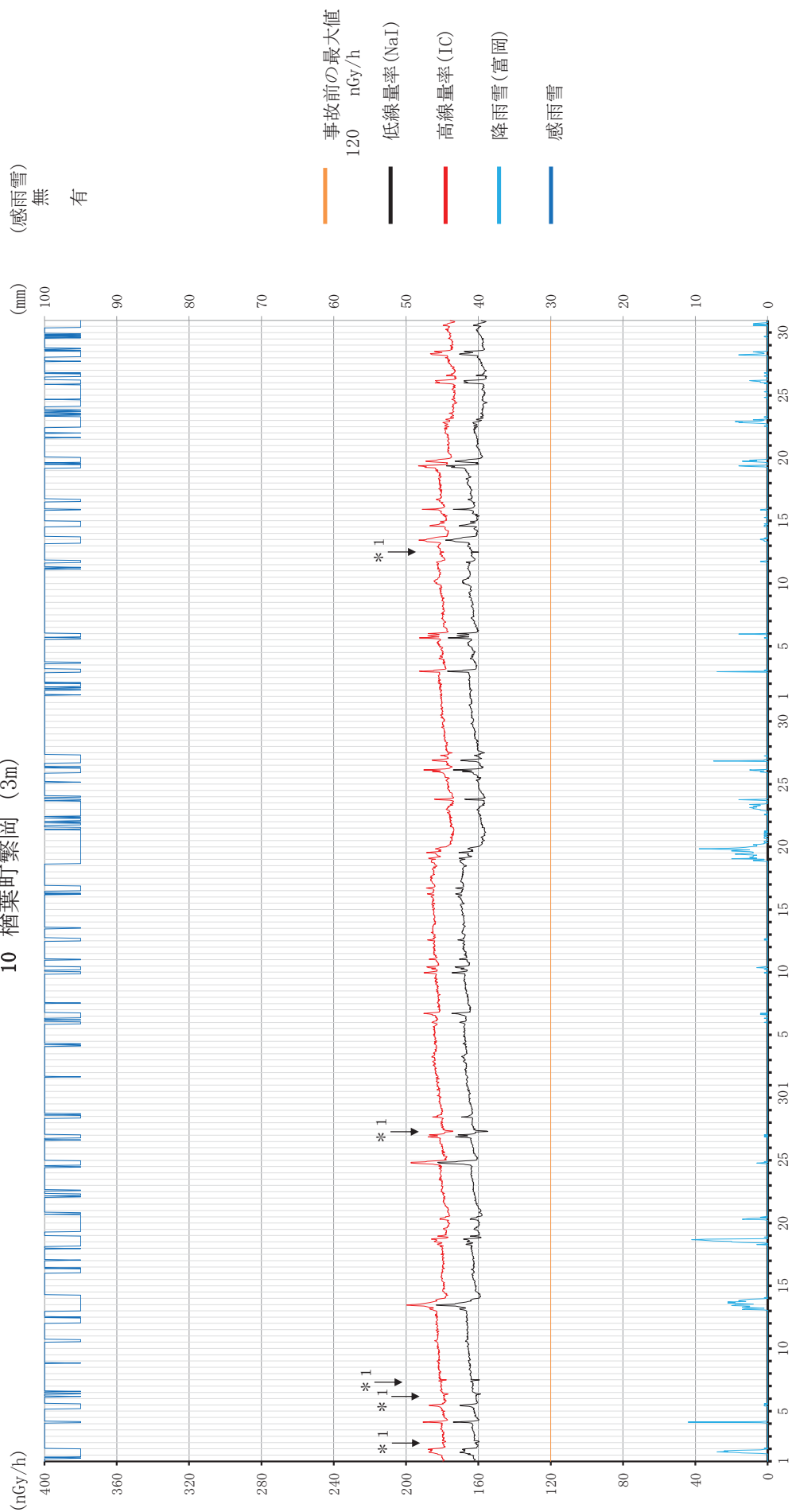
空間線量率の変動グラフ
8 榎葉町山田岡 (3m)



空間線量率の変動グラフ 9 榎葉町木戸ダム (1m)



空間線量率の変動グラフ
10 榎葉町繁岡 (3m)



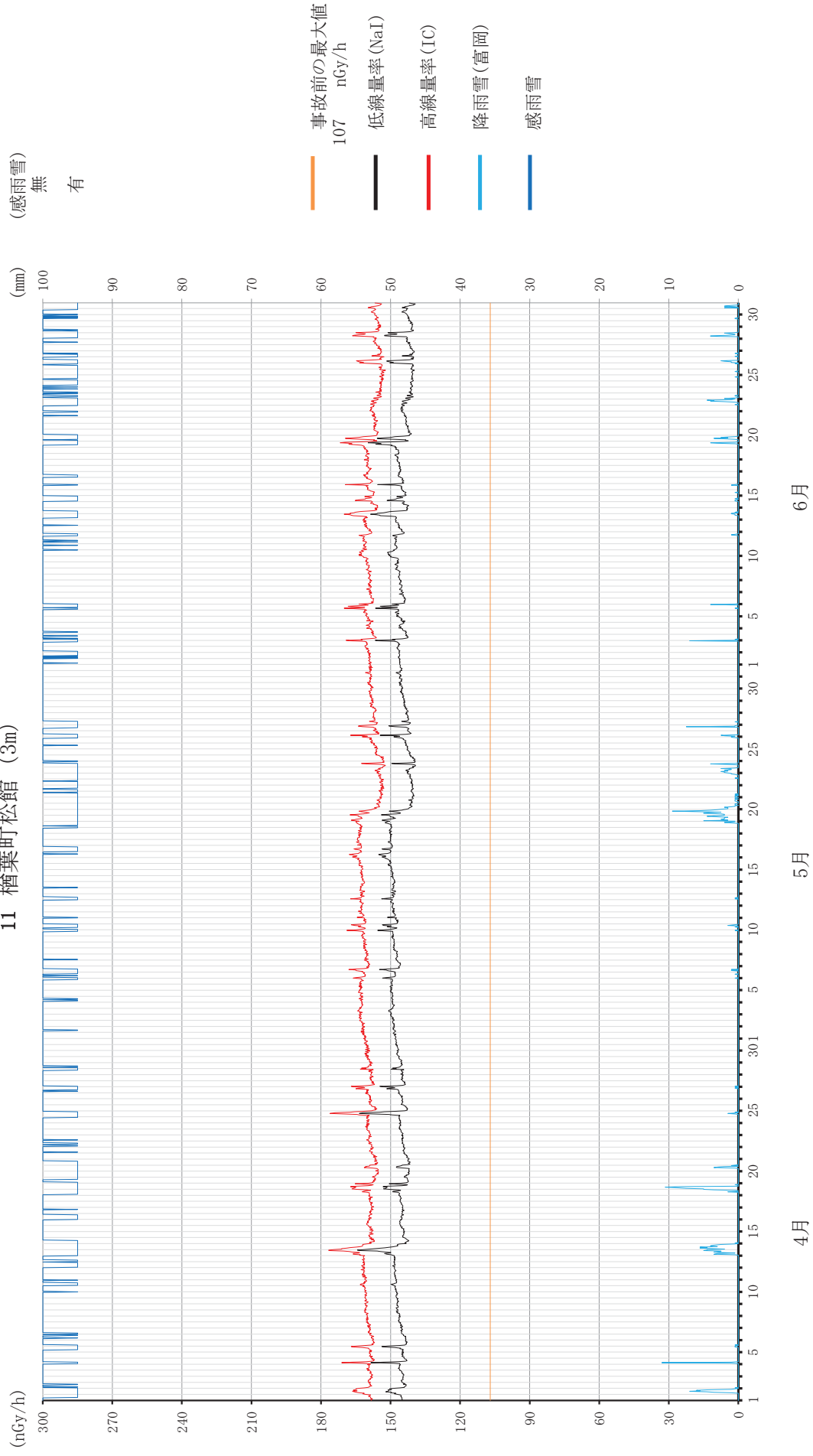
6月

5月

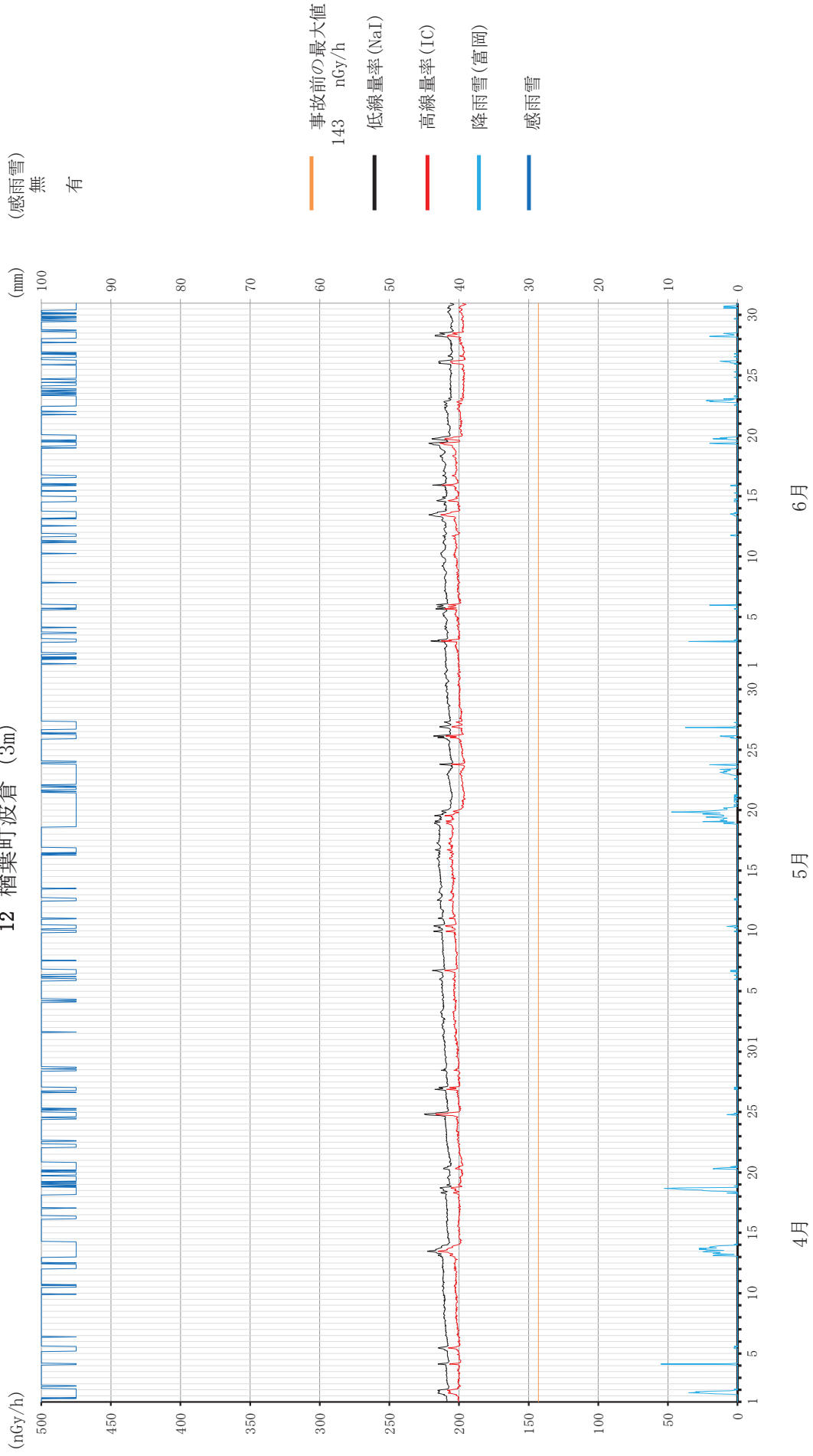
4月

*1 4月2日、6日、7日、27日、6月12日は高倉岡辺り停車車両による遮へいの影響で線量率低下

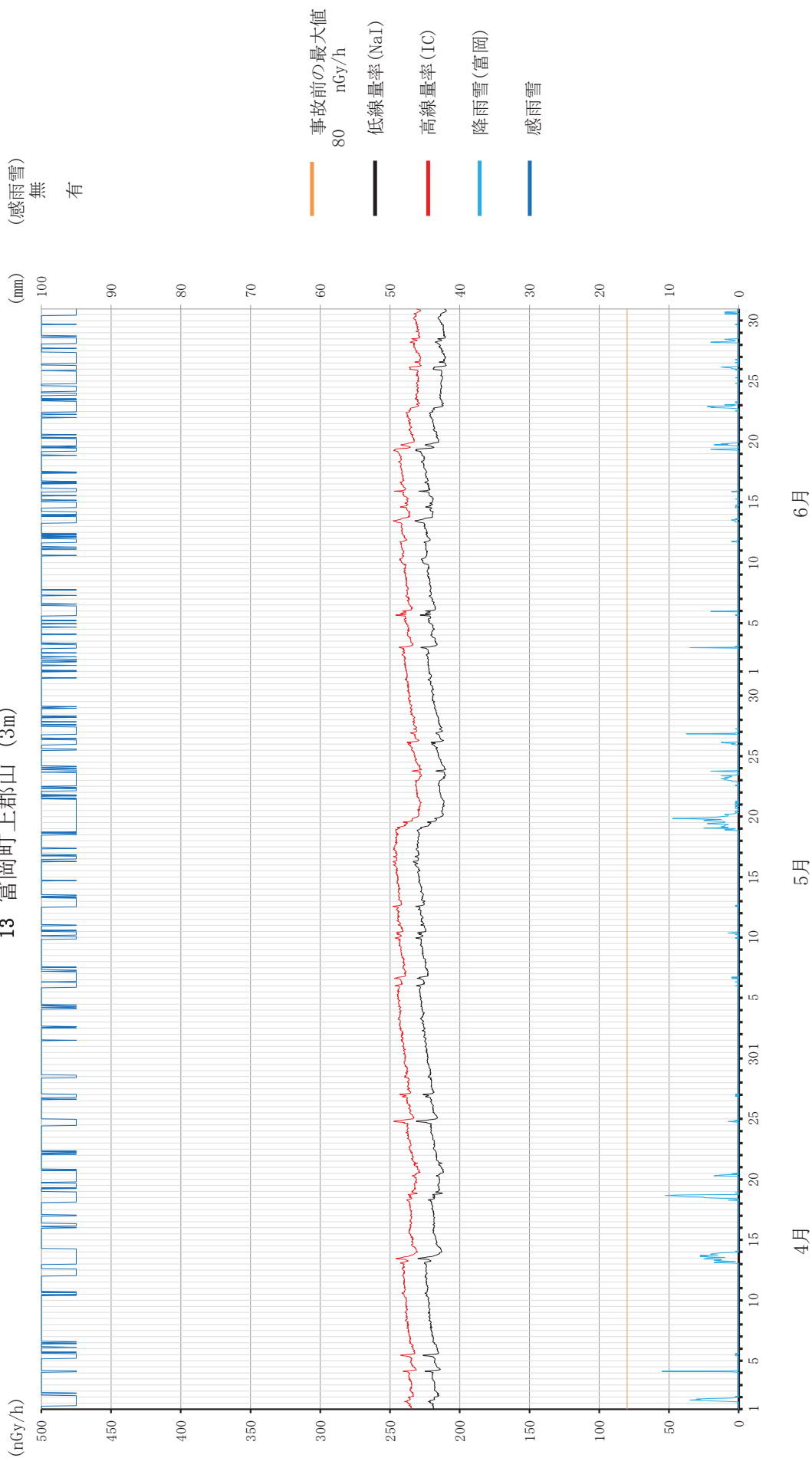
空間線量率の変動グラフ 11 榎葉町松館 (3m)



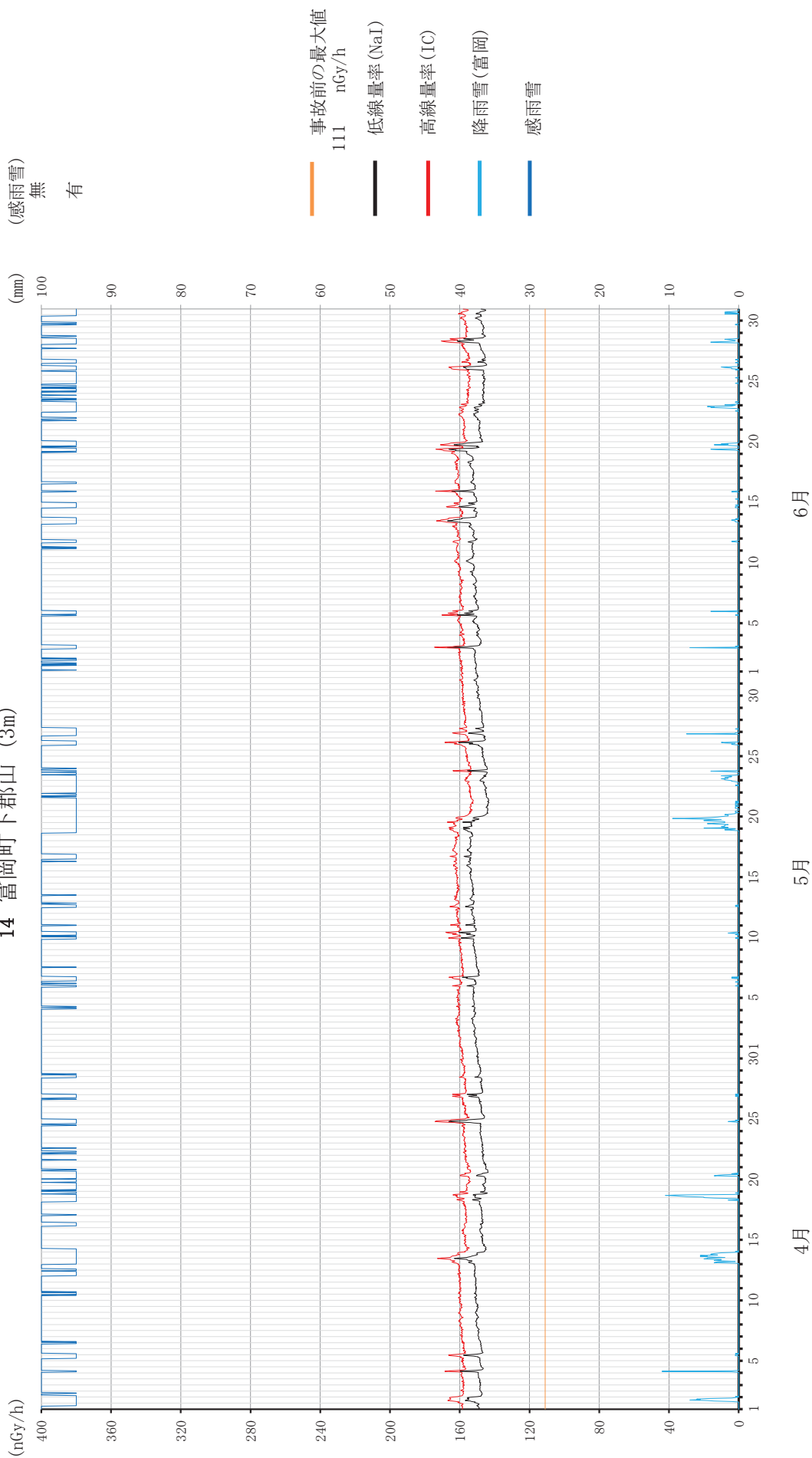
空間線量率の変動グラフ 12 榎葉町波倉 (3m)



空間線量率の変動グラフ 13 富岡町上郡山 (3m)

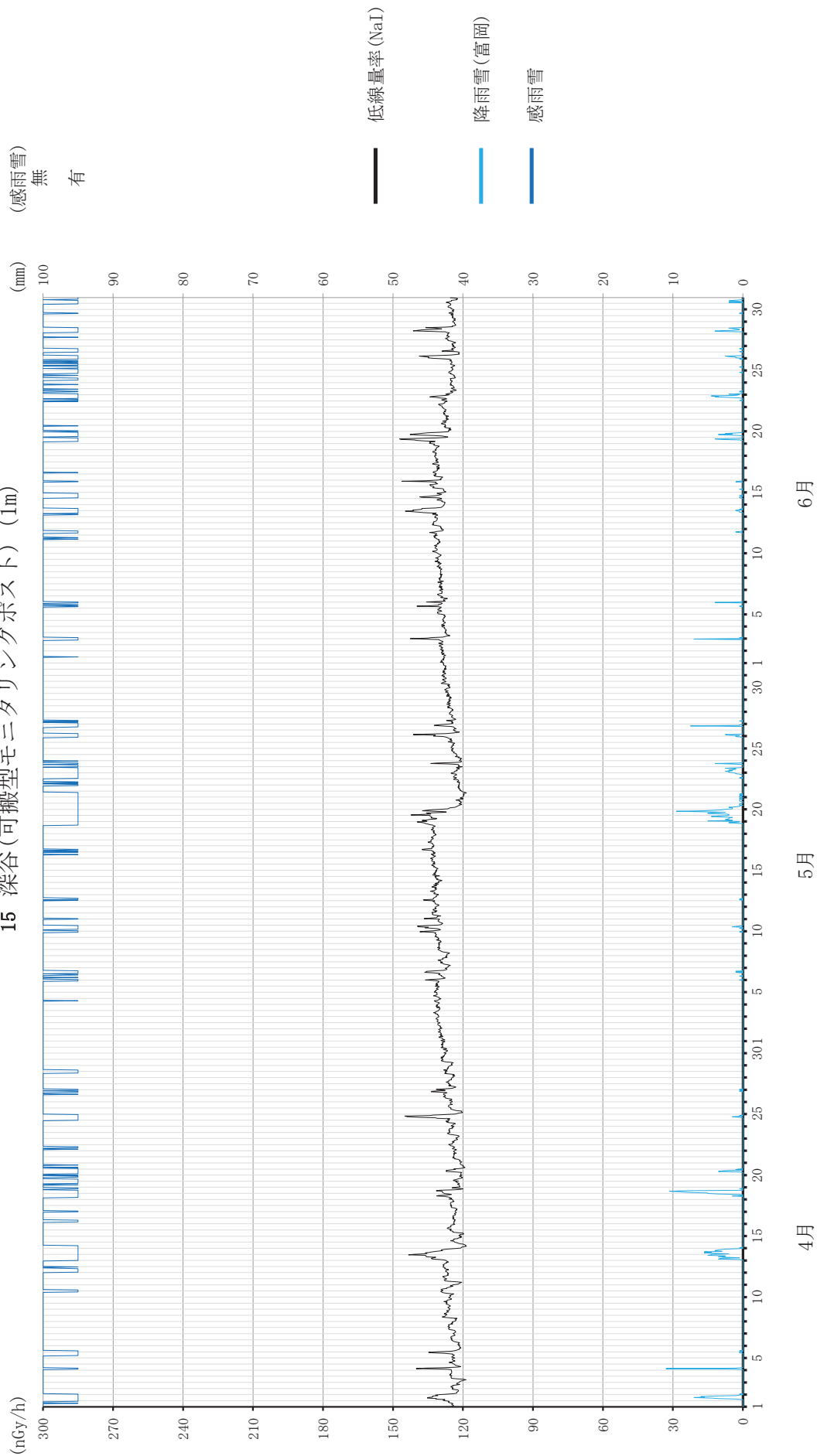


空間線量率の変動グラフ
14 富岡町下郡山 (3m)

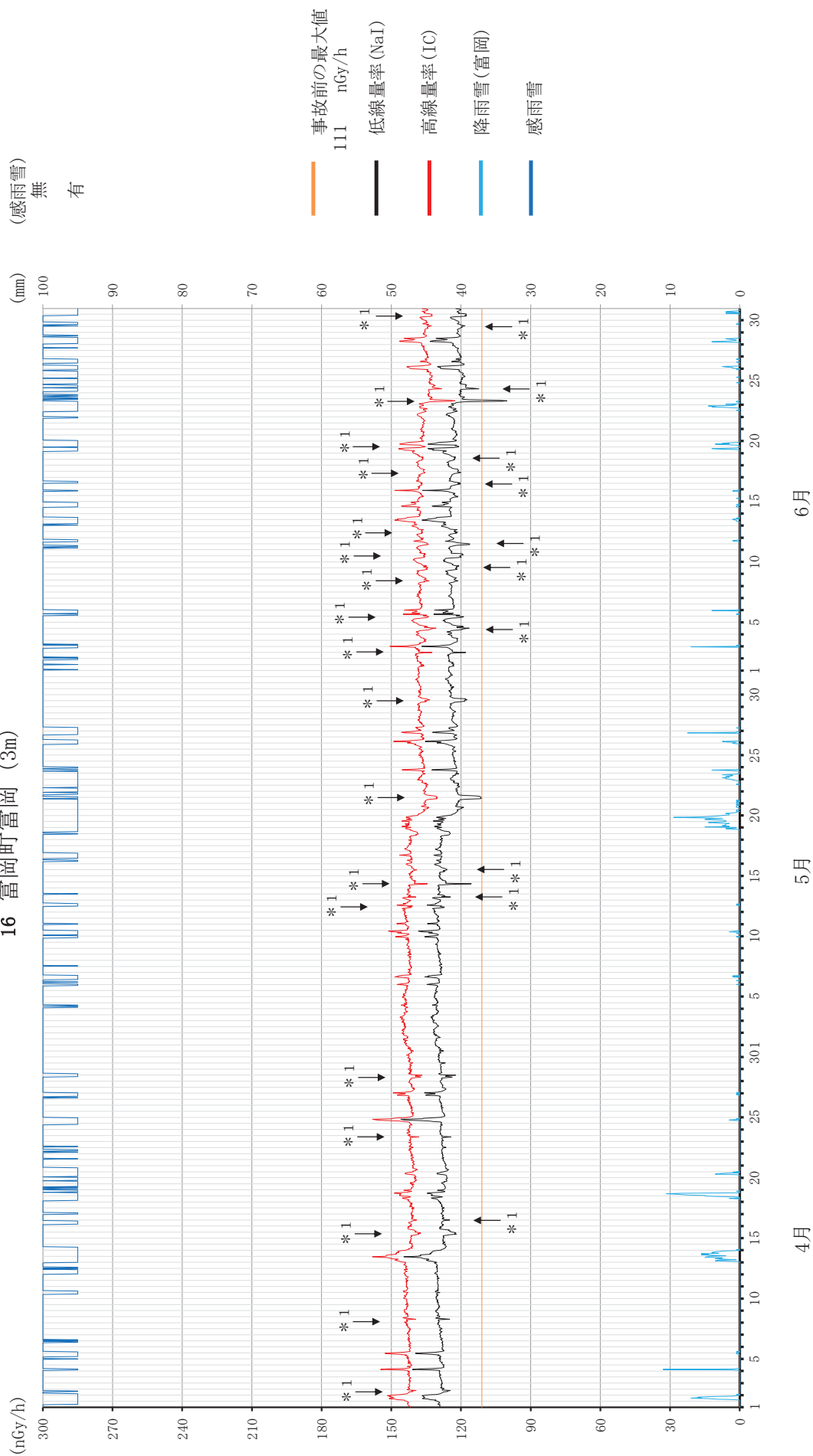


空間線量率の変動グラフ

15 深谷(可搬型モニタリングポスト) (1m)

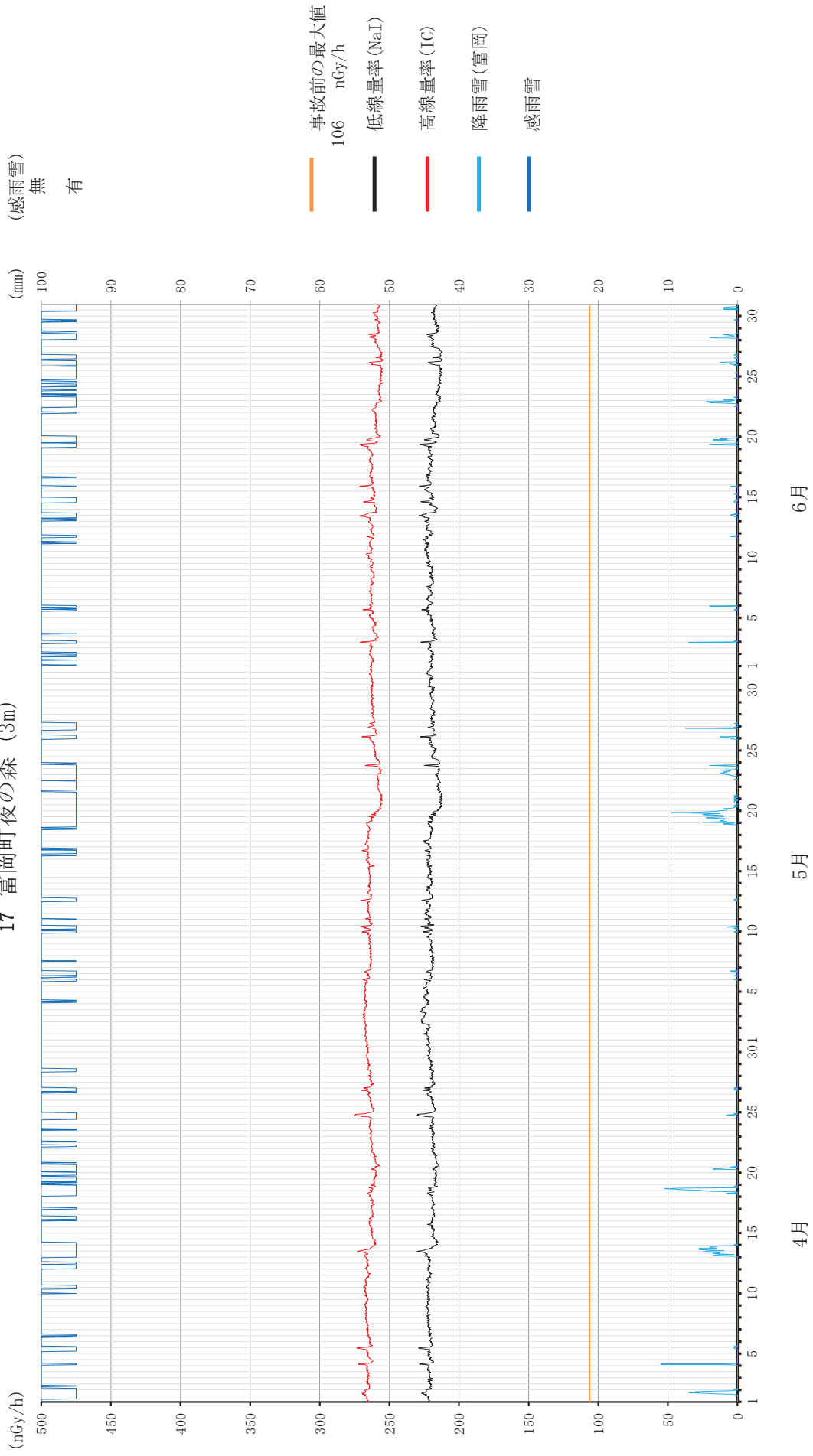


空間線量率の変動グラフ
16 富岡町富岡 (3m)

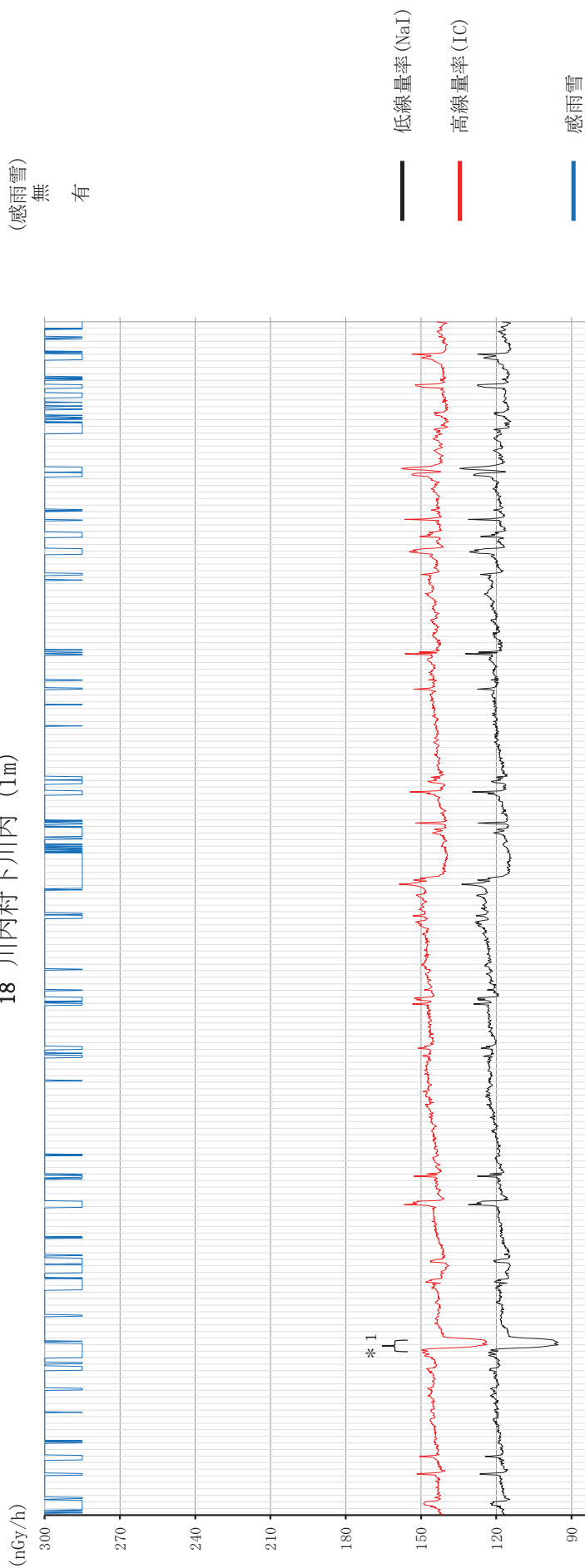


4月 5月 6月
*1 局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下

空間線量率の変動グラフ 17 富岡町夜の森 (3m)

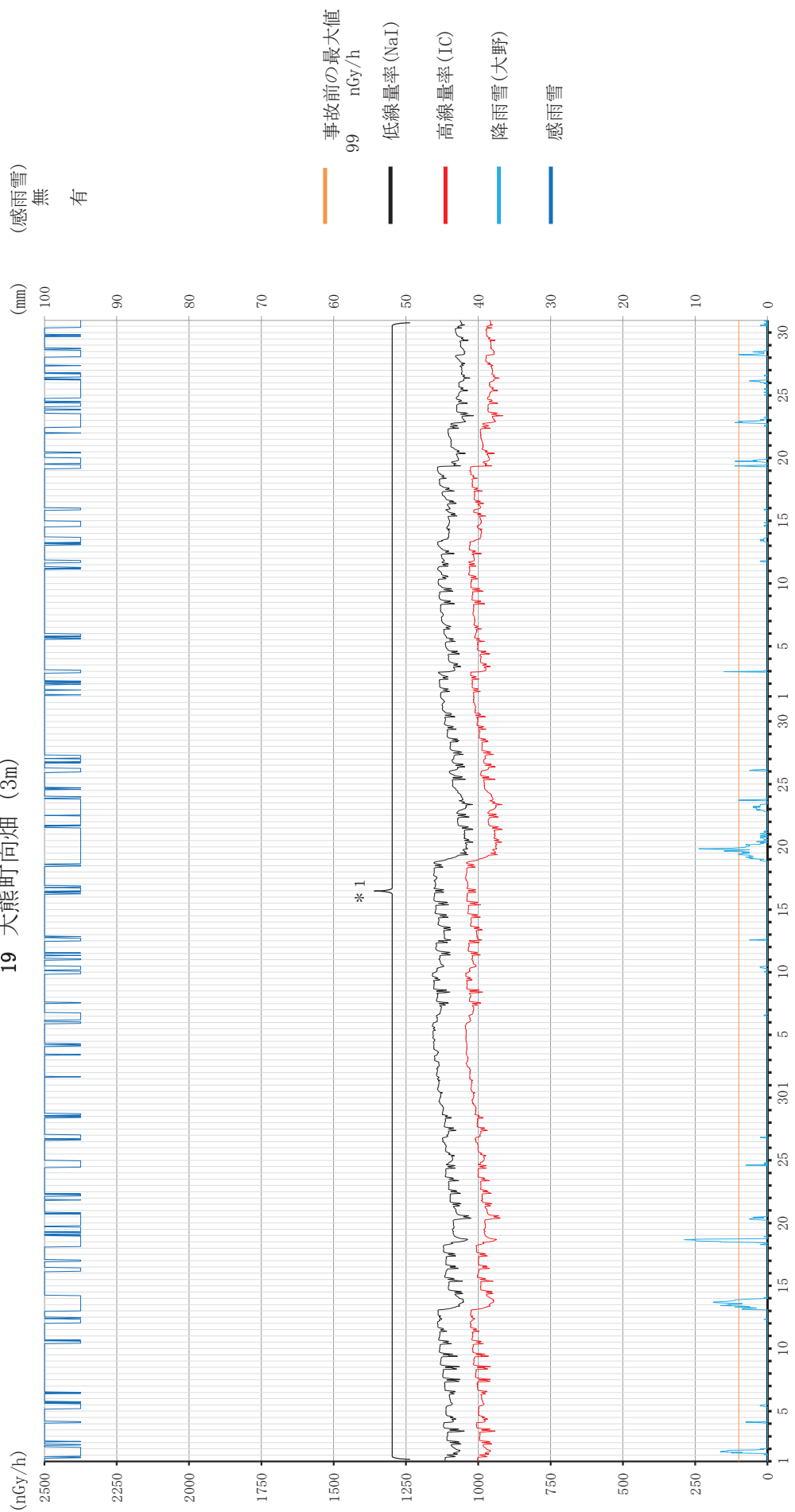


空間線量率の変動グラフ
18 川内村下川内 (1m)



* 1 積雪のため線量率低下

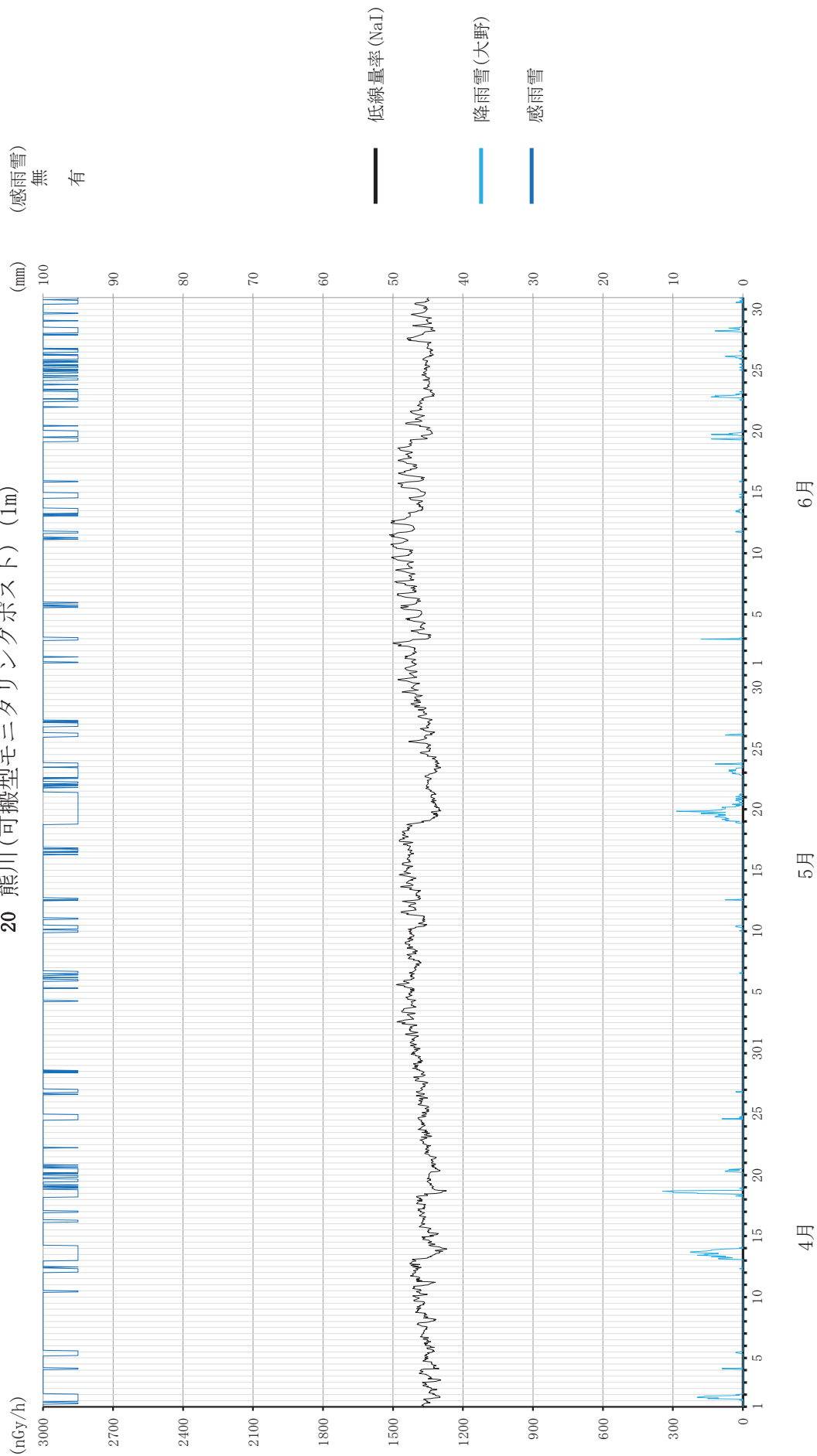
空間線量率の変動グラフ
19 大熊町向畑 (3m)



4月 5月 6月
*1 局舎付近に帰還困難区域入退域ゲートがあり、朝夕の渋滞時の車両の遮へい効果により、1～6%程度の線量率低下が発生

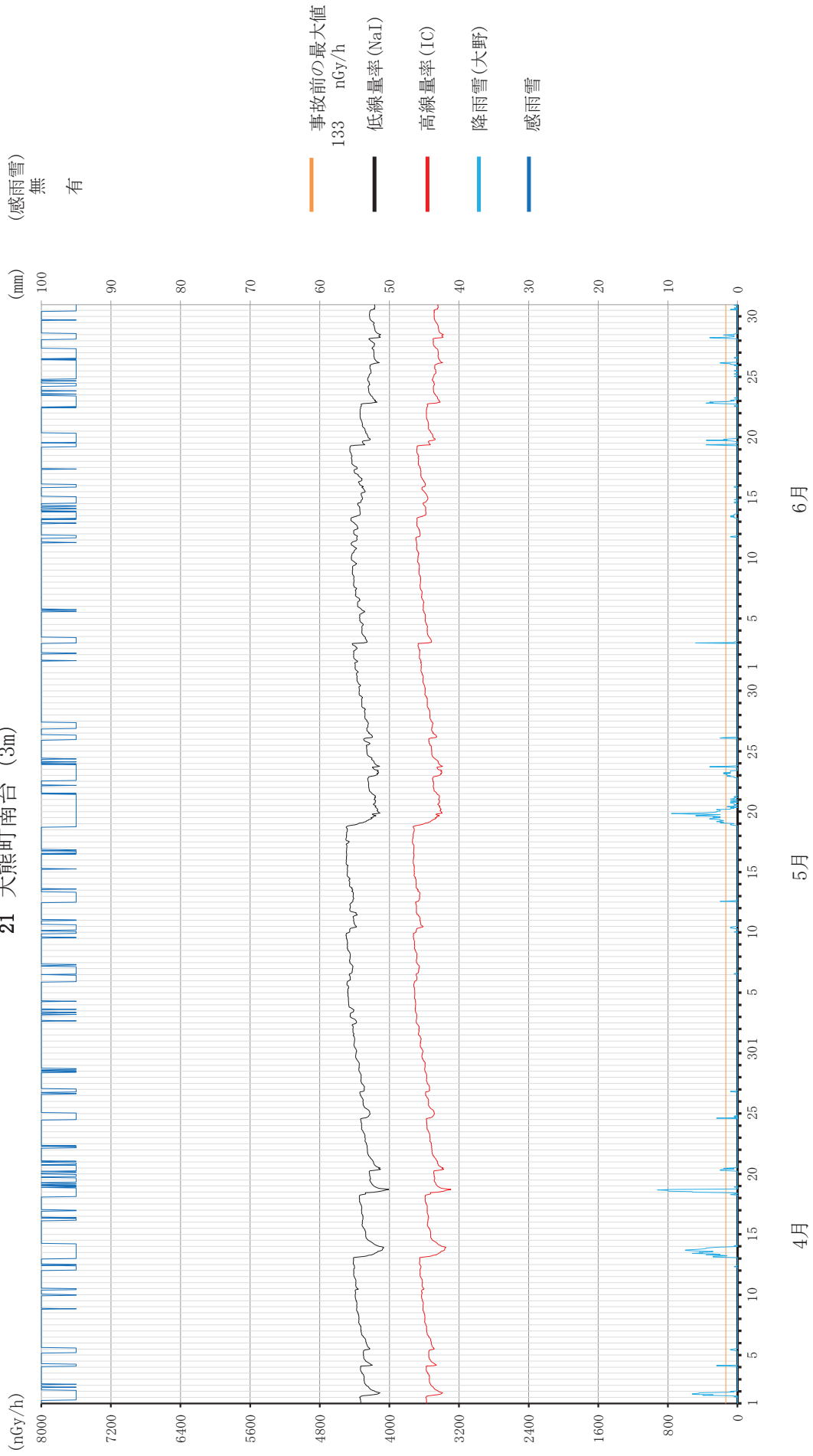
空間線量率の変動グラフ

20 熊川(可搬型モニタリングポスト) (1m)

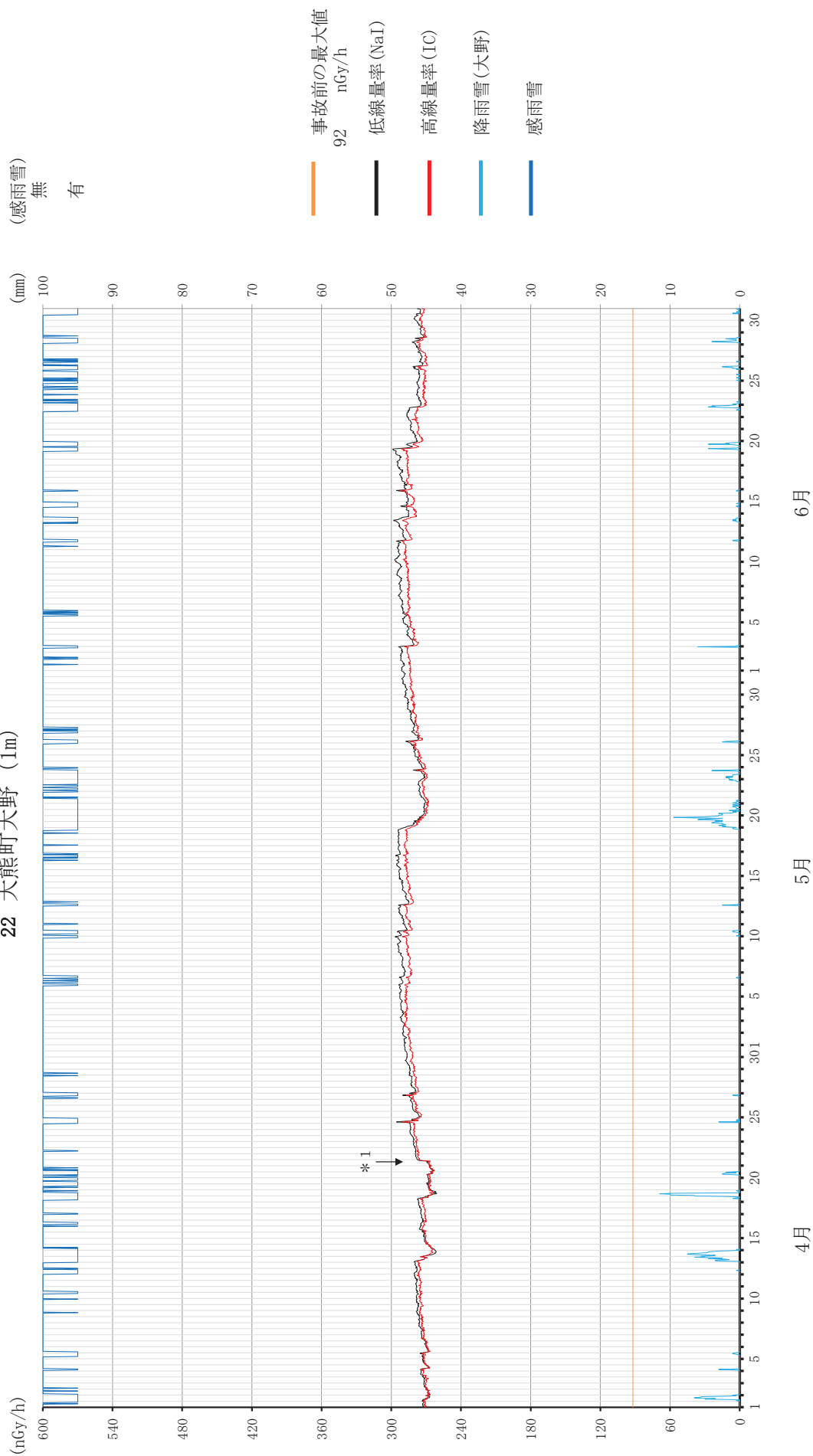


空間線量率の変動グラフ

21 大熊町南台 (3m)



空間線量率の変動グラフ
22 大熊町大野 (1m)



4月

5月

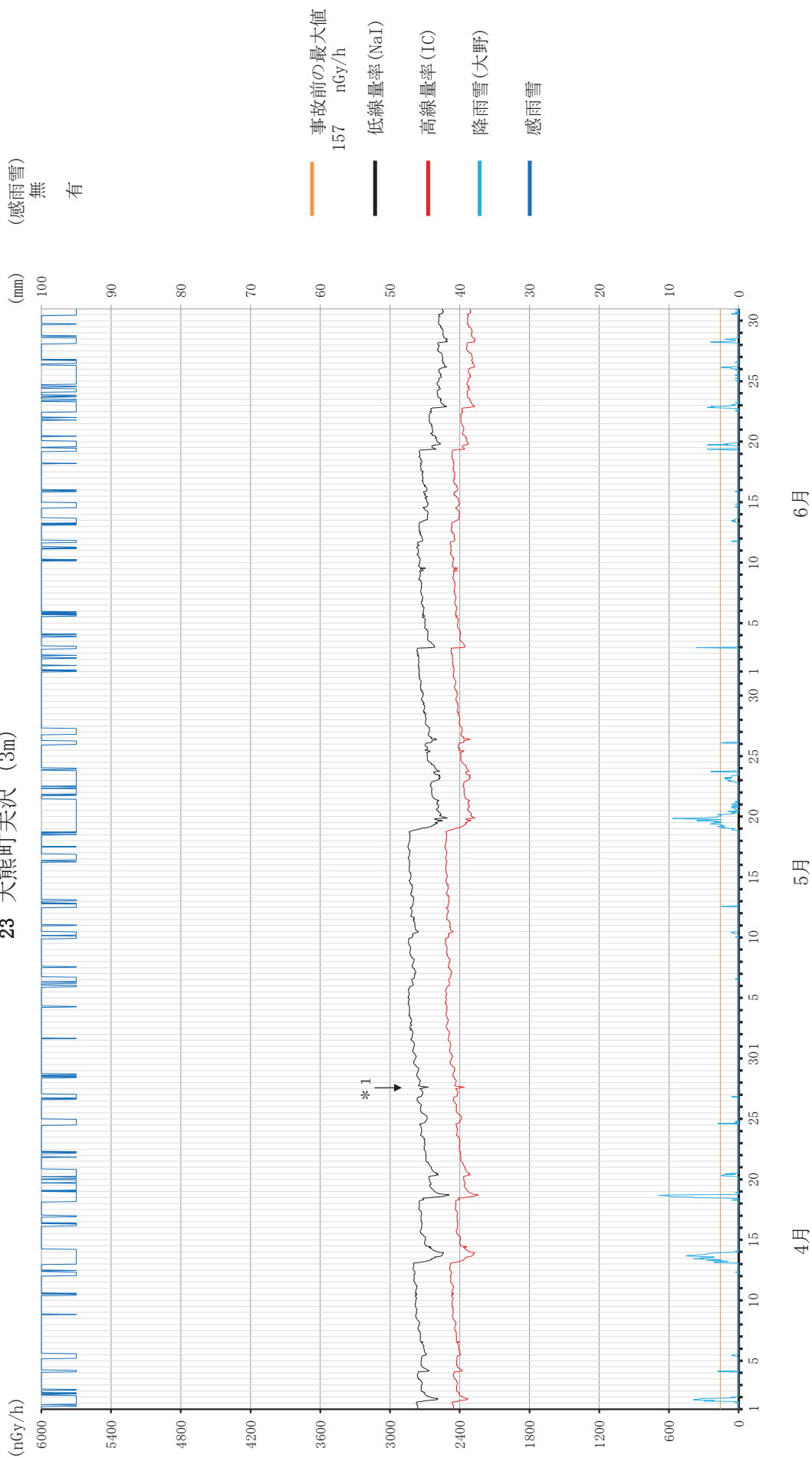
6月

測定地点を、福島県旧原子力センターから大熊町旧役場庁舎に今年度から変更した。

* 1 4月21日以降、局舎近くで遮へい物となったプレハブ建屋が移動した影響でベースラインが上昇

空間線量率の変動グラフ

23 大熊町夫沢 (3m)



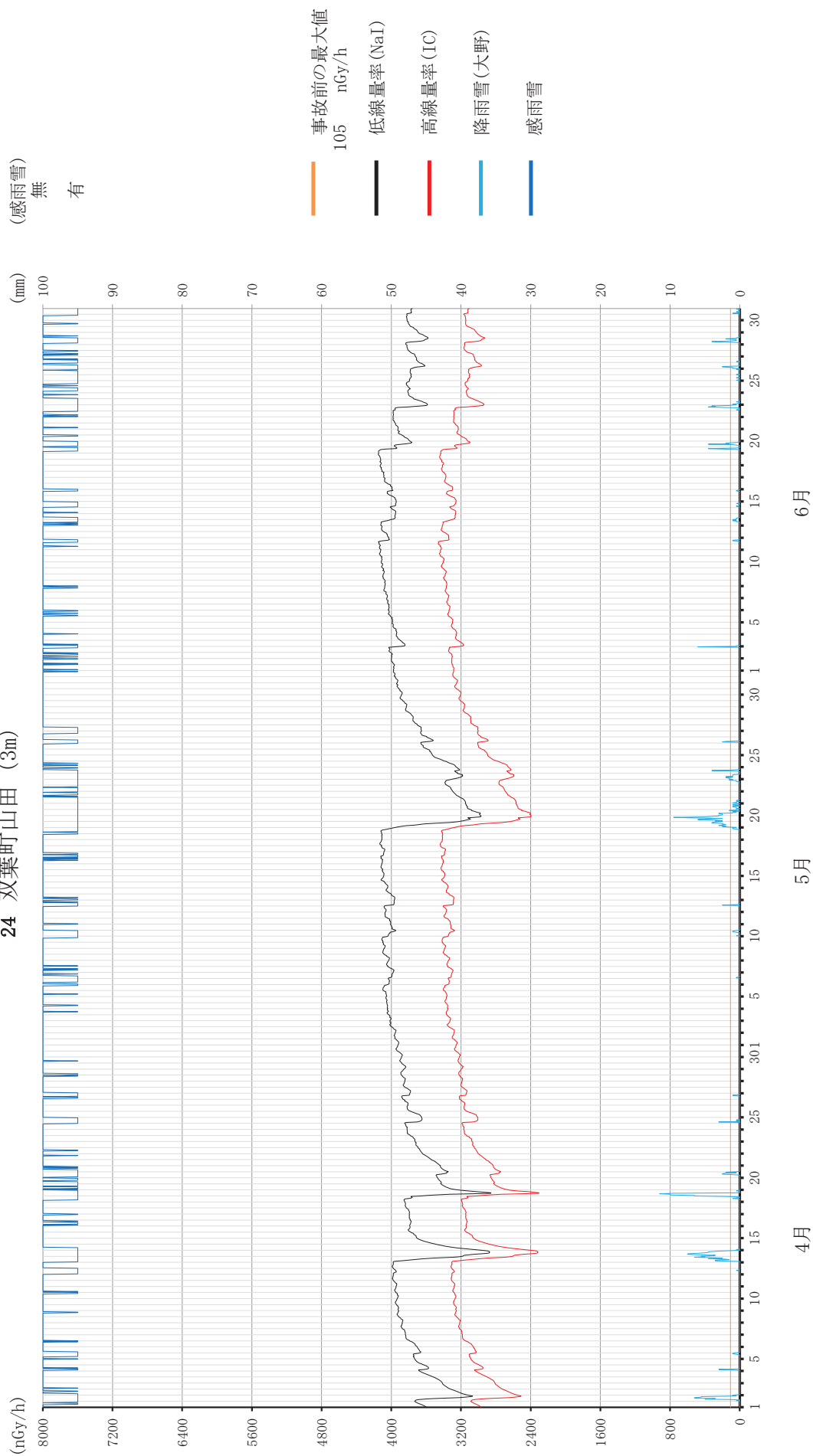
4月

5月

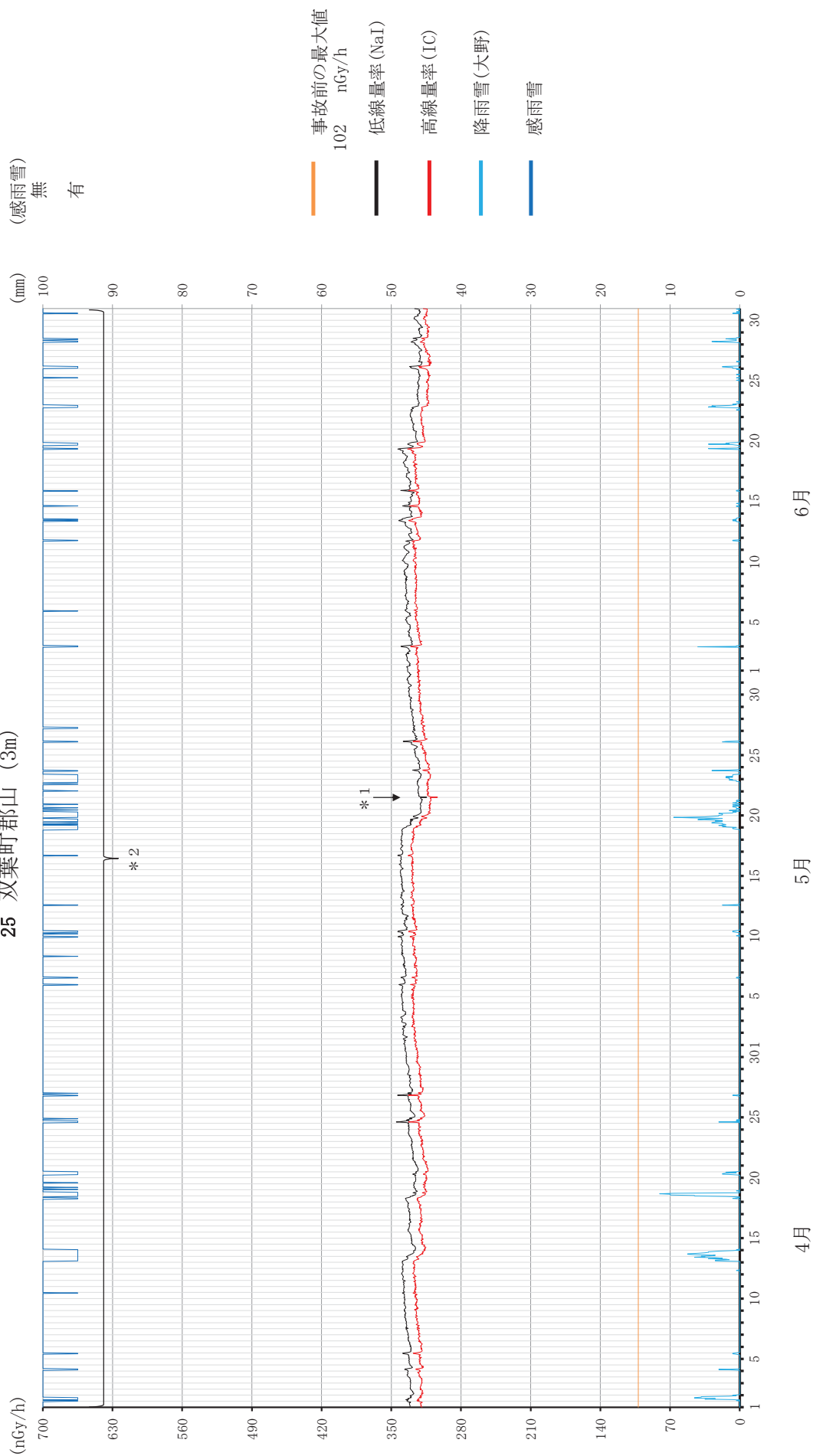
6月

* 1 4月27日は局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下

空間線量率の変動グラフ 24 双葉町山田 (3m)



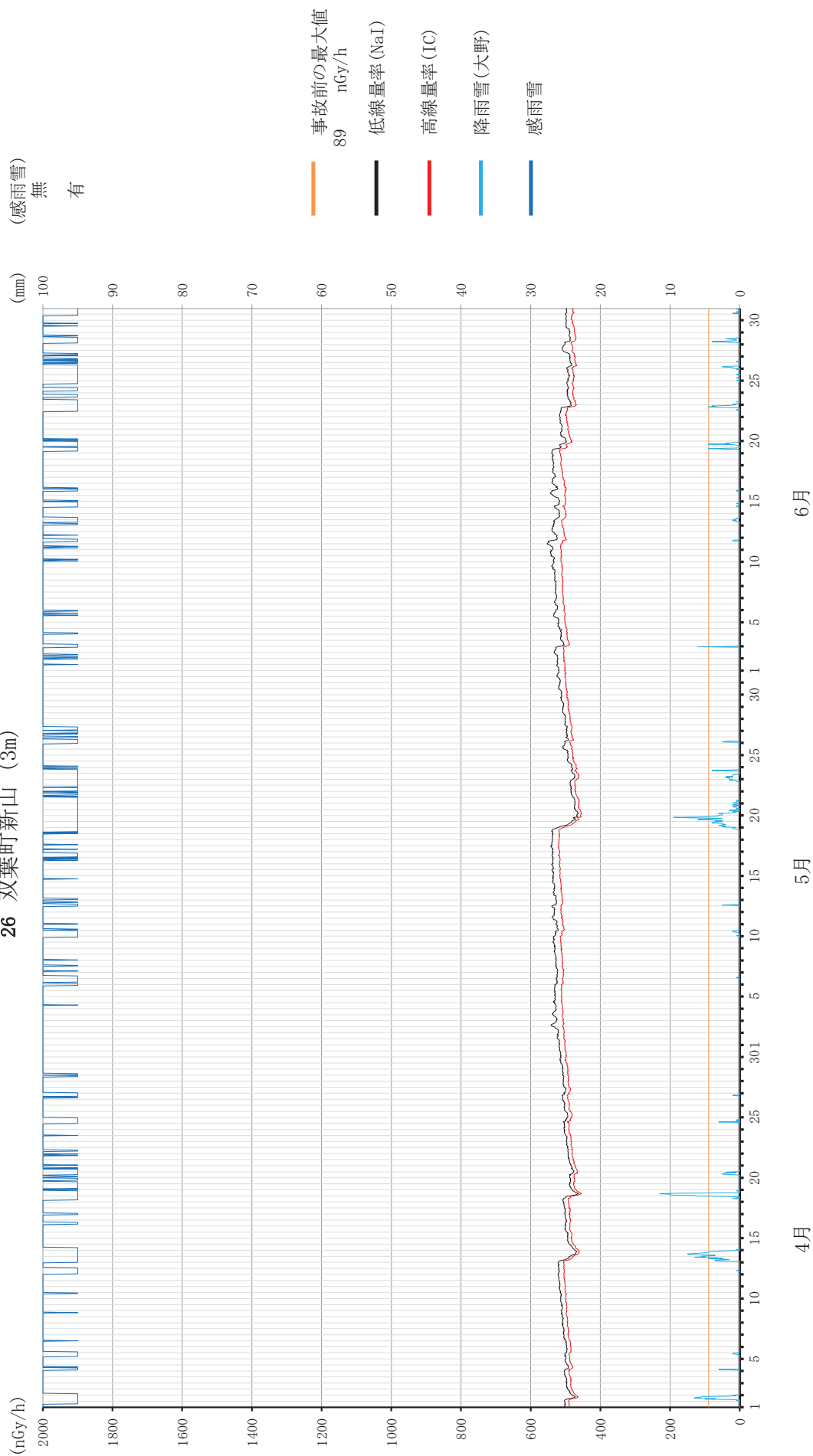
空間線量率の変動グラフ
25 双葉町郡山 (3m)



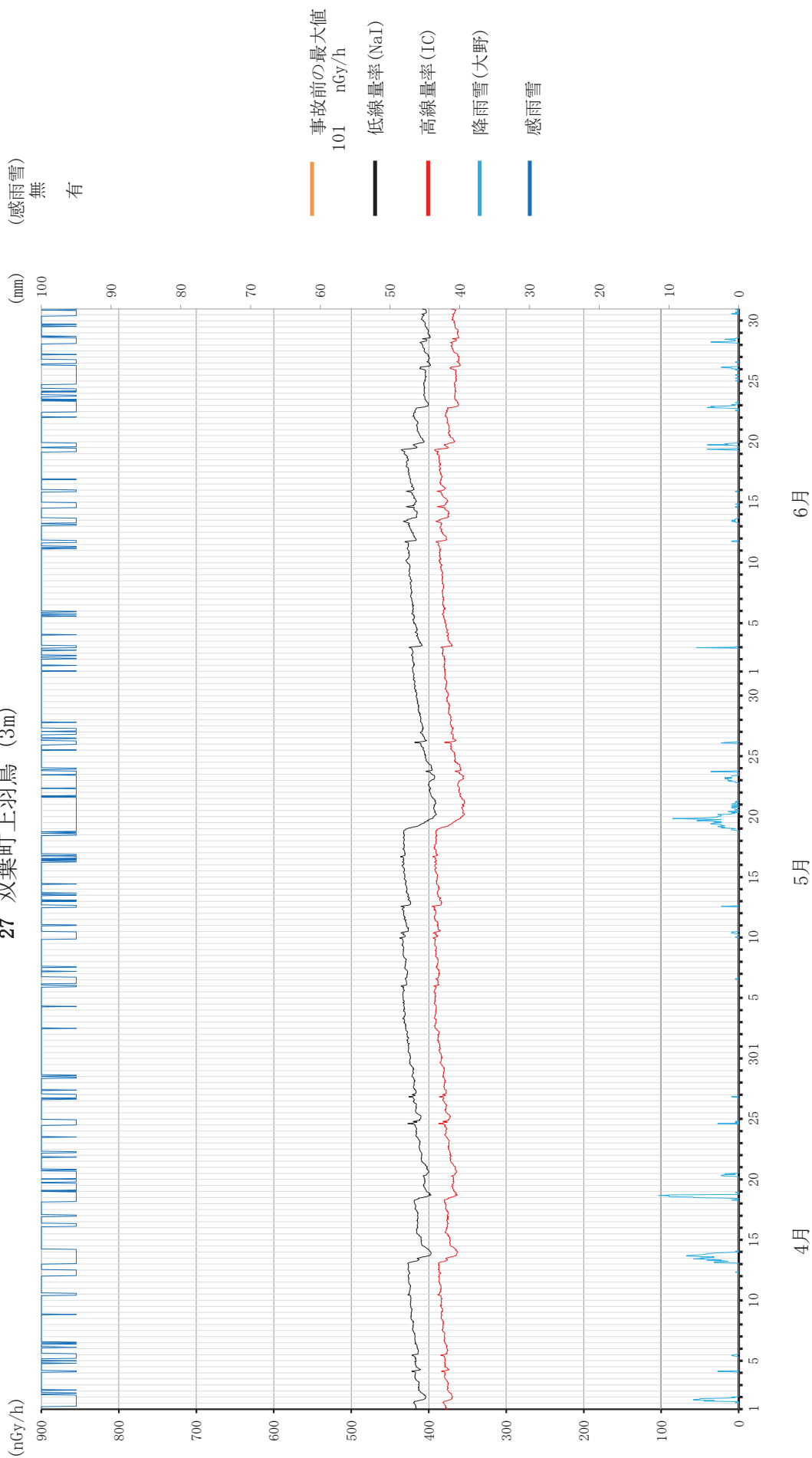
4月 5月 6月

* 1 5月21日は局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下
* 2 感雨雪計の感度が低下(4月1日～6月30日)していることから、参考として記載

空間線量率の変動グラフ 26 双葉町新山 (3m)

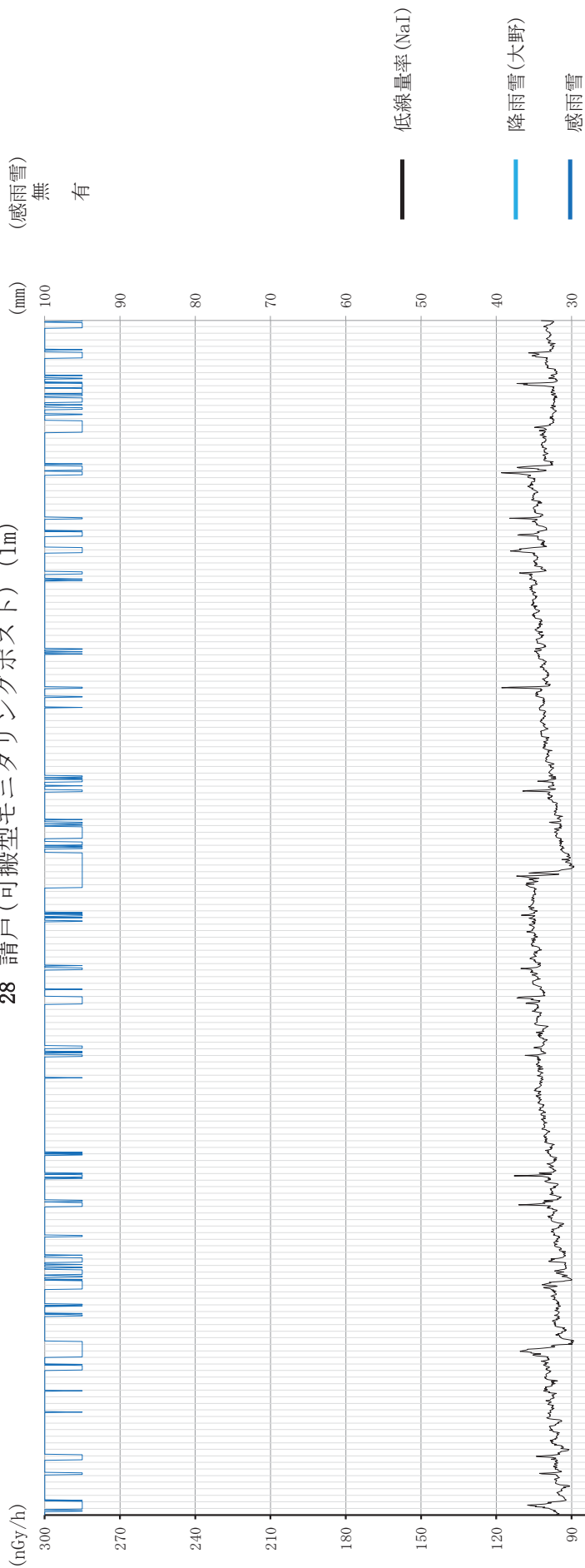


空間線量率の変動グラフ 27 双葉町上羽鳥 (3m)



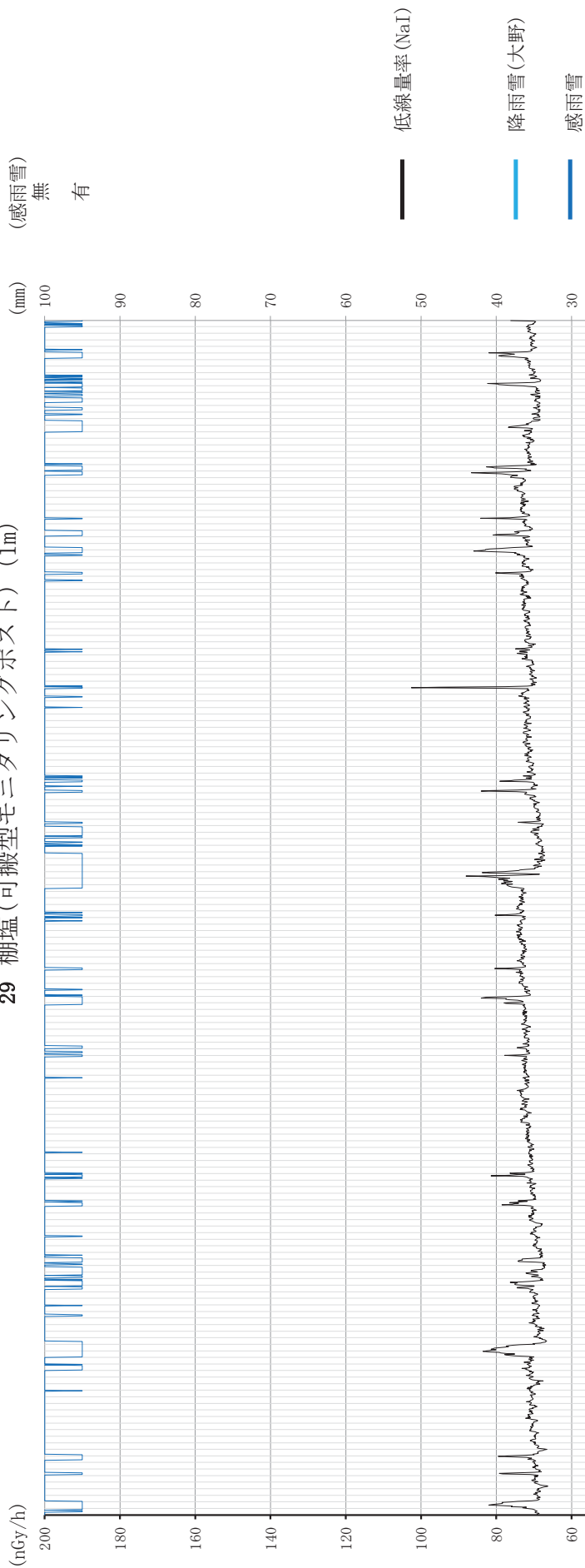
空間線量率の変動グラフ

28 請戸(可搬型モニタリングポスト) (1m)



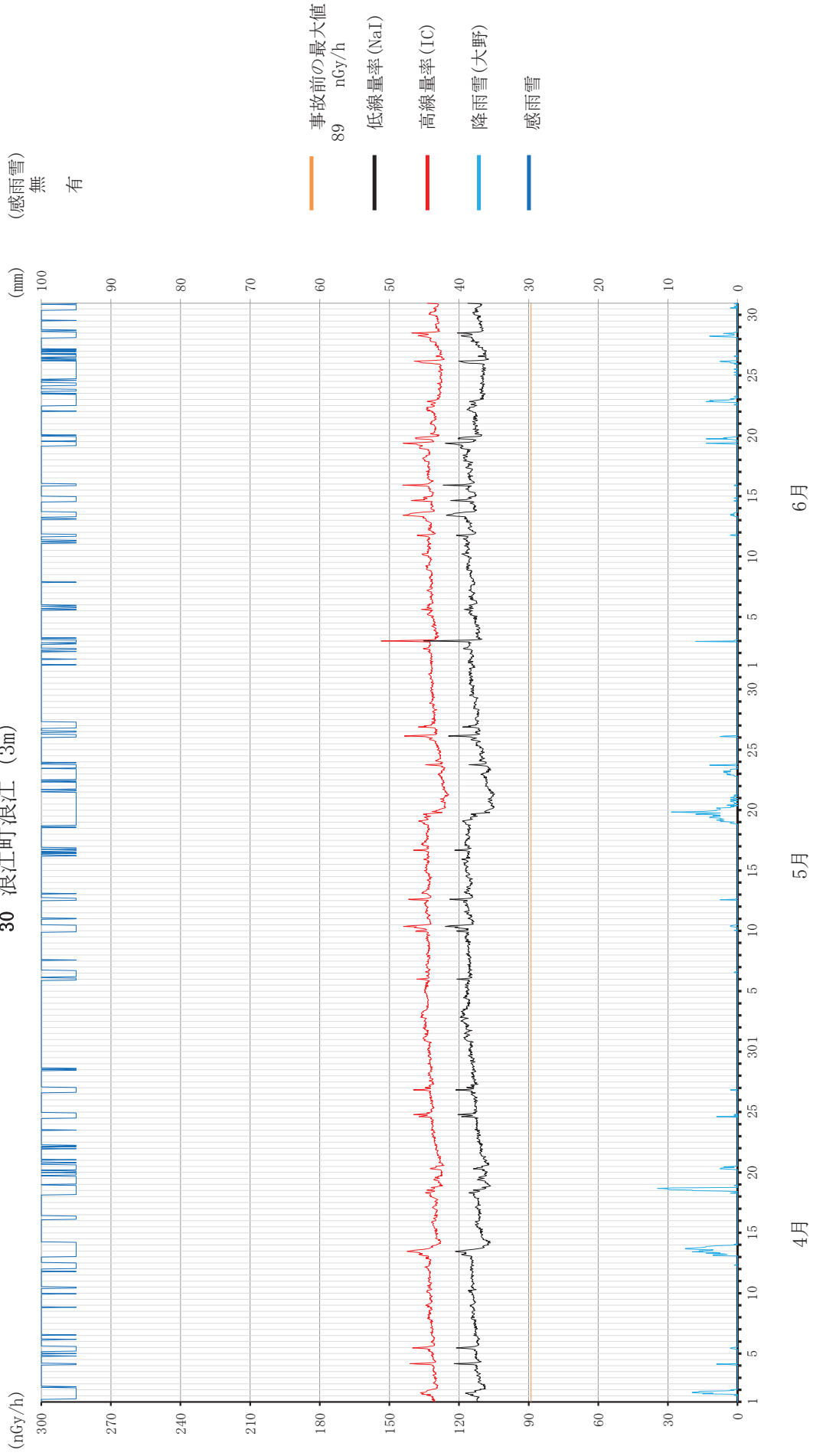
空間線量率の変動グラフ

29 棚塩(可搬型モニタリングポスト) (1m)

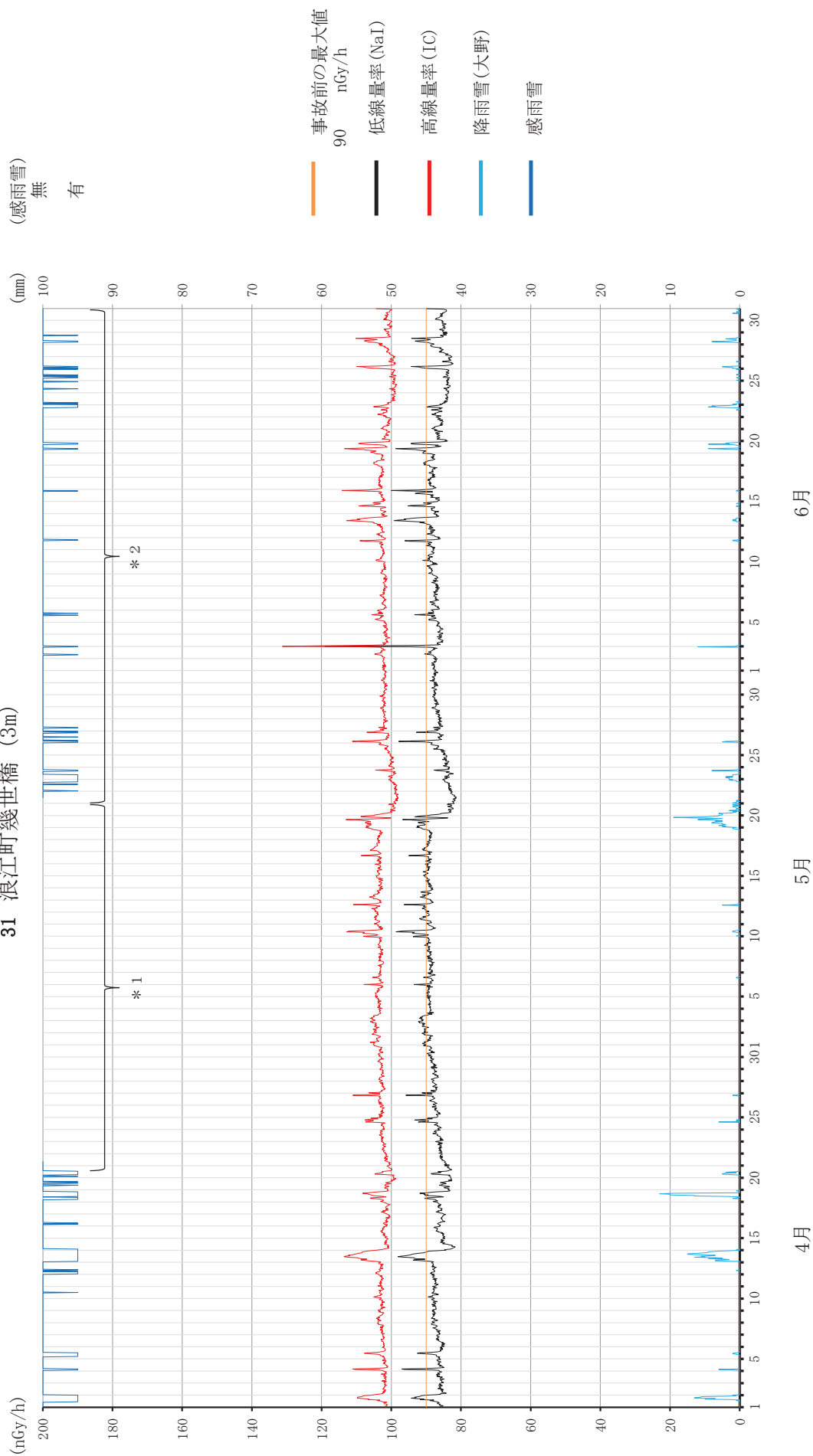


空間線量率の変動グラフ

30 浪江町浪江 (3m)



空間線量率の変動グラフ
31 浪江町幾世橋 (3m)



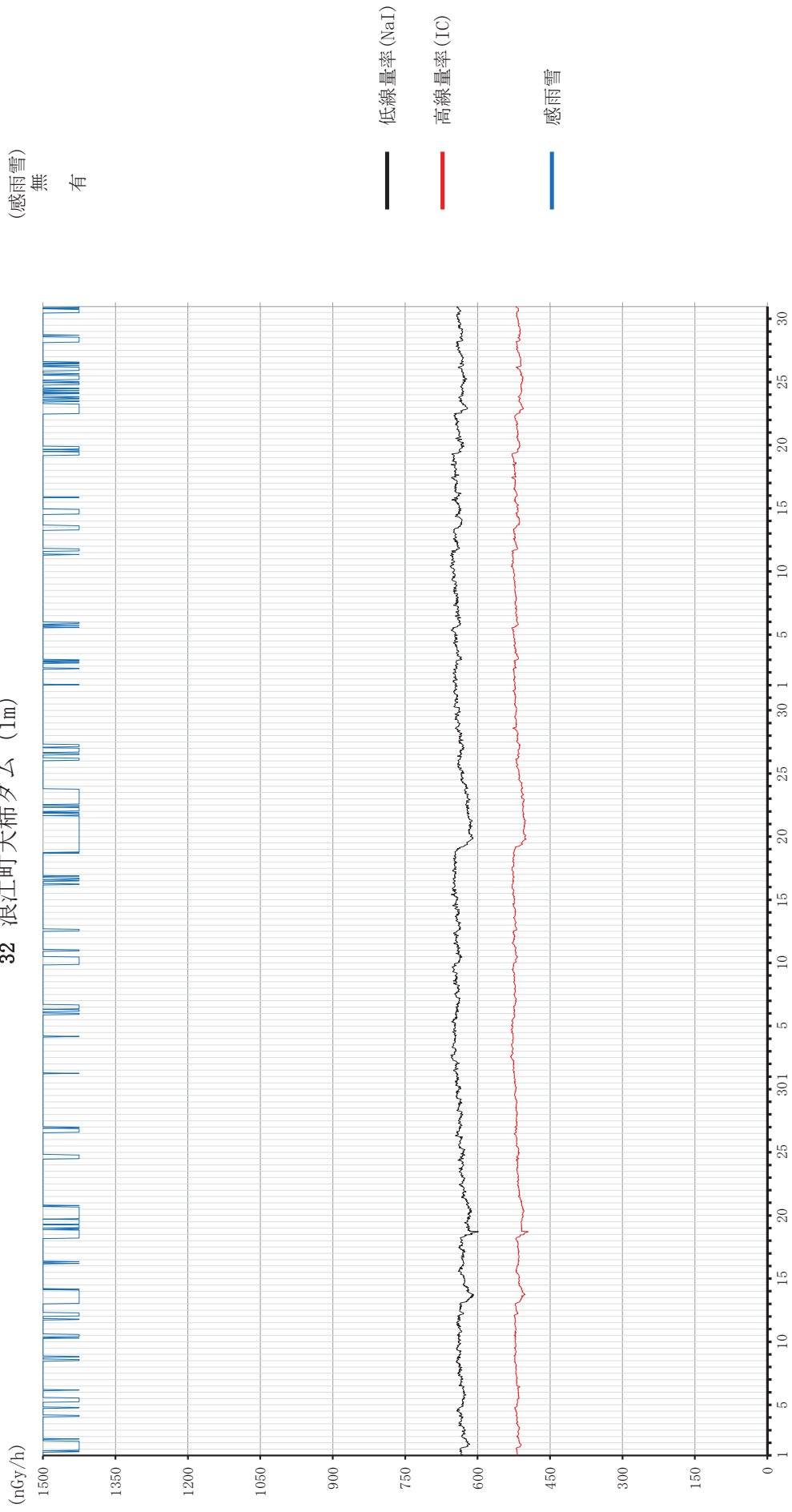
4月

5月

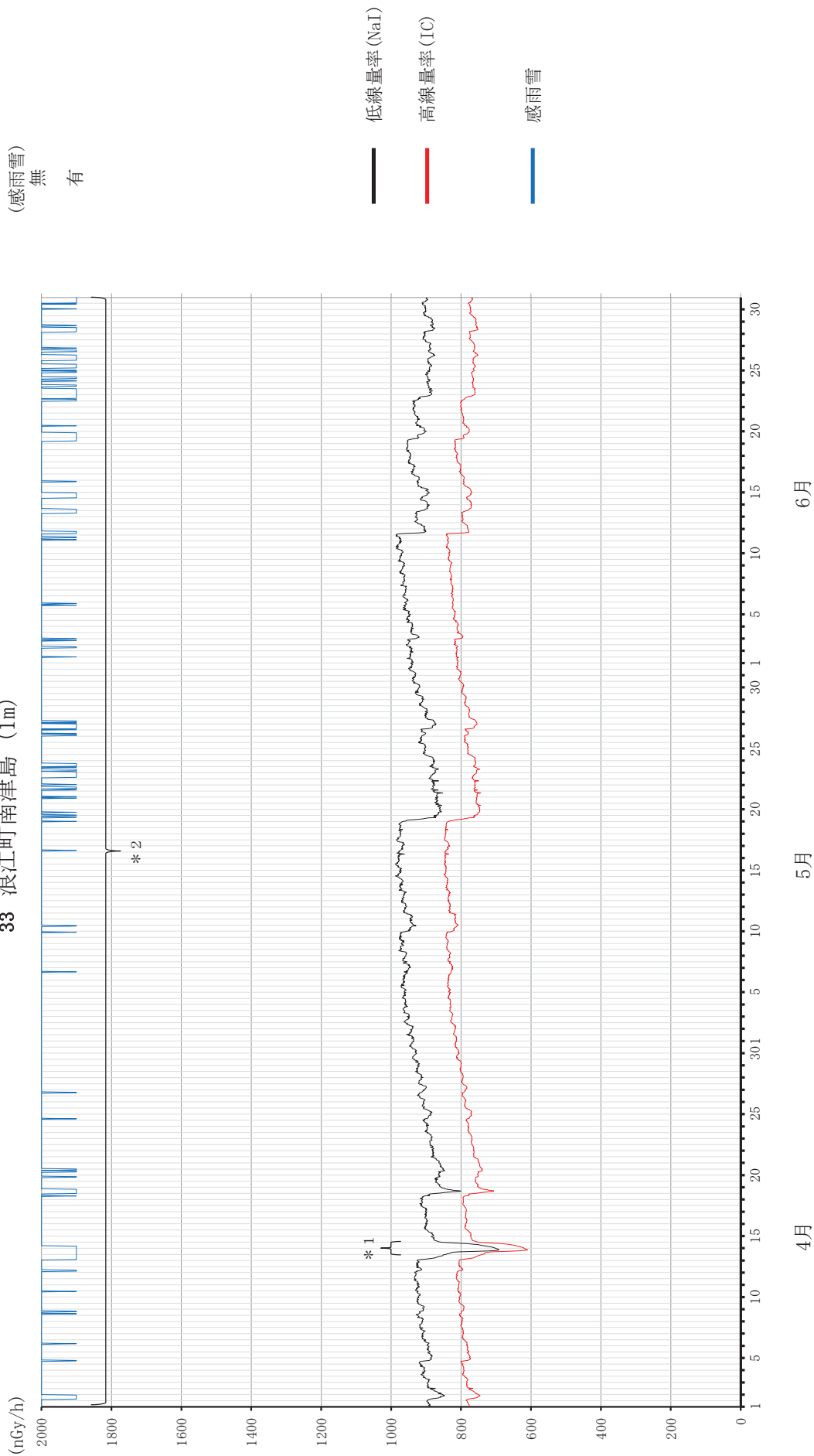
6月

* 1 感雨雪計故障 (4月21日～5月21日) のため欠測
* 2 感雨雪計の感度が低下 (5月22日～6月30日) していることから、参考として記載

空間線量率の変動グラフ 32 浪江町大柿ダム (1m)



空間線量率の変動グラフ
33 浪江町南津島 (1m)

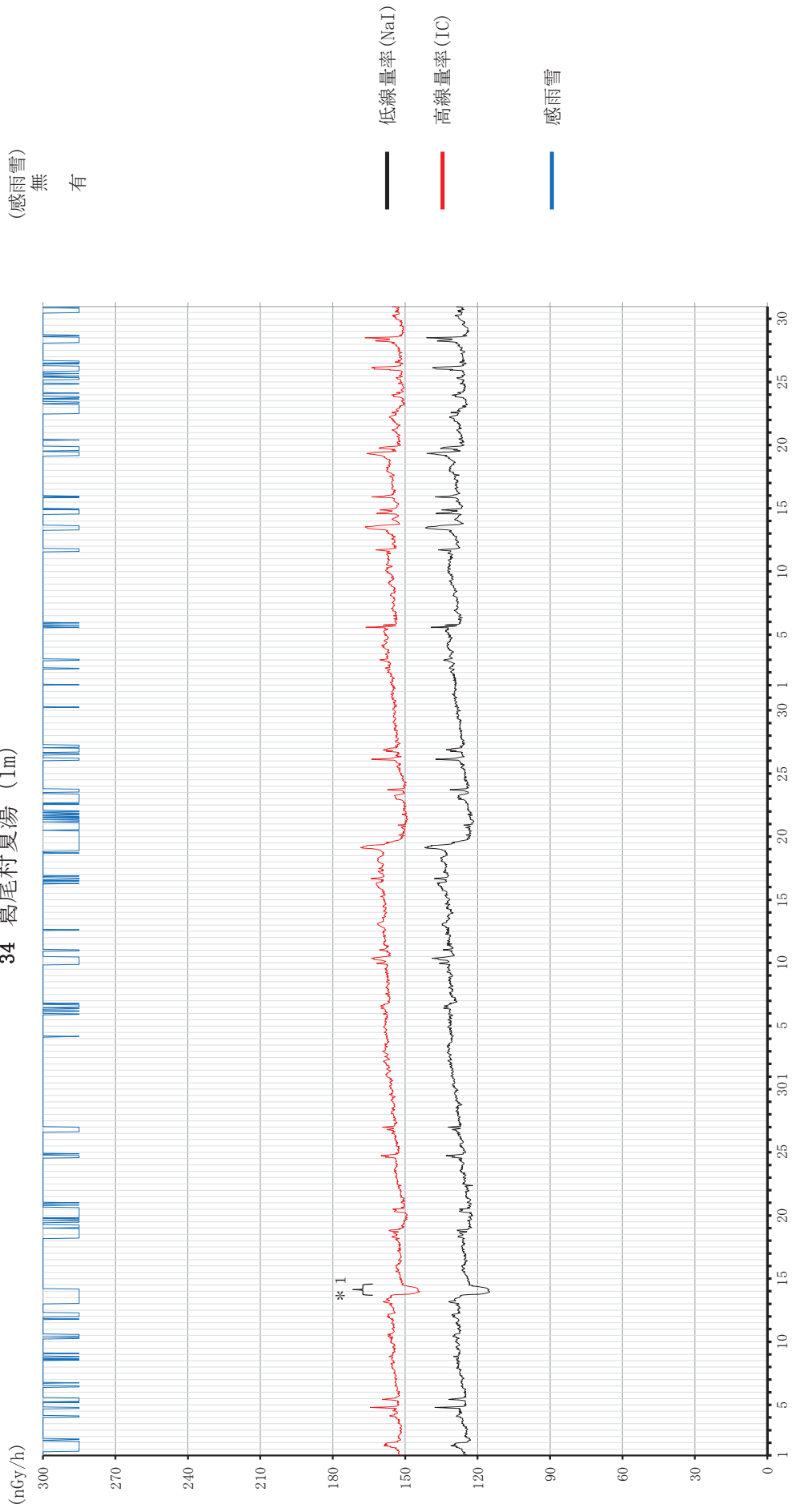


4月 5月 6月

* 1 積雪のため線量率低下
* 2 感雨雪計の感度が低下 (4月1日～6月30日) していることから、参考として記載

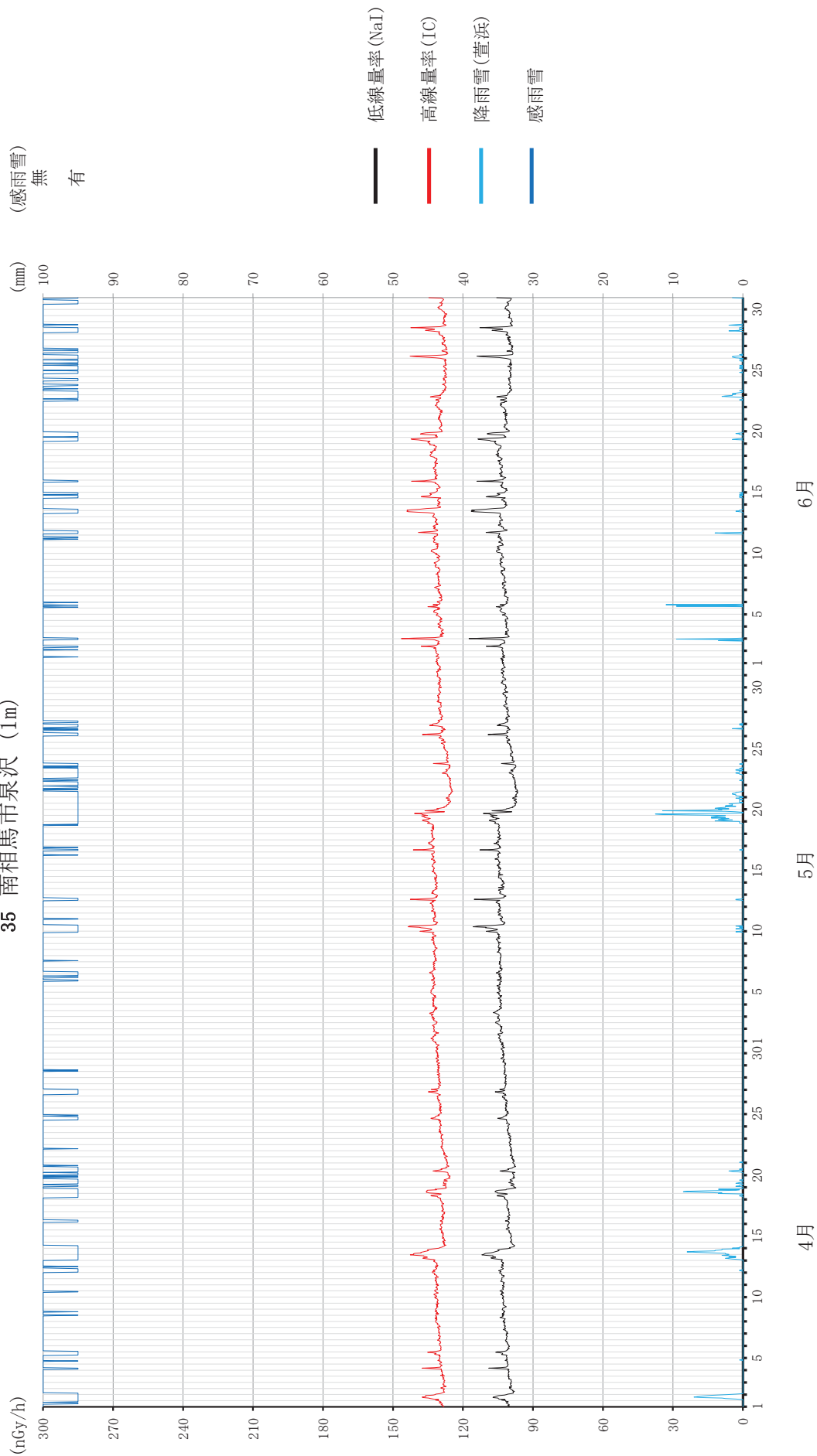
空間線量率の変動グラフ

34 葛尾村夏湯 (1m)

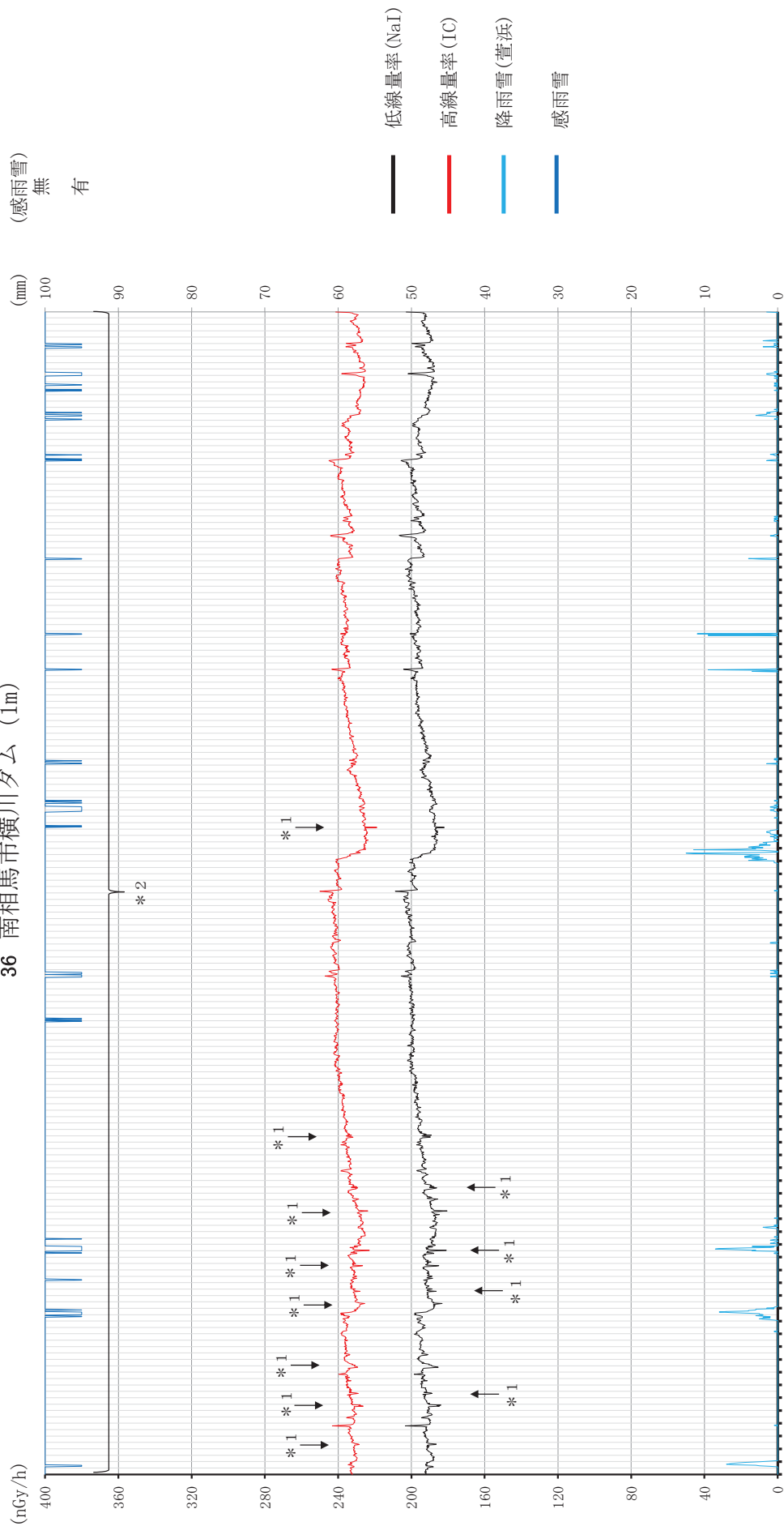


*1 積雪のため線量率低下

空間線量率の変動グラフ
35 南相馬市泉沢 (1m)



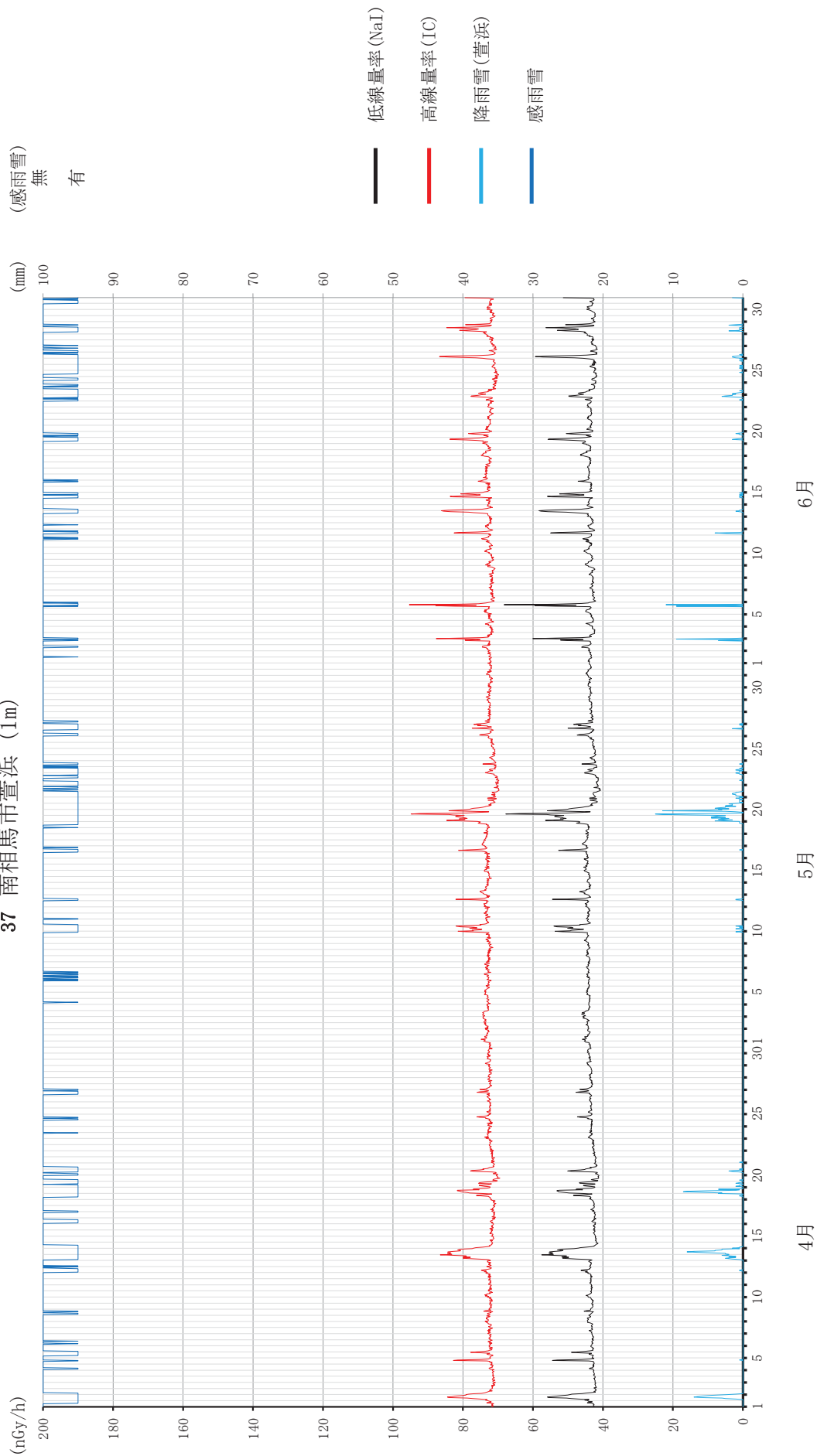
空間線量率の変動グラフ
36 南相馬市横川ダム (1m)



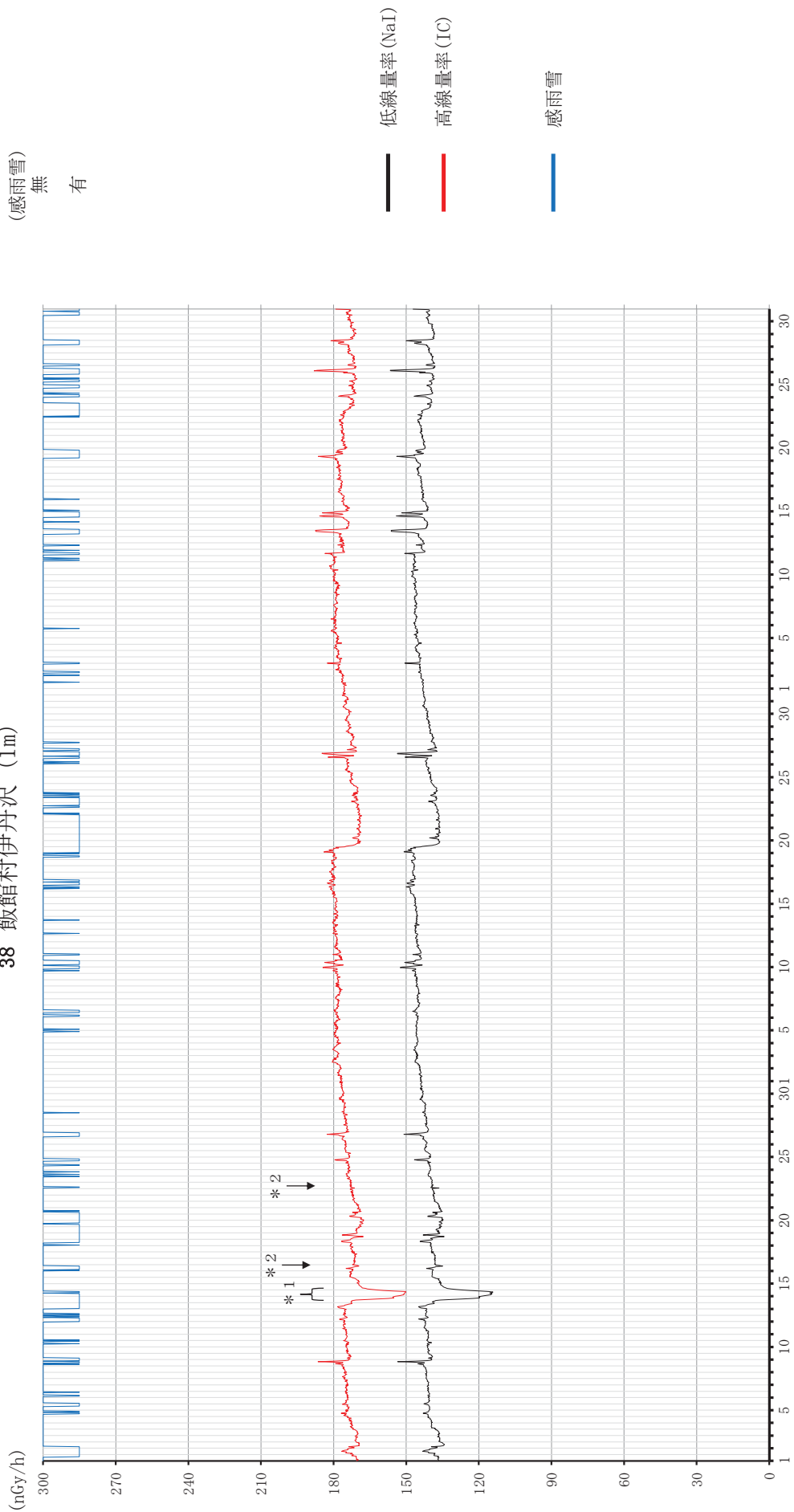
4月 5月 6月

*1 局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下
*2 感雨雪計の感度が低下 (4月1日～6月30日) していることから、参考として記載

空間線量率の変動グラフ
37 南相馬市萱浜 (1m)



空間線量率の変動グラフ
38 飯館村伊丹沢 (1m)



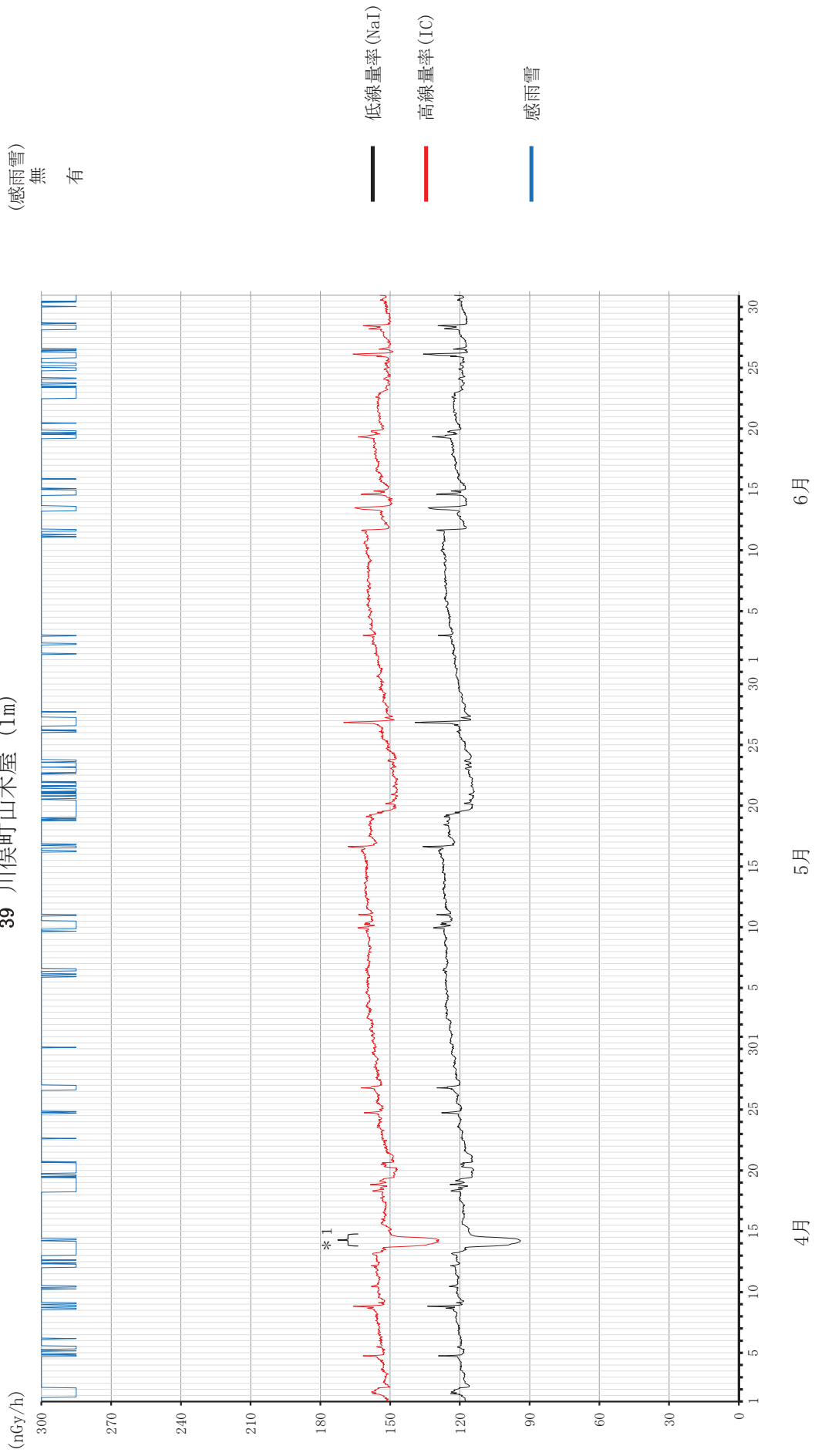
6月

5月

4月

- *1 積雪のため線量率低下
- *2 4月16日、22日は局舎周辺停車車両による遮へいの影響で線量率低下

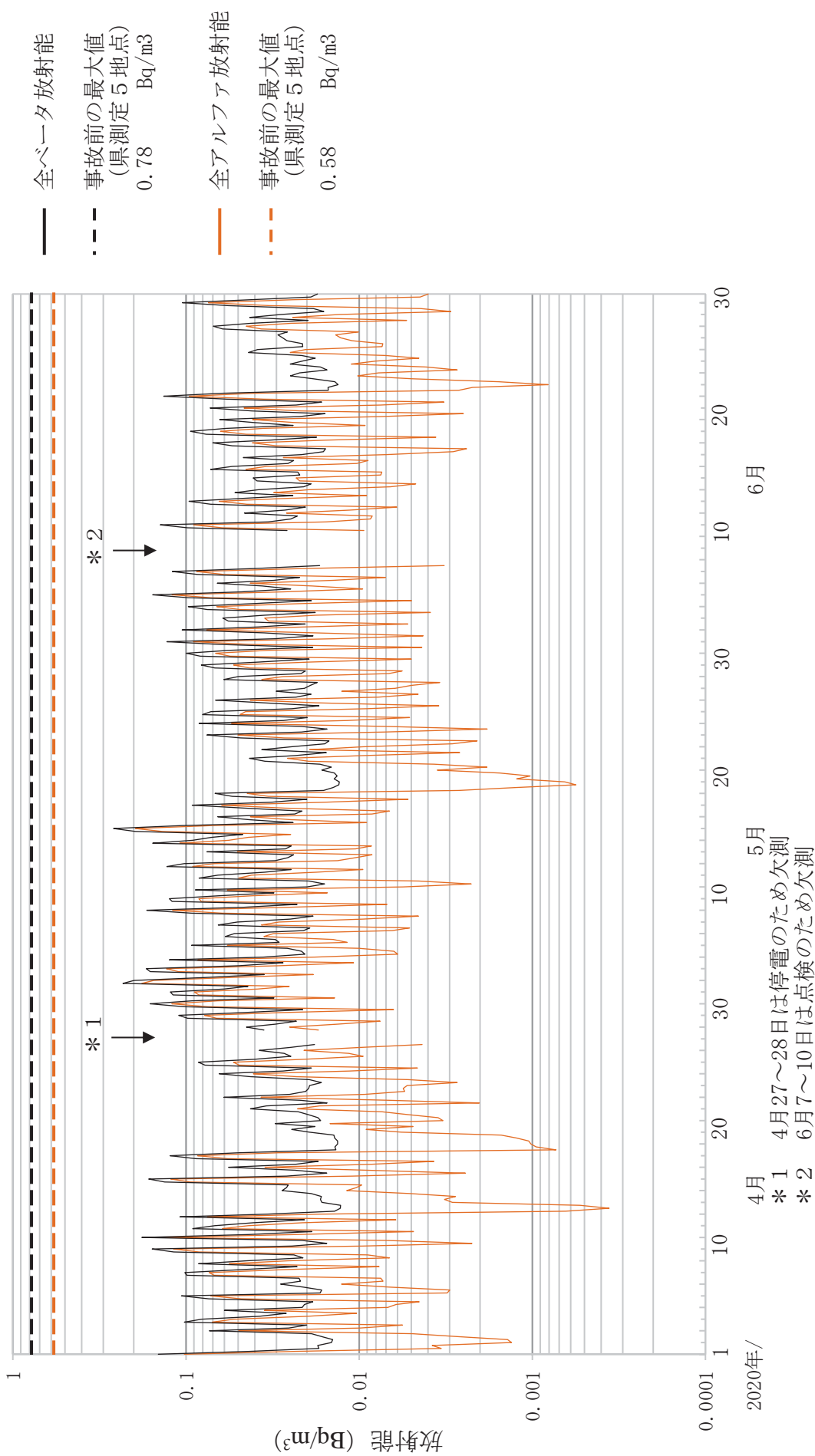
空間線量率の変動グラフ 39 川俣町山木屋 (1m)



*1 積雪のため線量率低下

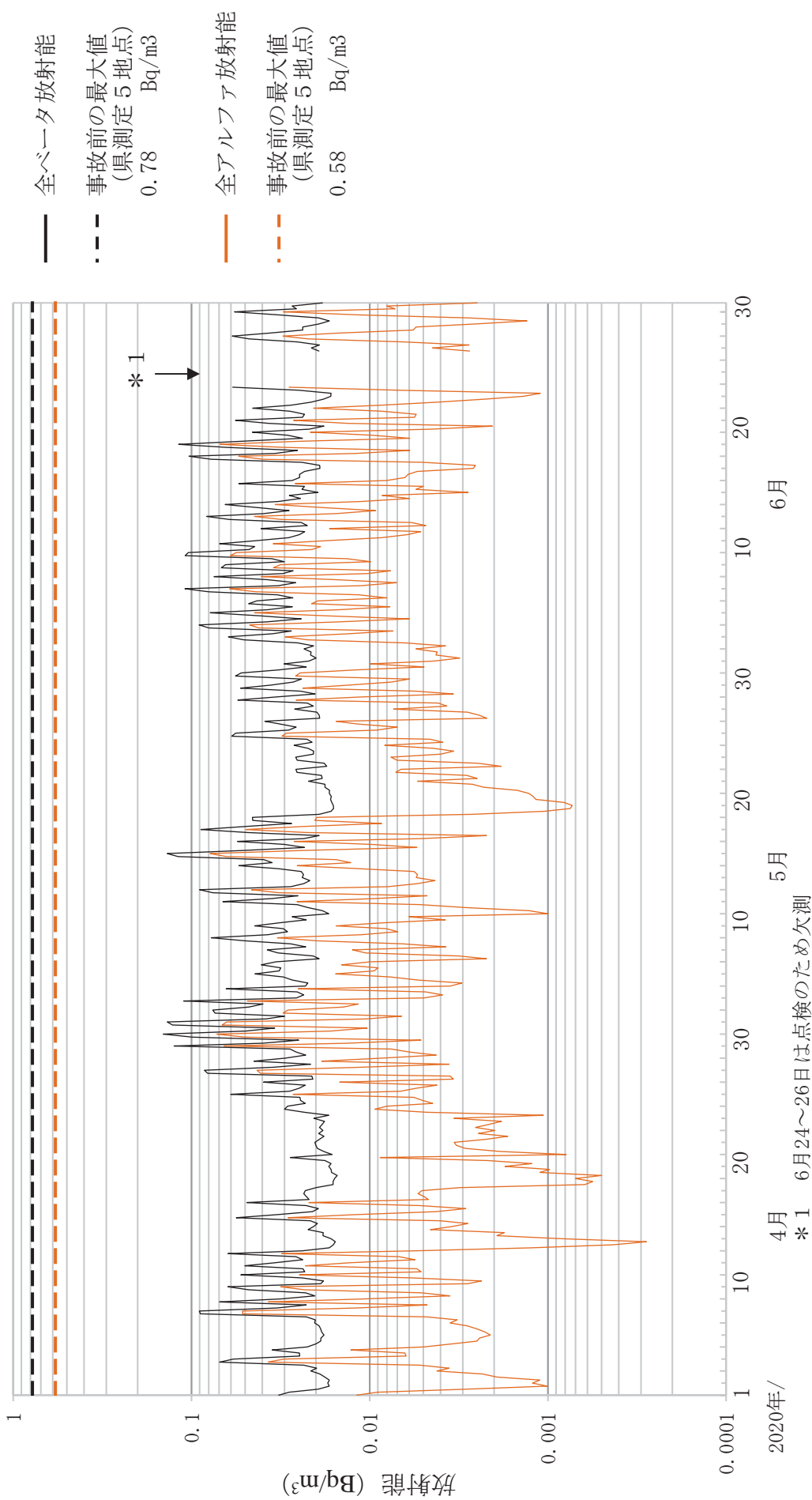
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

1 いわき市小川
(令和2年4月1日～6月30日)



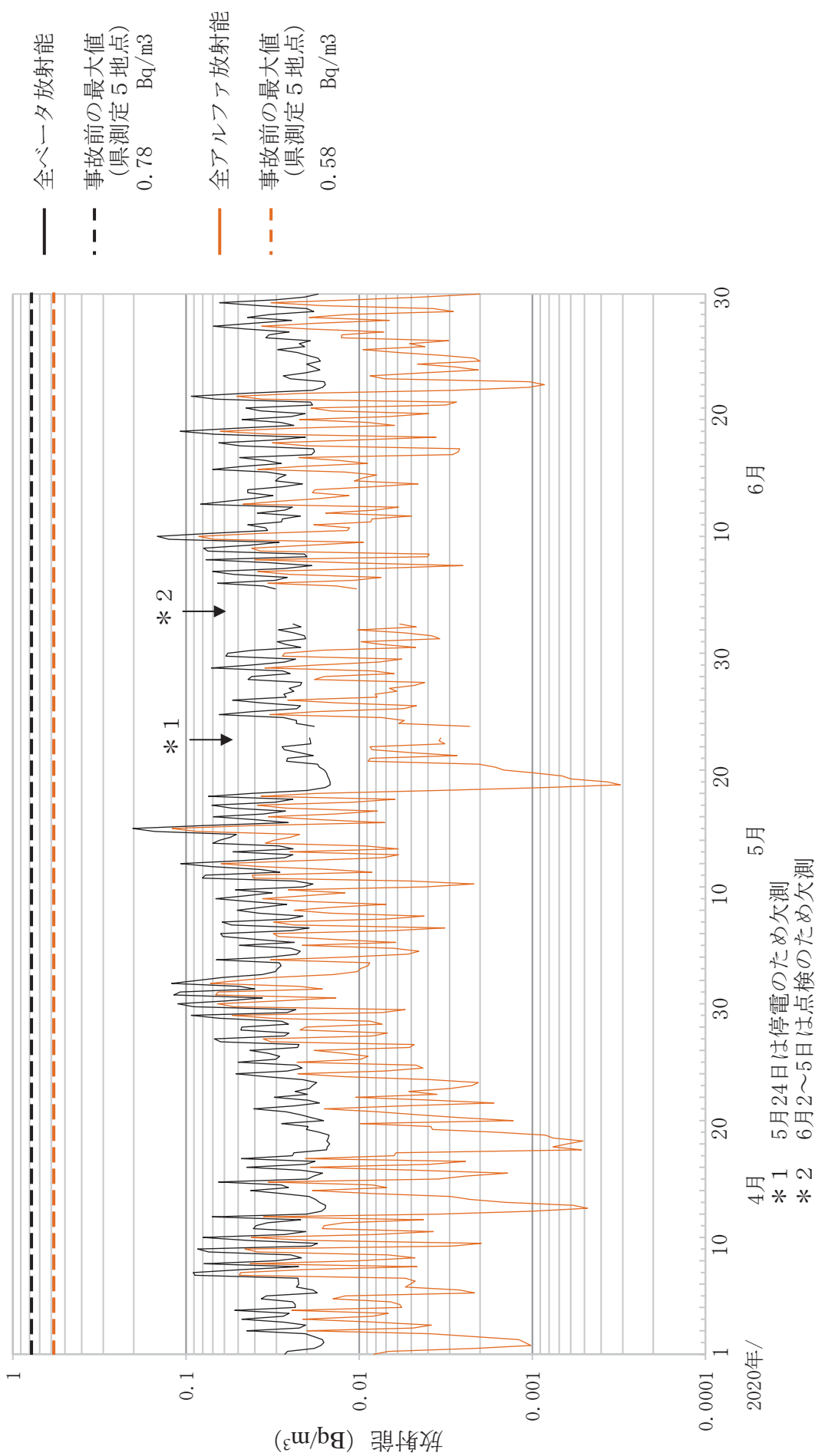
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

2 田村市都路馬洗戸
(令和2年4月1日～6月30日)



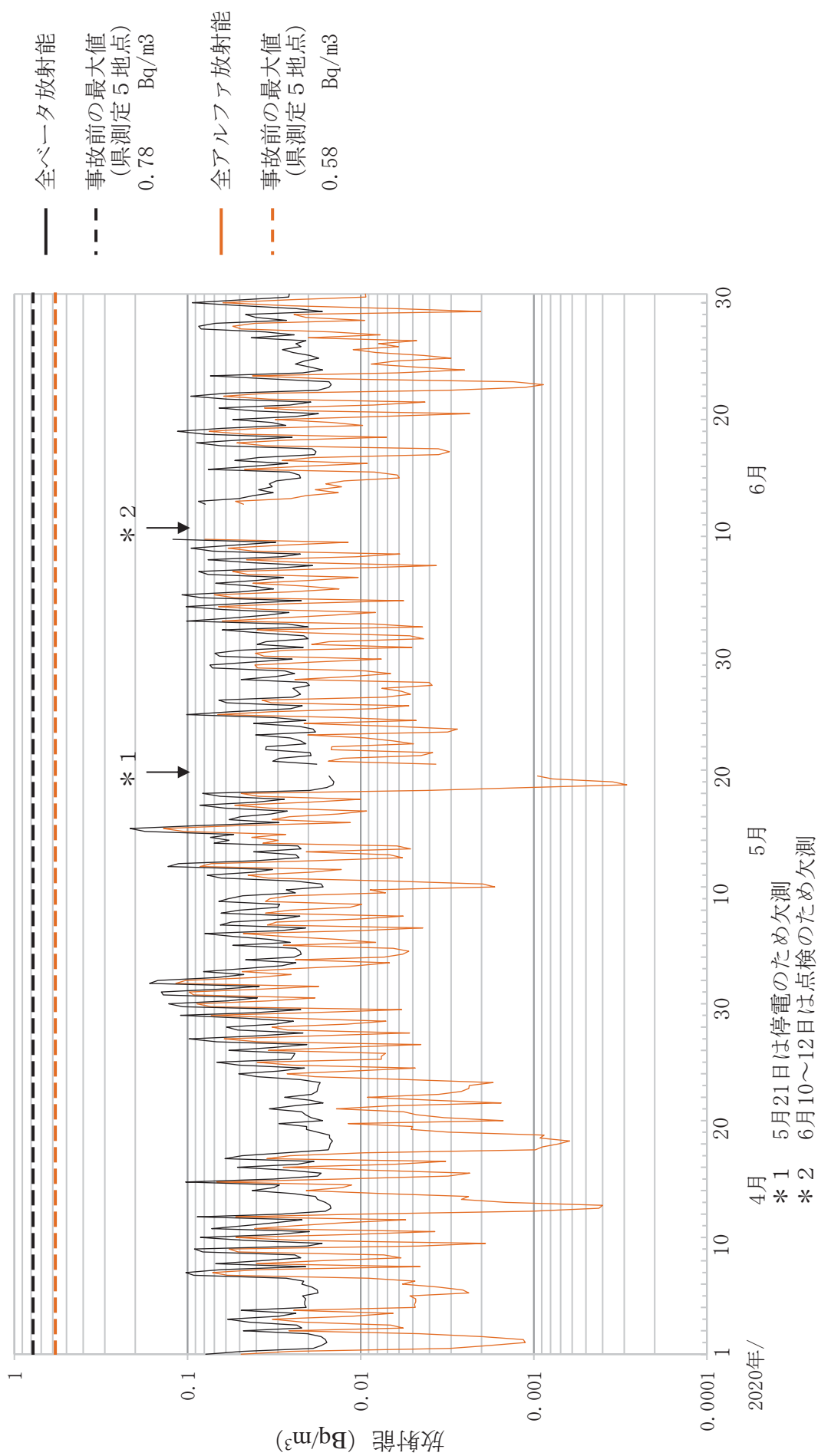
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

3 広野町小滝平
(令和2年4月1日～6月30日)



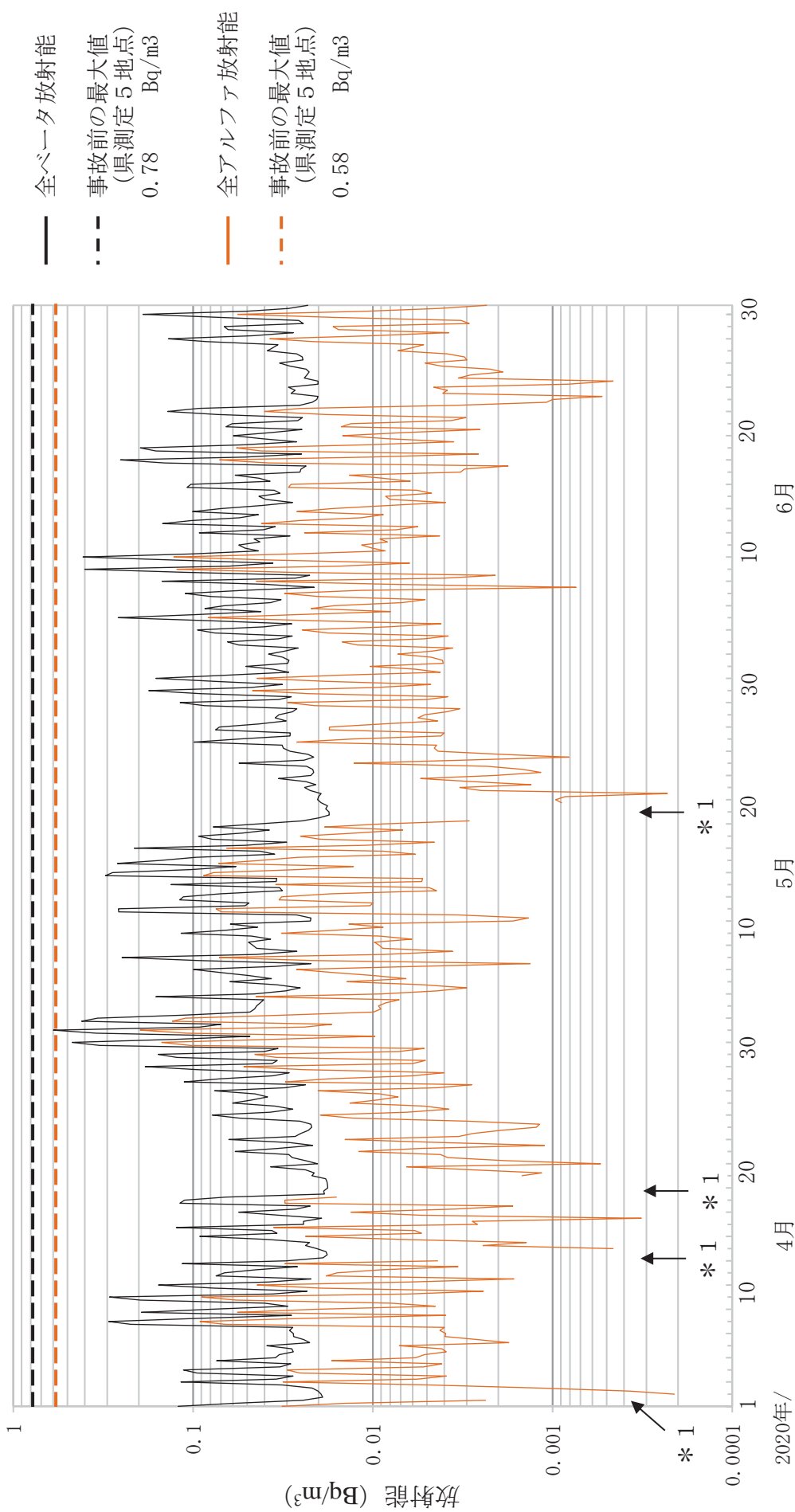
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

4 榎葉町木戸ダム
(令和2年4月1日～6月30日)



大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

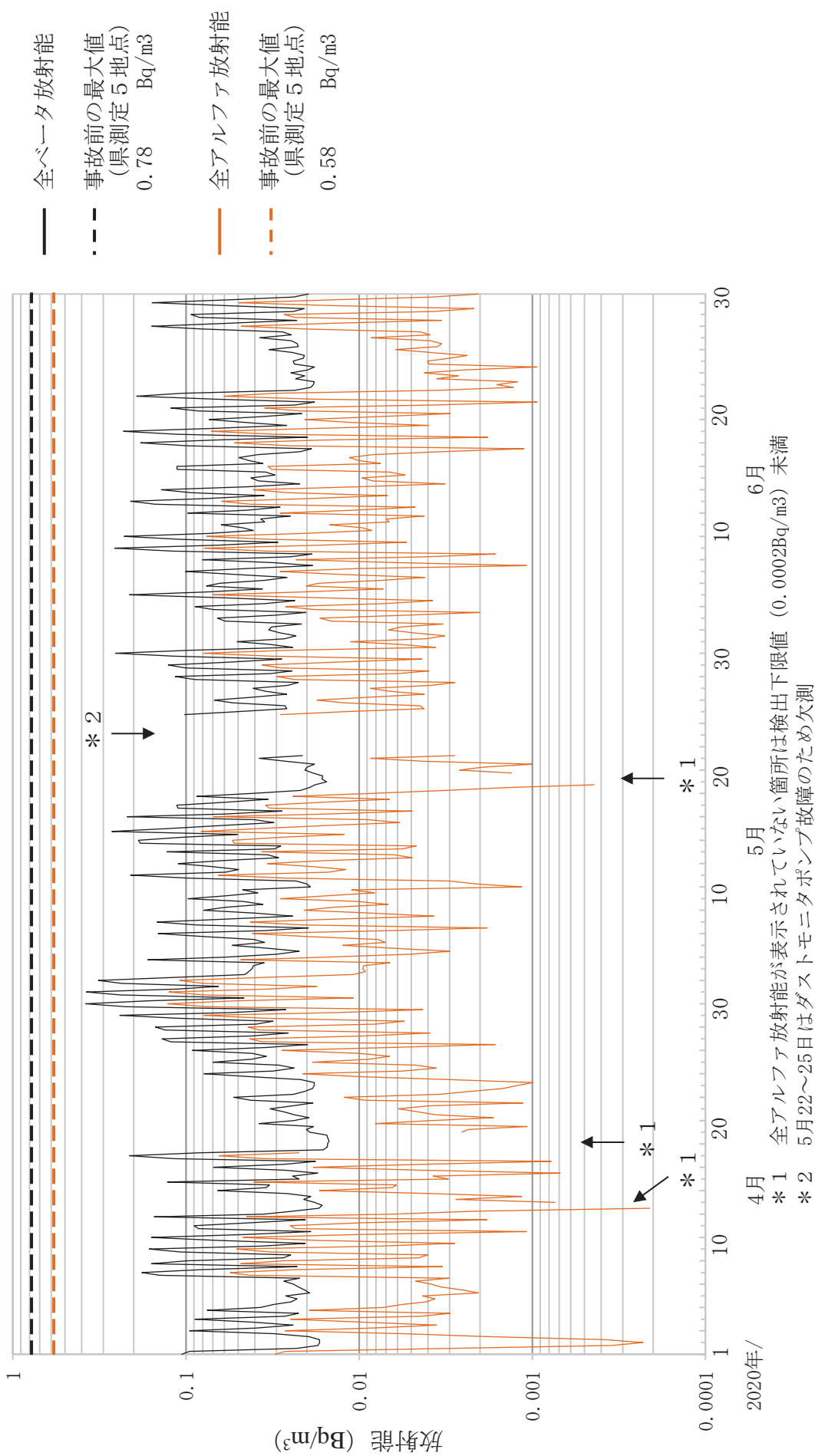
5 檜葉町繁岡
(令和2年4月1日～6月30日)



* 1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値 (0.0002Bq/m³) 未満

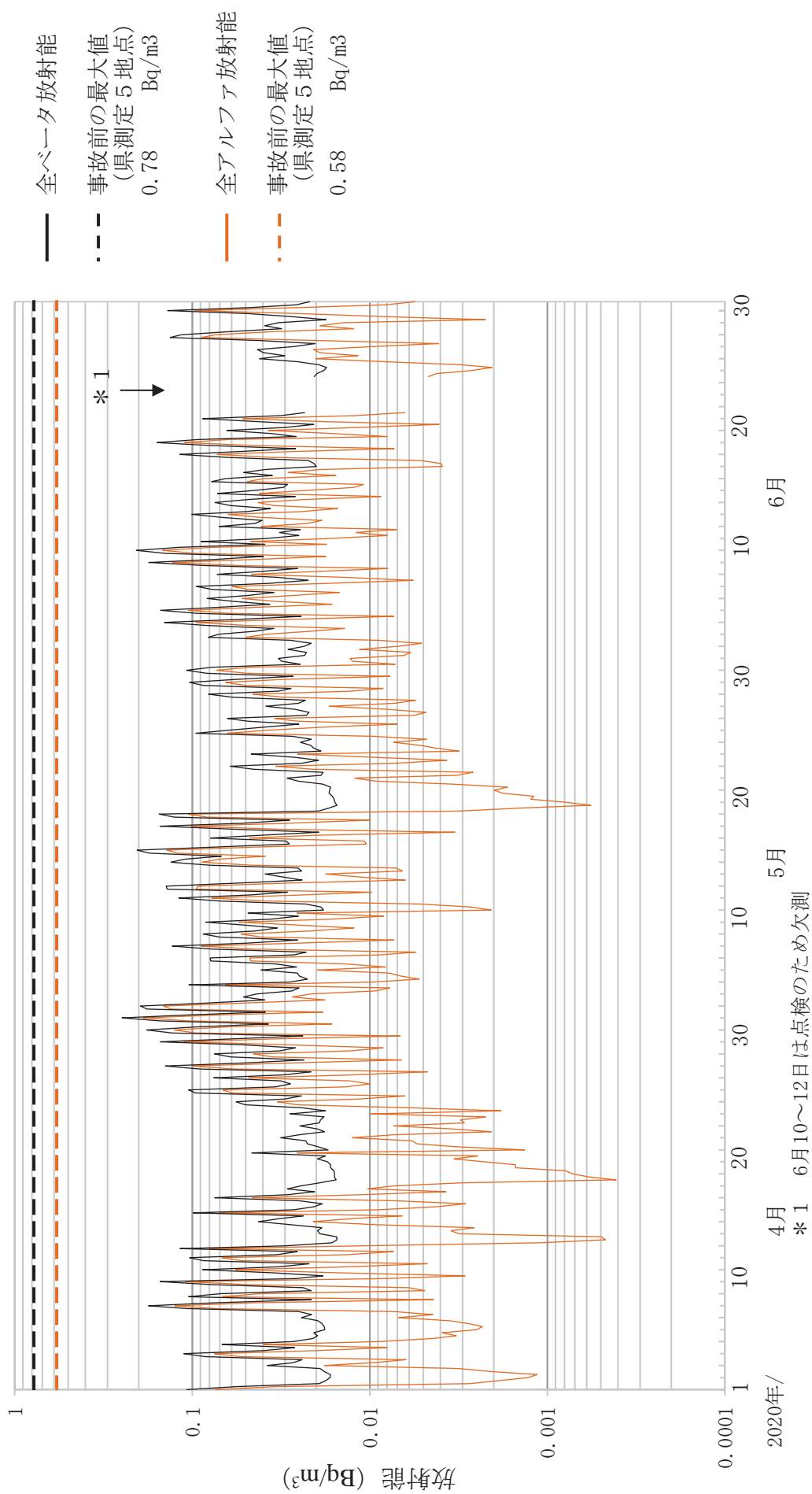
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

6 富岡町富岡
(令和2年4月1日～6月30日)



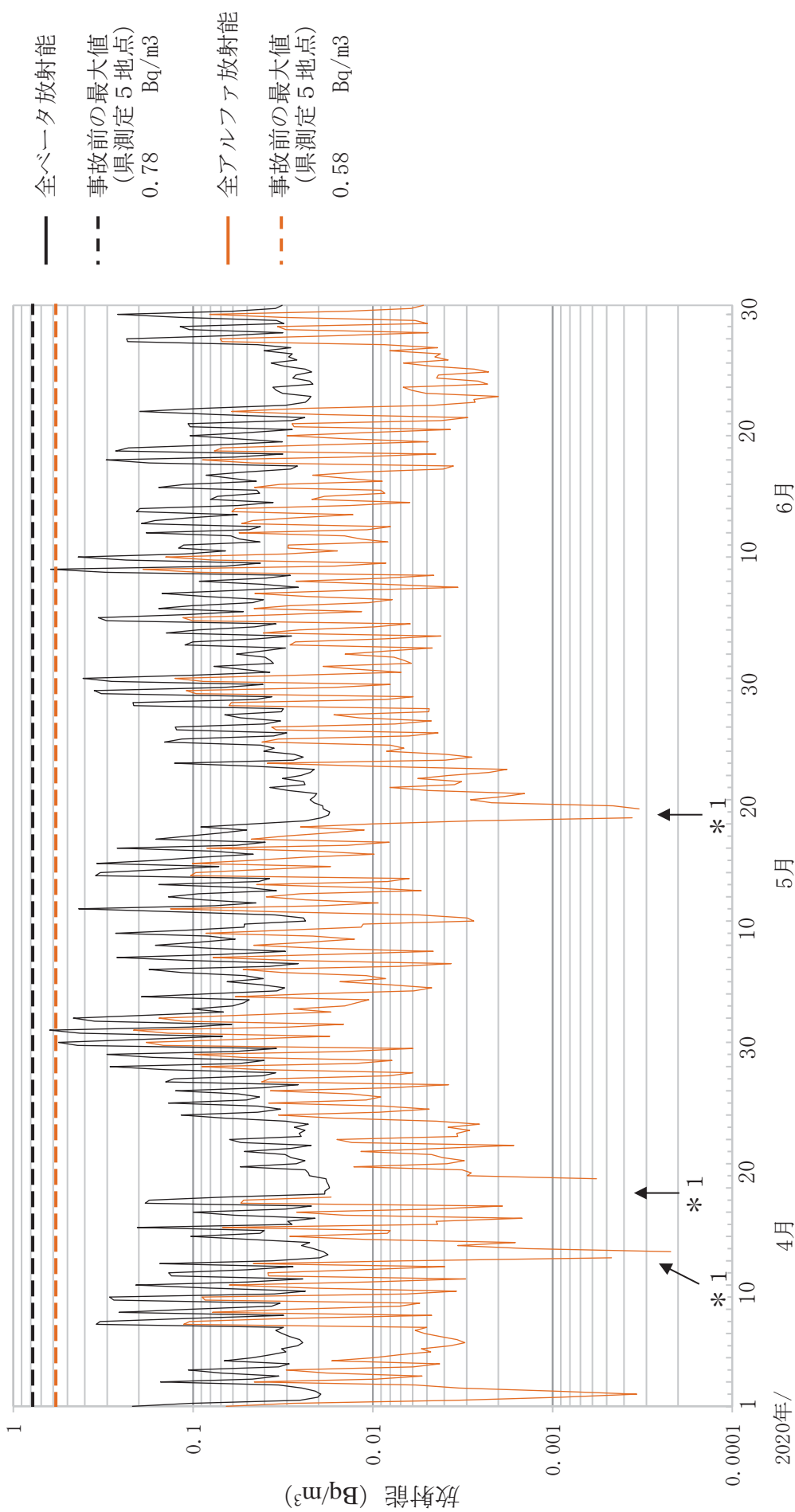
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

7 川内村下川内
(令和2年4月1日～6月30日)



大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

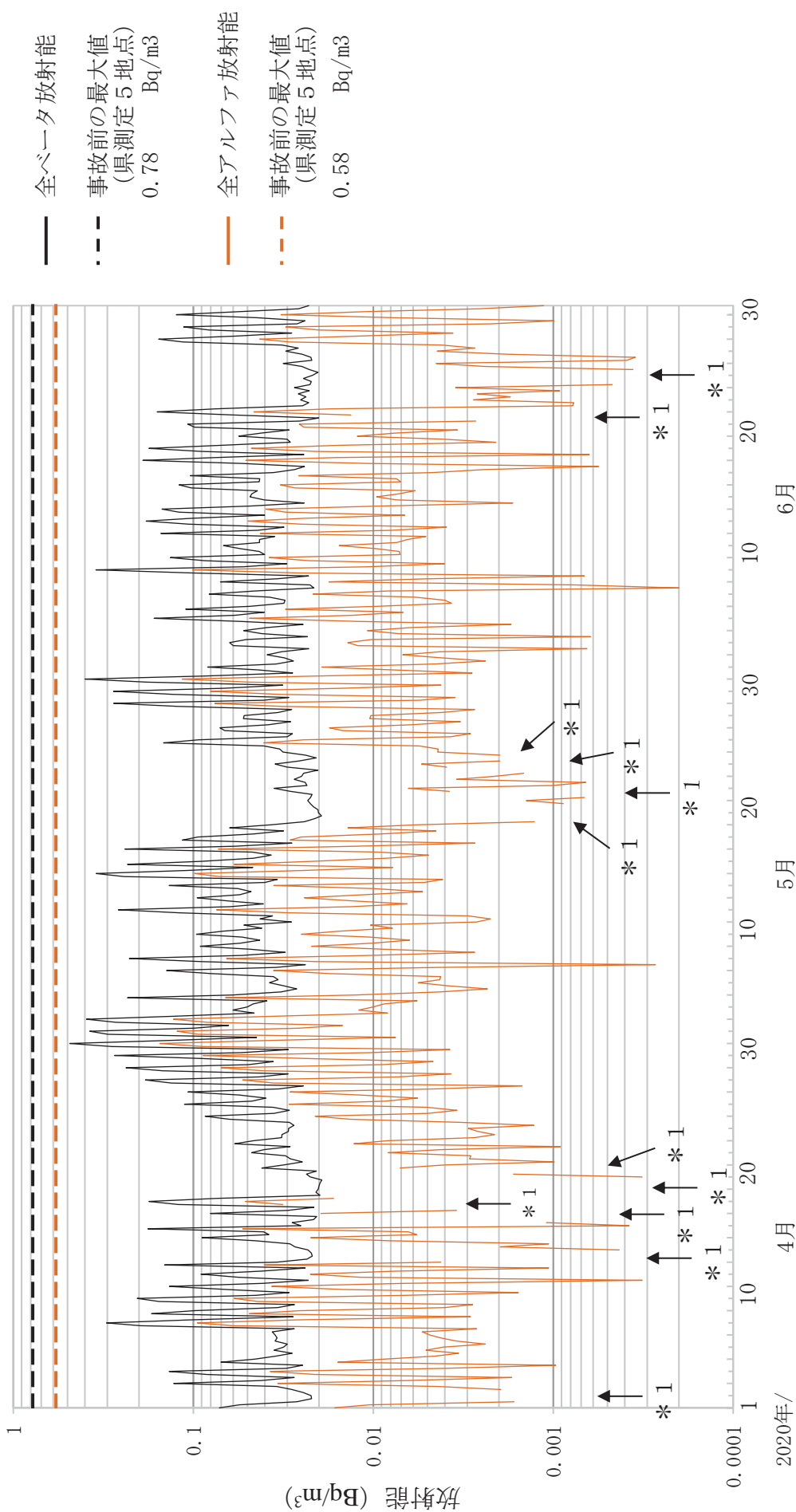
8 大熊町大野
(令和2年4月1日～6月30日)



*1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値 (0.0002Bq/m³) 未満

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

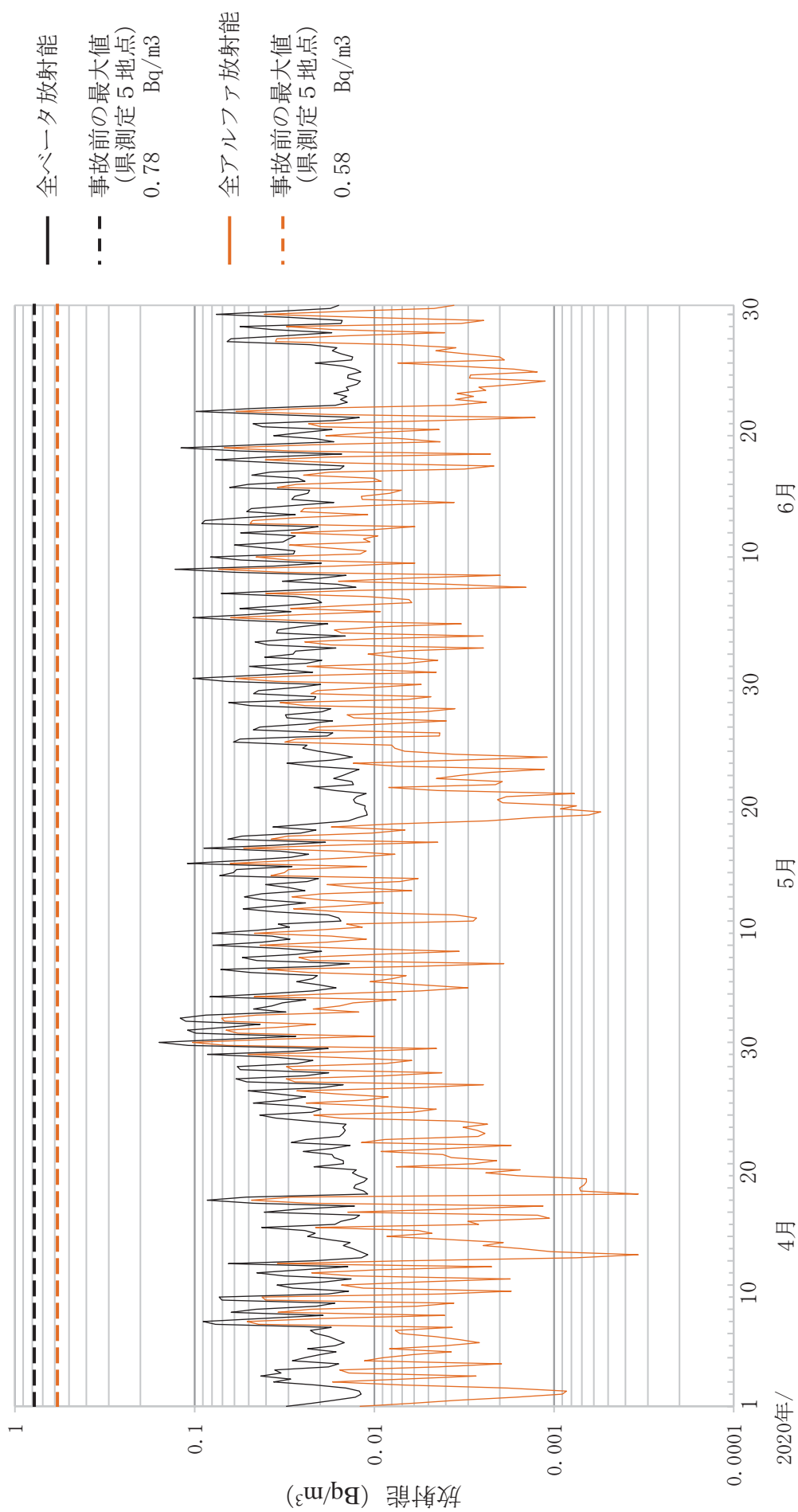
9 大熊町夫沢
(令和2年4月1日～6月30日)



*1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値 (0.0002Bq/m³) 未満

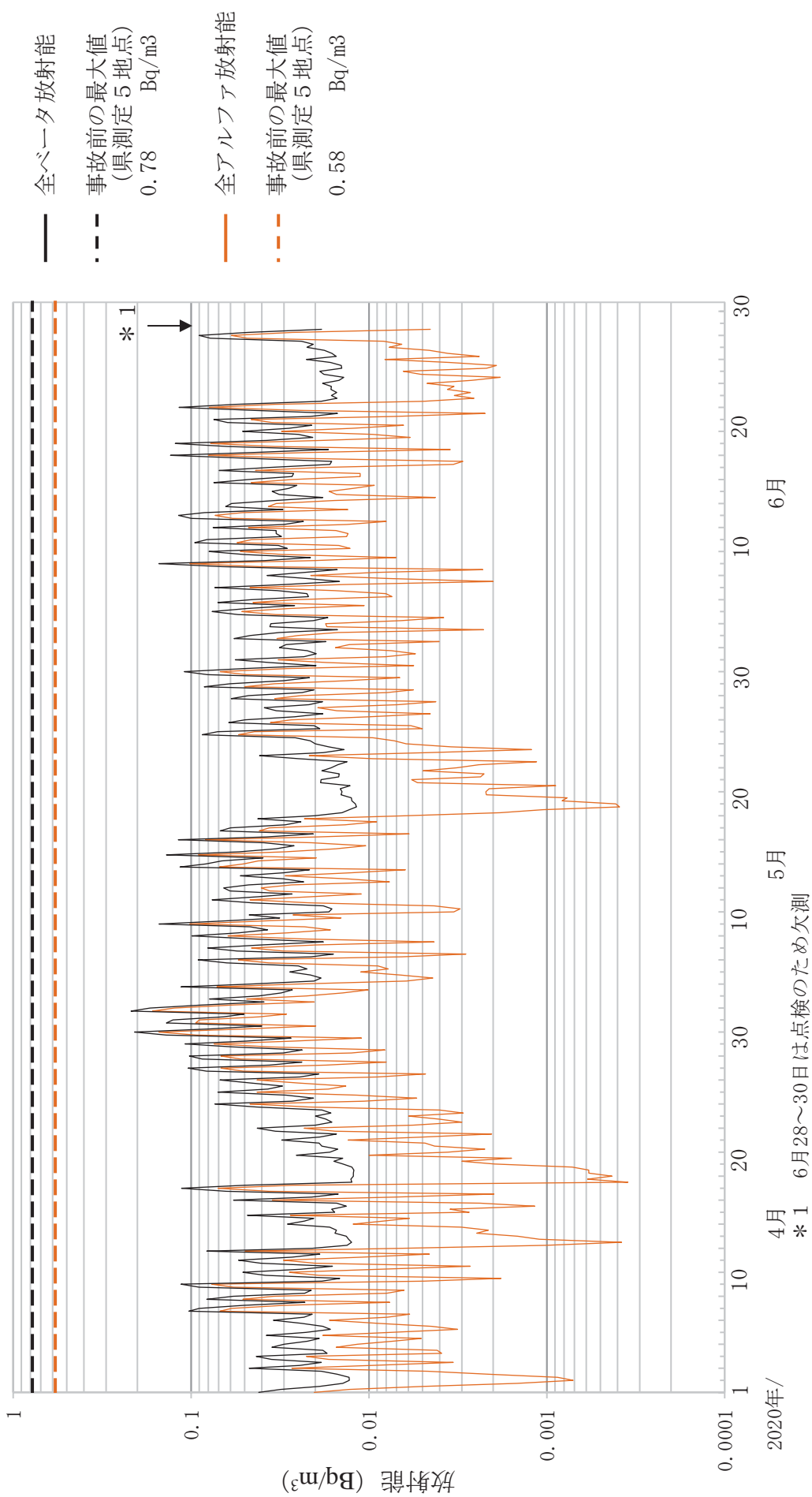
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

10 双葉町郡山
(令和2年4月1日～6月30日)



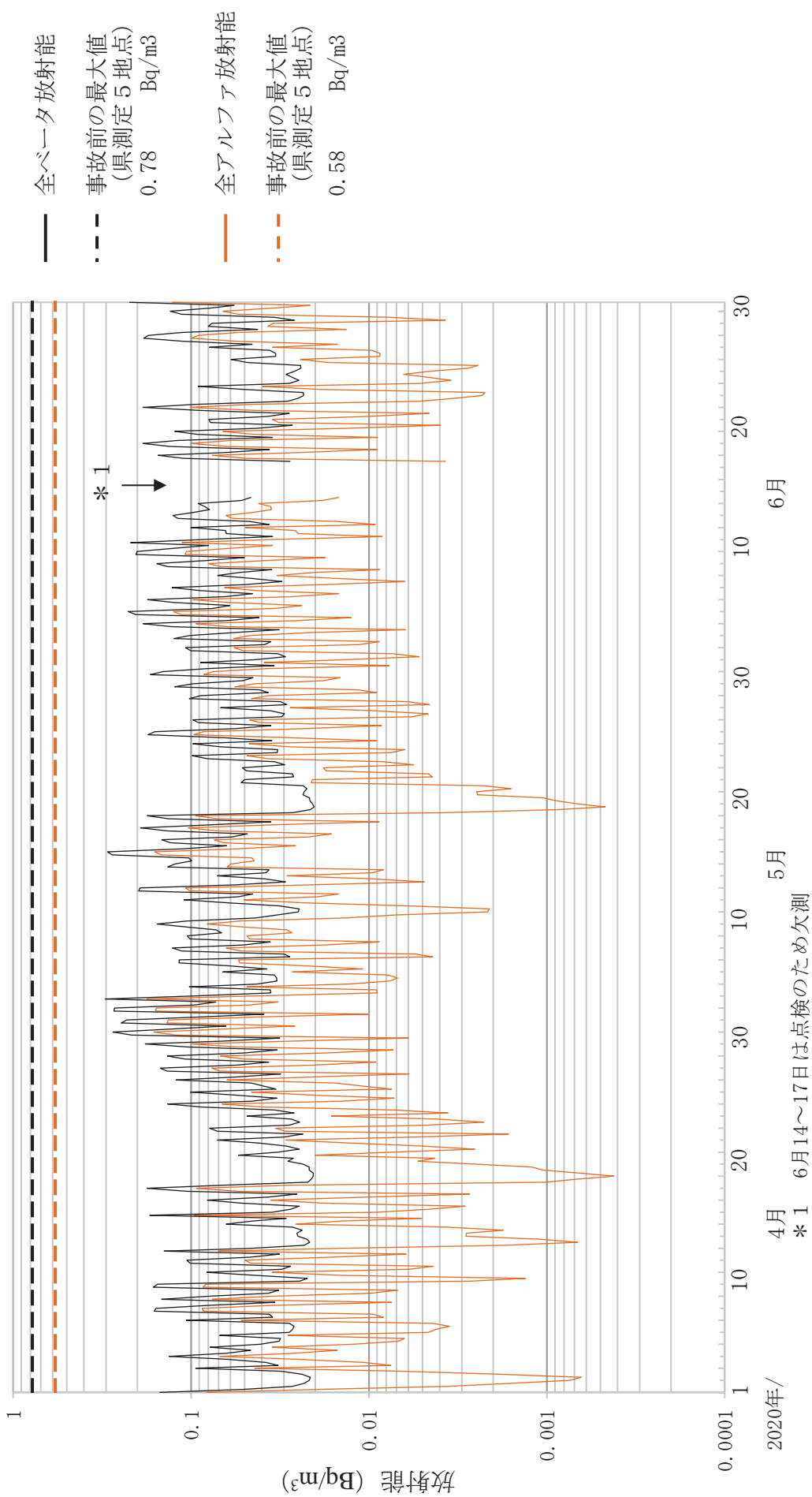
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

11 浪江町幾世橋
(令和2年4月1日～6月30日)



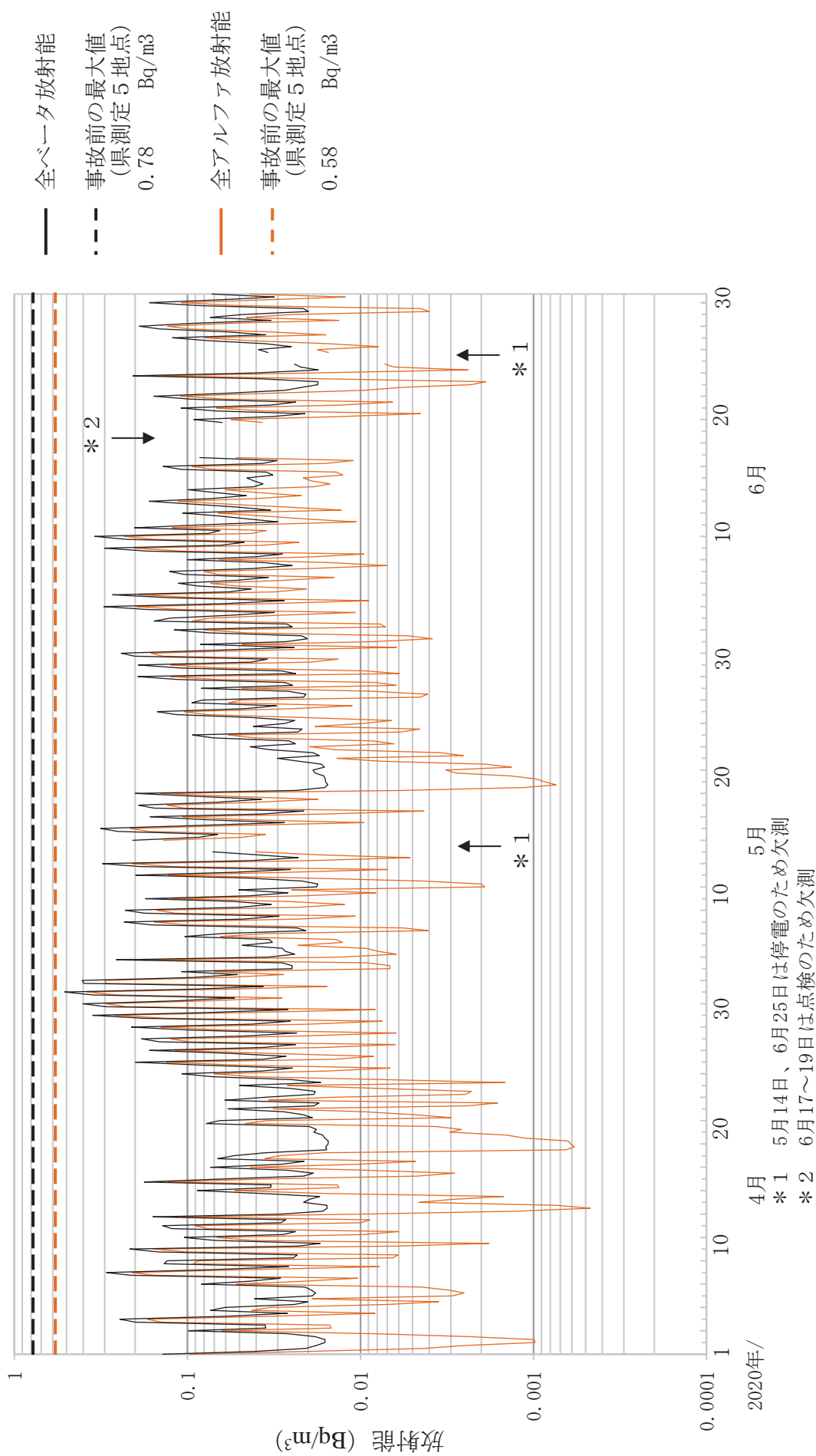
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

12 浪江町大柿ダム
(令和2年4月1日～6月30日)



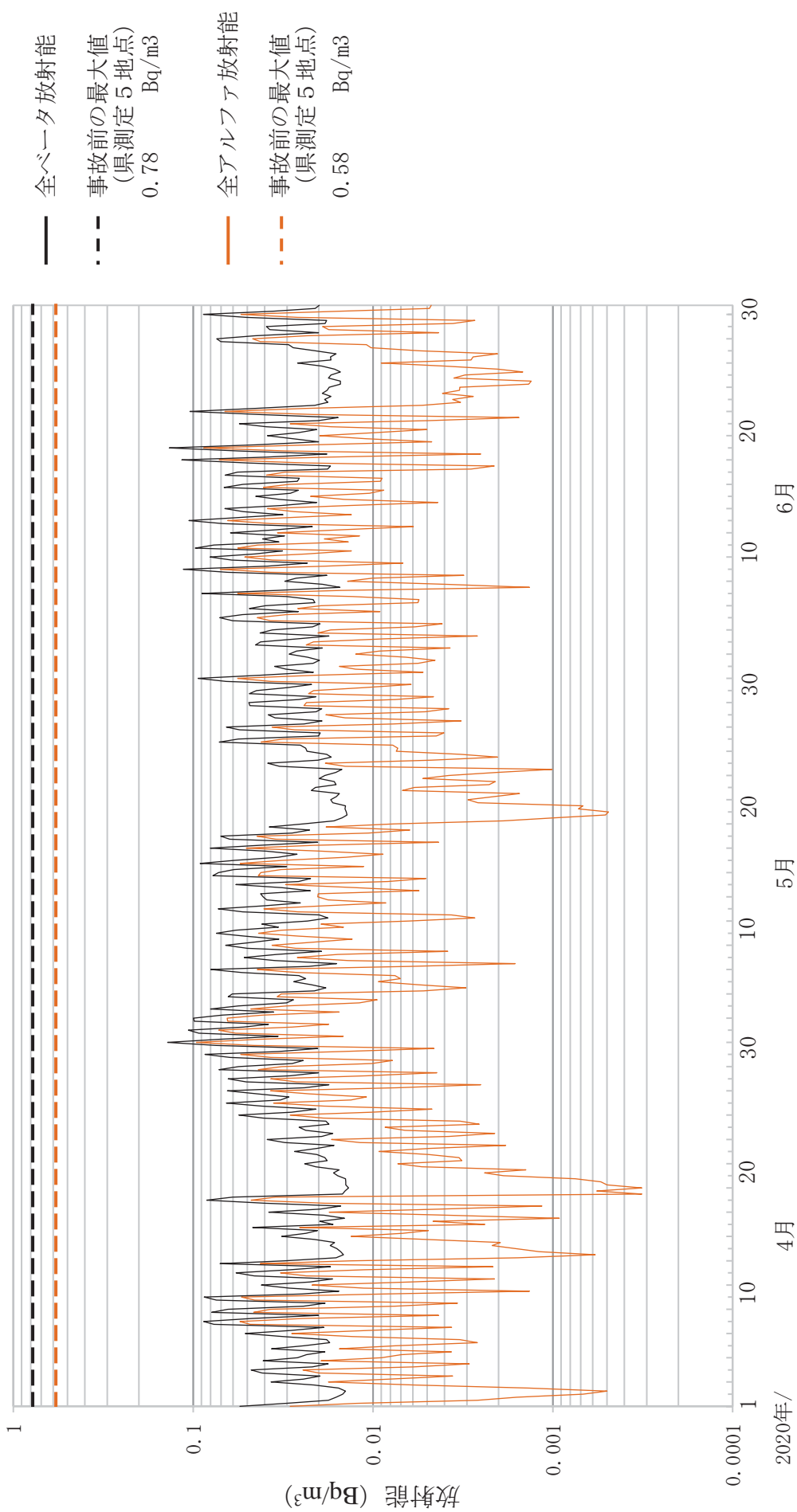
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

13 葛尾村夏湯
(令和2年4月1日～6月30日)



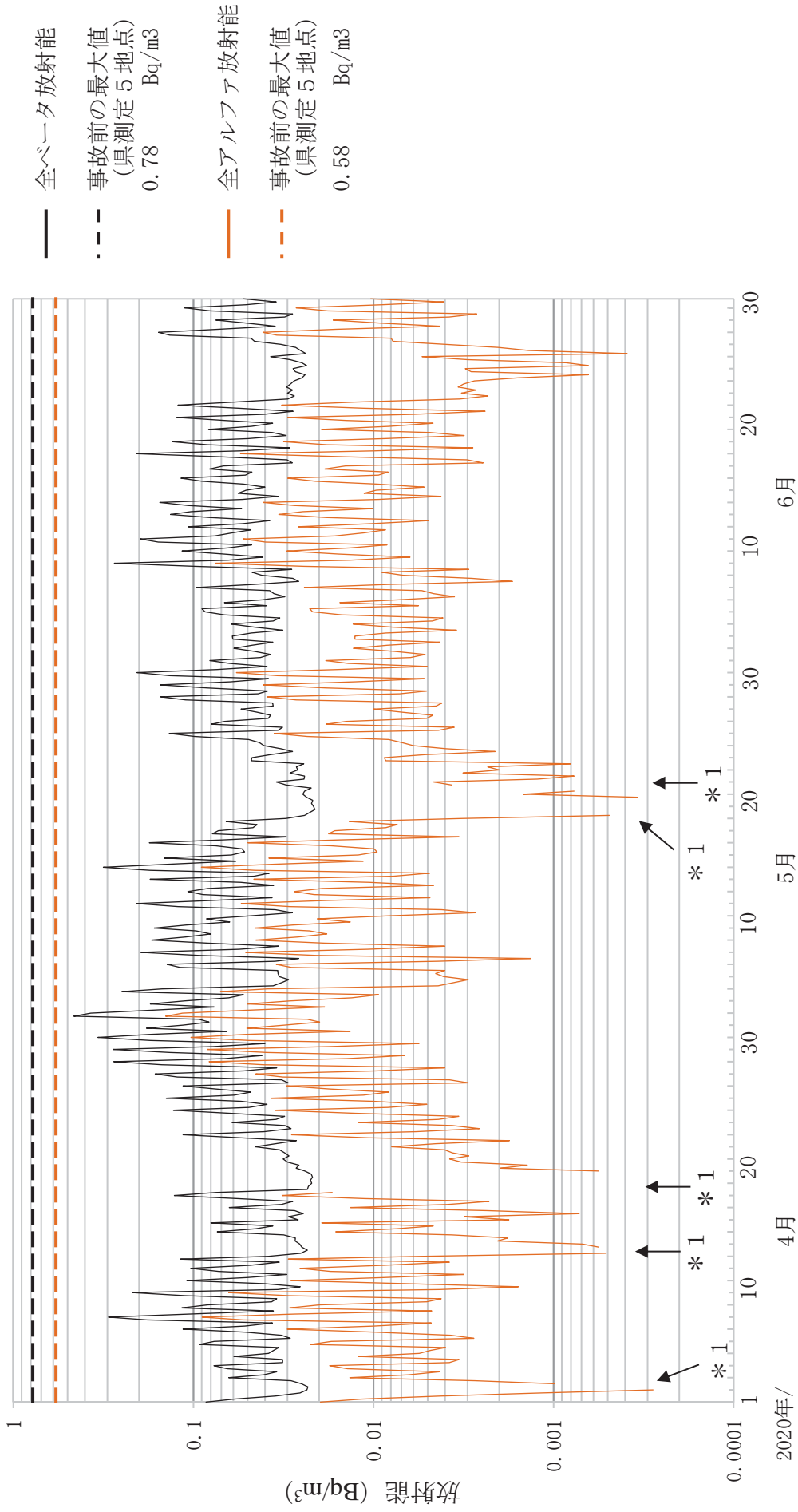
大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

14 南相馬市泉沢
(令和2年4月1日～6月30日)



大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

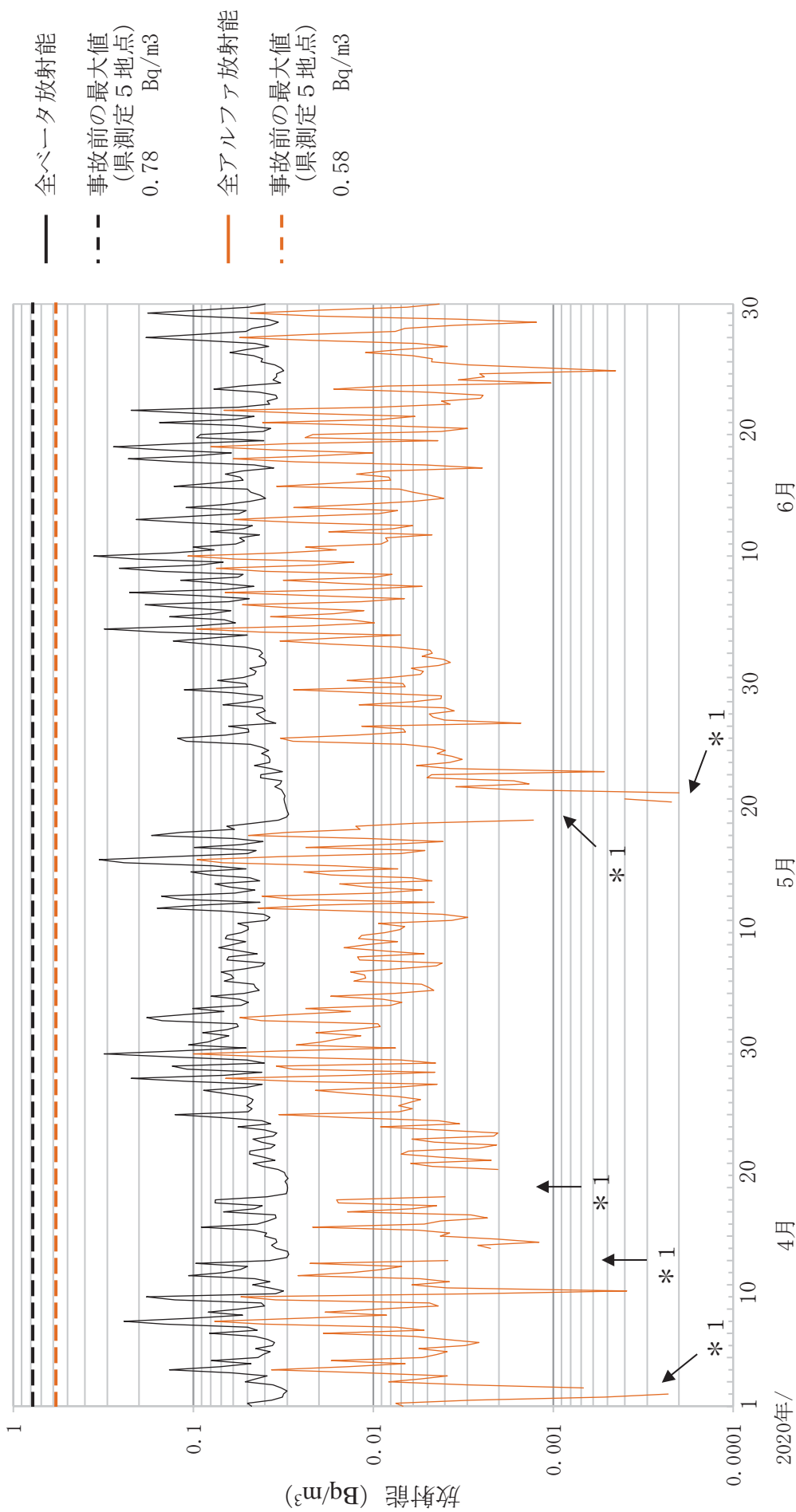
15 南相馬市菅浜
(令和2年4月1日～6月30日)



* 1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値 (0.0002Bq/m³) 未満

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

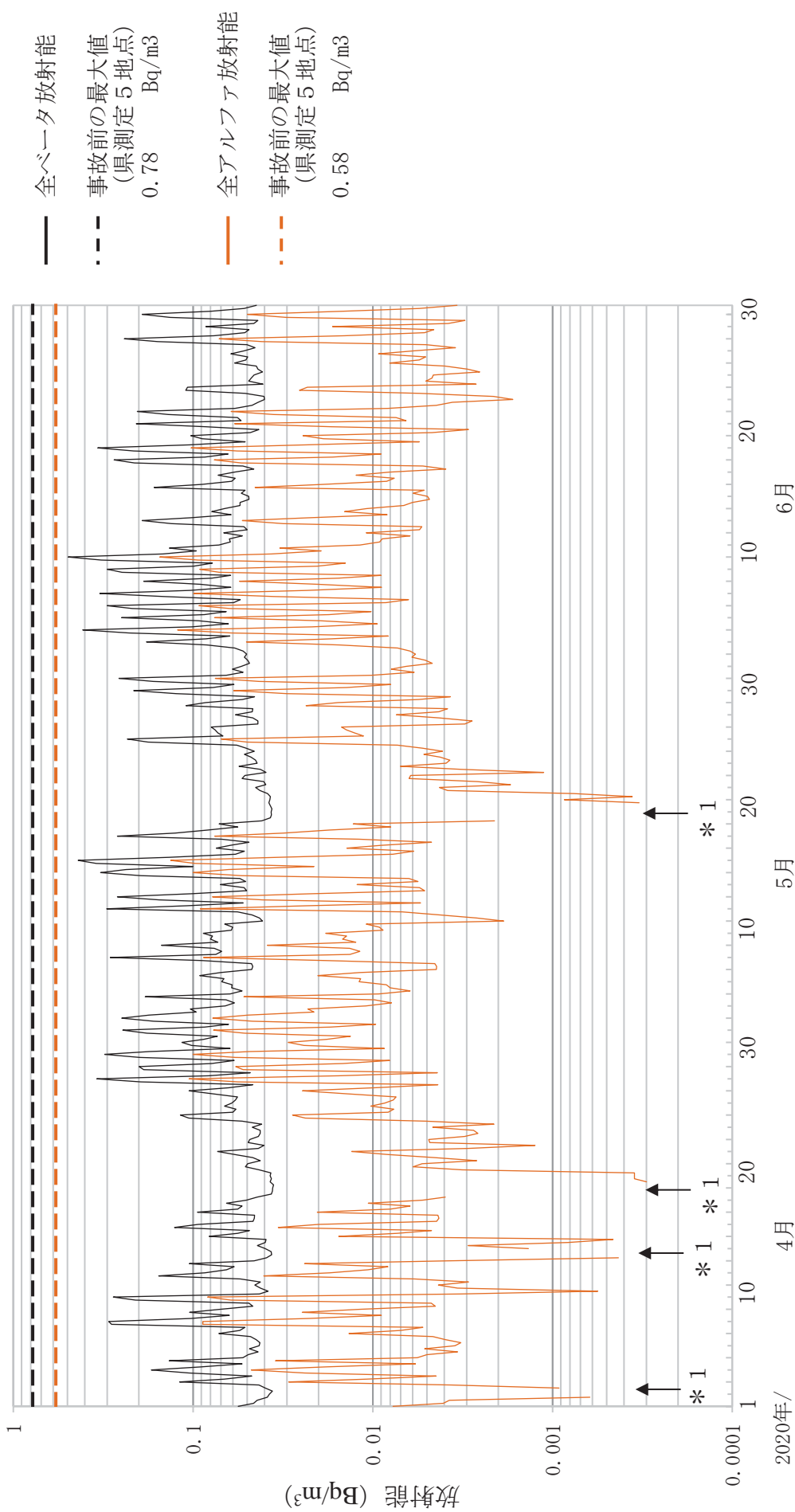
16 飯館村伊丹沢
(令和2年4月1日～6月30日)



* 1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値 (0.0002Bq/m³) 未満

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

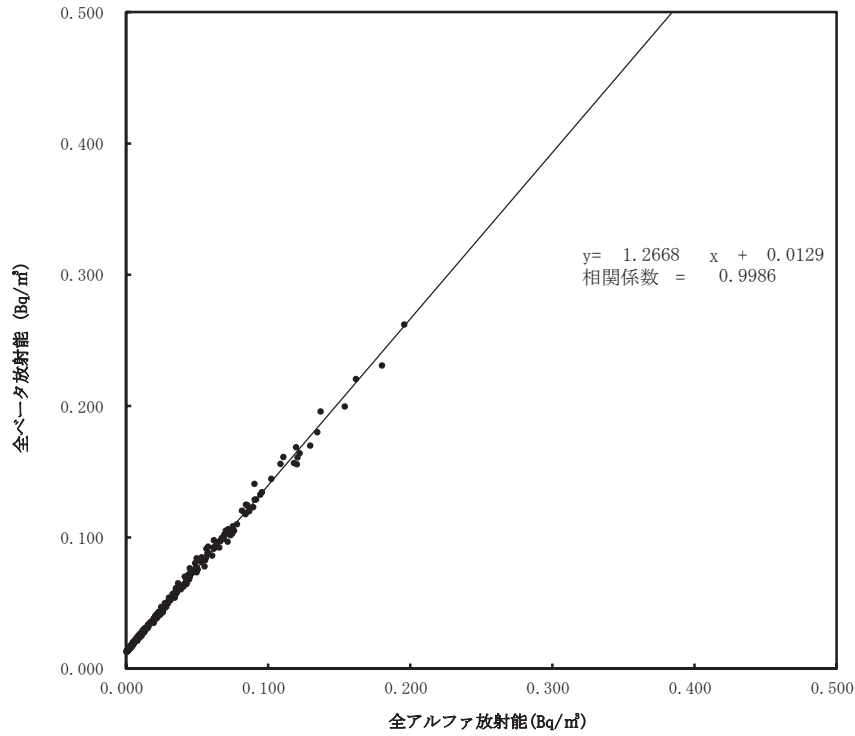
17 川俣町山木屋
(令和2年4月1日～6月30日)



*1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値 (0.0002Bq/m³) 未満

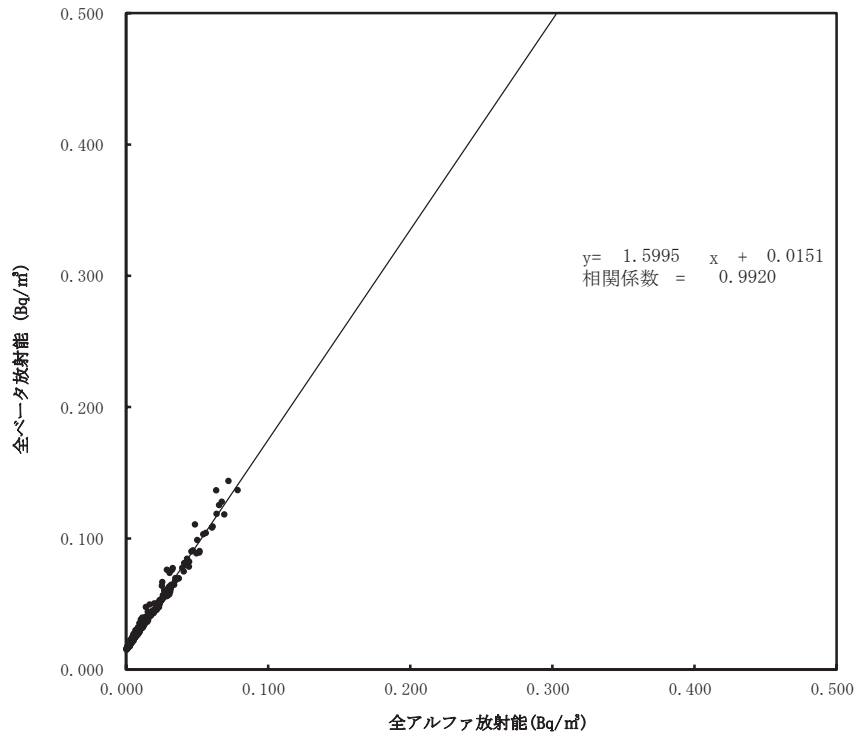
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(いわき市小川)



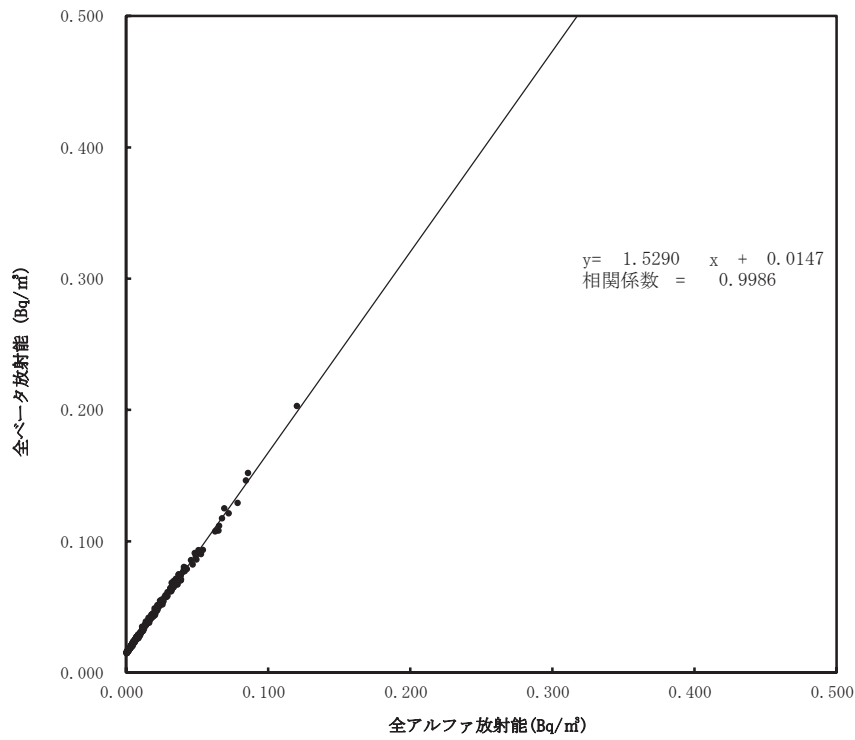
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(田村市都路馬洗戸)



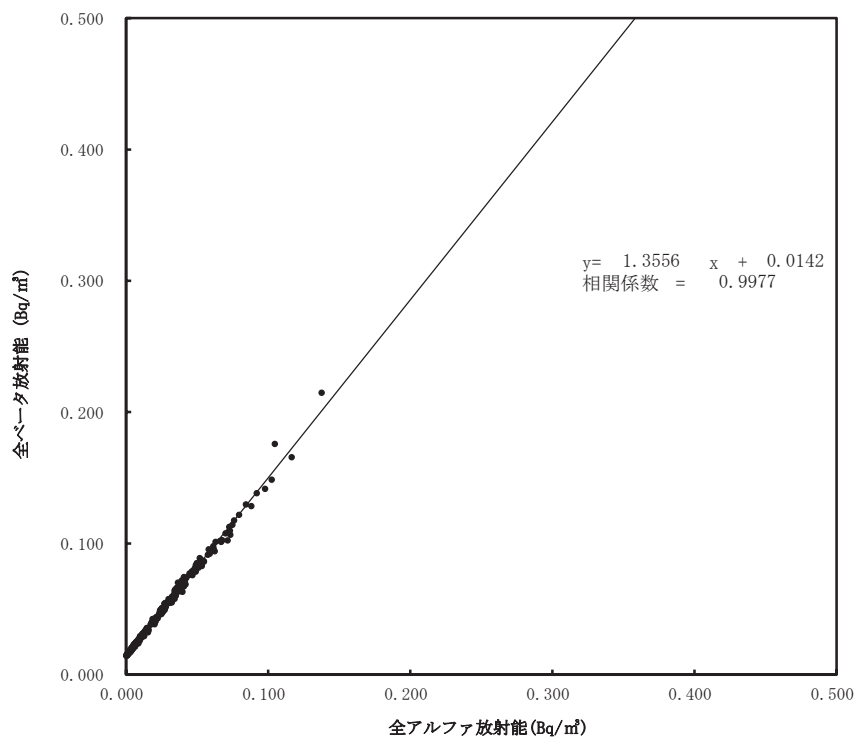
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(広野町小滝平)



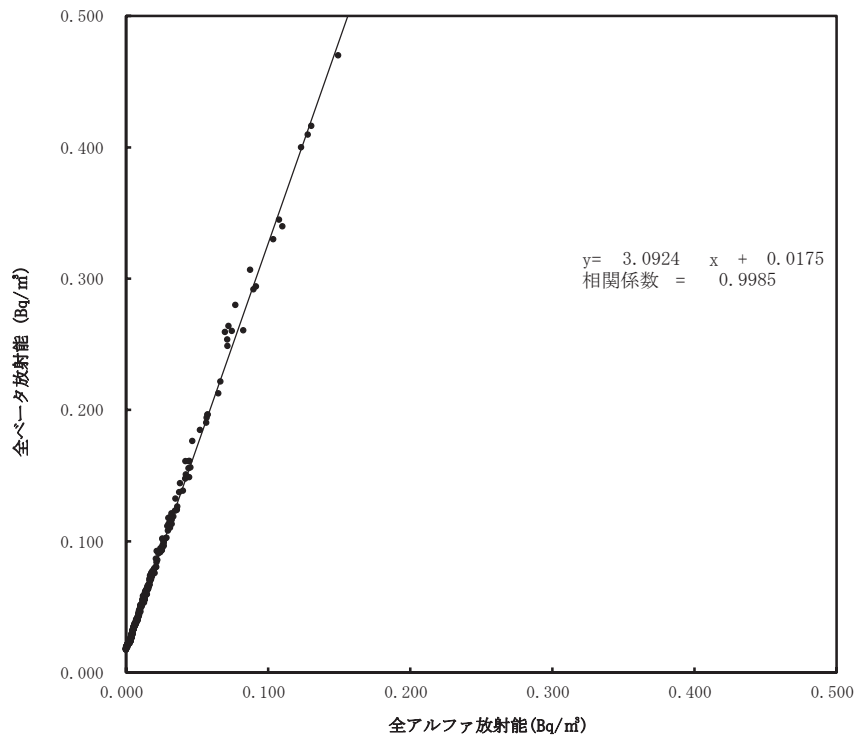
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(檜葉町木戸ダム)



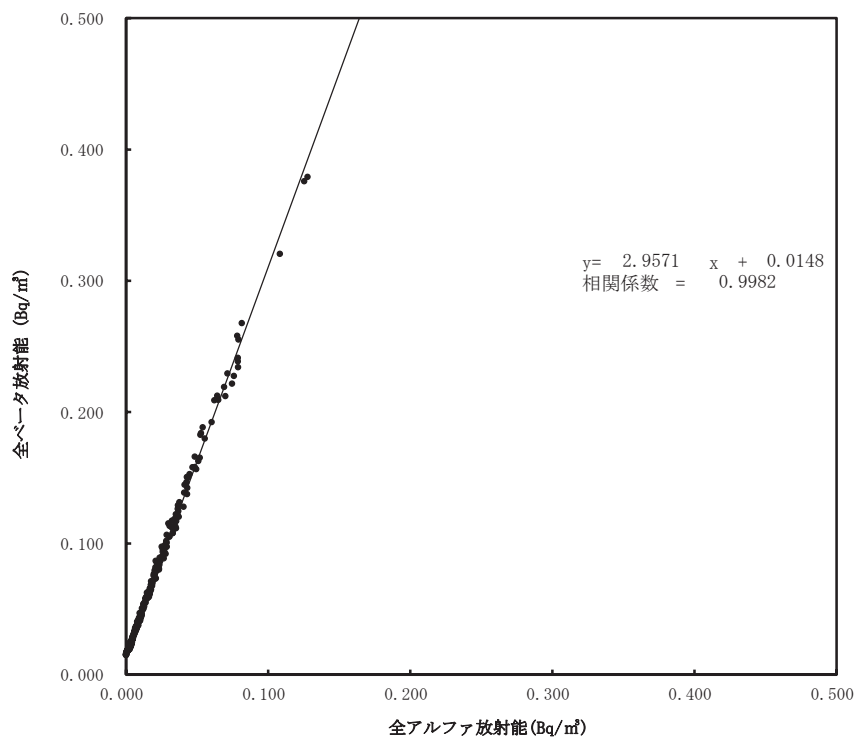
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(檜葉町繁岡)



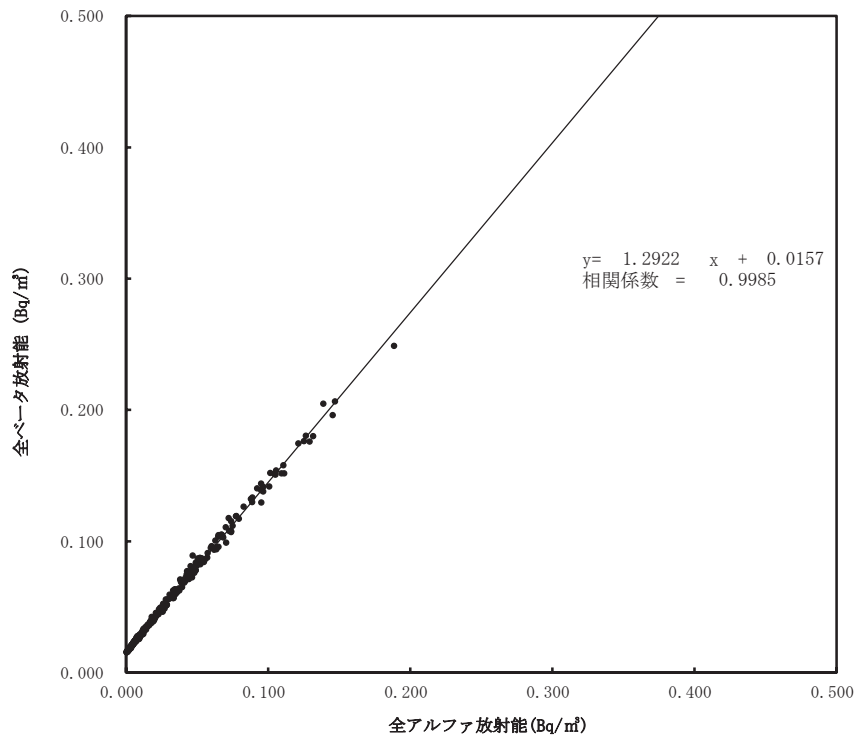
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(富岡町富岡)



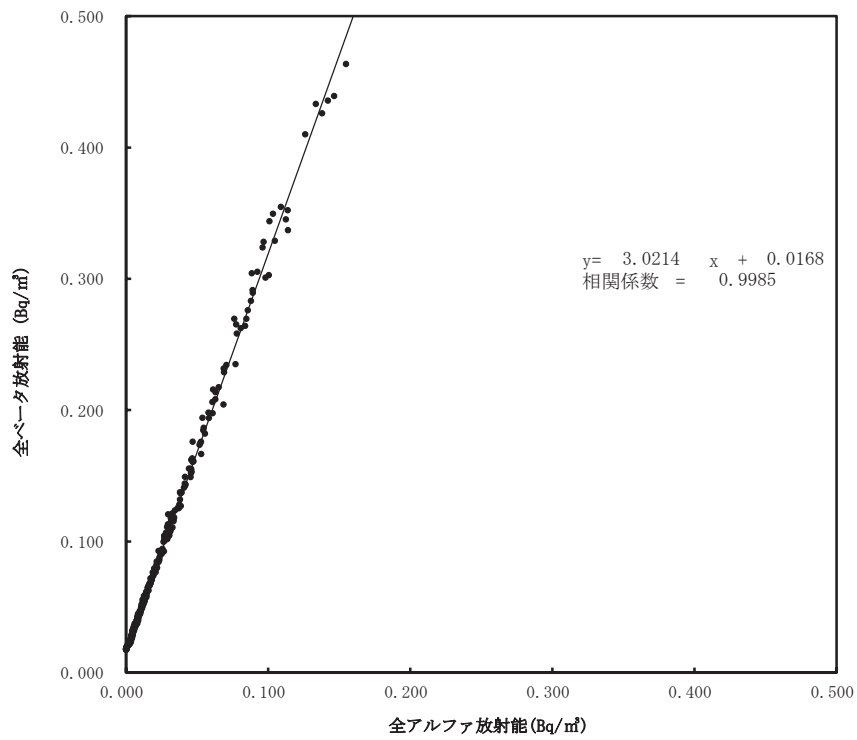
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(川内村下川内)



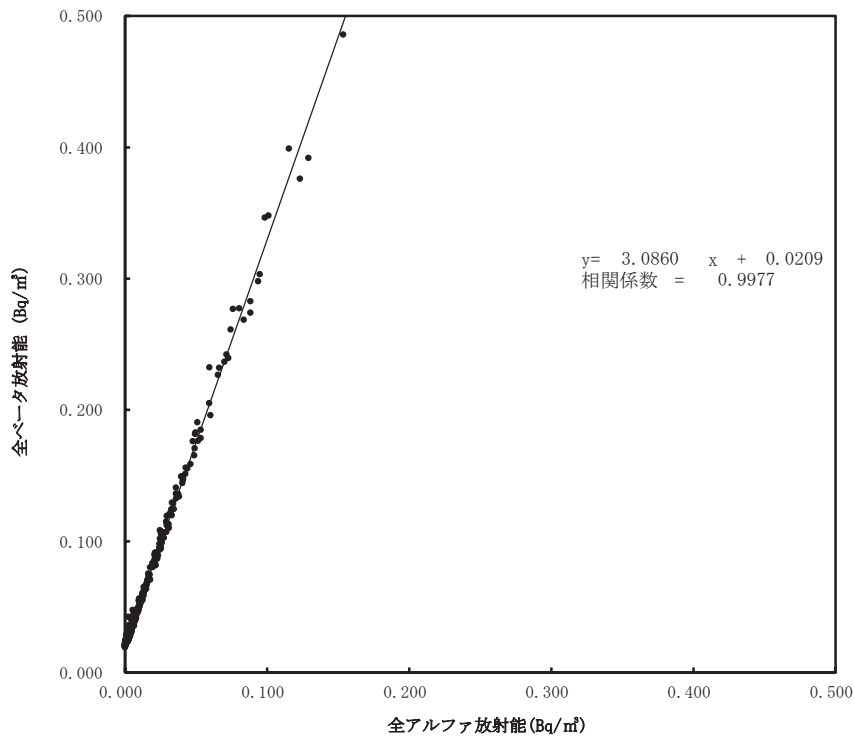
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(大熊町大野)



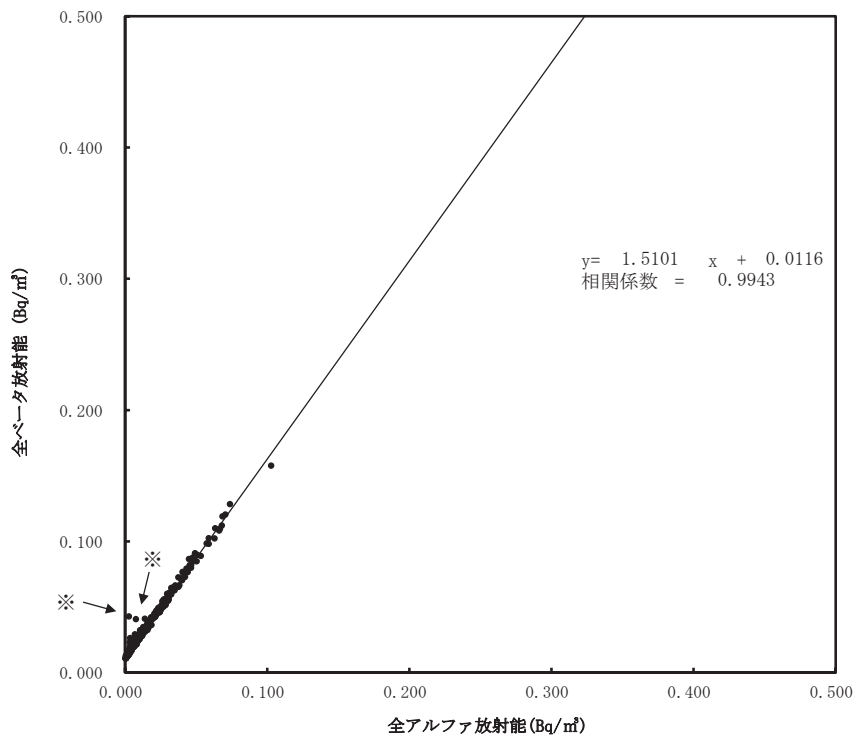
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(大熊町夫沢)



大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

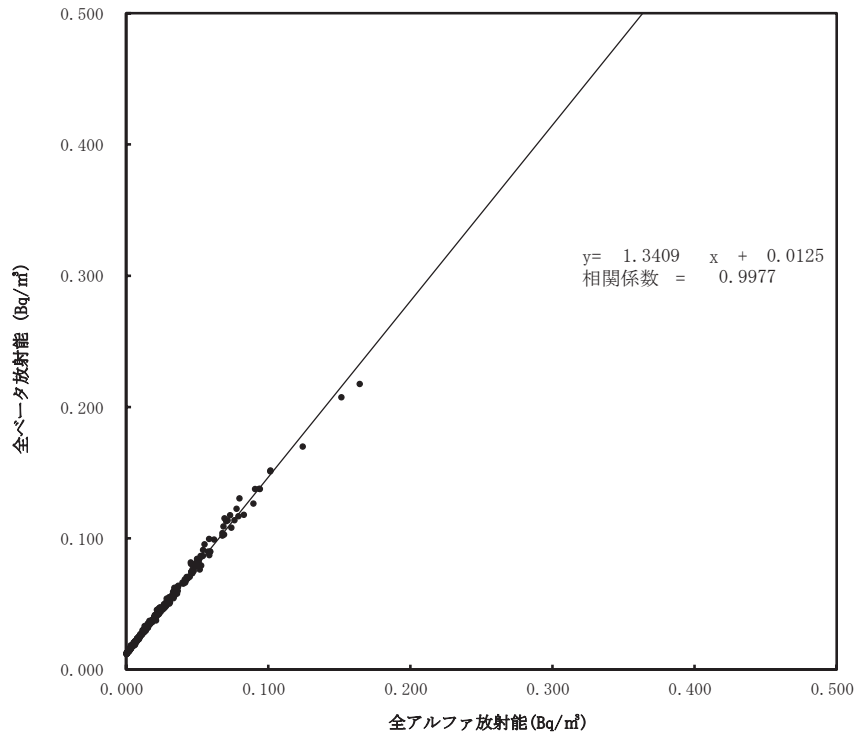
(令和2年4月～6月)
(双葉町郡山)



※全アルファ放射能及び全ベータ放射能の相関直線から外れた試料については個別に核種濃度を測定した。
この結果、Cs-137とCs-134は福島第一原子力発電所の事故に伴い平成23年当時に周辺環境へ放出されたものと推定される存在比で検出され、その他の核種は検出されていないことを確認した。

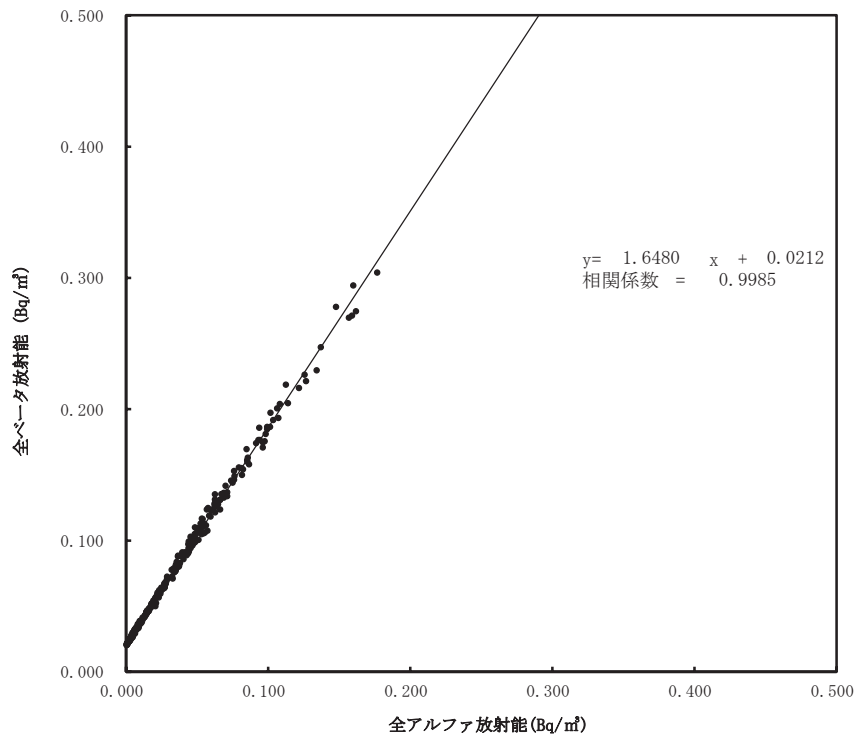
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(浪江町幾世橋)



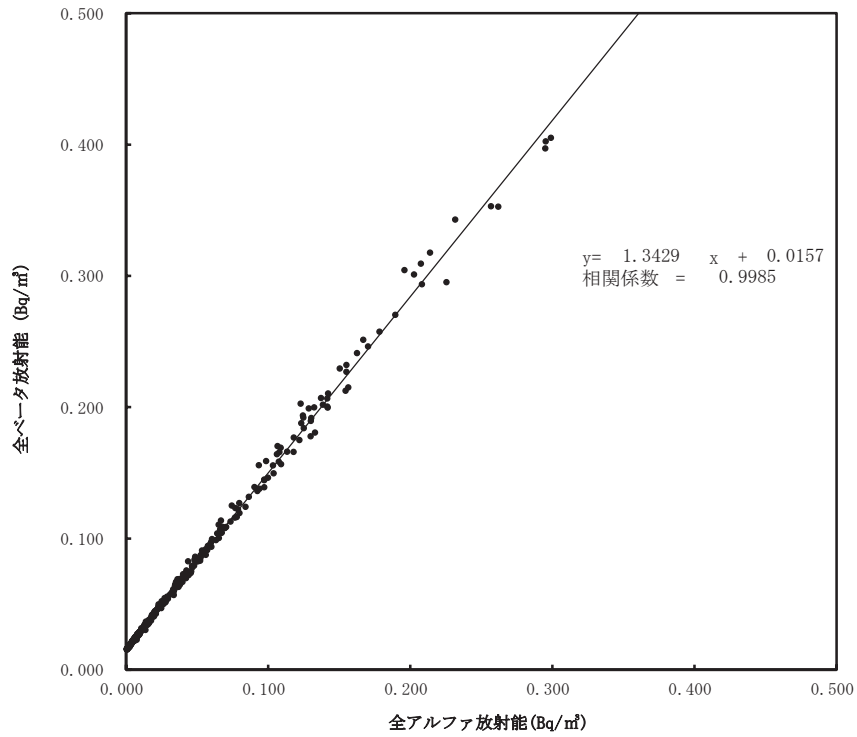
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(浪江町大柿ダム)



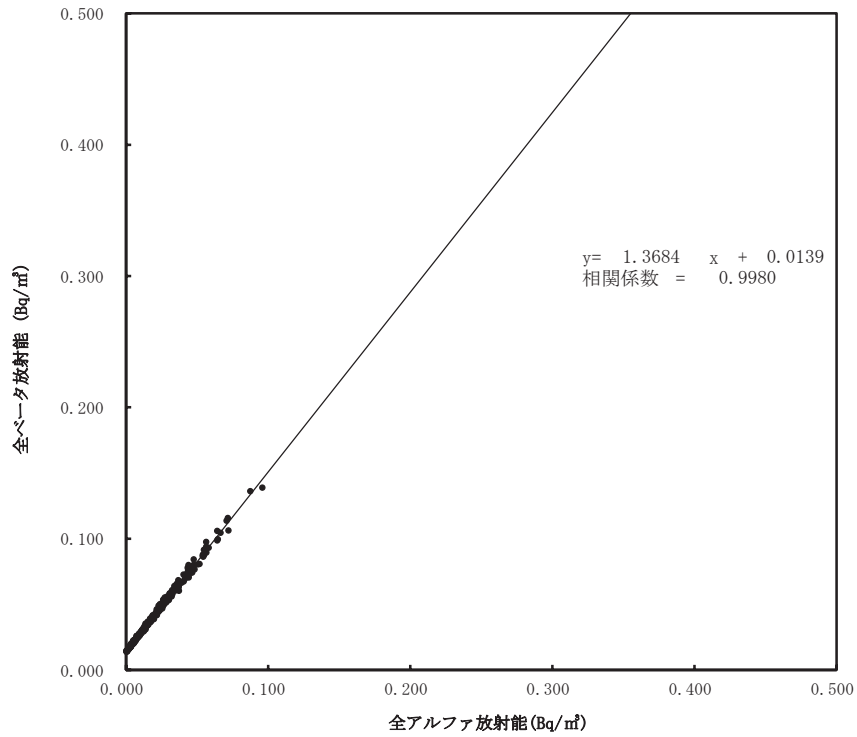
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(葛尾村夏湯)



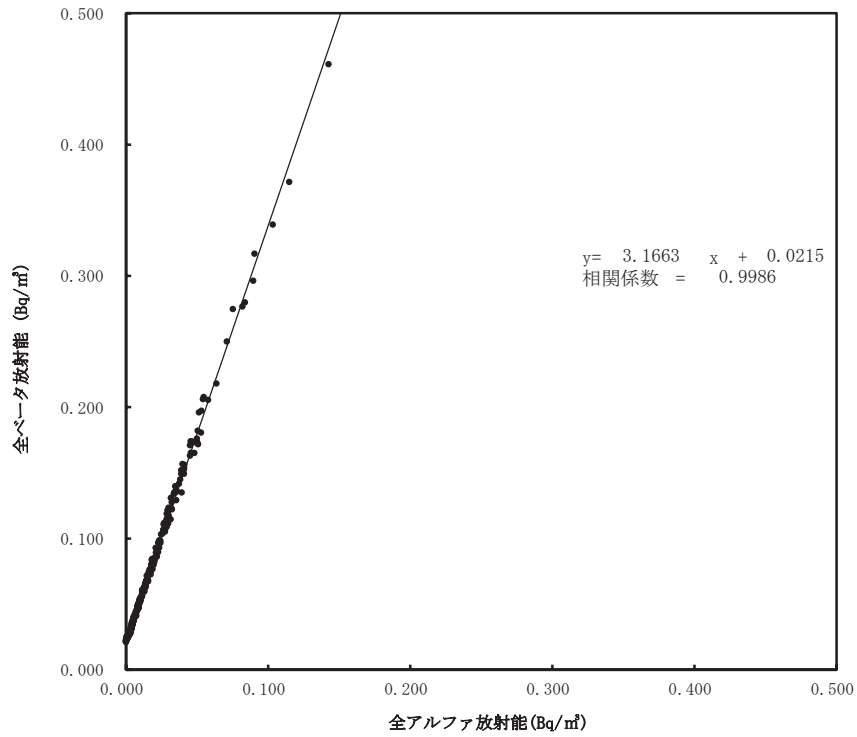
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(南相馬市泉沢)



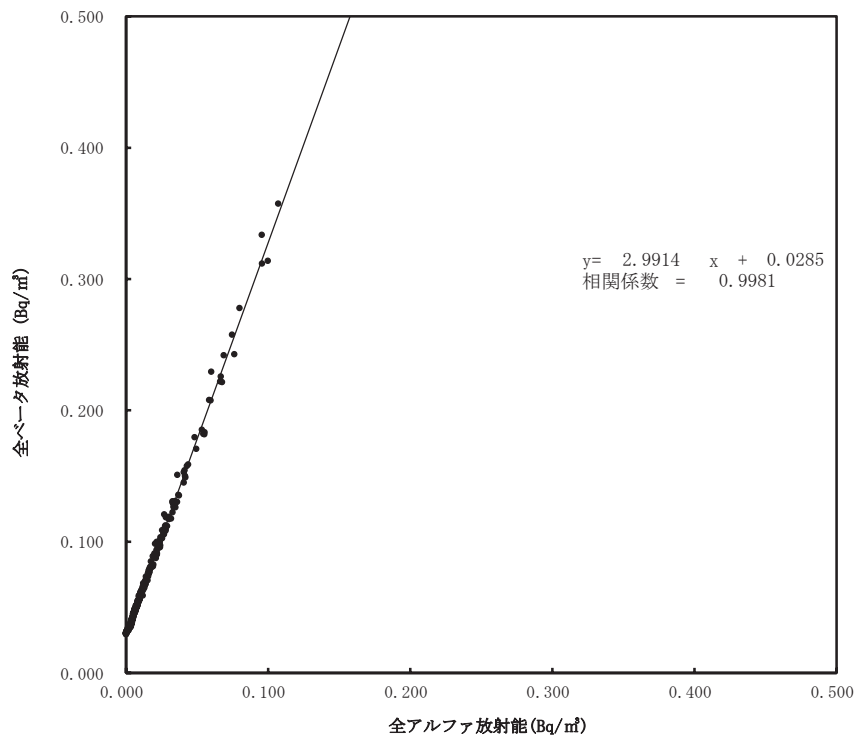
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(南相馬市萱浜)



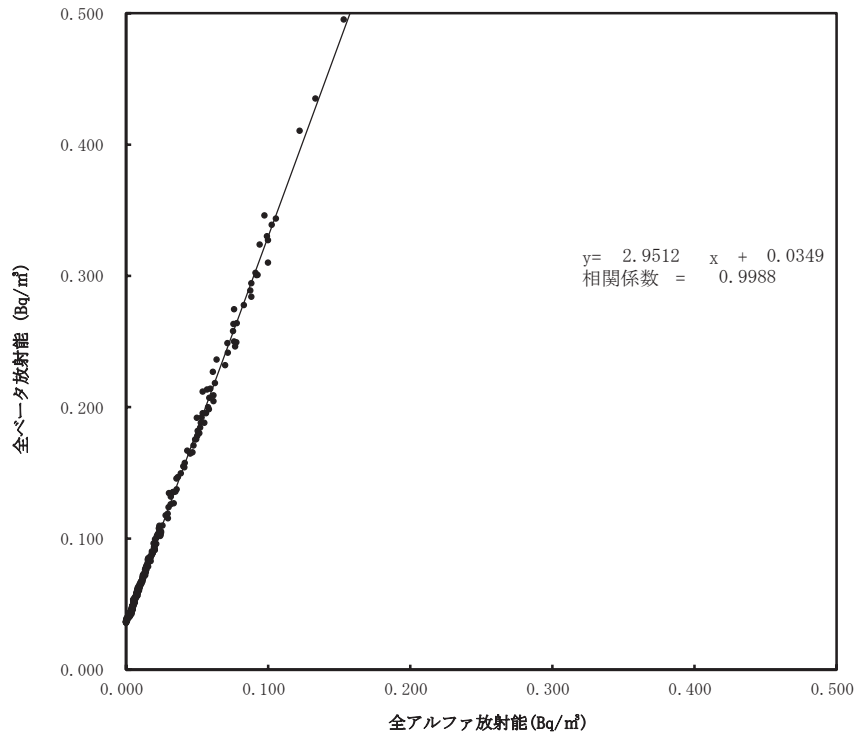
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(飯館村伊丹沢)

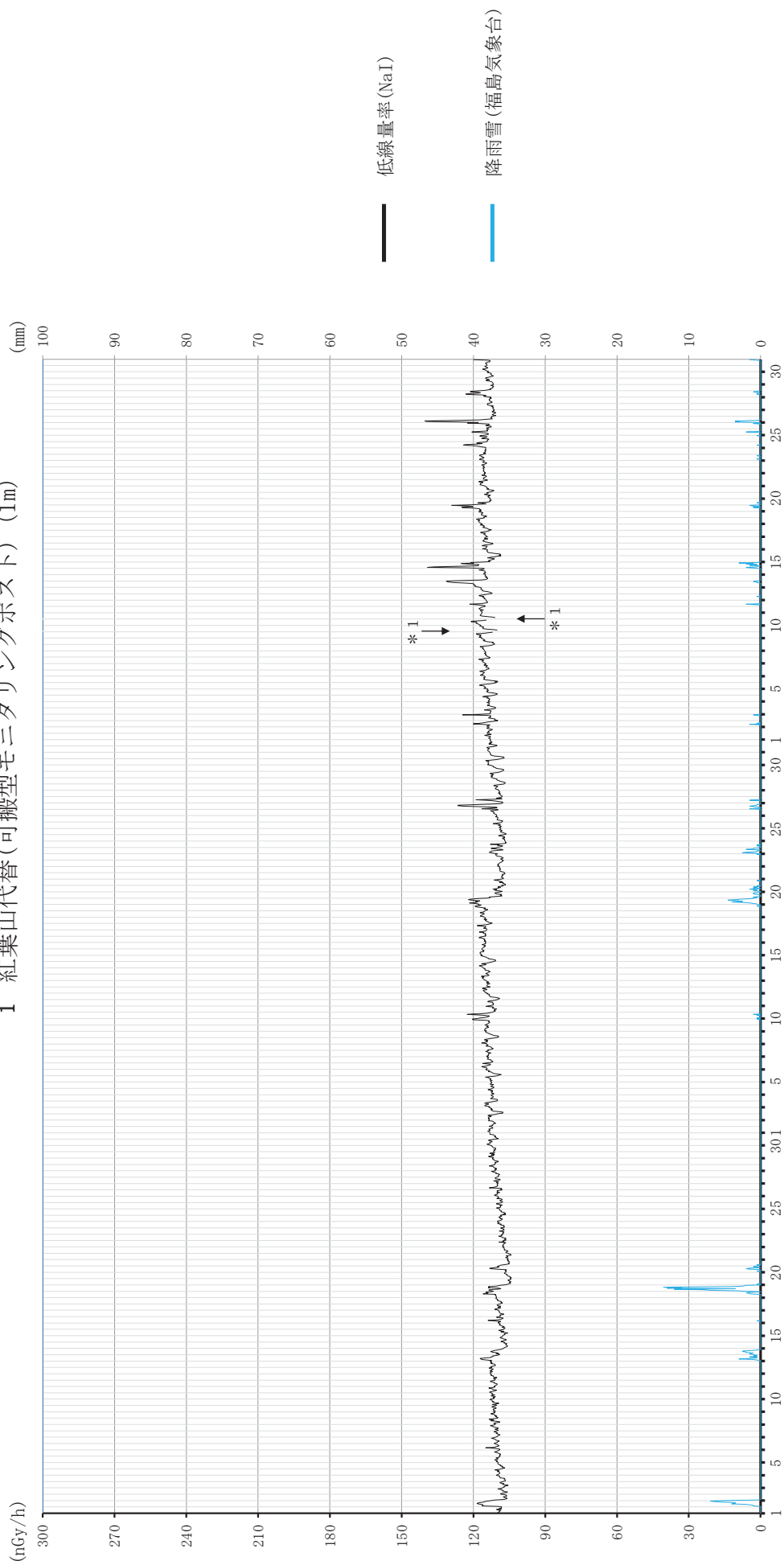


大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図

(令和2年4月～6月)
(川俣町山木屋)



空間線量率の変動グラフ
 1 紅葉山代替(可搬型モニタリングポスト) (1m)



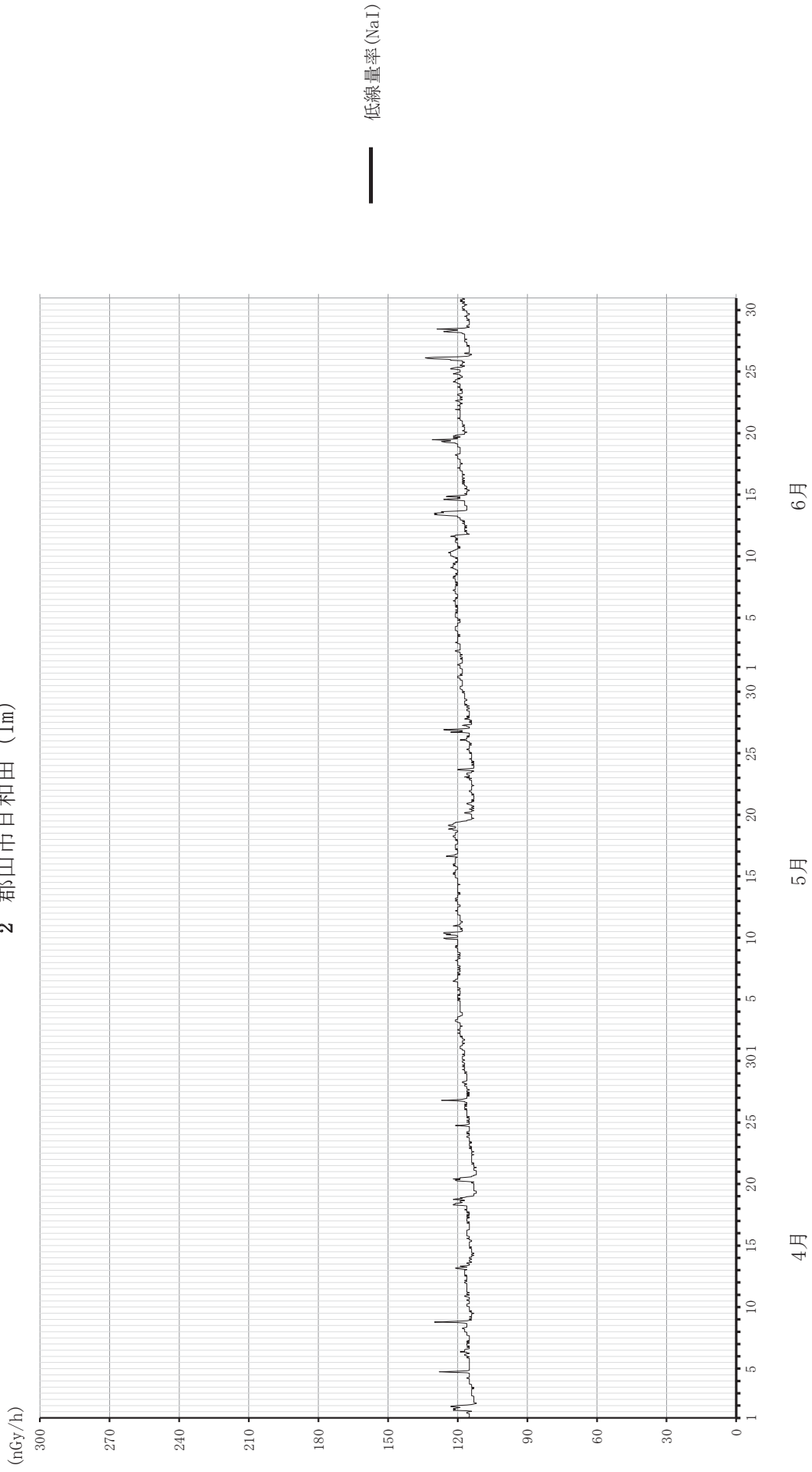
6月

5月

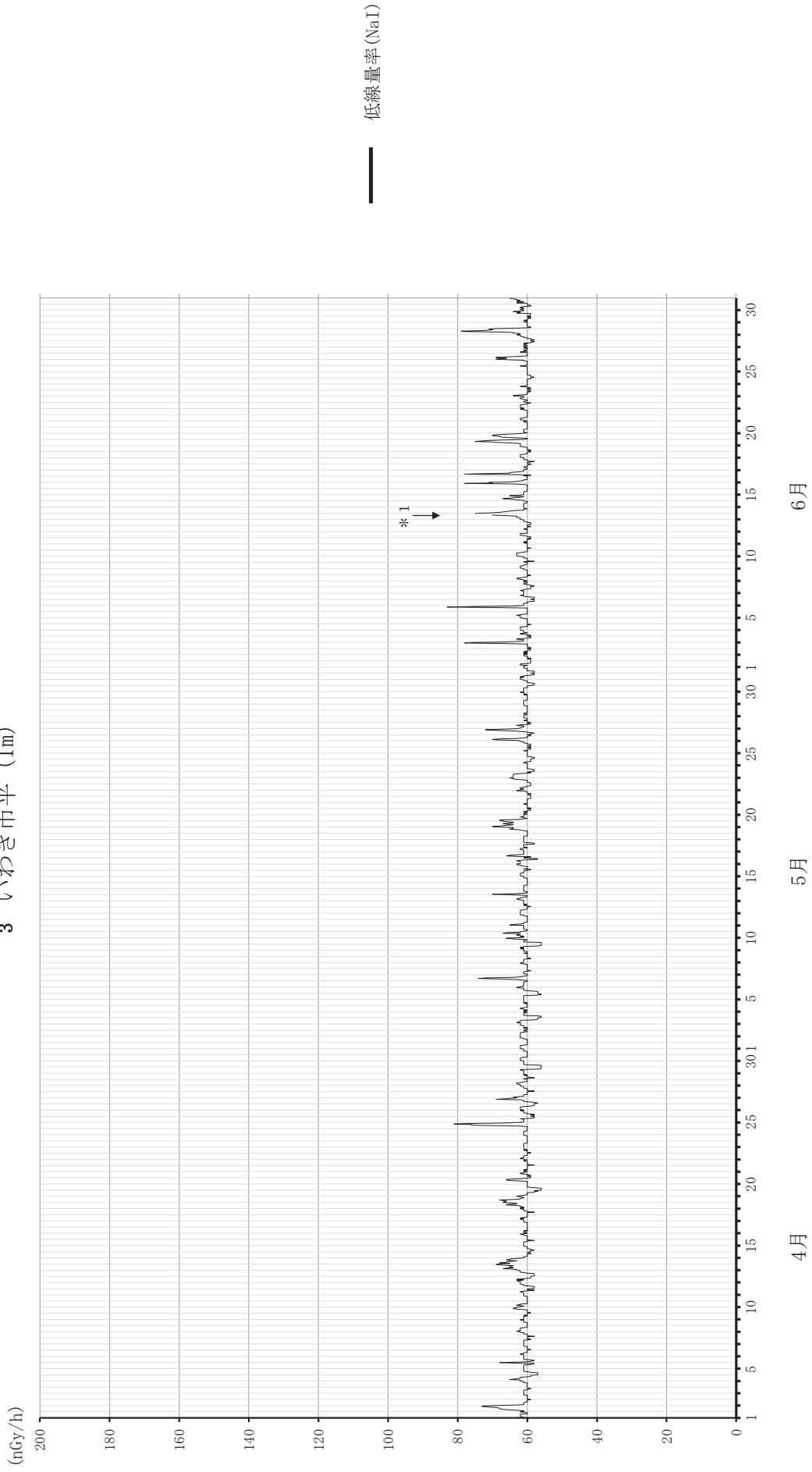
4月

* 1 6月9日、10日は検出部の温度異常のため欠測

空間線量率の変動グラフ
2 郡山市日和田 (1m)



空間線量率の変動グラフ 3 いわき市平 (1m)



*1 6月13日は電気設備点検のため欠測